



0054808000

0054808-000

674-25

原語による台湾高砂族伝説集

台北帝国大学言語学研究室・編

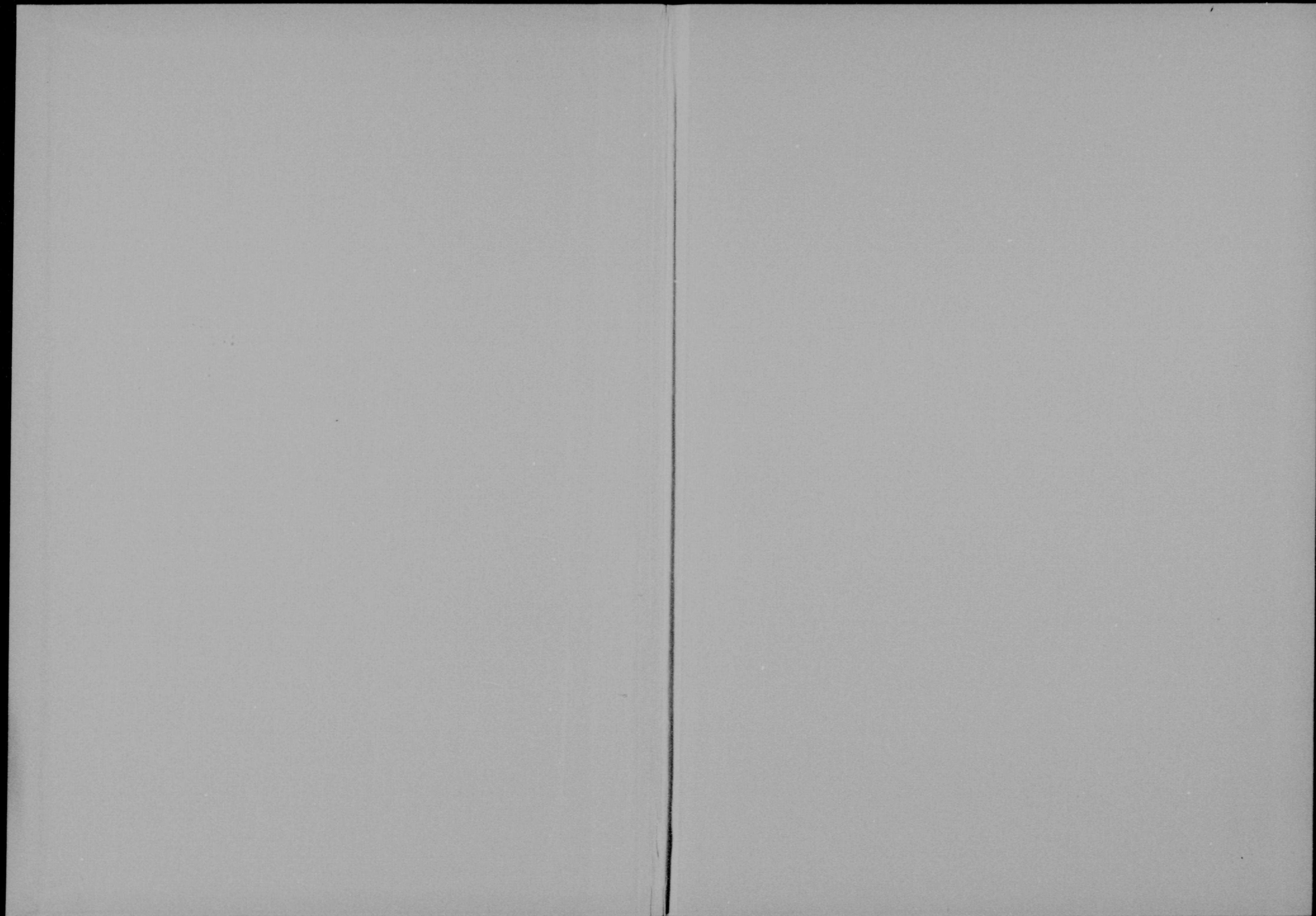
刀江書院

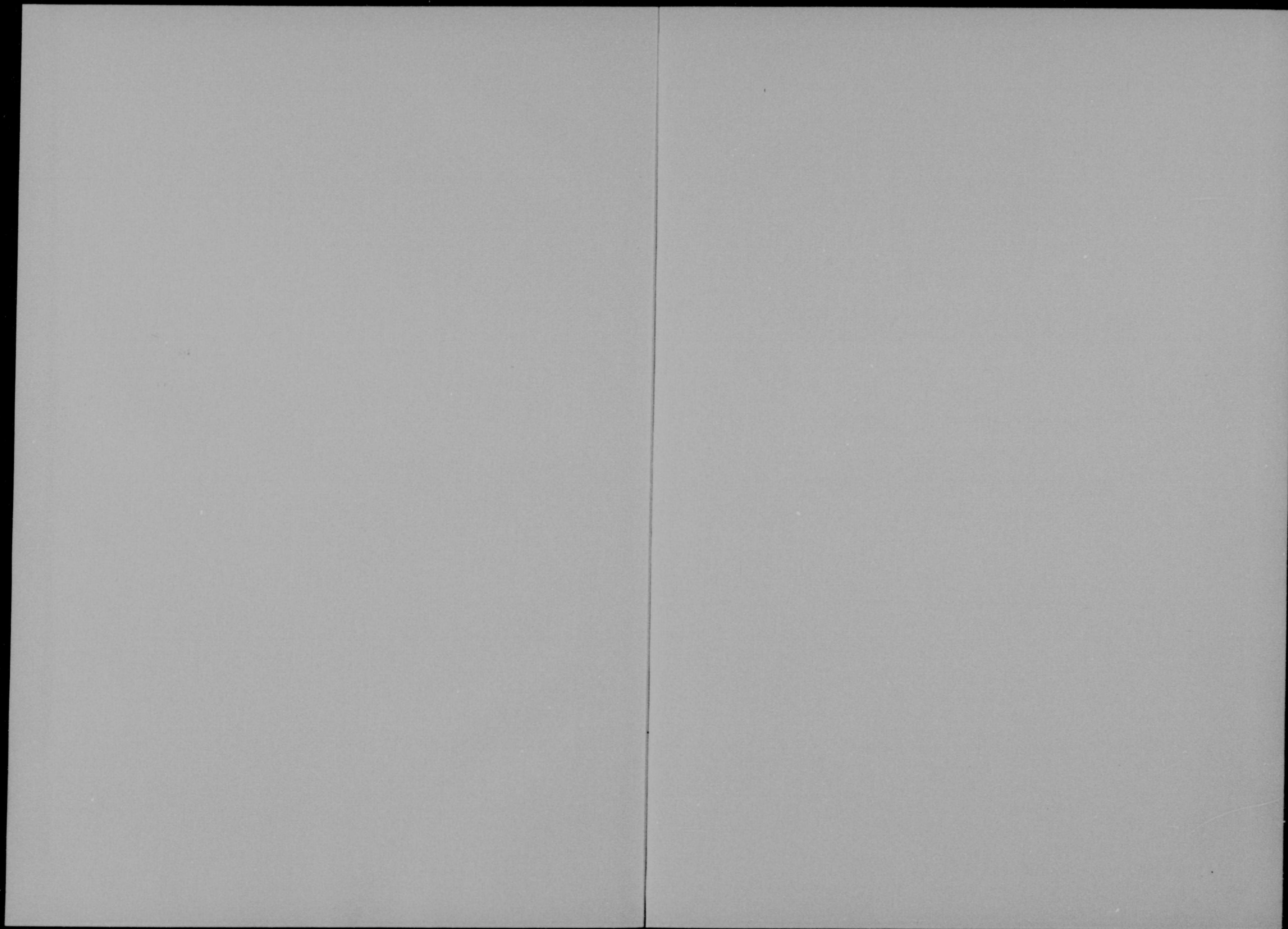
昭和10

AID

674

25





IF 2V60



上山元臺灣總督記念事業
UNDER THE AUSPICES OF KANIYAMA FOUNDATION

原語による

臺灣高砂族傳說集

THE
MYTHS AND TRADITIONS
OF THE
FORMOSAN NATIVE TRIBES
(TEXTS AND NOTES)



臺北帝國大學
言語學研究室調查
INSTITUTE OF LINGUISTICS
TAIHOKU IMPERIAL UNIVERSITY
昭和十年
1935



序

輓近、世界の文運の進展に伴ひ、天涯地角、殆ど學者の闡明に洩るるもの無からむに至り、未開種族の研究の如きも、着々として其の成果の發表を見るに及べり。雖も、獨り我が臺灣の原住民族たる高砂族に關しては、其の棲息地帯、多くは峻嶺重峰の間にして、常に往還の便を缺くのみならず、又往々にして危険を伴ひ、爲めに十分なる調査の資料を得ること難く、隨て從來未だ其の正確なる究明を遂げ得たるもの無きは、誠に學界の恨事とせる所なり。按ふに、高砂族は、言語あれども文字を有せず、傳説存すれども唯口誦に止まり、實に人類の原始生活を今日に營めるものなりとす。方今 皇恩邊陲に及び、化育の實大に擧がり、獵首の風既に廢れて、耕種の法廣く行はる。此の如くにして、改風易俗、月と共に新に就き、年と共に面目を更め、殆ど舊態を存せざるに至らん。今にして精到なる調査考究を試むるにあらずんば、千載の悔を學界に貽すなきを保せざるなり。

上山元臺灣總督、學を好み治を勵み、其の職を退くに臨み、官民金を醜して、惜別記念の資となさむとするに際し、擧げて之を臺北帝國大學に寄せ、囑するに高砂族の言語、傳説、土俗、人種等の調査考究を以てせらる。是に於て乎、本學は、小川尙義教授をして、主として言語の方面を擔當せしめ、大阪外國語學校教授淺井惠倫氏に、其の一部の分擔を依囑し、移川子之藏教授をして、主として土俗の方面を擔當せしめ、宮

本延人助手、囑託馬淵東一氏をして、分擔補助をなさしめ以て其の究査を進めたり。

爾來四星霜にして、漸く成稿を見たり。稿を分つて二部とす。一は高砂族の傳説を原語のまゝに表記して、譯文、註解、語法、概説を加へたるもの、名づけて「原語による臺灣高砂族傳説集」といふ。一は高砂族の系統所屬に關するものにして、名づけて「臺灣高砂族系統所屬の研究」といふ。共に臺灣原住民族たる高砂族に關する獨創的究明にして、世界の文運に寄與すること少からず、誠に上山總督の期待に副ふべきを疑はず。乃ち一括して之を元總督に報告し、更に其の認許を得て、之を學界に頒つと云爾。

昭和十年二月

臺北帝國大學總長 幣 原 坦

凡 例

1. 本書は臺灣に於ける主なる高砂族の傳説を、各々其の固有の言語を用ゐて之を記録し、其の言語を解説せるものなり。
1. 本書は言語の調査を主とし、傳説は得るに従つて之を蒐録したるを以て、傳説集としては組織的ならざるは止むを得ざる所なり。
1. 記録の文字は主として萬國發音記號を用ゐたり、但し a と a とは之を區別せず、又屢々必要に應じて特に製定したるものなきにあらず。其の場合の發音に關しては、各々語法概説の條に説明を施せり。
1. 高砂族の種族名、及び南洋インドネシアン語は凡て一般使用の文字を用ゐたり。
1. 未開人の言語を記録するは容易の業にあらず、本書は只聞くがまゝに之を記録したるを以て、記音の方法適當ならざるもの少からざるべし。大方の是正を待つ。
1. 語法概説は現在知られたる語法の材料を列記するに止めたり。餘は他日の研究に譲る。
1. 概説、註解等に於て體裁を異にするものなきにあらざれども、改正統一する餘裕なきを以て已むを得ず其のまゝ出版することとせり。
1. 總説其他に於て用ゐたる略語、及び符號下の如し。

Atay. Atayal	Paiw. Paiwan
Bis. Bisaya (Philippine)	Puy. Puyuma
Bun. Bunun	Sais. Saisiyat
IN. Indonesian	Seed. Seedeq
Mal. Malay	Tag. Tagalog (Philippine)
1. 本書の編纂は、大阪外國語學校教授淺井惠倫氏と筆者と之を分擔せり。而してその範圍は、セデック、ブスン、ツォネ、カナカナブ、サアロア、下三社（ルカイの一部）及びヤミに關するものは淺井氏之を擔當し、アタヤル、サイシャット、バイソフ、ブユマ、ルカイ（大南社、タラマカウ社）アミに關するもの、及び總説は筆者之を擔當せり。
1. 本書の發行に關して、臺灣總督府、並に刀江書院に負ふ所多きは感謝する所なり。

臺北帝國大學言語學研究室に於て

昭和十年二月

教授 小 川 尙 義

目 次

<p style="text-align: center;">臺灣高砂族分布圖</p> <p>總 説…………… 1</p> <p>I. アタヤル語語法概説及び本文 ……19</p> <p style="padding-left: 2em;">アタヤル語語法概説……………21</p> <p style="padding-left: 4em;">1. 大豹社…………… 34</p> <p style="padding-left: 4em;">2. タコナン社……………74</p> <p>II. サイシャット語語法概説及び本文 ……107</p> <p style="padding-left: 2em;">サイシャット語語法概説 ……109</p> <p style="padding-left: 4em;">1. 大陸社 ……115</p> <p>III. バイワン語語法概説及び本文 …… 129</p> <p style="padding-left: 2em;">バイワン語語法概説 ……131</p> <p style="padding-left: 4em;">1. カチライ社 ……141</p> <p style="padding-left: 4em;">2. 内 文 社 ……190</p> <p style="padding-left: 4em;">3. ヴィキヰキ社 ……209</p> <p style="padding-left: 4em;">4. クナナウ社 ……224</p> <p style="padding-left: 4em;">5. 大島萬社 ……244</p> <p style="padding-left: 4em;">6. 大麻里社 ……250</p> <p style="padding-left: 4em;">7. 内 社 ……255</p> <p style="padding-left: 4em;">8. カビヤン社 ……268</p> <p style="padding-left: 4em;">9. 下バイワン社 ……273</p> <p style="padding-left: 4em;">10. トクアン社 ……280</p> <p>IV. ブユマ語語法概説及び本文 ……297</p> <p style="padding-left: 2em;">ブユマ語語法概説 ……299</p> <p style="padding-left: 4em;">1. 卑南社 ……308</p> <p style="padding-left: 4em;">2. 知本社 ……323</p> <p>V. ルカイ語語法概説及び本文 ……329</p> <p style="padding-left: 2em;">A. ルカイ語語法概説 ……331</p> <p style="padding-left: 4em;">1. 大南社 ……339</p> <p style="padding-left: 4em;">2. タラマカウ社 ……359</p> <p style="padding-left: 2em;">B. 下三社語語法概説 ……364</p> <p style="padding-left: 4em;">1. マガ方言 ……370</p> <p style="padding-left: 4em;">2. トナ方言 ……380</p> <p style="padding-left: 4em;">3. マンタウラン方言 ……390</p>	<p>VI. アミ語語法概説及び本文 ……395</p> <p style="padding-left: 2em;">アミ語語法概説 ……397</p> <p style="padding-left: 4em;">1. 奇密社 ……405</p> <p style="padding-left: 4em;">2. レンガツァイ社 ……478</p> <p style="padding-left: 4em;">3. 大巴壁社 ……491</p> <p style="padding-left: 4em;">4. 豆南社 ……532</p> <p style="padding-left: 4em;">5. 馬南社 ……544</p> <p>VII. セデック語語法概説及び本文 ……557</p> <p style="padding-left: 2em;">セデック語語法概説 ……559</p> <p style="padding-left: 4em;">1. タロコ方言 ……565</p> <p style="padding-left: 4em;">2. 翁社方言 ……576</p> <p>VIII. ブスン語語法概説及び本文 ……583</p> <p style="padding-left: 2em;">ブスン語語法概説 ……585</p> <p style="padding-left: 4em;">1. 中部方言 ……591</p> <p style="padding-left: 6em;">1. 轆番(カトグラン社)……………591</p> <p style="padding-left: 6em;">2. 丹番(丹大社)……………606</p> <p style="padding-left: 6em;">3. 轆番(人倫社)……………633</p> <p style="padding-left: 4em;">2. 北部方言 ……637</p> <p style="padding-left: 6em;">1. 卡社番(タマロワン社)……………637</p> <p style="padding-left: 4em;">3. 南部方言 ……648</p> <p style="padding-left: 6em;">1. 鄒番(イバホ社)……………648</p> <p style="padding-left: 6em;">2. 鄒番(鄒大社)……………667</p> <p>IX. ツェウ語語法概説及び本文 ……669</p> <p style="padding-left: 2em;">ツェウ語語法概説 ……671</p> <p style="padding-left: 4em;">1. ルフト方言(ヤマカベン社)……………679</p> <p style="padding-left: 4em;">2. 阿里山方言(トフヤ社, タバン社)……………635</p> <p>X. サアロア語語法概説及び本文 ……693</p> <p style="padding-left: 2em;">サアロア語語法概説 ……695</p> <p>XI. カナカナブ語語法概説及び本文 ……721</p> <p style="padding-left: 2em;">カナカナブ語語法概説 ……723</p> <p>XII. ヤミ語語法概説及び本文 ……741</p> <p style="padding-left: 2em;">ヤミ語語法概説 ……743</p> <p style="text-align: center;">單 語 表</p>
---	---

例 凡

----- 州 廳 境 界

----- 蕃 地 境 界

/ Atayal

\ Seedeq

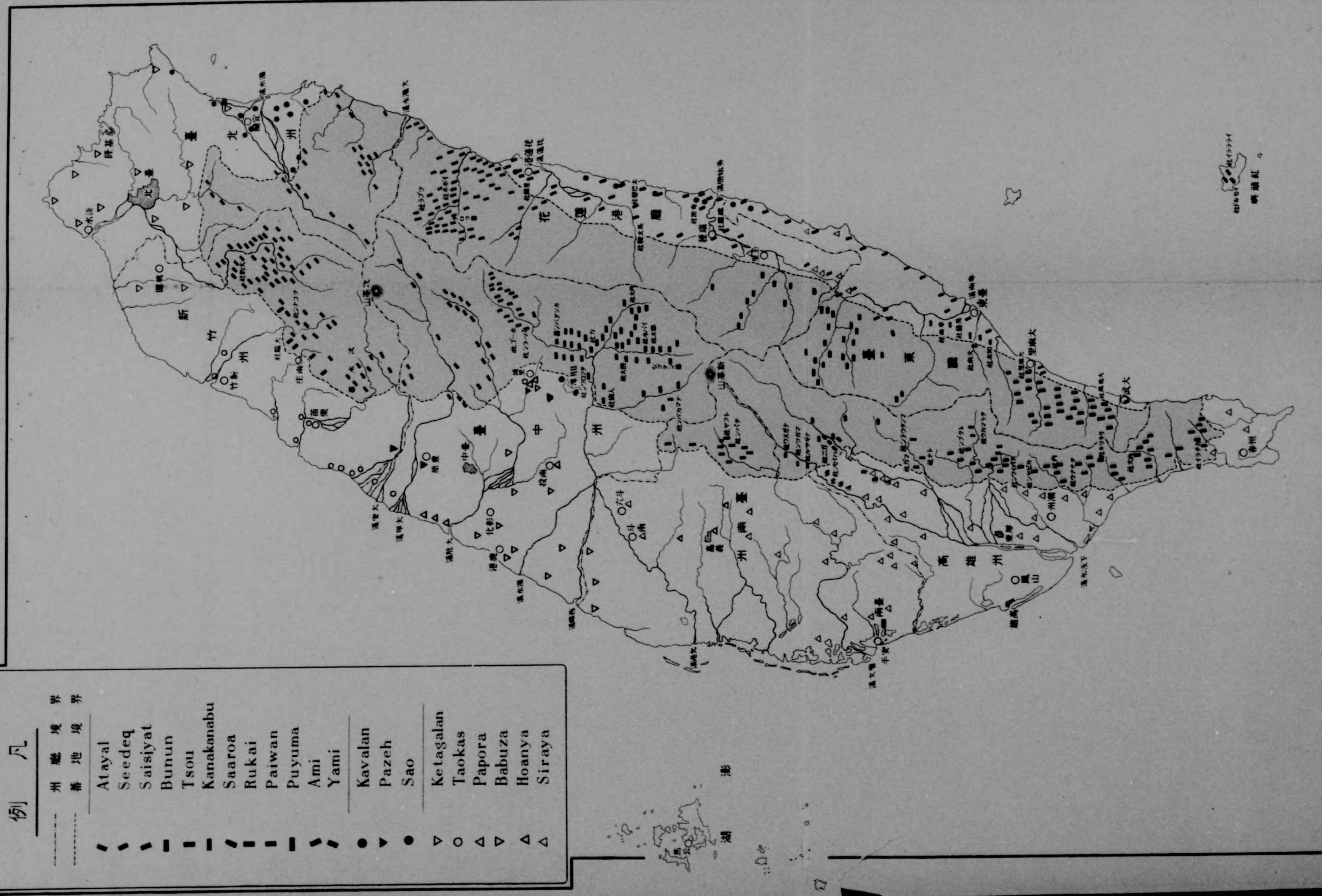
\ Saisiyat

- Bunun

| Tsou

Kashan

臺灣高砂族語言分布圖



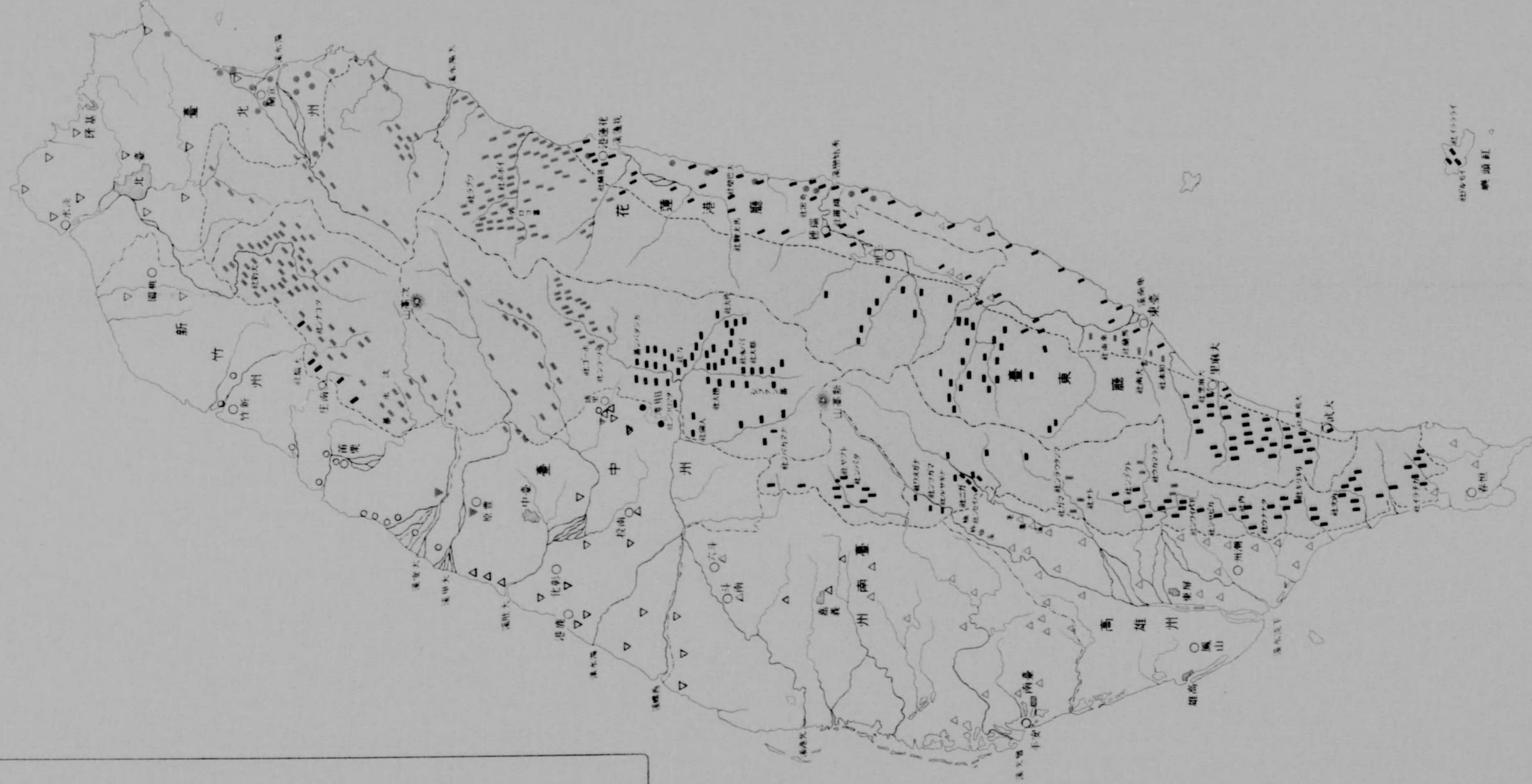
例 凡

- | | |
|-------|------------|
| ----- | 州 縣 地 境 界 |
| ----- | 州 縣 地 境 界 |
| ● | Atalay |
| ▲ | Seedeq |
| ▲ | Saisiyat |
| ▲ | Bunun |
| ▲ | Tsou |
| ▲ | Kanakanabu |
| ▲ | Saaroa |
| ▲ | Rukai |
| ▲ | Paiwan |
| ▲ | Puyuma |
| ▲ | Ami |
| ▲ | Yami |
| ● | Kavalan |
| ▲ | Pazeh |
| ● | Sao |
| ▽ | Ketagalan |
| ○ | Taokas |
| △ | Papora |
| ▽ | Babuza |
| △ | Hoanya |
| △ | Siraya |

臺灣高砂族語言分布圖

凡例

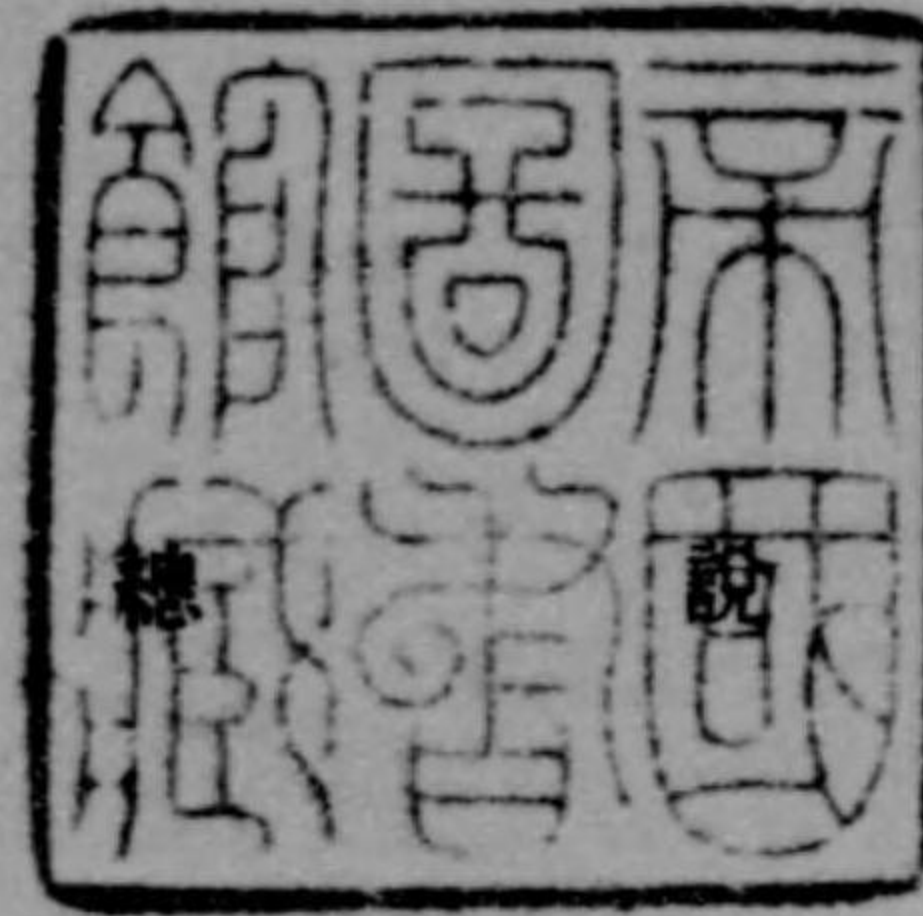
- 州界
- - - 縣界
- ▧ Atayal
- ▨ Seedeq
- ▩ Saisiyat
- Bunun
- Tsou
- ▬ Kanakanabu
- ▮ Saaroa
- ▯ Rukai
- ▰ Paiwan
- ▱ Puyuma
- ▲ Ami
- △ Yami
- Kavalan
- ▼ Pazeh
- Sao
- ▽ Ketagalan
- Taokas
- △ Papora
- ▽ Babuza
- △ Hoanya
- △ Siraya



澎湖
頭山

澎湖

總 說



I 蕃語の種類

蕃語は漢人の渡來以前より臺灣に居住せる高砂族の言語なり。此等高砂族は普通、生蕃と熟蕃とに區別せらるれども、言語の上より之を見る時は此の如き區別をなす必要あることなし。若し之を區別するとせば、(1)現在固有言語として行はるゝもの、(2)或程度に於て固有言語として行はるゝもの、(3)固有言語として行はれざるものゝ三種に區別するを適當とす。本書に蒐録せる蕃語は此の内(1)に屬するものなり。

I. 固有言語として行はるゝもの、其の分布等は概説の條に述ぶ。

1. アタヤル (Atayal, 精確には atajal, 又は atajal), 又略して タイヤル (Taiyal) ともいふ。
2. セーデック (Seedeq, 精確には se²edeq), 又 Sadzeq ともいふ。アタヤルの方言と見るを得べし。
3. サイシャット (Saisyat), 又地方により サイシラット (Saisirat 精確には saisirat), 或は略して サイセツト (Saiset) ともいふ。
4. ブヌン (Bunun, 精確には bunun)。
5. ツオウ (Tsou)。
6. カナカナブ (Kanakanabu), 又單に カナブ (Kanabu 簡仔霧) ともいふ。ツオウの方言と見るを得べし。
7. サアロア (Saaroa, 精確には ja²aroa), 普通四社蕃といふ。ツオウの方言と見るを得べし。
8. ルカイ (Rukai, 精確には dukai), 下三社及び大南社の語は其の方言なり。總稱なきを以つて暫く ルカイ と名づく。
9. バイワン (Paiwan)。
10. プユマ (Puyuma). プユマ は元來卑南社のみを表すものなれども、卑南八社蕃全體に對する總稱なきを以て、暫く從來の名稱による。

11. アミ (Ami). 自稱は Pajtsah なれども、暫く従來の名稱による。
 12. ヤミ (Yami).
- II. 或程度に於て固有の言語として行はるゝもの。即ち、普通は臺灣語を使用すれども、家庭内に於て或程度まで使用せらるゝもの。
1. カバラン (Kavalan). 宜蘭の平地、及び花蓮港廳の平地に行はる。
 2. パゼッへ (Pazeh). 新竹州苗栗郡鯉魚潭庄、臺中州豊原郡大社庄、及び新高郡埔里等に行はる。
 3. サオ (Sao, 精確には Cao). 臺中州の日月潭附近に行はる。
- III. 固有の言語として行はれざるもの、又稀に古老の記憶に存する程度のもの。
1. ケタガラン (Ketagalan). 以前、臺北、基隆、淡水、桃園方面、及び宜蘭の一部に行はれたるものなり。
 2. タオカス (Taokas). 以前、新竹、苗栗、竹南、大甲等の方面に行はれたるものにして、此の語を用ゐたる種族は一部分埔里に移住せり。
 3. パボラ (Papura). 以前、沙轆、大肚方面に行はれたるものにして、此の語を用ゐたる種族は一部分埔里に移住せり。此の語は(2)のタオカスと(4)のバブザとの混合語ならん。
 4. バブザ (Babuza, 精確には babuza). 以前、彰化、社頭、西螺等、即ち大肚溪より濁水溪以南に至る間に行はれたるものにして、此の語を用ゐたる種族は一部分埔里に移住せり。此の語は蘭人のファボラング (Favorang) に該當す。
 5. ホアニヤ (Hoanya). 以前、南投以南、嘉義の南部に至る間に行はれたるものにして、此の語を用ゐたる種族は一部分埔里に移住せり。此の語は總稱なきを以て暫く諸羅山社 (嘉義)、及び打貓社 (民雄) の自稱種族名を用ひたり。
 6. シラヤ (Siraya). 以前、大目降 (新化)、新港 (新市)、麻豆、蕭壠等、臺南附近の地方に行はれるものにして、蘭人のシダエア (Sideia) に該當す。尚ほ此の他、鳳山、屏東方面に行はれたるマカタオ (Makatao) 語、及び臺南の東北、礁吧啤 (玉里) 附近に行はれたる四社熟蕃 (Taivoan) 語は、多少方言的の差異あれども、此のシラヤに包含することを得べし。此の語を用ゐたる種族は現在多くは山地に近き方面に移住し、一部は臺東方面に移住せり。

II 蕃語とインドネシアン語

従來、蕃語とインドネシアン語とを比較せる記述は少からずと雖も、多くは單語の比較に止まり、語法の比較をなしたるものは極めて少し。Van der Vlis は Formosaansche Woordenlijst volgen een Utrechtsche Handschrift (Verhandelingen van het Genootschap van Kunsten en Wetenschappen, 18 Deel, 1842) に於て多少語法の比較を爲したりと雖も、根本的に語法の見地より之が比較を爲したるものは實に H. C. von der Gabelentz なりとす。氏は Ueber die Formosanische Sprache und ihre Stellung in dem malaiischen Sprachstamm (Zeitschrift der deutschen morgenländischen Gesellschaft, XIII. 1859) に於てファボラング(バブザ)語をフィリッピン島のタガログ、ビサヤ、バンバンガ語と比較し、語法の組織に於て其の間著しき類似あることを指摘せり。又フィリッピン大學名譽教授 Otto Scheerer 氏は昭和五年に於て角板山其他にてアタヤルの傳説を蒐集し、其本文に現はれたる單語、及び語法に關して有益なる説明を施したり (Sagen der Atayalen auf Formosa: Zeitschrift für Eingeborenen Sprachen, XXII. Heft 2. 3. 1932)。

言語の比較は音韻、單語、及び語法の方面より之を觀察するを要す。今左に蕃語とインドネシアン語に關し、此等の點に就きて簡短なる比較を爲すべし。

A. 音韻及び單語

下に掲げたる表は蕃語をインドネシアンの本來の語と思はるゝものと比較したるものなり。

	p ⁽¹⁾		b ⁽¹⁾		m ⁽¹⁾	
	四	七	米	月	五	父
Atayal	spajats	ma-pito	βowax	βija-tʃig	jima-gal	j-aβa
S-edeq	ʃeppat	pitto	beras	—	[jima	t-ama
Saisyat	spat	—	βowai	—	—	j-ama
Bunun	pa:t	pitto	kinu-βjas	βuwan	himma	t-ama
Tʃou	suptu	pitu	fujesu	feβohu	[imɔ	amɔ
Kanakanabu	sopata	pitu	βura	βuwanu	[jima	ts-uma
Saaroa	pa:tu	k-pittu	ʔuβurau	βuraju	k-[jima	ʔamaʔa
Rukai (下三社)	patu	pito	boesu	—	[jima	m-ama
Rukai (大南社)	soʔati	ʔito	buraβi	—	[jima	t-ama
Paiwan	spac	picu	vat	—	[jima	k-ama
Puyuma	pat	pito	tiras	—	[jima	t-im-ama
Ami	spat	pito	viʔats, fiʔats ⁽²⁾	vo[ʔa], fo[ʔa] ⁽²⁾	[jima	w-ama
Yami	apat ³	pit ³	—	βugan ³	ʔima ³	ama ³
Indonesian	əpat ⁽²⁾	pitu ⁽²⁾	bēr,as ⁽²⁾	bulan ⁽²⁾	lima ⁽²⁾	ama ⁽²⁾

(註) (1) インドネシアンの本來の音次頁以下之に準ず。
 (2) インドネシアンの本來の語文字は普通のものによる、次頁以下之に準ず。
 (3) 馬蘭社方言。

	t ₁ (1)			t ₂ (1)		
	七	織	四	日	人	縫
Atayal	mə-pito	t-əm-inun	spajats	ma-masa (5)	sqo-leq	s-əm-aqeis
Seedeq	pitto	t-um-inun	seppat	—	se ² e-di ² q	s-um-a ² is
Saisiyat	—	t-um-unun	spat	masa	—	s-um-a ² is
Bunun	pitto	tinnun	pat	matta	—	ma-taq ² ais
Tsou	pitu	—	suptu	mtsɔ:	tsau	t-m- ² esi
Kanakanabu	pitu	t-um-atinnu	sopata	—	tsau	t-um-a-ta ² is
Saaroa	k-pittu	—	pa:tu	—	tsu-tsɔ ² u	t-um-a-ta ² is
Rukai (下三社)	pito	—	patu	matsa	tsuao	—
Rukai (大南社)	ʔito	oa-tinoni	so ² ati	matsa	—	oa-tsa ² is
Paiwan	picu, pitu (2)	ʃe-im-inun, t-im-inun (2)	spac. spat (2)	matsa	tsau-tsau	ts-im-aqeis
Puyuma	pito	t-im-inon	pat	maʃa	ʃao	t-im-a ² i
Ami	pito	mi-tino ² on	spat	mata	—	mi-ta ² is
Yami	pitu ²	t-um-inun ²	apat ²	mata ²	tau ²	—
Indonesian	pitu	t-um-ənun	epat	mata	tau	t-um-ahi

	d ₁ (1)		d ₂ (1)		n ₁ (1)	
	雨	跡	二	山手 (2)	母	食
Atayal	qowal-ax	ra:n-eq (5)	rusa, ruša	raja	ina (8)	maŋ-eq
Seedeq	qu:ɬuh	—	daha	daja	—	m-kan
Saisiyat	a ² oeral	ra ² an	roša	raja	ina	—
Bunun	qoʃan	ɖaan	ɖuša	—	t-ina	ma-un
Tsou	tš-um-ɔjehu (4)	tšejonu	ʃuso, jušo (6)	—	ino	bo ² nu
Kanakanabu	utsanu	tša:nu	tsu:ša	—	tš-ina	k-um-a-kaunu
Saaroa	usaʃu	sala ² a	suuwa	—	ʔina ² a	umau
Rukai (下三社)	udalu	da-daʃanu	ɖuša	ɖaza	ti-t-ina	o-kanu
Rukai (大南社)	oda:i	ka-daʃan-ani	ɖusa	ɖa ² a	t-ina	oa-kani
Paiwan	qoʃal, qoʃal (2)	jaʃan, ɖaʃan (2)	ɖusa	zaja	k-ina	k-im-an
Puyuma	udal	daʃan	ɖoa	ɖaja	ta-ina	mi- ² kan
Ami	oraʃ	ʃaʃan	tosa	—	w-ina	k-im-a ² o
Yami	—	ʃa-ʃagan ²	ɖuwa ²	—	ina ²	k-um-an ²
Indonesian	hudan	dalan	dua	daya	ina	k-um-an

(註) (1) t₁, t₂, d₁, d₂, n₁, n₂ はインドネシアに於て普通區別せられざれども書語に於ては規則的に區別せらる。蓋し本来區別ありたるものならん。(2) トクアン社方言。(3) 眼球の意。(4) 久雨の意。(5) 汝水蕃方言。(6) タッパン社方言。(7) 蕃社の位置により西又は東の意となる。(8) 子の妻の意。

	n ₂ (1)			
	子	水	月	錢
Atayal	ala-qei	leʃuŋ (2)	βija-tʃiŋ	tola-qei
Seedeq	la-qe	ðuðuŋ (2)	—	—
Saisiyat	—	ralum	—	tola
Bunun	—	ɖanum	buwan	—
Tsou	o'xo	tsuhumu	fefohu	—
Kanakanabu	—	tsanumu	buwanu	—
Saaroa	—	sajumu	βuraʃu	—
Rukai (下三社)	v-ala:ku	—	—	tula
Rukai (大南社)	l-alaki	—	—	tola
Paiwan	alak	zalum	—	cula
Puyuma	w-alak	zanum (2)	—	tu'a
Ami	—	nanum	voʃaʃ, voʃad (4)	teʃa, toda (4)
Yami	anak ²	ʃanum ²	βegan ²	tuna ²
Indonesian	anak	danum	bulan	tuna

	k			ŋ		
	虱	肘	木	松	龜	蟹
Atayal	—	he:ko	kahu-qeq	hajuŋ	jiŋ-li	ka-kagaŋ
Seedeq	—	heko-ʃ	kahu-ŋi	haʃoŋ	—	ka-ka[ŋ]
Saisiyat	koso	hi:ko	kahcei	ha ² uŋ	ŋa ² au	ka ² uŋ
Bunun	koto	siko, tsiko (6)	—	sa:ŋ	—	ka-ka[ŋ]
Tsou	tšuu	—	evi	seoŋu	—	joŋo
Kanakanabu	kutsu	—	kaʃu	(h)ʃuŋu	—	—
Saaroa	kutsu ² u	—	kijo ² o	(h)ʃuŋu	—	—
Rukai (下三社)	ktso	—	—	saʃuŋu	—	—
Rukai (大南社)	kotso	piko	—	haligi	aʃaʃigi	—
Paiwan	kutsu, ʔutsu (5)	piko, pi ² o (5)	kasiu, ʔasiu (5)	taʃiŋ	ʃa-ʃaŋu	ga:ŋ
Puyuma	kcto	siko	kau	—	ŋa-ŋaʃao	garaŋ
Ami	koʃo	tsiko	kasui (7)	tsaʃiŋ	ʃa-ʃaŋo	ka:ŋ
Yami	koto ²	—	kaju ²	—	—	kaʃaŋ
Indonesian	kutu	siku	kayu	saléng (2)	langau	kar,ang (2)

(註) (1) 6頁註(1)を見よ。(2) 川の意。(3) 知本社方言。(4) 亞蘭社方言。(5) 内文社方言。(6) カ> タッパン方言。(7) 薪の意。

	q ⁽¹⁾		s		
	雨	藤	乳	一	犬
Atayal	{qowal-ax {'owal-ax ⁽²⁾	{qowaj-ux, {'owa-ti ⁽²⁾	—	min-xa-l ⁽⁷⁾	hu-zil
Seedeq	qu:ñah	qowal-ox	—	ma-xa-l ⁽⁸⁾	hu-lig
Saisiyat	a'eral	'æwai	hœhœ	aha	ahœ
Bunun	qofan, 'ofan ⁽³⁾	{qowað, {'owað ⁽³⁾	soso, tsotsò ⁽⁶⁾	{fmu-s'a-n ⁽⁷⁾ {mu-ts'a-n ⁽⁶⁾⁽⁷⁾	aso, atso ⁽⁶⁾
Tsou	tš-um-ɔjehu	u'je	—	tso-ni	—
Kanakanabu	utsanu	uwaji	—	tša-ni	—
Saaroa	usaju	βu'i	ususu	tša:-ni	—
Rukai (下三社)	udala	uvate	θuθu	—	aθo
Rukai (大南社)	odali	hovai	θoθo	—	—
Paiwan	qojal, 'oqjal ⁽⁴⁾	çoi, 'oi ⁽⁴⁾	toto	ita	v-ato
Puyuma	udal	hoai	soso	isa	so-an
Ami	horal, oral ⁽⁵⁾	hoai, oi ⁽⁵⁾	tsotso	tša-tša-ai	w-atso
Yami	—	—	šusu	aša?	—
Indonesian	hudan	howai	susu	ěsa	asu

	l		r ₁ ⁽¹¹⁾		
	三	路	幾	程	名
Atayal	tšur-gal	rain ⁽¹⁰⁾	pira	pegai	—
Seedeq	te u	—	piði, pija ⁽¹²⁾	paðai, pajai ⁽¹²⁾	ɣaðan, hagan ⁽¹²⁾
Saisiyat	to'fo	ra'fan	piza	pazai	—
Bunun	tato	ɖaan	pija	pa:ð	ɣa:n
Tsou	to u	tsejanu	pijo	pazi	—
Kanakanabu	to o	tša:nu	u-pija	—	ɣanai
Saaroa	to o	sala'a	u-pija	—	ɣ'ja
Rukai (下三社)	to o	da-da anu	pija	pegai	—
Rukai (大南社)	to o	ka-da an-ani	'ija	'agai	naɣani
Paiwan	ci u, ci'bu ⁽⁹⁾	ja an, ja'fan ⁽⁹⁾	piða	padai	ɣadan
Puyuma	ti u	da an	piða-piða-ja ⁽¹³⁾	—	ga ad
Ami	to o	[a an	pina	panai	ɣagan
Yami	at u?	[a- agan	pira?	—	ɣa an?
Indonesian	tělu	dalan	pir,a	par,ai	ngar,an

(註) (1) q はインドネシアに於て普通之を有せず、時として h となることあり。蕃語に於ては規則的に存在す。蓋し本来の音ならん。(2) タコナン社方言。(3) シアケン方言。(4) 内文社方言。(5) 馬蘭社方言。(6) カンタバン方言。(7) 一度の意。(8) 十の意。(9) キキキ社方言。(10) 汝水蕃方言。(11) r₁ はインドネシアに於て規則的に r, l, d 等となるもの、鼻を Dayak urong, Tag. ilong, Mal. hidung といふ類。(12) タロコ方言。(13) 知本社方言。

	r ₂ ⁽¹⁾			j	
	米	血管	奥	鳥	山手 ⁽⁴⁾
Atayal	βowax, βagax ⁽²⁾	ugweq	βe-q	—	raja
Seedeq	beras, bgah ⁽³⁾	urats, u at ⁽⁵⁾	bagai, mgai ⁽³⁾	—	daja
Saisiyat	βowai	—	mo-βu'vai	—	raja
Bunun	kinu-β as	u at	—	çadam	—
Tsou	fujesu	vo otsu	fai-ni	zomu, zomu	—
Kanakanabu	βura	uratsa	βuwa-unu	—	—
Saaroa	'uβurau	'uratsu	uwa-βu a	aθamu	—
Rukai (下三社)	boesu	uvatsu	o-β'a:i	aža-zamu	ɖaza
Rukai (大南社)	burai	oatsi	oa-bai	haða-haðami	ɖaða
Paiwan	vait	oats	pa-vai	qaja-qajam	zaja
Puyuma	biras	ora	birai	ajam	ɖaja
Ami	vizats	orat	pa-viji	hajam, ajam	—
Yami	—	ujat	—	—	—
Indonesian	běr ₂ as	ur ₂ at	běr ₂ ai	hayam	daya

	w			h ^(?)		
	八	右	左	二	汝	水
Atayal	—	—	izi-l	rusa, ruša	iso, išo	kahu-ɣeɖ
Seedeq	—	—	iri-l	daha	iššo	kahu-ɣi
Saisiyat	—	ka-nal	ka-i'vi	roša	šoö	kahœi
Bunun	va:ö	ɣna-skawan	tana-viji	ɖuša	šoö	—
Tsou	vo u	vuhona	veina	{uso	su	evi
Kanakanabu	(h)a: u	ananu	ili	tsu:sa	i:ka-su	ka u
Saaroa	k-wa o	hajanu	'ili	suuwa	i a-u	kijo'o
Rukai (下三社)	va o	vananu	vrenu	ɖuša	ko:su	—
Rukai (大南社)	wa u	wanali	wiri	ɖusa	ko-so	—
Paiwan	a o	ka-naval	ka-viri	ɖusa	ti-su-n	kasiu
Puyuma	wa o	tara-walan	tara-wiri	ɖoa	jo-jo	kau
Ami	va o	ka-wanan	ka-wiai	toša	k-iso	kasui ⁽⁷⁾
Yami	wagu?	wanan?	uri?	ɖuwa?	—	kaju?
Indonesian	walo	wanan	wir ₂ i ^(?)	duha ⁽⁵⁾	iyo ⁽⁶⁾	kahui ⁽⁸⁾

(註) (1) r₂ はインドネシアに於て規則的に r, g, h 等となるもの、唇を Mal. urat, Tag. ugat, Dayak uhat といふ類。(2) 藥丸の意。(3) タロコ方言。(4) 蕃社の位置により西又は東の意となる。(5) Bisaya 語。(6) Tagalog 語、汝の意。(7) 薪の意。(8) Tagalog 語。

	a		i		u	
	日	父	五	我等	石	灰
Atayal	ma-masa ⁽¹⁾	j-a ² βa	jima-gal	s-ami	βotu-nux	qaβu-li
Seedeq	—	t-ama	[ima	j-ami	batu-nux	qabu-lit
Saisiyat	masa	j-ama	—	j-ami	βato	aβo
Bunun	matta	t-ama	himma	β-ammi	βato	qabo
Tsou	mtsɔ:	amɔ	[imɔ	a ² mi	fatu	fuu
Kanakanabu	—	ts-uma	[ima	iki-mi	βatu	aβu
Saaroa	—	ʔamaʔa	k-[ima	—	βatoʔo	ʔaβoʔo
Rukai (下三社)	matsa	m-ama	[ima	kna:mu	—	habo
Rukai (大南社)	matsa	t-ama	[ima	—	—	habo
Paiwan	matsa	k-ama	[ima	ti-am-in	—	qavo
Puyuma	mafa	t-im-ama	[ima	i-mi-mi	—	abo
Ami	mata	w-ama	[ima	k-ami	—	fiavo, ʔavo
Yami	mataʔ	amaʔ	limaʔ	—	βatuʔ	aβuʔ
Indonesian	mata	ama	lima	k-ami ⁽²⁾	batu	habu

	ẽ ⁽³⁾					
	三	来	織	典	六	齒
Atayal	tsu:gal	βowax, βogax ⁽⁴⁾	t-um-inun	βe-q	—	—
Seedeq	te u	beras, bgah ⁽⁵⁾	t-um-inun	βgai, mgai ⁽⁵⁾	—	guppun
Saisiyat	to ^β o	βowai	t-um-unun	mo-βu ^β ai	—	nupun
Bunun	tato	kinc-βlas	tinnun	—	no:m	—
Tsou	toʔu	fujesu	—	fai-ni	nommu	—
Kanakanabu	to o	βura	t-um-atinnu	βuwa-unu	num	—
Saaroa	to o	ʔuβurau	—	uwa-βu a	k-numu	—
Rukai (下三社)	to o	boesu	—	o-β ² ai	numu	—
Rukai (大南社)	to o	bura ^β i	ca-tinoni	oa-baai	unumi	—
Paiwan	ci u	vait	e-im-inun	pa-vai	inim	—
Puyuma	ti u	tiras	t-im-inon	tirai	inim	—
Ami	to o	vitats	mi-tinoʔon	pa-vi ² i	ʔnim	—
Yami	at u ²	—	t-um-inun ²	—	anum	gupun
Indonesian	telu	ber ₂ as	t-um-enun	ber ₂ ai	enem	ngipen

(註) (1) 眼球の意。(2) Tagalog 語。(3) ẽ はインドネシアに於て規則的に e, a, i, u, e となるもの。複を Mal. beras, Panpanga abyas < *bayas, Tag. bigas, Bis. bugas, Pangasinan belas といふ類。(4) 粟丸の意。(5) タロコ方言。

上表に於て音韻の變化上注意すべきものを下に列記すべし。

1. p > ʔ Rukai (大南社).
2. b > β Atayal, Saisiyat, Kanakanabu, Saaroa, Yami.
3. b > β Bunun.
4. b > f Tsou, Ami (馬蘭社等).
5. b > v Paiwan, Ami.
6. t₁ > t₂ Paiwan (トクブン社等).
7. t₁ > c Paiwan (カチライ社等).
8. t₁ > ts, (ts) Atayal (語末は ts, i の前は ts, 大豹社等).
9. t₂ > t Puyuma.
10. t₂ > ts Tsou, Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Paiwan.
11. t₂ > s Atayal, Seedeq, Saisiyat.
12. d₁ > d Bunun.
13. d₁ > r Atayal, Saisiyat, Ami.
14. d₁ > d Paiwan (トクブン社等).
15. d₁ > ʃ Paiwan (カチライ社等).
16. d₁ > ts Tsou, Kanakanabu.
17. d₁ > s Saaroa.
18. d₂ > d Rukai, Puyuma, Paiwan, Yami.
19. d₂ > d Bunun.
20. d₂ > r Atayal, Saisiyat.
21. d₂ > ʃ Tsou (ナマカパン社).
22. d₂ > j Tsou (タッパン社).
23. d₂ > ts Kanakanabu.
24. d₂ > s Saaroa.
25. d₂ > t Ami.
26. d₂ > z Paiwan.
27. n₂ > l Atayal, Seedeq, Saisiyat, Rukai, Paiwan, Puyuma.
28. n₂ > l Saaroa, Ami (奇密社等).
29. n₂ > d Ami (荳蘭社等).
30. n₂ > h Tsou.

31. k > ? Paiwan (内文社等), Tsou [例外].
32. q > ʃ Bunun (シブクン方言).
33. q > h Puyuma (知本社等), Rukai, Ami.
34. q > ? Atayal (タコナン社等), Seedeq [例外], Saisiyat, Tsou, Saaroa, Paiwan (トクブン社等).
35. q > [] Tsou, Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Puyuma (卑南社), Ami (馬蘭社等).
36. s > x, h Atayal, Seedeq, Saisiyat.
37. s > ts Bunun (カントバン方言), Ami, Tsou (?), Kanakanabu (?), Saaroa (?).
38. s > θ, θ Rukai.
39. s > t Paiwan.
40. l > l Seedeq, Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Paiwan, Puyuma, Ami, Yami.
41. l > f Tsou (ナマカバン社).
42. l > j Atayal, Tsou (タッバン社等).
43. l > * Saisiyat, Paiwan (リキリキ社等).
44. l > g Yami.
45. l > [] Bunun.
46. r₁ > r Atayal, Yami.
47. r₁ > g Atayal, Rukai.
48. r₁ > δ Seedeq (バーラン社等), Puyuma (知本社等).
49. r₁ > z Saisiyat.
50. r₁ > l Saaroa.
51. r₁ > n Ami, Rukai (?), Kanakanabu (?).
52. r₁ > l Yami, Puyuma (?).
53. r₁ > d Paiwan.
54. r₁ > j [iの後?] Seedeq, Bunun, Tsou, Kanakanabu, Saaroa, Rukai.
55. r₁ > h Seedeq (タロコ方言(?)).
56. r₁ > [] Bunun, Tsou.
57. r₂ > g Atayal, Seedeq.
58. r₂ > r Seedeq (バーラン社等), Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Puyuma.
59. r₂ > ɹ Ami.
60. r₂ > l Seedeq (タロコ方言), Saaroa.

61. r₂ > l Bunun.
62. r₂ > f Tsou (ナマカバン社).
63. r₂ > j Tsou (タッバン社等), Yami.
64. r₂ > * Saisiyat.
65. r₂ > w, (gw) Atayal.
66. r₂ > [] Atayal, Saisiyat, Tsou, Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Paiwan.
67. j > δ Bunun, Rukai.
68. j > z, (z) Tsou.
69. j > z Rukai.
70. j > θ Saaroa.
71. w > v Bunun, Tsou, Rukai, Paiwan.
72. w > [] Saisiyat, Kanakanabu, Saaroa, Atayal (?), Seedeq (?).
73. h(?) > s Atayal, Seedeq, Saisiyat, Bunun, Rukai (下三社).
74. h(?) > s Atayal, Tsou, Kanakanabu, Rukai, Paiwan, Ami.
75. h(?) > [] Saaroa, Puyuma, Yami.
76. a > ɔ Tsou.
77. ē⁽¹⁾ = u, i Paiwan, Puyuma, Ami, Yami.
78. ē⁽¹⁾ > u Saisiyat, Bunun, Tsou.

(註) (1) ē = 相當スル音ハ例外多シ尙研究ヲ要ス。

B. 語法

語法ハ各語ノ條ニ於テ夫々記述セリ。此處ニハ全體トシテノ比較ヲ舉グ。

1. 冠詞

1. 人的冠詞,主格. Sais. he; Paiw. ti; Ami tsi; Atay. i; Puy. i. 比. Tag. si; Pampangang i.
2. 同上,屬格. Atay. 其他多くは ni. 比. Tag. ni.
3. 同上,其他の格. Puy. kan; Sais. kanih. 比. Tag. kay; Bis. kan.
4. 一般的冠詞,主格. Puy. Paiw. 等 a. 比. Tag. a-ng.
5. 同上,屬格. Atay. na; Paiw. no-a 等. 比. Tag. na-ng.
6. 同上,其他の格. Atay. sa(?); Paiw. to-a 等. 比. Tag. sa.

2. 代名詞

1. 一人稱,單數,主格. Atay. sa-ko (我は)等の如く主要部は多くは ko型なり。比

- Tag. Bis. a-ko 等。
2. 同上、除對話者複數主格. Atay. sa-mi (我等は)等の如く主要部は多くは mi 型なり。比. Tag. ka-mi; Pampanga i-ka-mi.
 3. 同上、含對話者複數主格. Atay. i-ta (我等お互は)等の如く多くは ta 型なり。比. Tag. k-ita 等。一人稱に二種の複數を有することは支那語其他に例なきにはあらざれどもインドネシヤン語の主要なる特徴なり。
 4. 二人稱單數主格. Atay. i-so 又は i-šo (汝は)等の如く主要部は多く so 型なり。此の s の音は第二次的のものにして本來は *i-ho (?) の如きものなりしならん。マントウラン語 haya-o (汝は)の主要部は o なり、又ブニマ語 jojo (汝は)は (i-o)(i-o) より成るものにして主要部の o なることは nan-o (汝の), kan-o (汝を)の語にて知るを得べし。比. Tag. iyo <i-o (汝の), sa iyo (汝に), ta-yo 我等お互二人 <ta (我等お互) -yo (汝)=我と汝と、即ち我等。
 5. 同上、複數主格. Atay. si-mo (汝等は)等の如く多くは mo 型なり。比. Tag. Bis. ka-mu.
 6. 三人稱單數主格. Atay. heja (彼は) <hi-a. 比. Tag. si-a.
 7. 同上、複數主格. Atay. la-haga (彼等は) <*la-hi-ga, la- は複數. hi-ga 彼等 比. Sais. he-za (あれ); Tag. si-la; IN. si-ra. 音韻の部, r₁ の條参照。
 8. 疑問人代名詞主格. Atay. i-ma (誰は)等の如く多くは ma 型なり。ma は疑問詞の主要部にして i- を附して人を表はし, a- を附して物を表はす。Puy. i-ma-nai (何人,誰) a-ma-nai (何物), 比. May. si-apa (誰), ma-na (何れ,何處)次項参照。
 9. 疑問代名詞. Atay. i-no (何處), 等の如く多くは no 型なり。i- は位置又は其位置に在るものを表はす。比. IN. i- no は ma と同じく疑問詞の主要部なり。Seed. ma-nu (何), Atay. na-nu <*ma-nu (何), 比. Tag. si-no (誰)。
 10. 單數の人代名詞が固有人名詞、又は親族名詞と共に用ゐらるゝ場合は複數の形を取る。Atay. sami ki Watan (我等一と一ワタン)=ワタンとの我等=我等、即ち我とワタン。Paiw. ti-amun a ti Ku'iu (我等一と 冠詞一クリウ=クリウとの我等=我等、即ち我とクリウ。比. Tag. kami ni Andres (我等一のアンドレス)=アンドレスとの我等=我等、即ち我とアンドレス。kami niya (我等一彼の)=彼のとの我等=我等、即ち我と彼。タガログ語は屬格を用ゐる。

3. 數詞

1. 一, Puy. i-sa; Ami tsi-tsa-i <tsa-tsa-ai; Sais. a-ha; Paiw. i-ta 等、主要部は多くは sa.

- 又は轉化したる sa 型なり。比. Tag. i-sa; Bis. u-sa; Mal. sa-tu 等。
2. 二, Puy. ḡua Paiw. ḡusa; Seed. daha; Bun. ḡusa; Ami tosa 等、多くは dua <*ḡuha (?) 型なり。比. Tag. dalawa <*da-dua; Bis. duha; Mal. dua 等。
 3. 三, Paiw. ciḡu; Seed. teḡu; Puy. tiḡu 等、多くは tēlu 型なり。比. Tag. ta-tlo; Bis. tolo 等。
 4. 四, Puy. ḡpat; Bun. pat; Paiw. spac; Ami spat 等、多くは pat <*hēpat (?) 型なり。比. Tag. apat; Bis. upat; Mal. empat 等。
 5. 五, Paiw. 其他 lima; Bun. himma 等殆んど皆 lima 型なり。比. Tag. Bis. Mal. lima.
 6. 六, Paiw. inim; Puy. Ami. inim, ḡnim; Bun. no:m; Yami. anum 等殆んど皆 enēm 型なり。比. Tag. anim; Bis. unum; Mal. enam.
 7. 七, Ami. Puy. pito; Atay. mā-pito 等殆んど皆 pitu 型なり。比. Tag. Bis. pito.
 8. 八, Puy. walo; Ami. valo; Paiw. alo 等、多くは walo 型なり。比. Tag. Bis. walo.
 9. 九, Paiw. siwa; Bun. ḡiva; Ami siwa; Puy. iwa; Tsou siō 等、多くは siwa <hiwa (?) 型なり。フィリッピン島のミンダナオ島なる Moro 語は siau にして siwa に似たり、同島の Bagobo 語は sio にして Tsou の siō に同じ。Tag. Bis. 等の siyam は同類語か。
 10. 十, Paiw. puḡoq; Ami poḡoḡ; Yami puḡoḡ 等、多くは puluḡ <puluḡ 型なり。比. Tag. powoḡ <*poloḡ, Bis. polo, Mal. puloh.

バイソン及びアミに於ては十代、二十代等の數詞を表はすに特種の構成法を用ゐる。(1)Paiw. pu-si(k)a-ḡusa puḡoq no ita (十一), pu-si(k)a-ciḡu puḡoq no ita (二十一)等。本來 si(k)a- は順序數詞を表はす接頭辭にして si(k)a-ḡusa は第二, si(k)a-cilū は第三の意を有するを以て, pu-si(k)a-ḡusa puloq no ita (十一)は(爲一第一二一十一の一) = 第二回目にする十の一、即ち一より十までを數へて、第二回目に數へる一といふ義となる。(2) Ami. tsitsai ko saka-tosa (十一), tsitsai ko saka-tolo (二十一)等。此等の語はバイソン語と同じく第二回目は一、第三回目は一といふ義なり。

此の種の算法はフィリッピン島のタガログ語に於ても以前は ma-ika-tolo-ng isa (二十一); ma-ika-pat sa (三十一)等の如く用ゐられたり。此の ika は ika-tolo (第三), ika-pat (第四)等の如く順序數詞を表はすことバイソンの si k)a に同じ。

4. 形容詞

1. m 型を用ゐるもの。Atay. ma-talah (熱い); 下三社(マガ社) ma-pli: (白い)。比. Tag. ma-putiḡ (白い), ma-itim (黒い)。

2. m型を用るもの。Paiw. dikic (短い); Bun. baqlu (新しい); Paiw. vaqo-an (新しい)。比. Bikol dikit (短い); Tag. bagu (新しい); Mal. baharu (新しい)。

5. 動詞

動詞の諸相を列挙して之を比較するは容易にあらず。今爰にはインドネシア語に於ける動詞の特色たる第一類、第二類動詞に就て簡短に比較を爲すべし。(アタヤル語法、動詞の條参照)。

第一類 働を爲す者を主格とするものにして、普通m型を用る。此場合に於て、動詞は其の働を爲す者、即ち働の主體を表はす。之を主體主と名づく。Atay. h-am-akani su βiru (捜す者—汝は一本を)=汝は本を捜す者。比. Tag. h-um-a-hanap ikaw nang isang libro. (捜す者—汝は—を—一つの—本)=汝は一つの本を捜す者。反覆は本來進行形か。他の例, Atay. am-?imao sako qowao ki qsja (混する者—私は一酒—と一水)=私は酒と水とを混合する者。Paiw. pa-ta-taud a(k)in toa vava a toa zalum (互に混合する者—私は一を—一酒—と—一水)=私は酒と水とを混する者。

第二類 働を爲す者を屬格とするものにして此に三種あり。

1. 働を受くる物を主格とするものにしてm型を用る、普通-un (IN. -enを原形として-un, -in, -anに轉ず)を用る。此の場合動詞は其の働を受くる物、即ち働の客體を表はす。之を客體主と名づく。Atay. hakani-un su biru (捜す物—汝の一本は)=本は汝の捜す所の物、-unを用る。比. Tag. ang libro ang hanap-in mo (冠詞—本は—冠詞—捜す物—汝の)=本は汝の捜す所の物、-inを用る。他の例, Atay. ?amag-un mako qowao qsja qani (混する物—私の—酒に—水は—此の)=此水は酒に私の混する物、-unを用る。パイソンにては此の語の場合-un型を用るざれども他の場合にてはku kan-un (私の—食ふ物)等の如く-unを用る例多し。
2. 働く場所、又は働の共處に歸着し、或は其處より離去する位置を主格とするものにして、普通-anを用る。此の場合動詞は其の場所、又は位置を表はす。之を位置主と名づく。Atay. hakani-an su biru pasal qani (捜す處—汝の一本を—家は—此の)=此の家は本を汝の捜す處。比. Tag. itong silid ang hanap-an mo nang libro (此の—室は—冠詞—捜す處—汝の—を—一本)=此の室は本を汝の捜す處。他の例, Atay. ?amag-an mako qsja qowao qani (混する處—私の—水を一酒は—此の)=此の酒は水を私の

混する處、即ち酒を場所と見て其の處へ水を混すといふ意なり。

3. 働の爲の用具を主格とするものにして、普通反覆型を用る。此の場合動詞は働に用るる用具を表はす。之を用具主と名づく。用具主は又材料、原因、方法等を表はすことあり。Atay. ha-hakani su biru pa-pilao qani (捜す具—汝の一本を—燈は—此の)=此の燈は本を汝の捜す具。比. Tag. itong kandila ang i-ha-hanap mo nang libro (此の—燈は—冠詞—捜す具—汝の—を—一本)=此の燈は本を汝の捜す具。他の例, a-?imo mako qowao qsja qani (混する爲の材料—私の—酒に—水は—此の)=此の水は酒に私の混する材料。以上の例によりアタヤルは反覆を、タガログはiを作ふ反覆を用るるを見る。アタヤルのpa-pilao (燈)も亦 milao (照す), pilao (照せ)の反覆にして、照す具の意味を有するものなり。

以上大略記述する所により、書語が其の音韻、單語、及び語法に於て、インドネシア語と密接の關係あることを推定するを得べし。

I

ア タ ヤ ル 語

語 法 概 説

及 び 本 文

アタヤル語語法概説

I. 分 布

アタヤル語 (Atayal, 發音的には ətajal, 又は Atajal) は臺北州, 新竹州, 及び臺中州管内の山地(現今多少平地に移住せるものあり)に住居するアタヤル族の用ゐる言語にして, 多少方言的の差異あれども, 理解し能はざる程度のものにあらず。其の差異は屢々單語語法の上にあらはるれども, 音韻の上に於て最も著しく感ぜらるるものは q 音の有無にあり。臺北州の宜蘭, 蘇澳, 文山方面, 新竹州の大溪方面, 臺中州の能高方面に於ては普通 q を存すれども, 新竹州の竹東, 太湖方面(汶水蕃を除く)臺中州の東勢方面, 及び能高方面の一部に於ては一般に q を有せず。本書に採録せるは大溪方面の大豹社(q を存するもの), 及び竹東方面のタコナン社(q を存せざるもの)の語なれども, 以下記述する語法は大豹社の語によれり。

II. 音 韻

1. 母音, [i], [ɪ], [e], [ɛ], [a], [ɔ], [o], [ɔ̃], [u], [ʌ], [ə].

1. [i], [ɪ], [e], [ɛ] は同類音なり。[i] は [r] の前後又は [q], [h] の前に於ては普通 [i], [e] 又は [ɛ] となり, [q], [h] の後に於ては [ei] の如く開ゆ。記載には [i], [e] 及び [ei] を用ゐたり。

2. [o], [ɔ], [ɔ̃], [u] は同類音なり。[u] は [q], [h], [r] の前後に於ては普通 [o] 又は [ɔ] となり, [a] の後に於ては弱き [u] となる。記載には [o], [u] を用ゐたり。

3. [ə], [ʌ]. 揚音の前に來る廣母音は普通弱められて [ə] 又は [ʌ] となる。記載には凡て [ə] を用ゐたり。

2. 子音, 兩唇音, [p], [m], [β], [w]; 齒音, [t], [d] (複合音として), [n], [s], [l], [r]; 同, 複合音 [ts]; 硬口蓋音 [ç], [j]; 硬口蓋化音 [p], [m], [β], [n], [s], [z], [l], [r], [g]; 同, 複合音 [ts], [dz]; 軟口蓋音, [k], [ŋ], [x], [g]; 懸壺垂音, [q]; 聲門音, [ʔ], [h].

1. [w] は屢々軟口蓋摩擦音を伴ひ [gw] の如く發音さる。

2. [l] は齒槽突起の後部に舌縁を廣く附着し, 發音に際して舌縁に力を入れて發する側音にして [d] の如く開ゆ。語末に於ては無聲的 [n] の如く開ゆることあり。タコナン社にては [l] の代りに屢々 [n] を用ゐる。此の [l] 音はインドネシアンの [n₂] に相應するものなり。ala-qi < *alak-qi (?) (子), 比. JN. anak.

3. [ts]は常に語末に来る, IN. tに相應す。
4. [ç]は常に[i]の前に来る, 本来[x]の轉化なり。
5. [p], [m], [β], [n], [s], [z], [l], [r], [q], は普通 -eq の前に来る。
6. [s]は -eq の外又他の母音の前後に来ることあり。此の場合, 大豹社等にては普通の[s]と區別せられざれども, 他の地方に於ては之を區別せり。思ふに[s]と[s]とは其の起原を異にするものゝ如し。下例に於て[s]は IN. tに, [s]は IN. h 又は [] に相應するを見るべし。s-əm-aqeis (縫), 比. Tag. t-um-ahi, ruša (二), 比. Bis. duha; Mal. dua. iso (汝), 比. Tag. iyo<io (汝の)。(總説 9頁参照)。
7. [z], [dz]は同類音にして[i]又は[e]の前に来る。此の音は IN. l に相應するものにして常に[i]と轉換す。
8. [ts]は常に[i]又は[e]の前に来る。此の tsi, tse は本来tiの轉化なり。タコナン語は ti を有し此の轉化なし。
9. [q]はアタヤルの外, セーデック, ブスン, バイソンに存する音なれども, 南洋語に於ては普通之を有せず。之に相應する音としては屢々聲門破音[ʔ], 又は[h]を有す。此の[q]はインドネシアン本来の音ならん。(總説 8頁参照)。
10. [h]は時として[x]と區別し難き場合あり。精確には聲門部, 及び咽頭部の摩擦音[h]ならんか。記載には凡て h を用るたり。此の音は[x]と同じく屢々 IN. s に相應す。heiko <hiko (肘), 比. IN. siku; βowax (米, 實), 比. IN. bēras.
3. 揚音。普通語末より第二音節に高低揚音を有す。當該音節に中間母音ある時, 又は語末に長音或は聲門密閉音ある時は語末に揚音を存す。

III. 形 態

1. 接頭辭。接頭辭の重なるもの下の如し。(動詞の條参照)。
- in- 客體主, 一般過去(語根の母音に始まる場合), in-agal (取つた物) ~ m-agal (取る), 比. -in-。
- ma'a < ma-ka- 動詞化, 變成の意, ma'a-utux < ma-ka-utux (神に成る) < utux (神); ma'a-kapirai < ma-ka-kapirai (蝶に成る) < kapirai (蝶)。
- mə < ma- (1) 動詞化, mə-qowalax (雨が降る) < qowalax (雨); mə-βəliq (孔が開く) < βəliq (孔); mə-gaga (首狩, 出草 = 行事を行ふ意) < gaga (慣習, 行事), (2) 相互, mə-kajal (相談) ~ k-əm-ajal 話す。
- məkə < ma-ka- (1) 其方面に在る, 其方面からの者, məkə-rajā (山手に在る), məkə-

- wəsiluq (海の向ふからの者, 内地人) < wəsiluq (海), (2) 動詞化, məkə-βowai (實が生る) < βowai (果實), (3) 欲望, məkə-mətšisal (遊びたがる) < mətšisal (遊ぶ); məkə-mənu, βu: (飲みたがる) < mənu, βu: (飲む)。
- mərə < ma-ra- 相互, mərə-kijap (互に摺合ふ) ~ k-əm-ijap (摺む)。
- məsə < ma-sa- (1) 相互, məsə-tanaq (互に出會ふ) ~ mə-tanaq (同じ); məsə-jaqeh (互に仲が悪い) < jaqeh (悪い), (2) 動詞化, 變成の意, məsə-βaihoi (嵐になる) < βaihoi (嵐); məsə-qsja (水に成る) < qsja (水), (3) 動詞化, 排泄の意, məsə-qotši (大便する) < qotši (大便); məsə-ramo (血が出る) < ramo (血), (4) 豊富の意, məsə-pagai (榎を多く所有する) < pagai (榎); məsə-βinluq-an (考が深い) < βinluq-an (考)。
- mətə < ma-ta- (1) 動詞化, 變成の意, mətə-jaqeh (悪くなる) < jaqeh (悪い); mətə-qalaq (蕃社に成る) < qalaq (蕃社), (2) 動詞化, 意義 (?), mətə-juwao (仕事する) < juwao (間), mətə-βidzəh (往復する) < βidzəh (片方)。
- mə 反覆 (1) 相互, mə-pə-patus (銃を打合ふ) < patus (銃), (2) 強意, mə-ja-β-jaβux (汗だらけ) < jaβux (汗); mə-sun-suna (喘ぐ) < suna (呼吸)。
- mə...-ul, (mə...-l) < ma...-ul, (ma...-l), 十位の數, mə-spat-ul (四十); mə-teju-l (三十)。
- min...-ul, (min...-l) 回數, min-spat-ul (四回); min-teju-l (三回)。
- pə < pa- 使役, 又は他動詞, pə-kita (見せる) ~ kita (見よ); pə-kaβalai (作らせる) < kaβalai (作る); pa-hapui (炊ぐ) < hapui (火); pə-βo: (中てる, 矢など) ~ mo: (中たる)。
- pəpə < pa-pa- (1) 主體主, 一般未來, pəpə-kajal (此の次に話す, 後で話さう) ~ k-əm-ajal (話す); pəpə-qowalax (後で雨が降るだらう) < qowalax (雨), (2) 常習者, 又は職業主, pəpə-kišijao (常に嘘を言ふ者) ~ mišijao (嘘を言ふ); pəpə-hagup (占者) ~ h-əm-agup (占ふ)。
- sə < sa- (1) 生ずる, 起る, sə-βaihoi (嵐が吹く) < βaihoi (嵐); sə-βeiloq (煙が出る) < βeiloq (煙), (2) 用具, 材料, 原因, sə-sa'an (餌にする材料) ~ s-əm-a'an (餌を與へる), 比. Paiw. si, Ami sa-。
- tə < ta- (?) (1) 自動, tə-laqeiq (隠れる) ~ l-əm-aqeiq (隠す); tə-kəlo: (長く伸びる) < kəlo: (引ばる), (2) 探る, 捕る, tə-qoleh (魚を捕れ) < qoleh (魚), 比. t-əm-ə-。
- t-əm-ə < t-əm-a- (?) 捕る, 探る, t-əm-ə-qoleh (魚を捕る) < qoleh (魚); t-əm-ə-qowajux (藤を探る) < qowajux (藤), 比. t-ə-。
- ts-sə < ta-sa- (?) 意義 (?), ts-sə-βaq < ts-sə-βaq (教へる) < βaq (知る)。
2. 挿入辭。(動詞の條参照)。

-əm-, (-Am-, -m-, -um-) (1)主體主,一般現在, k-əm-ajal(話す者)<kajal(話せ); s-əm-aβu(包む者)<saβu(包め), (2)形容詞, k-əm-ətux(鹹い物,苦い物); q-əm-upuβ(溢い物)。

-əm-in-, (-Am-in-, -m-in-) 主體主,一般過去, k-əm-in-ajal(曾て話した者); s-əm-in-aβu(曾て包んだ者); t-əm-in-inun(曾て織つた者), 比. -əm-.

-in- (1)主體主,一般過去, m-in-hoqel(死んだ者)<m-hoqel(死ぬ); m-in-usa(行つて来た者,曾て行つたことのある者)<m-usa(行く), (2)客體主,一般過去, s-in-iju: 結合させた物,紐)~s-əm-iju:(繰る); s-in-aβu(包んだ物,包物)~s-əm-aβu(包む), ts-in-inun(織つた物,織物)~t-əm-inun(繰る); p-in-hoqel(他の殺す所となつた者)<pahoqel(殺す)。

3. 接尾辭 (動詞の條參照)。

-a 主體主,現實未來, maneq-a ta(食はう,我等お互=さあ食はう)<man-eq(食ふ)。

-ai 位置主,現實未來, usa-ai(行かう,其處)~m-usa(行く); kita-ai(見よう,其處,其の物)~mita<*k-əm-ita(見る)。

-an (1)場所,位置, gaon-an(谷川の處)<gaon(谷川); otux-an(靈魂の所,冥土)<otux(靈魂,神); si-j-an(置く處)~s-m-i(置く); (2)時, səlo-w-an(夜明の時,曉)<səlo(夜が明ける); βətsi-an<*βətsi-an(月夜)<βətsi(月), (3)容器, kajat-an(飼ふ爲の容器,桶など)~k-əm-ijats(飼ふ); nuβu-w-an(飲む爲の容器,杯など)~mə-nuβu:(飲む), (4)用具主,命令及び否定, βeq-an pila(與へる材料ぞ一金は)~金を與へよ(金を與へる材料,又用具と見る)~meq(與へる); ini nija βeq-an pila(非一彼の一金は)~金は彼が與へない), (5)人名,又は人代名詞の從格, jukan-an(ユカンを,ユカンに); təmo-w-an<*təmo-an(タイモを,タイモに); heja-an(彼を,彼に); kə-n-an<ku-n-an(私を,私に); su-n-an(汝を,汝に)。

-an-ai 用具主,現實未來, βeq-an-ai mako pila heja(與へる理由になるべき者一金を)~彼は私に彼の爲に金を與へてやろう)~meq(與へる); βiro-w-an-ai mako heja(書く理由になるべき者一金を)~彼は私に彼の爲に書いてやろう)~miro(書く)。

-an-i 用具主,命令法, pə-haβag-an-i heja(祈る理由になる者ぞ一金を)~彼は私に彼の爲に祈つてやれ)<h-əm-agup<*h-əm-aguβ(祈る); nus-an-i sako heja-n(誘ふ理由になる人ぞ一金を)~彼は私に彼の爲に[代りに]彼を誘つてやつてくれ)~mə-naos(誘ふ)。此の an-i は又動詞の前に来ることあり。其の場合は sə を附す (比接頭辭 sə)。 an-i sə βiro heja(理由の者ぞ一金を)~彼は私に彼の爲に書いてやれ)。

-ao 客體主,現實未來, gal-ao mako pila(今取る物一金は)~其の金は私が取らう)~m-agal(取る)。

-i, (-ei) (1)客體主,命令法, pa-gəlug-i(通らせる人ぞ)=[此人は]通せ), (2)位置主,命令法, təhejuk-i qani(腰掛る所ぞ)~此處は=此處に坐れ)~mə-təhejuk(腰掛る); βeq-ei pila heja(與へる所ぞ一金を)~彼は私に金を與へよ), (3)客體主,否定, ini mako βaq-ei(非一私の今知る事)=[其事は]私は知らないのだ), (4)位置主,否定, ini mako usa-i(非一私の今行く處)=[其處は]私は行かない)。

-un 客體主,一般現在, gal-un nija(取る物)~彼の)=[其物は]彼が取るのだ); βaq-on mako to:qei(知る物)~私の)=[其の]道は私が知つてゐるのだ), 比. Tag. -in; Bis. -on; Pangasinan -an; IN. -ən.

上述の外,アタヤル語には又一種の接尾辭あり。此は一定の名詞,又は動詞に固着して分離することを得ざるものにして,其の原意は未だ明確ならず。

-ax qowal-ax<*qoral-ax(?) (雨), 比. Paiw. qojal; Mal. hujan.

-dzij, (-zij) ku-dzij(我), 比. IN. ku; sa-dzij<*rusa-dzij(二), 比. Paiw. dusa, Bis. duha.

-tsij βəjatsij<*βujal-tzij(?) (月), 比. IN. bulan.

-eq βeq<*βi-βeq<*βai-βeq(?) (與へる), 比. IN. bər.ai; man-eq<*k-əm-an-eq(食ふ), 比. IN. k-um-an; inal-eq(右), 比. Tag. ka-nan.

-leq sqo-leq<*saqo-leq(人), 比. IN. tau<*taqu(?)。

-neq pu-neq<*hapui-neq(?) (火)~pa-hapui(炊く), 比. Paiw. sapui; IN. apui. khau-neq<*ka-hui-neq(?) (木), 比. Paiw. kasiu; Tag. kahui.

-gal ima-gal<jima-gal(五), 比. IN. lima; tsu:gal<*teju-gal(三)~mə-teju(六), 比. IN. tēlu.

此の -gal は m-agal(取る)の轉訛せるものか。大豹社等にて十を məpo: 又は malpo: といふに對し,タコナン社にては magal-po: といふなど考ふべし。

-h<ah(?) βaga-h(炭), 比. IN. bar.a(炭火); mə-qoma-h(晶をする,晶で働く), 比. Paiw. qoma(晶); Mal. huma(晶)。

-hoi βai-hoi<βagi-hoi(風), 比. Paiw. va|i; Tag. bagio(大風); k-əm-i:hoi<*k-əm-aji-hoi(掘る), 比. Mal. kali.

-jah qəma-jah<qoma-jah(晶)~mə-qoma-h(晶をする,晶で働く), 比. Paiw. qoma(晶); Mal. huma(晶)。

-jas raqe-jas<raqi-jas(顔), 比. IN. dahi(顔)。

-li qaβu-li(灰), 比. Paiw. qavu; Mal. habu. həma-li(舌), 比. Paiw. Ami. sma.

-qei ala-qei < *alak-qei (子), 比. Paiw. alak; IN. anak. tala-qei < *tula-qei (鱧), 比. Paiw. tula; IN. tuna.

-x < -ux (?) utu-x < *alitu-x (?) (神, 靈魂, 妖怪), タコナン方言, alutux; Bun. qanito. 比. IN. anitu, 比. -ux.

-ux qowaj-ux < qowai-ux (藤), 比. IN. howai.

-nux βətu-nux < βatu-nux (石), 比. IN. batu.

4. 反 覆

a. 單純なる反覆

- (1) 複數, qəl-qoleh (多くの魚), tə-taikui (多くの小さい物) < tsikui (小さい).
- (2) 用具, 材料, pə-pilao (照す具, 燈火) ~ milao (照す), pilao (照せ); βə-βahoq (衣を洗ふ具, 石鹼等) ~ mahoq (衣を洗ふ), βahoq (同上せよ); βə-βadzi (買ふ爲の物, 金) ~ me-βadzi (買ふ); kə-kəβalai (作る爲の材料) < kəβalai 作る。

b. 反覆 -an

- (1) 位置主常に…する場所, βə-βiro-w-an (常に書く處, 桌) ~ miro (書く), βiro (書け); kə-kī-an (常に居る處) ~ maki (居る); tə-taheik-an (腰掛) ~ mə-təhejuk (腰を掛ける)。
- (2) 時 (強意), qe-qowalax-an (雨の多い時) < qowalax (雨); mə-masoq-an (最終の時) < masoq (終る)。
- (3) 用具主常用の具, βə-βəhaŋal-an (常に擔ぐに用ゐる物, 天秤棒) ~ məhaŋal (擔ぐ), βəhaŋal (擔げ)。

c. 反覆 -un. (反覆 -on), 客體主常用の物, nə-nuβu-un (常に飲む物, 飲料) < mənūβu (飲む); nə-neq-on (常に食ふ物, 食物) ~ maneq (食ふ); dzi-dziŋaj-un (常に玩ぶ物, 玩具) ~ dzəm-ŋaj (玩ぶ)。

IV. 品 詞

1. 冠 詞

	1. 一般冠詞	2. 定冠詞	3. 人的冠詞	4. 人的冠詞, 複數
主格	[]	qo:	i	la-la
屬格	na	na-qo:	ni	ni-la-la
其他	sa	sa-qo:, s-qo:	[], -an	la-la

人的冠詞は普通固有人名詞, 及び親族名詞に用ゐられる。此等の冠詞は屢々省略せらるることあり。

i は極めて稀に用ゐられる, i watan (ワタンは)等, 比. IN. i. 此の i は人代名詞に於ては固着して單語を成す(人代名詞の條参照)。

na 及び na-qo: は又造格として用ゐられる。比. Tag. na-ng.

ni 比. IN. ni. ni は又盲者, 跛者等の人名詞にも用ゐられることあり。

sa 比. IN. sa.

la-la は la-la watan (ワタン等)などの如く用ゐられる。la は IN. na に相應す。比. Tag. si-na.

-an は多數の中, 特に其の人を指定していふ場合に用ゐられる。又其人の物といふ義あり。

2. 代名詞

a. 人代名詞

	一人稱	二人稱	三人稱	疑問人代名詞
單數	主格 ku-dziŋ, -sako	isu-, -su	-heja-	i-ma-
	屬格 -mako, -mo	-su	-nija, -nja	-ni-ma
	其他 -kə-nan	-su-nan	heja-an, heja-n	-əma-an
複數	主格 -sami-	-simo-	-la-haga-, -la-ha?	-la-la-ima-
	屬格 -mi-j-an	-mamo	-na-ha?	-ni-ima-ima
	其他 -smi-nan	-simo-nan	-la-haga-an	-əma-ma-an
含對話者	主格 ita-, -ta			
	屬格 -ta			
	其他 -əta-an			

一人稱複數に二種あり, 一は對話者を含まざるもの, 一は對話者を含むもの。即ち我等お互の意を有するものなり。

三人稱は時としては事物を表はすことあり。

主格は普通述語の後に來れども意を強むる時は述語の前に來る。

ku-dziŋ (我は) < ku (我), dziŋ は接尾辭, 比. IN. ku.

sako (我は) < *si-a-ko, 比. si-mo (汝等), si- は人的冠詞の固着せるもの, 比. IN. si.

-mo (我の) < *ma?o < ma-ko.

sami (我等は) < *si-ami, 比. Tag. ka-mi.

i-ta (我等相互は), 比. IN. ta. i は人的冠詞。

i-su (汝は), 地方により iβu といふ, 語源的には此の方適當せり, < *i-ho (?) 比. Tag.

iyo <i-o(汝の), i は人的冠詞。

si-mo (汝等は), 比. Tag. ka-mo. si. は人的冠詞, 比. IN. si.

heja (彼は) <hi-a, 比. Tag. si-a.

nija, nja (彼の) <ni-a, 比. Tag. Mal. ni-a.

la-haga (彼等は), la- は複数, haga <*hi-ga, 比. Tag. si-la; IN. si-ri-a.

naha? (彼等の) <*ni-haga (?) 比. Tag. ni-la, IN. ni-ri-a.

固有人名詞, 又は親族名詞と共同的に用ゐらるる人代名詞は, 単数の場合に在りても尙複数の形を取る。

sami ki taimo (我等一と一タイモ = タイモとの我等, 即ち我とタイモと)。

simo ki jaja (汝等一と一父 = 父との汝等, 即ち汝と父と), la-haga ki laqei mako (彼等一と一子 = 我の子との彼等, 即ち彼と我の子と), 總説 14 頁参照。

b. 指示代名詞

	此	其
主 格	qani <*qo-hani (?)	qasa <*qo-hasa (?)
屬 格	na-qani	na-qasa
其 他	s-qani <sa-qani	s-qasa <sa-qasa

此等の語は又, 此處, 其處, 此の, 其の, の義に用ゐらる。

c. 疑問代名詞

何 na-no <*ma-no (?) 比. Tag. a-no (何物); si-no (何人, 誰)。

何處 i-no (何處, 何處に在る物), i は場所, 又は其の場所に在る物, 比. IN. i.

何れ qa-ino <*qo-ino (?) (何處に在る, 其の物)。

何時 ka-no-w-an 過去, 未來共に用ゐる。タコナン社は ka-no-w-an (過去), so-ka-no-w-an (未來)を區別す。

3. 數 詞

一 qo-tux <*qon-tux (?) 比. 汶水方言, qo:n (一); Seed. uin (一) <*qo:n (?), ken-gal (一個) <*qon-gal (?). -tux, -gal は接尾辭. IN. sa (一) はアタヤルにては min-xa-l (一度), sa-xa (獨り)などの語に於て xa となりて現はる。

二 sa-dziq <*rusa-dziq, アタヤルにては又 rusa を用ゐることあり, rusa kaβahol (二百), 比. Bis. duha.

三 tsu:gal <*teju-gal ~mā-teju (六), 比. IN. telu.

四 spajats <sp-aj-ats, 汶水方言 sp-a[-ats, ~mā-spats 八, 比. Tag. apat; Bis. upat; Mal.

ēm-pat.

五 ima-gal, 又は dzimagal <jima-gal. 比. IN. lima.

六 mā-teju, 三の倍数。

七 mā-pitu, 比. IN. pitu.

八 mā-spats, 四の倍数。

九 mā-qairo, qairo の qa は qo:n (一)と關係あるにあらざるか。

十 mā-po: 又 mā-po: 比. タコナン方言 magal-po:, magal 取る, po: 未詳。

二十 mepo-sa-l, ~minpo-sa-l (二回), -sa-l の sa <rusa (二), mā-po は十 (?) 比. Bun. ma-po-sa-n.

三十 mā-teju-l, ~min-teju-l (三回), 比. Bun. ma-tau-n.

四十 mā-spat-ul, ~min-spat-ul (四回), 比. Bun. ma-spat-un.

五十 mi-dzima-l (五十), mi- の i は同化, 比. Bun. ma-hima-un.

六十 mā-teju-pagan. pag-an <*po:an. 七十以上 pagan を用ゐる

百 kaβaxol <βaxol (轉る) (?)。

回數を表はす時は普通數詞に接頭辭 min-, 接尾辭 -ul (子音に終る時), 又は -l (母音に終る時)を附す。

一回 min-xa-l <xa (一), 比. Tag. min-sa-n (一回); IN. sa (一), 二回 min-po-sa-l. sa <rusa (二); 三回 min-teju-l; 四回 min-spat-ul 等。

4. 形容詞

形容詞は精密にいへば一種の名詞にして, 其の構成に二種あり。

1. m型を用ゐるもの, ma-talah (赤い物), mā-gihoi (酸い物), k-am-etux (鹹い物)。

2. m型を用ゐざるもの, βilaq (良い物), jaβa (大きい物)。

形容詞の否定は m型を k型に轉し, m型を用ゐざるものは k型を附加す。

ini ka-talah (赤いのでない) ~ma-talah; ini ka-βilaq (良いのでない) <βilaq.

形容詞の程度を示す場合は k-in-を附加す, k-in-βilaq (良き), k-in-talah (赤き)。

5. 動 詞

動詞は精密にいへば一種の名詞なり。

A. 分類 働を爲す者の立場により動詞を分ちて二種とす。

a. 第一類 働を爲す者を主格とするもの, 此を主體主と名づく。此の場合に在りては動詞は働を爲す主體を表はす。mā-nubu: sako qowao (飲む者一私は一酒を = 私は酒を飲む), ma-usa sako βapka (行く者一私は一萬華

[臺北]へ = 私は臺北へ行く。 mita (<kəm-ita) sako na kakita (見る者 - 私は一以一目鏡 = 私は目鏡で見)。

b. 第二類 働を爲す者を屬格とするもの、此に三種あり。

α. 働を受くる者を主格とするもの、之を客體主と名づく。此の場合に在りては動詞は働を受くる客體を表はす。 nu,βu-un mako qowao (飲む物 - 私の - 酒は = 酒は私の飲む所の物 = 私は酒は飲む)。

β. 働の行はるゝ場所、或は働の其處に歸着し、又は其處より離去する位置を主格とするもの、之を位置主と名づく。此の場合に在りては動詞は其の場所又は位置を表はす。 usa-an mako βapka (行く處 - 私の - 萬華(臺北)は = 臺北は私の行く處 = 私は臺北へ行く)。

γ. 働を行ふ用具を主格とするもの、之を用具主と名づく。此の場合に在りては動詞は其の用具を表はす。 sə-kita mako kakita (見る具 - 私の - 目鏡は = 目鏡は私の見る具 = 私は目鏡で見)。働の原因、理由、方法、材料等は又用具と見做され、用具主の形を以て表はさる。

B. 時相

例 原形 agal (取る)。

	第一類		第二類	
	主體主	客體主	位置主	用具主
現實現在	agal	agal	gal-i	an-sə-agal
進行現在	şux m-agal	şux gal-un	şux gal-an	şux sə-agal
一般現在	m-agal	gal-un	gal-an	sə-agal
現實過去	m-agal la	wal gal-un	wal gal-an	wal sə-agal
一般過去	m-in-agal	in-agal	in-agal-an	in-agal
現實未來	m-agal-a	gal-au	gal-ai	an-ai-sə-agal
一般未來	pa-pa-agal	ga-gal-un ⁽¹⁾	ga-gal-an ⁽¹⁾	a-agal

(註) (1) a-agal-un, aagal-an の不規則的なる變化。

現實現在 目前現實の働を表はす。されど此の形は主として命令又は否定の場合に用ゐられ、普通は一般現在の形を用ゐる。命令、否定の條參照。

進行現在 第一類は(…してゐる者、…しつゝある者、又は、…になりつゝある者)を表はす。 şux (又は tsux) は本來(其處[彼處]に居る)といふ意なり。(此處に…してゐる)といふ場合には nux を用ゐる。第二類も亦此に準ず。

一般現在 第一類は時に係はらず、一般に(…する者、又は…になる者)を表はす、此の形は現在、過去、未來を通じて用ゐらる。第二類も亦此に準ず。

現實過去 第一類は(…する者であつた、…する者になつてしまつた)などの義を表はす、 la は(…であつた)、 wal<wajal は(…になつてしまつた [本義は其處を去る])といふ義なり。第二類も亦此に準ず。

一般過去 第一類は(…したことがある者、…になつたことがある者)を表はす。第二類も亦此に準ず。

現實未來 第一類は(今此から…しようとする者、今此から…にならうとする者)を表はす、此は(さあ…しよう、今に…になるだらう)などと譯す。第二類も亦之に準ず。

一般未來 第一類は(將來いつか…しようとする者、將來いつか…にならうとする者)を表はす、又轉じて(將來いつでも…する者)を表はすことあり。第二類も亦之に準ず。

C. 命令 第一類と第二類の二種ありて各其の意義を異にす、而して動詞の形は現實現在を用ゐる。

第一類 主體主 agal, [汝は]今取る者ぞ = [他人ではない、汝は]取れ。

第二類 客體主, agal, [汝の]今取る物ぞ = [他物でない、其の物]取れ。

同上 位置主, gal-i, [汝の]今取る處ぞ = [他處でない、其處で又其處から]取れ。

同上 用具主, an-sə-agal [汝の]今取る具ぞ = [他の具でない、其の具で]取れ。

D. 否定

α. 現實否定 否定詞は ini を用ゐる、動詞の形は命令と同じく現實現在を用ゐるれども過去の意あり。

第一類 主體主, ini sako agal (非…私は…今取る者) = 今私は取らなかつた。

第二類 客體主, ini mako agal (非…私の…今取る物) = [其は]今私は取らなかつた。

同上 位置主, ini mako gal-i (非…私の…今取る處) = [其處では又、其處からは]今私は取らなかつた。

同上 用具主, ini mako an-sə-agal (非…私の…今取る具) = [其の具では]今私は取らなかつた。

β. 一般否定 否定詞は *ijats* を用ゐる、動詞の形は一般過去、一般未来を用ゐる。

第一類 主體主, *ijats sako m-in-agal* (非…私は…取つた者)=私は取らなかつた。

ijats sako pa-pa-agal (非…私は…取るべき者)=私は取らない。

第二類 客體主, *ijats mako in-agal* (非…私の…取つた物)=[其物は]私は取らなかつた。

ijats mako ga-gal-un (非…私の…取るべき物)=[其物は]私は取らない。

同上 位置主, *ijats mako in-agal-an* (非…私の…取つた處)=[其處では又其處からは]私は取らなかつた。

ijats mako ga-gal-an (非…私の…取るべき處)=[其處では又其處からは]私は取らない。

同上 用具主, *ijats mako in-agal* (非…私の…取つた具)=[其具では]私は取らなかつた。

ijats mako aagal (非…私の…取る爲の具)=[其具で]私は取らない。

γ. 禁止, *laç-i* を用ゐる, *laç-i* は *m-alax* (止める)の客體主、命令にして(其事は)止めよの義なり, ç<x は次に來る母音 i の同化による。

δ. 有に對する無は *uqats* を用ゐる。

6. 副詞

a. 純粹の副詞 *uzi* (亦); *laozi*<*la-uzi*(?) (再び); *hazi* (少し,一寸); *misu* (直に)等。

b. 副詞、形容詞等は屢々、第二類動詞の接頭辭又は接尾辭を附して、副詞的動詞を形成することあり。

(1) 原形 *lama* (先に、前に), *lema-on naha² mita* (先にする物、一彼等の一見る)=[其物は]彼等が前以て見る, *sa-lama naha² s-am-aom* (先にする材料—彼等の一染める)=[其物で]彼等が前以て染める。

(2) 原形 *palaj-aq* (良い、巧な), *si: naha² palajaq-ei ma-naga* (其儘じつと—彼等の一良くする處—待つ)=[其處は]彼等の良く待つ處=其處で彼等は油断なく注意して待伏する。

(3) 原形 *saziŋ* (二つ), *saziŋ-un mako maŋeq* (二つ…する物—私の—食ふ)=[其物は]私が二つ食ふ。

7. 接續詞

ki, (ki,ke) (…と…と), 固有人名, 又は親族名詞の場合に用ゐる。 *taimo ki watan* (タイモとワタンと); *ja²a ki jaja* (父と母と)。

ro:

(1) 一般名詞の場合に用ゐる, (…や…や), *ra-ruma ro: khauneq* (竹や木や)。

(2) 文章の連結に用ゐる, (而して…、それで…)。

la-ro: *la* (助辭)と *ro:* (接續詞)との複合, (…した、それで、…したので)。

la-ga *la* (助辭)と *ga* (結辭)との複合, (…した、其時は、…したならば、…になつたらば)。

8. 結辭 結辭は本來指示代名詞にして用法は關係代名詞に似たり。

(1) 主格と述語とを結合するもの, *taimo ga mi:ŋ biro* (タイモ—其は—持つ者—一本を)=タイモが本を持つ。用法は國語の…は、…がに似たり。

(2) 句と句とを結合するもの, *pa-pa-kaneq qani ga ma-osa mahoqel* (將來食ふ者—此を—其は—將來成る—死人)=此を食ふ者は死んでしまふ。此の *ga* は *IN. ka* に相應するものならん。

9. 助辭 (1) …*la* (…した、…だ、…だよ)。

(2) …*ma* (…ださうだ)。

(3) …*la-ma* (…したさうだ)。

(4) …*ha* (…[しなさい]よ、…[しなさい]ね)。

(5) …*pe* (…か)(疑問)。

1. 大 豹 社

(βəpətseq)

1. pinsəkā:n na məraho: ra:ral

- nano qo: / gin'arigan pasəkā? sami ə
tajal heja ga: / maki? qotux jaša na βatu-
nux ma ro: / si: pataska makəkā? ro: /
sazig məlikui qotux kənairil mahto: sqo:
pinsəkā:n / kətā:n naha? mēga: / lahləhoi
matəqijuwai ro: qəsi: no nanak / nano qo: /
qotux məlikui heja ga: / "məqailəg sako
maki? βa,βao na rahejal" / mutsi ro: / wa-
jal mizup sqo: pinsəkā:n laozī ma / aki

1. 昔の祖先の發祥地

抑、我々アタルが[石を]破つて出た
起りは、其は一つの大きな石が有つたと
いふことだ。[それが]バツと二つに割
れて、二人の男と一人の女がその破裂
した處から出た。彼等が見ると[周囲
は]只純粹の深林と獸類と丈であつた。
そこで一人の男は[私は]地上に居るの
が厭になつた]といつて、其の破裂した
處へ再びはひつてしまつたさうだ。

採録期：昭和六年十二月、及び同七年十月、新竹州大溪郡角
板山にて調査。

口授者並説明者：大豹社の人、lausig watan (日野三郎)
30才、總督府醫學專門學校出身、角板山駐在所公醫、
原文の内 1. 2. 4. 5. 7. 16 に於て傳説の内容、及び
文章が Otto Scheerer 氏の Sagen der Atayalen
auf Formosa (Zeitschrift für Eingeborenen-
Sprachen XXII. 1932) のものと類似せる所あるは
同一口授者より材料を蒐集せるに因るものなり。

- 1. p-in-s-əkā?an 破つて出た處、pas-əkā? (破つて出
る比、mak-əkā? 破れる、-in- 過去、-an 場所、
na 普通名詞(父母などの人名詞を除く)の屬格、
2. nano qo: 文の始に用ゐる語、何あの…は、擧その…は、な
ど、nano 何、qo: 冠詞主格、…は、
g-in-ariḡ-an 始めて…した事、g-əm-ariḡ 始める、
s-ami 我等、對話者を含み、主格、IN. mi
otajal 普通 atajal、又 taijal といふ、アクセントに前行
する音節の正規母音は多く不正規母音に轉ず、精確の
發音は atajal に近し。
3. heja <hi-a 彼は、其は、IN. sia.
ga 數種の用法あり、(1)…は、…が、(2)…(した)が、(3)
…(した)ら、(4)…(する)と、など。
jaša na βatunux 石の大きな。
βatu-nux 石、-nux 接尾辭、IN. batu.
4. ma …(した)さうだ、…(だ)といふことだなど。
ro: 名詞動詞、句を結付ける接續詞、而して、それから、
…と…と。
si: 自然に、其儘になどの義より轉じて種々の義に用ゐ

らる。(1)自然に、si: pat-aska 自然に半分になる <ska
半分、(2)其儘、si: əpus-an 其儘物を呑込む <əm-əpus
呑込む、(3)其儘じつとして動かぬ、si: naga-i 其儘に
じつとして居て人を待つ <mə-naga 待つ、(4)其儘直
に、突然、si: kōta ふと見ると、忽ち見る <kita 見よ、
si: owah 突然来る、来るなり直に、<m-owah 来る、(5)
其儘つづく、…しながら、常に、段々、si: pōsa-kamtux
常に苦い顔をしてゐる <kamtux 苦い、si: ʔin-gə-
gijuts 其儘欠から次へと、段々に <min-gə-gijuts 段々
に、si: ʔin-zi-zuwao 其儘相變らず困つてゐる <pi-zi-
zuwao 困てる、防げる、(6)其儘で他物を混ぜぬ、只其
丈、si: ka-ramo 血だらけ <ramo 血、si: pat-βutsi
各自分丈です <βutsi 各、此の si: はマコナン社、又
seedeq の asi に相當す。

- 5. sqo: <sa qo: sa…に、…を、…へ、qo: 冠詞主格。
6. kotan <kita-an 見る、客體主、位置主 IN. kita.
naha? <na-haga, la-haga 彼等は、na…の、la- 複
數、haga <higa, IN. sir, a. Atay. h <IN. a. 例 heko
肘、IN. siku. Atay. g <IN. r, 例, pagai 鞭、IN.
par, ai.
10. aki 精確には aki. 數種の用法あり、(1)…したいものだ、
aki ta h-əm-kapi 我等獲したいものだ、(2)…したい
ものだが如何かしらん、aki h-əm-soa? əsa-n 彼處へ
行きたいものだが如何かしらん、(3)…かもしれない
aki wi kali-an wi mahag-an 晝や夜が出来るかも
もしれない、(4)…したいと思つてしようとする、aki
naha? qareq-an その人を彼等が引止めようとする。

- 1 naha? qarəqan ga: / waja lama mizup la
彼等の 所引止 併 去 先に 入 了
2 ma / nano jasa qo: / "maosa ta həmsowa?
さうだ 何 其 は 將 我等 爲如何
3 ləga: / ma,βəho:jao' ta la" mutsi ro: / jasa
ならば 曠 我等はのたといふ 而 其
4 nanak si: naha? ləpluḡi karərijax / nano
而已 じつと 彼等の 所考 常に 何
5 sqo: min'ariḡ ga: / "musa gəməja sqo:
に 始 は 行 關係 へ
6 jaqo:ri / piḡup βaihoi taita kaki'an" / mu-
鞍部 入 風を だらう 所孕 と
7 tsi ləməḡəluḡ ga: / ini kaki'pi ma / nano
考 併 不 所孕 さうだ 何
8 sqo: minxal / "ini maagal ga: / maosa
に 或時 ではないか 取合 すれば 成
9 maki' laqei ta" / mutsi ləməḡəluḡ ga: /
有 予 我等の と 考 併
10 ini naha? si: βaqei / təlaman nija kowara
不 彼等の 直ちに 所知 所試 彼の 凡て
11 qo: βəliḡ qətsijən / βəliḡ pəho: ro: / pa-
は 孔 尻の 孔 鼻の 而
12 pak / naqowaq ga: / ijats jasa / nano sqo:
耳の 口の 併 非 其 何に
13 minxal / si: kəta nijal mutsi "uiḡ" / qotux
或時 忽 見 来た といふ プーン
14 juḡəli / mowah təpa juwao na gaja ləmə-
繩 來 止 間に の 髻考
15 ḡəluḡ ro: / "ini jasa pintəsə,βaq na utux
而 ありといふ 其 暗示 の 神

彼等(他の二人)は引止めようとしたか
つたが、もう已にはひつて行つてしま
つたさうだ。其で、如何したら、我々は
殖える様になるだらうか]といつて、彼
等はその事ばかり何かにつけていつ
も考へてゐた。擧始めに[女は]山の鞍
部へいつて髻を廣げて風に吹かせた
ら、孕むだらうと考へたが、孕まなかつ
たさうだ。擧或時、二人が關係(交接)す
れば子を孕むやうになるのではない
かと考へたが、彼等は直には[其の道を]
了解することが出来なかつた。彼等
は尻の孔、鼻の孔、それから耳、口と、凡て
の孔に試みたがそれではなかつた。

- 1. la …した、なつた、la ma, la-ma したさうだ、なつたさ
うだ。
2. nano jasa qo: …、…は其だ、…したのはその譯だ、普
通それで譯す、jasa 其れ、其の事、
ma-osa 此から行く、轉じて、此からなる、又單に未來、
<m-osa 行く、
h-əm-sowa? 如何する、如何なる <ha-sowa? <sowa?
何故。
3. ləga <la ga …した、すると、…したら。
ta 我等、對話者を含む、我等お互、主格又關係、IN. ta.
la 此處にては、…(ら)なあ、…(ら)よ、比、註. 1.
4. si: naha? ləpluḡ-i じつと 彼等が考へてゐる、客體主、
~ l-əm-ḡəluḡ 考へる、34頁、註. 4.
ka-ra-rijax 日、常に、rijax 一日二日と數へる日。
nano sqo: min'ariḡ 擧その始まる時には、<ariḡ 始。
5. g-əm-aja <gaja 髻。
6. piḡup 入れる、比、mizup 入る。
taisa <ta-ai ta <kita-ai ta 我等が見よう(?)、kita
見る、-ai 現實未來、位置主の接尾辭、比、βaq-au ta
大方、大概、原意、我等が知らう、βaq 知、-au 現實未
來、客體主の接尾辭。

- kaki'an 原意、居る處、maki' 居る、有る、ini kaki'pi
居ない、孕まない、客體主、7行。
7. l-əm-ḡə-luḡ 考へる、<luḡ
8. min-xa-i 原意、一度、xa ~, xa (は單獨には用ゐられず、
sa-xa 只一人、比、IN. sa. Tag. min-sa-n 一度、
ma-agal 互に取る、此處にては男女の關係すること、
ma- 相互、比、ma-kajal 互に話す、相談、
9. maki' laqei <maki' a'əqei 子が有る、孕む、al-əqei
子、比、IN. anak 子、IN. の一種の n は i となる、比、
tala-qei 鱧、IN. tuna. -qei <-qi 接尾辭、i は q に連
る時 i ei 又は ei となる。
10. ini naha? si: βaq-ei そのまま直には彼等の知る所と
ならぬ、βaq-ei 知る、客體主、
təlam-an nija 彼の試みる處、その孔、位置主、~t-əm-
alam 試みる、主體主、nija 彼の~heja 彼は、比、Mal.
nia
11. qətsi-j-an 大便の處、qətsi 大便。
12. ijats …でない、…に非ず。
13. si: kōta 偶然見た、34頁、註. 4.
15. p-in-tsə-βaq na utux 神の教へさせた事、pa-tsə-βaq
教へさせる、tsə-βaq <ts-βaq 教へる <βaq 知る。

- ¹ gau" / mutši mərə: / təlaman nija məga: /
いふ といふ それで 所談 彼の すると
- ² maosa jasa βalai qo: / ?inluḡan məqaja-
成 共 本當 が 考 生物の
- ³ nux ma / βišaq haži ləga: / nanak hei?
さうだ 久 少 すると 異様 體が
- ⁴ naqo: kənalril ro: / nijal si: ?in-gəgijuts
の 女 而 来た 自然 段々
- ⁵ jaβa ?kətu? nija ro: / ki?a taihok qo: βi-
大 腹 彼の 而 頃 到 が
- ⁶ jatsip nija ga: / maki? pasal lə ma ro: /
月 彼の すると 在 家 せつた さうだ 而
- ⁷ tsipai βalai qais ni jaβa nija ro: jaja ni-
多 實に 喜 の 父 彼の と 母 彼
- ⁸ ja / nano jasa qo: / gin?ariḡan pəsəka?
の 何 共 は 起原 破裂
- ⁹ ro: maβəho:jao na sami ətajal /
而 増殖 の 我等 アタヤル

て飛んで来て、膝の間に止るのを見た。
そこで考へて「それは神の暗示ではあ
るまいかねえ」といつて、彼等が試みる
と、生物の考(性慾)が、本當にその通りに
なつた(満足を得ること)さうだ。暫く
すると女の體が異様になつて、その腹
が段々に大きくなつて来た。月が到
来すると、家に引籠つた(子を生むこと)。
それで、その父と母との喜は、實に非常
であつた。[石が]破裂して我々アタヤ
ルが増殖する様になつた起原は、共ん
な事である。

2. ?a?ariḡan mita sileq.
起原 見る シレック島で

- ¹⁰ mərəho: raral heja ga: / upats qo: sə-
祖先 昔 共 は 無 が 可
- ¹¹ səpuḡan naha? aosa / maosa βiləq ro: ja-
決定物 彼等の 外出 成 吉 と
- ¹² qeh / nano jasa qo: / mənəβu? ro: maḡal
内 何 共 は 成病 或 取
- ¹³ qailis karuma ga: / ḡələḡan naha? mə-
惟我 或時 は 所件 彼等の

2. シレック島で判断する起原

昔の祖先は、彼等が外出する時吉凶
を判断すべきものが無かつた。共で
病氣をしたり、怪我をしたりして、その
結果或時は彼等は死んださうだ。共

- 2. ?in-luḡ-an 考へてある事、客體主、l-əm-əḡ-luḡ 考へる。
mə-qajanux 生命の有る者。
- 3. nanak …だけ、自分一人、特じて、特別、異様。
- 4. naqo: <na-qo: na は屬格、qo: は冠詞主格。
nijal 向から此方へ来る。
- 5. si: ?in-gə-gijuts 自然に次から次へと。34頁、註.4.
- 6. ki?a 大概、大方。
- 7. ni …の。固有人名詞、又は父母等人名詞の屬格。
- 14. ?a?ariḡ-an <ka-gariḡ-an (?), ?ariḡ <gariḡ (?)
mita <*k-əm-ita 見る、主體主、此處にては吉凶を見る

- こと、<kita, IN. kita.
- sileq 小鳥の名、吉凶を報する鳥と信ぜらる。
- 15. upats 無い、有るの反對。
- səspuḡan <sa-supuḡ-an 判断に用ゐる物、原意は量
る具 <s-əm-upuḡ 量る。
- 16. a-osa 行く方法、行くべき道。~m-usa 行く、a- は母音
o の反覆。
- 18. ka-ruma <ruma 或る物、他の物。
- ḡələḡan <ḡələḡ-an 伴ふ物、共に…する物。~ḡ-əm-
alu: 伴ふ、共に…する <ḡalu: 語尾の u: 又は o: の
後に母音の来る時は -uḡ, -oḡ となる。

- ¹ hoqeil ma / jasa qo: məkajal mutši / "aki
死 さうだ 共 は 相談 いふ 欲
- ² ta həmkəpi sqo: maosa junao na utux /
我等 捜 を 成者 代理 の 神
- ³ səməpuḡ sqo: βiləq ro: jaqeh" /
判断者 を 善 と 惡
- ⁴ nano sqo: minxal / məsəspuḡ ləməiləq
何 に 或時 競争 持上
- ⁵ βətunux / kərəjas leluḡ / tsijaqoḡ ki sileq
石を 横切 川を 鳥 とシレック島
- ⁶ ro: / "kija mijan qo təhojai ga: / jasa qo: /
而 有者 我等の が 能力 が 共 は
- ⁷ maosa səməpuḡ mita pəkəkəpi mamə ka /
可成 判断者 見 往來 汝等の 共
- ⁸ maosa βiləq ro: jaqeh" / tsijaqoḡ qo:
可成 善 と 惡 鳥 は
- ⁹ qəso ro: / si: paqa?qa? ləməiləq ga: / ini
初 而 ながら か-か-いふ 持上 併 不
- ¹⁰ pələḡəlo ro: / sileq si: junao / si: pasī-
所使動 而 シレック島 直に 代 ながら シ-
- ¹¹ si: wəjal naha? si: lələjaqei / kərəjas
シ-いふ 了 彼等の 直に 所持上 横切
- ¹² leluḡ / musə səmi qəsijap / nano jasa qo: /
川を 行 罷 向岸に 何 共 は
- ¹³ sileq wəil ləməqox / ?ariḡ kija / kija qo:
シレック島 了 辨 から 共 有 が
- ¹⁴ aasan ga: / sileq səpuḡan mita sqo: /
外出 れば シレック島 所判断 見 を
- ¹⁵ maosa jaqeh ro: βiləq la /
成 善 と 惡 了

で(彼等は)相談して「我々は神の代理に
なつて、吉凶を判断すべきものを捜し
たいものだ」といつた。
或る時鳥とシレック鳥とが、石を持
ち上げて、川を横切る競争をしたこと
があつた。而して(彼等は)、「我々の中
で[此の事に]堪へ得た者が、お前等(人間)
の往來の吉凶を判断するものになら
う」といつた。[そこで]鳥が初めにカー
カーといひながら[石を]持上げたが[石
は]動かなかつた。そこでシレック鳥
が其場で直に代つて、シ-シ-といひ
ながら[石を]そのまま持上げて、川を横
切つて向岸に置いた。其様にしてシ
レック鳥が勝つた。其からは[人が]外
出の事がある時は、シレック鳥が吉凶
を判断するやうになつた。

- 1. məkajal <ma-kajal, ma- は相互の義、~ k-əm-ajal
話す。
- aki. …したいな-。34頁、註.10.
- 2. h-əm-kəpi 捜す、又、h-əm-kani ともいふ。
- 3. sqo: <sa qo: …な。
- 4. məsəspuḡ <ma-sa-supuḡ 競争、原意は、互に量り合ふ、
<supuḡ
l-əm-aiḡeq 持つて上げる。
- 6. kija 有る、其處に在る、又其處に在る其の物。
mi-j-an 我等の、~sami 我等は。
- 7. pəkəkəpi <pa-ka-kəpi 往來、~pahkani 歩け。
mamə 汝等の、~simo 汝等は。

- ka 其の事、其の者、關係代名詞の知き語を爲す。
- 9. si: pa-qa?qa? カーカーといひながら、pa- は動詞構成
の接頭辭、si:…しつ、其のまま。
- 10. si: pa-si-si: シ-シ-いひながら。註.9.
- 11. wəjal …してしまつた。原意は、去る、去つて行く。
si: lələjaqei <*si laileq-i そのまゝ直に持上げる。客
體主。比。註.4.
- 12. s-əm-i 置く <si.
- 13. wəil <wəjal …してしまつた。註.11.
?ariḡ kija 其から、?ariḡ 始。
- 14. aasan <a-usa-an いつも外出の時 <usa 行け。

3 kai na makasiquts
話 の シグツツ族

- 2 nano sqo: mərəho: raral / maki? qotux
3 qo: saon naha? qalaq siquts / mutsi
4 nanak qaqaqanux naha? ma / nano qo:
5 siquts qasa mega: / siqiwai maneq jaβux
6 na pinhapui ro: / tsinahok reramats ma /
7 musa mahto: / kija qo: sijuma ro: / ka-
8 tan mēga: / ana pahpui mami ro: ta-
9 mahok reramats mēga: / ini naha? neqei
10 he? nija / siqiwai pasəhəp jaβux nija ma /
11 nano qo: / sijuma heja ga: / wa:l nija
12 si: ʔeβəsan mami ro: reramats / kətan
13 naqo: masiquts ga: / si: ʔanəkux mutsi /
14 "pahto: ino qo: wal neqon mərə:" /
15 nano jasa qo: kjalun naqo: sijuma /
16 mutsi "βali jatna simo / upats βəliq qə-
17 tsijan / sami heja ga: ʔingəqijuts mijan

1. maka-siquts シグツツに属する者、即シグツツ族。比。
maka-pijasan ヒヤサン社(角板山社)に属する人。
maka- は本来、…からの義、此處には、…から出る、…
出身などの義。

3. シグツツ族の話

扱昔の祖先の時、シグツツ族の蕃社
があつて、彼等の生活は自ら特別のも
のであつたさうだ。其のシグツツと
いふ種族は、炊いた物(飯)や煮た菜の湯
氣計りを食つてゐたさうだ。
シユマといふ人があつて、其處へ出
掛けて行つて見ると、飯を炊いても又
菜を煮ても、其の實は食はないで、只其
の湯氣を吸つて計りゐるさうだ。扱
其のシユマは飯と菜とをそのまま、吞
込んだので、シグツツ等は見て驚いて、
「あの食つた物は何處から出すのであ
らう」と思つた。そこでシユマが話し
ていふには、「[我々]はお前達の様に尻
の孔の無い者などではない。我々は
次々と[食つた物を]外に排泄するのだ。

扱彼等の食ふ物でない、-ei は其の物を示す、食ふの語
は本来 k-əm-an-eq なるを普通略して maneq とい
ふにより ma を接頭辭と考へ neq を語幹として活用
するに至れるものなり。

- 1 mastanux" san nija ro: / stalam nija
2 masqotsi ma /
3 kəmajal qotux qo siquts "kani βaqei
4 kaβalai βəliq qətsijan / aki marəpi sunan /
5 ini kanəq jaβux na pinhapui" / mutsi
6 kəmajal mərə: / nano jasa qo: / "kaβalajao
7 mako βəliq qətsijan so / taita so jatna
8 kuziβ / maneq mami ro: rəramats sa
9 ʔingəqijuts mastanux" / "βəliq βalai βəliq
10 qətsijan mako" mutsi / maqais βalai ma /
11 nano jasa qo: / səsuliq βəleq naqo: siju-
12 ma ro: / matalah βalai sinuliq βəleq la-
13 ga: / paβəqon nija na qətsijan / si: nija
14 sa / "jus" maitaq sa qətsijan / wal si:
15 galu: mahoqel / maki? nəheju məqijai qo: /
16 sijuma heja la /

- 18 nano qo: riβuts qasa mēga: / ja kina-
19 lahβao βalai maqəzi:nah / sowa? ini qo:

1. mas-tanux 排遺、原意は外に出す <tanux 外、比、註、2.
2. mas-qotsi 大便を出す、比、註、1.
3. kani βaq-ei 若しや … することは出来ない事だらう
か、βaq-ei 知る、客體主、此處には能ふの義。

彼はさういつて其場で大便をして見
せたさうだ。
[すると]一人のシグツツは「我等も、炊
いた物の湯氣を食はないお前に見習
ひたいなあ、何とか尻の孔を作ること
は出来ないものだらうか」といつたの
で、其では私がお前の尻の孔を作らう、
さうすればお前は私の様に、飯と菜と
を食つて、次々と排泄する様になる」と
いつた。シグツツは「私の尻の孔を是
非あけてくれ」といつて、大變喜んださ
うだ。そこでシユマは鐵を焼いて、そ
の焼いた鐵が非常に熱くなつた時、彼
はシグツツの尻を此方へ向けさせて、
いきなり尻へ[鐵を]シユツと突刺した。
シグツツは立所に死んだのでシユマ
は奇かに逃げた。

扱、其のシグツツ族といふのは體が
大變軽くて走るのが速い。其は湯氣

9. βəliq-i 孔を開けよ、命令、位置主、尻。
11. sə-sulig <sa-sulig 焼く、用具主、シグツツの爲に焼く。
siquts が主格、s-in-ulig 焼いた物、鉄、12行。
13. na qətsi-jan 尻を、na は…を以て、…を用ゐて、といふ
義、尻を以て此方に向けさせるといふ言あらはし方。

- ¹ sigiwai maŋeq jaʔux / nano qo: sinəʔil-
只 食 湯氣を 何 は 寝者
- ² an / hamaop sa qətsijan pahoqelun na siju-
挿入 へ 尻 所殺 の シユ
- ³ ma qasa ga: / matu:leq sasan kətan na-
マ 其 は 起 朝 所見 彼
- ⁴ haʔ / nux mahoqel ro: / wajal məgijai qo:
等の 居 死 而 去 逃 は
- ⁵ sijuma uzi ro: / ʔəqon nahaʔ sa heja wal
シユマ 亦それで 所知 彼等の な 彼 了
- ⁶ pahoqel ro: / si: nahaʔ tapətsiji mahe-
殺 而 直に 彼等の 所追後 追掛
- ⁷ jao / kəta:n na sijuma nijal mahejao /
所見 の シユマ 来 追掛
- ⁸ maosa samhəpela ro: / si: hakas maka-
將 追附 それで直に しまつた 登
- ⁹ rao / talaqeiŋ sa lelu: na kahoneq / ini
隠 へ 棺 の 木 不
- ¹⁰ lawa ʔiʂaq / nijal ja:na ʔaihoi / nijal si:
待 久 来 如 風 来た ながら
- ¹¹ paʔəʔəʔaras mahejao / ini nahaʔ lui qo:
カカカ音立てる 追掛 不 彼等の 所見附は
- ¹² rapal paŋijuwagun nahaʔ ləro: / wal ma-
足跡 所紛失者の 彼等の それで 去
- ¹³ ʔəzi:nah /
引返
- ¹⁴ soro: na masiŋuts ləga: / maʔijaq ra-
後 の シグツ等 そこで 下る
- ¹⁵ hejal ro: / mapəpə owah nahaʔ həmkəŋi
地に 而 恐 来 彼等の 獲
- ¹⁶ na siŋuts laozi / saagal nija kamatsi / qo:
の シグツ又 所取 彼の 齧跡を は
- ¹⁷ ʔəliŋ qaom / hatulan nija ro: / səpilan nija
穴 穿山甲の 所詰込 彼の 而 所設置 彼の
- ¹⁸ kamamas kamatsi / sijao na ʔəliŋ qaom
齧 齧跡を 縁 の 穴 穿山甲の
- ¹⁹ ro: / si: ʔinʔilʔilaq məgijai mowah pasai
而 共儘 好都合 逃 歸 家に
- ²⁰ qo: / sijuma qasa lama / kətan ʔəlai mə-
は シユマ 其の さうな 所見 實際

- 1. s-in-əʔil-an 其まにうちやつて置いた者、客體主、原意、
遺して置いた者、～s-əm-uʔil 遺す。
- 2. pahoqel-un 殺す、客體主、～mahoqel 死ぬ。
- 4. nux mahoqel 此處に死んでゐる、nux 此處に居る、比、
tsux 其處に居る。
- 6. ta-putsiŋ-i 人の跡をつける、客體主、<putsiŋ 後方。
- 11. ini nahaʔ lu-i 彼等が其を見附けない、客體主、～mə-

計り食つてゐるからだ。獲シユマが
尻へ突刺して其のまゝ打ちやつてお
いた人を〔他の〕シグツが朝起きてみ
ると死んで居た。又シユマは逃げて
そこに居なかつたので彼が〔シグツ
を〕殺したことを知つた。それで彼等
は直に後を追掛けた。シユマが見る
と〔シグツが〕追掛けて来て追附かれ
さうになつたので、直に木の棺に登つ
て隠れた。間もなく〔シグツが〕風の
様に、ガサガサ音をさせて追掛けて来
たが、彼等はシユマの足跡を見附けな
かつたので、引返して行つた。

シグツ等の〔去つた〕後で〔シユマは〕
地上に下りた。而してシグツが再
び捜しに来るのを恐れた。〔それで〕齧
跡を取つて穿山甲の穴に詰込んだり、
又穴の縁に塗つたりしておいた。而
して自分はいよいよ工合に家に逃げて
歸つたさうだ。シユマの〔歸つた〕後、

- lu 見附ける、主體主。
- 16. saagal …の爲に取る、用具主、穿山甲の穴に詰込む爲
に取る義、主格は穴。
- 17. hatul-an 詰込む、位置主、穿山甲の穴、～h-əm-utul 詰
込む、主體主。
- 20. kətan ʔəlai <kita-an ʔəlai 果して、原意、實際其を見
るといふ義。

- ¹ ga: / soro: naqo sijuma / mowah hamkaŋi
すると後に の シユマ 来 獲
- ² laozi qo: lələsiŋuts / lowan nahaʔ / ʔəliŋ
再 は シグツ等 所見附 彼等の 穴は
- ³ qaom / kətan məga: / nux kamasan na
穿山甲の 所見 すると 有 齧 で
- ⁴ ramo ro: / kiʔa wajal mizup ʔəliŋ qani /
血 のでだらう 去 入 穴 此
- ⁵ mutsi məro: / haʔun nahaʔ na ʔətejux /
と思 それで 所刺 彼等の で 槍
- ⁶ si: kəta nijal si: karamo lelu: na
其儘 見ると 出て来る だらけ 血 先は の
- ⁷ ʔəli ro: / nano jasa qo: kiʔa tsux maho-
獲 それで 何 其 は だらうある 死
- ⁸ qel mutsi lamapelung ro: / wal maʔə-
と 思 而 去 引
- ⁹ zi:nah pasai nahaʔ laozi ma /
返 家に 彼等の 再 さうだ

- 4. kai na minowah səmka
話 の 歸つた人 爲半分
wagi
太陽を
- ¹¹ nano sqo məraho: ratral məga: / qo-
何 時 祖先 昔 さうだが
- ¹⁴ tux ʔəlai qo: wagi ro: / e: qalijan ləga /
一 只 は 太陽 而 時 晝 なる
- ¹⁵ si: ka qalijan kərarijax səmka kawas / e:
斗り 其 晝 常に 爲半分 年 時
- ¹⁶ mahəpən ləga: / si: ka mahəpən kərarijax
夜 なる と 斗り 其 夜 常に
- ¹⁷ səmka kawas / nano jasa qo: / si: ʔinzi-
爲半分 年 何 其 は 常に 困

- 2. lələsiŋuts <la-la-siŋuts シグツ等 lala- は固有人名
詞又は父母等の人名詞に附して敬称を示す、lala-ʔəta
アタ等、lala-jaʔə 父等。
- lo-w-an 見附ける、位置主、其の穴、mə-lo 同上、主體主。
- 3. nux kamas-an na ramo 血を以て塗つて有つた、nux
此處に在る、kamas-an 塗つた處、即穴、na ramo 血
で、比、haʔ-un nahaʔ na ʔətejux 彼等が槍で物を
刺す、比、註5。
- 5. haʔ-un 刺す、客體主、-un 客體主を表はす接尾辭、h-əm-
aop 刺す、主體主、本来 h-əm-aop けれどもアタ
ア語は語末に ʔ を許さぬ故に p に轉す、-un の語
尾を附すれば haʔ-un < haop-un となり、ʔ を復
活す。
- 6. si: ka-ramo 血だらけ、ma-ramo 血が附いてゐる、si:

果してシグツ等は再び捜しに来て、
穿山甲の穴を見附けた。見ると血が
附いてゐたので、此の穴にはひつたに
違ひないと思つて槍で突いた。見る
と槍の穂先は血だらけになつて出て
来た。それでシユマは死んでゐるの
に違ひないと思つて、彼等は再び自分
の家に引返して行つたさうだ。

- 4. 太陽を半分にして歸つて
来た話
- 昔祖先の時には太陽が只一つで、晝
になると半年はいつも晝ばかり、夜に
なると半年はいつも夜ばかりであつ
た。それで人々が皆困つてゐたさう
だ。彼等は有ゆる方法について考へ

- を附する時は ma- が ka- となる、si: 其のままの義
より轉じて全體一面の義となる、34頁、註4。
- 7. tsux ma-hoqel 其處に死んでゐる。
- 11. m-in-owah 歸つて来た人、行つて来た人、<m-owah 来
る。
- s-əm-ka 半分にする、～sə-ska 真中。
- 14. e: qali-j-an 晝の時に、e: mahəpən 夜の時に、e: <i
位置を表はす、比、IN. i。
- 17. si: ʔin-zi-zuwao いつも困る、ʔin-zi-zuwao 困る、農事
工合が悪い、～pi-zi-zuwao 間に入つて邪賢する <
zuwao 物と物との間、34頁、註4。

1 zuwao kowara sqoleq ma / unats ini na-
皆 人 さうだ 無 不 彼
2 ha? pakamahama?i lamapalug ro: / ruma
等の 色々工面する 考 面 或者
3 ga: "aki homsowa? / asan pataska wagi /
は かしらん 如何する 行處 爲 半分 太陽は
4 taita aki wi qalijan / wi mahapan" mutsi
若しやあんな 或 書 或 夜 といふ
5 ro: makagilu: kai naha? zosa samka
而 決着 話 彼等の 行く爲 爲半分
6 wagi /
太陽を
7 nano jasa qo: / sawajao naha? sqo:
何 共 は 選理由 彼等の を
8 laokah marakijas / si: pata?utsi mapapa
強 若者 共儘 各自 負
9 alaqei ha?oko? / tsuzgal hei? naha? musa /
了 芽 三 人 彼等の 行
10 nano sqo: maosa ga: / kija muja jutak
何 時 將行 は 共處 植 柑
11 ma / ana si: usausa ga: / ini tahki / ketan
でも 共儘 行 行 不 到着 所見
12 lama ga: / ?anokis taqarejan kowara qo:
老人 生白髪者 皆 は
13 mamarakijas ka kahol pasal ro: / saozeh
若者等 即 出發者 家 而 側
14 naha? hazi qo: wagi lega / wal mahoqel
彼等の 始 は 太陽 去 死
15 kowara /
皆
16 nano qo: pinapa naha? alaqei ha?oko?
何 は 所負者 彼等の 子 芽
17 marakijas kowara ro: / lahaga qo: sami-
若者 皆 而 彼等 は
18 junao lama / nano qo: marakijas / sami-
代 さうだ 何 は 若者 代
19 junao sqo: wal mahoqel musa ro: / tahk-
に 去 死者 行 而 所到
20 an naha? ?alai hatagan na wagi / ketan
彼等の 實に 出處 の 太陽 所見

1. unats ini naha? paka-mahama?i l-am-ugilug 彼等が
有する方法について考へた。客體主。原意。色々の方法
を考へないことはない。比 maka mahamo? 何でも
よく気がつく。
3. aki ...したいものだが如何かしらん。34頁。註.10。
osan <usa-an 共處へ行く。行く處。位置主。太陽。~
m-usa 行く。
pata-ska 半分にする。41頁。註.11。
5. maka-gilu: 話がまとまる。原意。一致する <golul: 共

た。而して或者は、行つて太陽を半分
にしたらどんなものかしらん。さう
したら晝になつたり、夜になつたりす
るかもしれんといつた。而して彼等
の話は太陽を半分にしに行くことに
まとまつた。
そこで、その爲に彼等は強い若者を
[三人]擇んだ。彼等三人は各自分の赤
坊を背負つて行つた。而して行く時
には、道々蜜柑を植ゑたさうだ。行つ
ても行つても到着しない。見ると、若
者として家を出發した者は皆白髪に
なつた。而して、殆んど太陽のそばの
所まで行つて、皆死んでしまつた。
すると、彼等の背負つて行つた赤坊
は皆若者になつてゐたので、彼等が[親
達に]代つたさうだ。その若者等は死
んだ[親達に]代つて行つて、到頭太陽の
出る處に到着した。見ると大變熱い。

に、一緒に。aosa <a-usa 行く原因。用具主。話。
7. sa-wajao ...の爲に選ぶ。用具主。~mo-wajao 選ぶ。
8. si: pata-putsi 各自分です。putsi 特別。録々。
9. alaqei ha?oko? 芽の子。赤坊のこと。
11. ini tahk-i 共處に到着しない。位置主。tahk-i <taihok-i。
i 位置主の接尾辭。註.19。
13. ka 其の否。關係代名詞の如し。即ちの意。
16. p-in-apa 負つた者。客體主。赤坊。~mapa 負ふ。
19. tahk-an 共處に到着する。位置主。~*taihok-an。

1 moga: / makilux ?alai ma / si: naha? ?ala-
すると 熱 共 さうだ 共儘 彼等の
2 jaqei managa qama?ujaj / hatagan na wa-
所注意 待 潜伏 出處 の 太-
3 gi / paos na ragijax / ketan laga: / nijal
陽 湖 の 山 所見 すると 來
4 mahto: wagi / makilux ?alai / maimao
出 太陽 熱 實 如
5 masajux raozeq / nano jasa qo: / si: na-
眩 目 何 共 は 共儘 所
6 gai / pampiluk pinaloq "paok" san nija
待 引絞 弓な パク さうだ 彼の
7 mo? ro: / nijal mutsi "was" ramo nija
射 と 來 といふ サツ 血 彼の
8 ro: / wal si: ?apu?i na ramo qo: / mino?
而 了 共儘全部 所被 の 血 は 射た人
9 wagi qasa la / nano qo: / thai ?inpuxan
太陽を 其の 了 何 は 生殘 所被
10 na ramo sqoleq heja ga / min?azinah
の 血 人 共 は 引返了
11 mowah ro: / si: kakaneg pinamuja naha?
來 而 ながら 食 載た物を 彼等の
12 sqo: maosa jutak / taihok pasal laga: /
時に 將往 蜜柑を 到 家 したが
13 nijal ma?u?ui / mi?n hahako / taqarejan
來 曲る 太陽 持 杖を 生白髪者
14 ?anokis ?alai la ma /
老人 非常 なつたさうだ
15 ?a?ao naqo inowahan naha? mo? wagi
後 の 歸つた時 彼等の 射 太陽を
16 laga / ?ari? kija / wi qalijan / wi mahapan
なると から 共 或 晝 或 夜
17 ro: / qalijan ga wagi mahto: / mahapan
而 晝 は 太陽 出 夜
18 ga: ?ijatsiq mahto: / ?ari? kija / min?ilaq
は 月 出 から 共 好都合

そこで彼等はよく注意して、太陽の出
る處の山の峰に潜伏して待構へてゐ
た。見ると太陽が出て來た。非常に
熱くて、目がくらみさうだ。それで共
の儘じつと待構へて居たが[頃を見計
つて]弓を引きしぼつて、シュッと射ると、
血がサツと進つて、太陽を射た人は頭
から血を浴びて[死んだ]。血は浴びた
が生殘つた者は、行く時に植ゑておい
た蜜柑を食べつゝ、引返して來た。家
に着いた時は[腰が曲つて杖を持ち]頭
は白髪になつて非常な老人であつた
さうだ。
彼等が太陽を射て歸つてから後は、
晝になつたり、夜になつたり、晝は太陽
が出て、夜は月が出る様になつた。[而
して]其から、凡ての人の生活が幸福に

1. ?al-aj-aq-ei 共處でよく注意して...する。位置主。-ei <
i 場所を示す。~. ?ilaq 善い。
2. hatag-an 出る處。~ ma-hato: 出る。-o: の後に母音
の來るときは -og-。又は -ag- となる。
5. si: naga-i そのまま人を待つ。客體主。~ mo-naga 待
つ。主體主。
6. paok san nija mo? 彼がバットと射る。san <sa-un
其の知くする。客體主。sa は qasa 共處。jasa 其れ。の
sa。
8. 9. si: ?apu?-i na ramo 全部血の被ふ所となる。位置
主。原意は血で押へつけられる。si: 全部。一面。?in-
pux-an na ramo 血で被はれた人。位置主。~ am-

apux 上から押へつける。
8. m-in-o? wagi 太陽を射た人 <mo? 射る。
11. p-in-omuja 植ゑた物。客體主。~ momuja 植ゑる。
12. sqo: ma-osa 行かうとする時に。
13. ha-haoko 杖。原意。つく具。~ h-am-aoko 杖をつく。
ta-qare-j-an <*ta-qori-j-an 白髪のある人 <qori 白
髪。
15. ?a?ao 後(時間)。原意。上の義。?a?ao nja 其の後。nja
[i heja の關係。
in-owah-an 歸つて來た時。-an は時を示す。~ m-in-
owah 歸つて來た人。主體主。比. ?atsiq-an 月夜。月の
ある時 <?ijatsiq 月。

¹ maqajanux kowara sqoleq la ma /
生活 皆 人 なつたさうだ

なつたさうだ。

5. masunu?
洪水

- ⁴ nano sqo: ratral beja ga / ugats zizik
何 時 昔 其 は 無 深
- ⁵ uru: ro: lohei sigiwai matapaq pa'nux
谷 と 崖 只 偏平 平地
- ⁶ rohejal nija ma / ana maki? ragijax nija
土地は 其のさうだ 有 山は 其の
- ⁷ ga: totaikui / jasa palai qo: pa'nux ko-
やはり 小 其 實に は 平地
- ⁸ wara / leluq uzi ga: / ini paqei sa wal
昔 川 又 は 不 所知 を 去
- ⁹ moah kija /
行 其處
- ¹⁰ nano sqo: minxal / masunu? ro: / ana
何 に 或時 洪水 而 ても
- ¹¹ sasapaei na gaon / ma'ahojiao kowara /
其小川 の 谷川 皆
- ¹² kotan la ma ga: / nijal si: 'ingagijuts
所見 了さうだ すると 來 自然に 段々
- ¹³ ma'ahojiao maswasilun ro: / magijai tai
皆 成 海 それで 逃 方に
- ¹⁴ papakwaqa kowara qo: atajal ga: nijal
大覇尖山 皆 は アタナル 來
- ¹⁵ si: 'ingagijuts ramoro / ma'ahojiao uzi
自然に 段々 進行 皆 又
- ¹⁶ qo: qasija / kira ləga saqinta'to nija pa'po
が 水 後 になつて 所押詰 其の 頂上
- ¹⁷ papak ramoro atajal la /
大覇尖山の 進行 アタナル 了
- ¹⁸ nano jasa qo: / makajal kowara qo:
何 其 は 相談 皆 か
- ¹⁹ atajal / "sowa? mowani qasija qani / nux
アタナル 何故 成如此 水 此の 來
- ²⁰ si: 'ingagijuts ma'ahojiao / ini kija nux
自然に 段々 皆 非 其處 有
- ²¹ nija pasənaon ga: aki həmsowa? / βeqan
彼の 所要求 すれば 如何 所與

5. 洪 水

扱、昔は深い谷も崖もなく、土地は凸
凹のない平地ばかりであつたさうだ。
山はあつても小さくて、一般平地と同
じであつた。川も亦その流れて行く
方向が分らなかつた。

すると或時洪水が出て、ほんの小さ
な谷川でも皆水が出て、見てゐるうち
に段々ふえて海になつた。それで蕃
人は皆大覇尖山の方に逃げたが、水は
又ふえて、段々進行して來たので、蕃人
は遂に大覇尖山の頂上まで押詰られ
てしまつた。

そこで蕃人は皆相談して、此水が段
々ふえて來るのは、一體如何した事
であらう。何か神の要求があるのでは
あるまいか。我々が人を一人献上し

7. to-taikui, 小さい, tsikui の複数。
11. sa-sapaei, 泉より流れる細い川(sapaei)の複数。
15. r-am-oro 進行, 人を押して進む, 原意, 物を横に押し。
16. sa-gin-ta'to <sa-gin-ta'to 押つめる材料, 用具主, sa-
...の材料, ~ pa-ta'to 押ししやう。
19. sowa? mowani qasija qani 此の水は何故こゝなのだ

らう, sowa? 何故, mowani 何だか分らない, 比, na-
no mowani so 汝は何たることぞ, tsux lux mowani
la 何だか見當がなくなつた。
21. βeq-an ta qotux sqoleq 我等が一人の人間を與へる。
原意, 一人の人間を用ゐて與へる事を行ふ, 人間を材
料と見なし, 用具主の接尾辭 -an を附す。

- ¹ ta qotux saqoleq" mutsi ro: / sawajao
我等の 一 人 といふ 而 所擇理由
- ² naha? qotux jaqeh na sqoleq / saβaliq na-
彼等の 一 惡者の 人 所投 彼
- ³ ha? qesija ro: / kotan ga: / maimao haβe-
等の 水に 而 所見 すると 知 音
- ⁴ jan / nijal qazitnah ma'ahojiao / kamajal
皆 來 反對に 皆 といふ
- ⁵ kowara / "ki'a nux ta'oqo / wal ta βeqan
皆 恐らく 居 憤 了我等の 所與
- ⁶ jaqeh na saqoleq / aki msowa? / βeqan
惡者の 人 かしらん 如何 所與
- ⁷ ta alahei kanairil na maraho: / mutsi
我等の子 女 の 頭目 といふ
- ⁸ makajal ro: / kijalun naha? qo: maraho:
相談 而 所話 彼等の は 頭目
- ⁹ ga samowajal ro: / βeqan naha? palai ala-
すると 承諾 それで 所與 彼等の 眞子
- ¹⁰ qei kanairil na maraho: ga: / si: kota
女 の 頭目 すると 忽 見る
- ¹¹ wal mutsi "gor" haβejan juwan wal
了 といふ ゴーッ 音 知 了
- ¹² maslohei / maqoleh qasija /
崩壊 濁 水が
- ¹⁴ kotan qo: rohejal maga: / masoq mas-
所見 は 地 すると 終 崩壊
- ¹⁵ lohei / ki'pan na uru: zizik ro: lohei / na-
所在 の 谷 深い と 崖 何
- ¹⁶ no qo: / inowahan qasija ga: / tsipai palai
は 通つた跡 水の は 多 實に
- ¹⁷ qalqoleh ro: / tatəlahei uzi / masoq pəqa-
多魚 而 多鱈 亦 終 掛
- ¹⁸ ja / ini koa'i maneq / wal masoq masta-
不 能 食 了 終 腐
- ¹⁹ maq sakinux palai ma / 'ariq kija / ki'pan
與 實 さうだ から 其 所在
- ²⁰ na lohei ro: / ja'a na ragijax ro: / zizik
の 崖 と 大 の 山 と 深
- ²¹ na uru: rohejal qani la / mutsi kai pin
の 谷 土地は 此の 了 さういふ 話は 所

たらどんなものであらうといつた。
而して其の爲に、彼等が一人のつまら
ない(死んでも惜しくない)人間を探ん
だ。彼等が其の人を氷に投入れると、
見てゐる中に水が音を立て、反對に
増して來た。皆が、我々がつまらない
人間を献上したので、神が怒つてゐる
のに違ひない。我々が頭目の娘を獻
上したら如何かしらん」と相談した。
而して彼等が頭目に話すと頭目は承
諾したので、彼等は頭目の娘を献上す
ると、見る見るゴ－ッ と崖の崩れる様
な音がして水が退いた。

土地を見ると、山崩がして、深い谷と
崖とが出来てゐた。扱水の通つた跡
には、魚や鱈が實に澤山(所々に)引掛つ
てゐた。それが食ひきれないで腐つ
てしまつて、大變臭かつたさうだ。此
の地に崖や大きな山や深い谷が出来
たのは、其時からだと、昔の老人等はさ
う言傳へてゐる。

12. mas-lohei 崖が崩れる <lohei 崖。
15. ki'pan 有る處, 所在, ~maki? 有る。
16. in-owah-an 通つた跡, 原意, 來た處, m-owah 來る。
17. qal-qoleh, 魚(qoleh)の複数。
21. ta-təla-pei 鱈(təla-pei)の複数, 比, IN. tuna.

18. ini ka-koa'i maneq 物が多くて食ひきれない, 客體主,
比, koa'-un so ka'palai ga 其の事汝の爲しされる事
か, 客體主。
21. p-in-qajuw-an 傳へた事, 物, 客體主, <qeju 繋がる, 傳
はる, 比, q-om-iju 傳染する, 類などしみる。

1 qəjuwan məraho: rətral /
何 老人の 昔

6. halus
ハルス

- 4 nano sqo: rətral / maki? qotux ja?a
何 時 昔 有 一 大なの
- 5 βalai na sqoleq / halus lalo nija ma / kin-
實に の 人 ハルス名は 彼のさうだ 大き
- 6 ja?a na hei? nija ga: / ki?a mətejuagan
の 體 彼の は 凡そ 六十
- 7 qə?a ma / in?əβijan nija ga: / qotux ato
尋 さうだ 寝た處 彼の は 一 區城
- 8 qəməjah məro: / si: kəkanu rahejal in?ə-
畑 さうで そのまゝ 間 地は 寝
- 9 βijan nija /
た處 彼の
- 10 qaiqaja nija heja ga: / tanaq kərajās
道具 彼の 其 は 足る 横切
- 11 leluq ro: / səki?i nija sa haoinuk e: mi-
川を 而 所巻 彼の に 腰 時
- 12 məlux ma / e: mai?aho: ja?a qəsija ga: /
平常 さうだ時 暴風雨 大 水 は
- 13 səpəlawā naha? ro: / sahaopo nija leluq /
呼理由 彼等の 而 架橋材料 彼の 川に
- 14 si: nija pə?agi qə?a / təs?aiipan ma / kə-
同時に 彼の 所使延 手 把持所 さうだ
- 15 nairil məlo: məga: / juwan su naqo: βa-
女 通る ときは 如 其の
- 16 leq ini pələgəlaō məlikui məlo: məga:
嫌 不 動 男 通 ときは
- 17 jaoβeq jaoβeq mutši mələgəlaō / kəpu:n
しな しな と 動く 所恐
- 18 βalai məlo: mutši /
實に 通行 といふ

5 kin-ja?a 大きさ <ja?a 大きい。
6. mə-teju-pag-an 六十. pag-an <po: ~ ma-po: 十. -o: の後に母音の来る時は -ag となる。
7. in-əβi-jan 寝た處. ~ ma?əβi 寝る。
8. qəməjah <qəma-jah, ~ma-qəmah 耕す. 此. Paiw. qəma. IN. uma, huma.
11. sa-kizi <sa-kizi 物を以て巻きつける. 用具主. ~ k-om-izi 同上. 主體主.
13. sə-pəlawā <sa-pəlawā …の爲に呼ぶ. 用具主. sa-haopo …を以て橋にする. 用具主. haopo 橋.

6. ハ ル ス

昔或時、一人の非常に大きな人があつた。彼の名はハルスといつた。彼の體の大きさは、六十尋位あつたさうだ。彼の寝た處は、畑の一區劃丈あつて、其處の土地はそのまゝ間んでゐた。彼の道具(陽物)は十分川に渡す丈の長さがあつて、平常は彼が腰に巻附けてゐたさうだ。暴風雨で大水の出た時は、人々が彼を呼んで来ると、彼は(陽物を以て)川に橋を架けた而して同時に兩手を延ばして、橋の欄杆にしたさうだ。女が通る時は鐵の様になつて動かないが、男が通るときは上下にしなしなと動いて、通るのが大變恐ろしかつたさうだ。

14. pə-r?ag-i qə?a …に手をそへる. 位置主 <pa-ra?o: そへる. 介連にする. ~ r-om-a?o: 助ける. təs-βaij-an 割れ又は落ちない爲につかまへる物. 用具主 <təs-βi:ŋ 同上つかまへる. <m-βi:ŋ 手で持つ.
15. su 其. 例. iso su ga ha-sowa?un pe. 汝が其であつたら其事は如何するか. ijats na-neq-on su loa 其は食物ではないでせうね。
17. kəpu-un <*kəpəpo-un 恐ろしい物. 客體主. 原意. 人の恐れる物. ~mə-pəpo 恐れる. 主體主.

- 1 ja?na qo: ja?na sa karərijax ga: / aki
如 其 如 其 常に なれて 或
- 2 βiləq / βalai ga: ini ma / nano qo: halus
宜 實に 併 非さうだ 何 は ハルス
- 3 qasa ga: / mizui βalai / e: musa qamajah
其の は 悪戯 非常に 時 往 島に
- 4 məlikui / kija qo: maki? pəsal kənaril ga:
夫が 其 は 居 家に 妻 は
- 5 soqon nija gəmina?əos mizui / kija qo:
所違 彼の 突通 悪戯 其 は
- 6 pi?iun nija ga: / wal si: pəsgəleq gaja
所悪戯 彼の は 了 直に 裂 勝が
- 7 nija ro: / wal məhoqel ma / ana təqəlu?
彼の 而 了 死 さうだ ても 閉戸
- 8 uzi ga: / pahtaŋun nija tu?uŋ qo: qeiŋqa-
亦 やはり 所使出 彼の 窓へ は 生輪器
- 9 janux nija ro: / soqon nija mizui kənaril
彼の 而 所違 彼の 悪戯 女は
- 10 ma /
さうだ
- 11 βali jasa nanak / musa qəmalup uzi
豈 其 只 行 狩 亦
- 12 ga: / si: usa mənaga sa owaowahan na
やはり 直接 行 待 で 通處 の
- 13 qəsinu ro: / si: nija pəsgəβəapi qə?a nija /
獸 而 直に 彼の 廣げる所 手は 彼の
- 14 qəluŋun nija tai nəqowaq ro: / soqon nija
所追 彼の 方へ 口の 而 所違 彼の
- 15 pəja?əmux māneq / aki naha? kutan ga: /
全で 食 欲 彼等の 所殺 併
- 16 ana βu:n na pinəloq ga: / jana kinatan
豈 所射 で 弓 やはり 如 所咬
- 17 kui mutši ro: / ini kejuŋ sa hei? nija ma /
蚊の といふ. 而 不 貫通 に 體 彼の さうだ
- 18 nano jasa qo: / si: ?inzizuwao kowara /
何 其 は 自然に 困る 昔
- 19 mutši "sowa?un ta βalai la" / uluq so βaq
といふ 所如何 我等の 實に 幸に 其能

常に其の様であつたならば宜しいかもしれないが、實際はさうではなかつたさうだ。扱、彼のハルスはよく女を犯した。夫が島に行つて妻が家に居ることがあれば、彼は[其を]犯してしまつた。彼に犯された者は、其の勝が裂けて死んでしまつたさうだ。戸口が閉つてゐても、彼は窓の中へ其の局部を現はして、女を犯したさうだ。

只其ばかりではない。狩に行つても、亦彼は直ちに獸の通る路に先廻りして待つてゐた。而して[獸が逃げて来ると]彼は手を廣げて[自分の]口の方へ追うて、丸呑にして食つてしまつた。人々は[彼を]殺したいと思つたが、弓で射ても蚊が刺したといふ位で、彼の體に貫通せなかつたさうだ。其で皆が困つて、「一體我々は如何しようか」とい

1. ja?na qo: ja?na sa ka-rə-rijax ga 常に其の通りならば. ja?na qo: ja?na sa ja ja?na qasa <ja?na qo-hasa 其の通り. の qasa を qo と sa とに兩分して用ゐるもの。
5. soq-on …をしてしまふ. 客體主. ~ma-soq 終る. 主體主.
6. pi?i-un 人の離れる所となる者. 客體主. ~ mizui 離れる. いたづらする. 主體主.
7. tə-qəlu? 自分で戸を閉す. ~q-om-alu? 閉す.
8. qo-eiŋ-qajanux <*q-in-qajanux 生輪器. ~ ma-qajanux 生きる.

11. q-om-alup 狩する. 主體主. qəluŋ-un 獸を狩する. 獸を追ふ. 客體主. 14行.
12. owa-owah-an 常に來る處. ~m-owah 來る.
13. pəsgəβəapi-i 物を廣げる. 客體主. ~ gəlaβəp 廣い.
15. aki naha? kut-an 彼等が其を殺したが. 客體主. ~ k-om-uts 斬る. 殺す. 主體主.
16. βu:n <βu-un 人を射る. 射て中てる. 客體主. ~ mu 同上. 主體主.
k-in-at-an kui 蚊に咬まれた人. 原意. 蚊の咬む所となつた人. ~ k-om-ats 虫などが咬む.
19. uluq so 其は幸. 幸な事には. 46頁. 註. 15.

- 1. ləmənəliŋ qotux / "anai ta sasulip βətu-
一人 しては 我等の 焼理由 石を
- 2. nux ro: / təkaraŋau ta mutši / 'naga qə-
而 所歎 我等の といつて 待て
- 3. sinu' ro: / pakəŋqai ta sinulip βətuŋux /
獸を 而 所使食 我等の 焼いた 石を
- 4. phaŋailao ta / mutši kamajal / "maosa
所殺 我等の 如其 といふ 可行
- 5. jasa βalai βilaq" mutši kowara /
其は 非常に 好い といふ 皆
- 6. sausa naha? səmuliŋ saziŋ βətuŋux sa
行く理由 彼等の 焼 二つ 石は へ
- 7. rəŋijax ro: / makateju sinliŋan naha? ro: /
山 而 三日間 焼時 彼等の 而
- 8. matalah βalai ləŋa / əsan naha? kamajal
成赤 甚 したので 所行 彼等の といふ
- 9. halus / mutši "hata qəmalup / tsipai βalai
ハルスは と さあ我等 狩 多 實に
- 10. qəsinu nija tsux / əsa minβilaq / mənaga
獸 其の 居 行け 注意 待
- 11. rəzeq" / san naha? ro: / maqais βalai
鹿で 所言 彼等の 而 喜 實に
- 12. halus ma / musa minβilaq βalai mənaga
ハルス さうだ 行 注意 實に 待
- 13. halus ləŋa / kjalun naha? / mutši "wal
ハルス すると 所言 彼等の といふ 行た
- 14. jaβa βalai na waqanux" / san naha? ro: /
大なる 甚 の 鹿 所言 彼等 而
- 15. tərojun naha? / qotux sinulip βətuŋux ga: /
所轉 彼等の 一 焼いた 石は すると
- 16. wal powah βəzi: nah / "ana ga: / nux qot-
去 通 鹿を 併 やはり 居 一
- 17. ux laozi / βilaq βalai mənaga" / san naha?
又 好い 實に 待 所言 彼等の
- 18. mələwa ro: / tərojun naha? qotux laozi /
呼 而 所轉 彼等の 一は 又
- 19. wal qo: βətuŋux matalah / wal mutši
去 は 石 赤い 去 といふ

ふと幸に或人が考へついで、「我々は石
を焼いて、『獸が行くから待つてをれ』
といつて欺いてやらう。而して焼石
を食はせて殺してやらう」といつた。
皆が、「其は大變よいだらう」といつた。

それで彼等は山へ行つて、石を二つ
焼いた。彼等は三日間焼くと〔石が〕赤
くなつたので、彼等が行つてハルスに、
「さあ我々は狩に行かう。獸は大變澤
山居る。麓の所へ行つてよく氣を附
けて待つて居れ」といつた。彼等がさ
ういつたので、ハルスは實に喜んだ。
而してハルスは行つてよく氣を附け
て待つて居ると、彼等は、大變大きな鹿
が行つたぞといつて焼いた石を轉か
した。所が〔ハルスの〕側を通つていつ
たので、彼等は又、「まだ一匹居るぞ。よ
く氣を附けて待つてをれ」と叫んで、又も
う一つの石を轉がした。赤い石が轉

1. an-ai...sa- ...の爲に...してやらう。an-ai ta sa-sulip
βətuŋux [halus] 我等が〔ハルスの爲に〕石を焼いて
〔其で殺して〕やらう。例。an-ai mako isu sə-kaβalai
私が汝に作てやらう = 汝は私が作る爲の人に作てや
らう。an-ai mako iso sə-kagao 私が汝の爲に掃い
て上げよう。sa- と an-ai の an- は共に理由、原因、
所縁の義を示し。an-ai の -ai は未來を示す。an-ai
は又語尾となることあり。kaβalaj-an-ai mako iso
私が汝の爲に作つて上げよう。kjal-an-ai mako iso
私が汝の爲に話して上げよう。
2. təkaraŋ-au ta 〔彼は〕我等が歎かう。客體主。-au は其

人を示す。例。neq-au ta 〔其物は〕我等が食はう。gal-
au mako 〔其物は〕私が取らう。
3. pa-kəŋq-ai 〔人に〕食はせよう。位置主。pa-...させる。
-ai 位置主。未來を表はす接尾辭。
4. phaŋail-ao 〔人々〕殺さう。客體主 < pahəŋqel 殺す
6. sa-usa ...の爲に行く。用具主。石。
7. maka-teju 三日間。原意。第三番目になる。
s-in-liŋ-an 焼いた時間。s-əm-ulip 焼く。
8. əsan < usa-an 位置主。ハルスの處。
9. hata < ma-oha-a-ta (?) さあ行かう。原意。我等行かう。
14. tərojun 轉がす物。客體主。t-əm-oroi 轉がす者。

- 1. "paok" sa naqowaq na halus / "zius"
バクッ へ 日 の ハルス ジュー
- 2. mutsi / si: kəta si: ʔənxal həməwəo halus
といふ 忽見 忽 一度 叫 ハルス
- 3. ro: / wal məhoqeil la /
而 去 死 了

げて行くと、ハルスはバクッと一呑に
した。するとジューといふ音がして、
ハルスは一聲叫ぶと、見てゐる内に死
んでしまった。

- 7. kai na qeipqənuŋan rəral
話 の 生活状態 昔
- 7. nano qo: / qeipqənuŋan məraho: rəral
何 は 生活状態 祖先の 昔
- 8. heja ga: / ini məlux səmə?wui məqo:mah /
其 は 不 氣晴に 疲 働
- 9. minβilaq βalai məqajanux ma / qəmajah
玄樂 實に 生活 さうだ 鳥
- 10. uzi ga: / si: supuŋ maosa məpo: poqeip
亦 は 其儘 計 成 十 株
- 11. tərakis / sowa? ini pe / qotux nəqaju
粟 何故 非 平 一 粒は
- 12. βowax pahpurun ləŋa: / qotux kəluβan
實の 所炊 したら 一 鍋
- 13. mami nija la ma /
飯は 其の なつたさうだ
- 14. nano kowara qo: naŋəqon uzi məga: /
何 昔 は 食物 亦 如其は
- 15. kija qo: sijaun ga: / si: owah nanak /
有 が 所欲物 すれば 自然 來 自分
- 16. nano e: məsqaolu βijowak qənahejun ga: /
何 時 飲食 豚を 山野の は
- 17. si: owah nanak βijowak qənahejun ro: /
自然 來る 自分 豚が 山野の 而
- 18. haoqan qotux βukil / əmukan na βaluku /
所採取 一 毛 所被 で 其
- 19. lawəon tsikai / gijahan ləŋa: / nux qotux
所待 少 所開 すると 有 一

7. 昔の生活状態の話
昔の祖先の生活状態は、疲れる程働
く必要がなく、實に安樂な生活であつ
たさうだ。鳥も、粟が十株出来る位に
見計らつて作つた。何故かといふに、
實を一粒炊けば、その飯は鍋に一杯炊
けたからさうだ。
掘、凡ての食物にしても、欲しい物が
あれば、自然と直に出て來た。山豚を
食ひたい時には、山豚が自分で出て來
た。而して毛を一本抜いて、箕で被う
て、暫くして開けて見ると、山豚の肉が
一山もあつた。鹿が欲しいときも亦、

6. q-eip-qənuŋ-an < q-in-qanux-an 生活状態。~ mə-
qajanux 生る。生活する。9行。
11. sowa? ini pe 何故か。原意。何故さうでないか。此處に
ては否定の意味なし。
12. pa-hpur-un < pa-hapui-un 炊ぐ物。客體主。pa-hapui
炊ぐ者。主體主。-i > -r となる例。ma-βəzi 買ふ者。
主體主。βəzi-un 買ふ物。客體主。
14. na-neq-on 常に食ふ物。客體主。kaŋ-eq 食へ。maŋeq
食ふ者。

15. sija-un 欲しい物。客體主。s-əm-əoja 欲しがらる。羨む。
主體主。
16. məs-qolu 食ひたい < qəolu 咽喉。
qənahej-un 山野に居る物 < qənahei 山野。
18. haoq-an 毛など體から抜とる。位置主。豚。 < həmə-
əoq 抜く。主體主。
əmuk-an 物を被ふ。位置主。~ əm-umuk 蓋する。主
體主。gijah-an 物を開く。位置主。~ g-əm-ijah 開く。
主體主。19行。

- 1 utu: hei? nija la / waqanux sijaun uzi
山 肉 其の 了 鹿 所欲 亦
- 2 ga: / ja:na sa uzi / nano kowara qo: qa-
すると 如 其 亦 何 皆 は
- 3 qasinu sijaun ga: / majai?a so:na sa / ka-
鹿類 所欲 は 不異 如 其
- 4 honeq uzi ga: / makajal mutsi "uqats ka-
薪 亦 は 互に話 といふ 無
- 5 honeq" læga: / nijal si: pahto: nanak /
薪が すると 来 自然 出 自分
- 6 qasija uzi ga: / majai?a so:na sa / nano e:
水 亦 は 不異 如 其 何 時
- 7 maosa qamalup ro: / mægaga ro: / məkäl
將行 狩 或 出草 或 訪問
- 8 lupiup ga: / si: si sa qaiñai ðowax læga: /
親戚 其時は 其儘置 へ 耳飾管 實を すると
- 9 ana musa ðasijaq ga: / ini 'inzizuwao
ても 行 久 やはり 不 用
- 10 naneqon ma /
食物 さうだ
- 11 ini la / maki? qotux qo sqoleq / si: nija
非 了 有 一 が 人 其儘 彼の
- 12 si pizux ðowax / pinhapui nija ro: / mæ-
置 多 實 炊いた物 彼の 而
- 13 tai loq laro: / æmukan nija / ðasijaq hazı /
未熟 それで 所蓋 彼の 久 少
- 14 gijahan nija læga: / si: kəta qo: puçits /
所聞 彼の すると 忽 見 が 雀
- 15 wal si: papitpits "pür" mələka / təpa
去 ながら チューチュー鳴 バタバタ 飛 止
- 16 sa apuk tanux / kəmajal puçits / "paðao
に 茅の穂 外の いふ 雀は 後
- 17 nja / si: ga laokah simo məqo:mah ga: /
其の 只 其時 努力 汝等は 働 其時は
- 18 ijats simo pəpəta?uzai / ini uzi ga: / soqon
非 汝等 飢 者 非 亦 やはり 所遂
- 19 mako mañeq / kija qo: qaçələpan læga: /
私の 食 有 が 意者等 すれば
- 20 ijats pəpaolu: naneqon" / ?ariñ kija si:
非 見附者 食物を から 其 只

8. si ~ s-om-i 置く。
11. ini la さうでなくなつた。
12. p-in-hapui 炊いた物 <p-hapui.
17, 20. si: ga 只其時は、只其時に限り si: 其のまま、其丈、
只、34頁註 4. ga... 其は、其時は、si: ga laokah 只
努力する其時に限り <laokah 強い。 si: ga pizux
p-in-qomah-an 只收穫の多い其時に限り、si: ga əsan

其通りにした。扱凡ての獸も欲しい
と思ふときは、其通りで變りはない。
薪も亦[薪が無い]といつて互に話する
と、自然に出て来た。水も亦其通り變
りはない。扱狩や、出草や、親戚訪問に
行く時は[穀物の]實をそのまま、耳飾の
竹管の中に入れて置くと、久しく滞在
しても、食物に困らなかつたさうだ。

[所が其が]さうでなくなつた。或人
が[穀物の]實を澤山入れて炊いたが生
煮だつたので蓋をした。暫くして開
けて見ると、雀が現はれて、チューチュ
ー鳴きながら、バタバタ飛んでいつて、
外の茅の穂に止つた。而して雀は[此
から後は、お前等は一生懸命に働けば
飢ゑはしないが、其でも私が食つてや
るぞ。又怠る者は食物に有りつかぬ
ぞ]といつた。其後は收穫の多い時に

q-əm-alup 只狩に行く其時に限り、比、51頁、5行、14行。
18. pə-pəta?uzai 飢ゑる、未來形、飢ゑるべき者、主體主、
ijats simo pə-pəta?uzai 汝は飢ゑるべき者でない、
飢ゑることはない、~ mata?uzai 飢ゑる。
19. qa-çələp-an いつも怠る者、~ mə-çelip 怠る。
20. pə-pa-olu 見附けるべき者、主體主、未來、~ m-udu 見
附ける。

- 1 ga / pizux piñqəmahan ga: mañeq la /
其時 多 收穫物 其時は 食者 了
- 2 nano qo: / qəsinu uzi ga: / pəsəjahəqan
何 は 獸 亦 は じれつたがる所
- 3 naha? / qotux qo: jaki / si: owah həmits
彼等の 一 が 老女 其儘 来 切取
- 4 qotux kinutan ja?a ro: / ?ariñ kija wal
一 片 大 それで から 其 了
- 5 taoqo qəsinu uzi ləro: / si: ga əsan qəma-
憤 獸は 亦したので 只其時 行時 狩
- 6 lup læga: / təmalam qəsinu la /
した時は 味はふ者 獸肉を 了
- 7 kahəneq uzi ga: / təminun qo: kənzeril
薪 亦 は 織 が 女
- 8 pahpui ro: / kamajal mutsi / "uqats kəho-
炊飯 而 いふ と 無 薪が
- 9 neq" / si: kəta / nijal si: pajahto: tu?up
忽 見 来 自然に 出 窓を
- 10 mo sa tsjinun ro: / mətsinzuwahom sə-
的中に 織物 それで 怒
- 11 ðəliñ nija kəhəneq / ?ariñ kija ini owah
所投 彼の 薪は から 其 不 来
- 12 nanak uzi la /
自分で 再 了
- 13 nano jasa qo: / a?ariñan si: ga laokah
何 其 は 起源 只 其時 努力
- 14 həmkəpi naneqon ətajal lægao /
獲 食物を アタヤルが あつたさうだ

8. kai na wal ma?ajupai sqoleq
話 の 了 成 猿 人

8. 猿 になつた人の話

- 10 nano sqo məraho: rə:ral maki? qotux
何 時 祖先 昔 居 一
- 11 qo: jaki na qaçələpan na sqoleq ma /
が 非常者の 懶者 の 人 さうだ

限り食ふ[ことが出来る]やうになつた。
扱獸も亦[毛を一本づつ抜いて箕で
蓋するのを]人々はじれつたがつた。
[それで或時]一人の老女が、いきなり大
きな肉片を一つ切取つたので、其から
獸も怒つて、狩に行つた時に限り、獸肉
を味はふ[ことか出来る]やうになつた。
薪も亦、[或]女が機を織つてゐた。[家
の人が]飯を炊かうとして、[薪が無い]と
いつた。すると[薪が]自然に窓から出
て、織物にぶつつかつた。[織つてゐた]
女は怒つて薪を投捨てた。其から薪
が自然に出て来なくなつた。
アタヤルが食物を一生懸命に捜す
様になつた譯は、其様な事であつたの
ださうだ。

扱、昔の祖先の時、非常な懶者が一人
居たさうだ。鼻に行つて[種を蒔いて]

1. piñqəmahan <p-in-qomah-an 鼻を作つて取つた物。
mə-qomah 鼻を作る。
2. pə-səjahəq-an じれつたがる、客體主、(?)原意、機會を
失ふと思ふ、~ səjəjahəq 取逃す。
3. si: owah いきなり、原意、來るなり直に。
h-əm-i:ts 一部分切つて取る。
4. k-in-ut-an 片、され、原意、切つた物、~k-əm-uts 切る。
5. 14. si: ga, 50頁、註、17, 20.

5. əsan <usa-an 行く時、-an 時を表はす。
8. 11. t-əm-inun 織る、ts-in-inun 織つた物。
11. sə-vəriq <sa-vəriq 投る其物、用具主、投る物も用具
と見る。
18. ma?ə-jupai 猿に成る <ma-ja-jupai, <jupai 織、比、
マコナン 本文 7. ma-qa-zupai 猿になる。
20. jaki 原意、祖母の義。

- 1 nano e: musa qamajah / tɔmuʔux karəri-
何 時 行 島 培 常に
- 2 jax məga: / si: nija hamutan mo sa βəβə-
さうださうさ 直に 彼の 所風暴 打當に 石
- 3 tunnx ro: / pəsqəhejao sa gamil na kahō-
或 引掛 に 根 の 木
- 4 neq pazeh / nano jasa qo: / qatəqotux
小鐵は 何 其は 度 毎
- 5 inowah ga: / ini jahoq məpahō: pazeh
行て来た 其時 不 漏 折 小鐵は
- 6 nija ma /
彼の さうだ
- 7 nano sqo: minxal / musa tɔmuʔux mə-
何 時 一度 行 培 さう
- 8 ro: / ini lawa βiʃaq məga: / məpahō: laozi
だが 不 待 久 さうだのに 折れる 又
- 9 pazeh nija ro: / si: kəta wal nija si: qarə-
小鐵が 彼の 而 忽 見 了 彼の 其儘
- 10 qəran sa βəliŋ qətsijan / wal mutʃi "puts"
所刺込 へ 孔 尻の 去 といふ スッと
- 11 "təqəraq təqəraq" məkarao kahōneq /
キヤッ キヤッ 上る 木に
- 12 nano qo: / βəβaiŋan na pazeh / wal nija
何 は 柄 の 小鐵 了 彼の
- 13 səqərqor βəliŋ qətsijan / heja ga: / təβəkil-
所刺込 孔へ 尻の 其は 所生毛
- 14 an ro: maʔəpuŋu na juŋai la / heiʔ nija
而 成 尾 の 猿 了 體 彼の
- 15 uzi ga: / təβəkilan ləma ro: / wal maʔa-
亦 は 所生毛 了さうだ 而 了 成猿
- 16 juŋai la ma /
了さうだ
- 17 kəmajal qo: wal maʔajuŋai qasa / "ijats
いふ が 了 成猿者 其の 非
- 18 sako pətaihok maʔaʔtajal / məqailəŋ sako
私は 適者 アタル出身 懶者 私は
- 19 məqo:mah / nano jasa qo: / nux sako
懶 何 其は 居此處 私は
- 20 maʔajuŋai / si: sako giwai ləmaosai ma-
成猿 其儘 私は 具 往來 食

2. hamut-an 無茶苦茶に…する物、風暴に…する物、用具主、ma-hamuts 変りにする、主體主。
3. pəsqəhejao 引掛ける。～ q-əm-əhejao 横杆で引掛けて起す。
4. qatə-qotux <qotu-qotux 一々、一度一度、<qotux 一。
5. inowah 行つて歸つて来た。～ m-owah 来る。
ini jahoq 漏れない、外れつことがない。～ z-im-ahōq

土を掛ける時は、彼はいつも、小鐵を石に打當てたり、木の根に引かけたりして、直に毀してしまつた。それで島へ行く度毎に、彼の小鐵は折れないことはなかつたさうだ。

或時、土を掛けに行つたところが、間もなく彼の小鐵は又折れた。すると彼は見る間に、其をその儘尻の孔へ刺込んだ。而してスッと飛んでキヤッキヤッといひ乍ら木に上つた。彼が尻の孔へ刺込んだ小鐵の柄は、毛が生えて猿の尾になつた。彼の體にも毛が生えて猿になつたさうだ。

その猿になつた者は、私は怠け者で、本當の アタル(人間)となるに適しない。其で私は猿になつた。私は此のまま、只彼方此方歩きまはつて、木の實

取殘す、z-in-ahōq-an 外れた物、見落した物、漏れた物。
9. 13. qarəqor-an 物を以て孔に刺込む、用具主、sə-qərqor 同上、一般現在。～ q-əmaraqor 刺込む、主體主。
12. βəβaiŋ-an 柄、原意、持つ爲の處。～ mi:ŋ 手(持つ)。
13. təβəkil-an 其處に毛が生える、位置主、<βəkil 毛。

- 1 neq βowai na kahōneq / mutʃi ro: / wal
賢な の 木 といふ 而 了 を 食ふのだ]といつて、其のまゝ後を見
- 2 si: βeq na soro / wajał əmalup sa ka-
其儘 與 以 背面 去 傳 へ せて、木を傳つて行つてしまつたさう
- 3 hōneq la ma /
木 了さうだ だ。

9. kai na wal maʔagao alaŋei
話 の 了 成 青鳩 子
kənaeril
女の

9. 青鳩になつた娘の話

- 7 nano sqo: məraho: rairal / makiʔ qotux
何 時 先祖 昔の 居 一
- 8 qo: alaŋei kənaeril / uŋats mətəsəswai /
が 子 女の 無 兄弟
- 9 nanak jaβa ro: jaja nija makiʔ / nano qo:
只 父 と 母 彼の 居 何 は
- 10 jaja nija ga: / si: nija pətajuwagi karəri-
母 彼の は 只 彼の 所使働 常に
- 11 jax / ini nija sii pəsal ijal qo: alaŋei
不 彼の 所置 家に 餘り は 子
- 12 kənaeril qasa /
女の 其の
- 13 nano sqo: minxal / minowah məgaga
何 に 或時 歸つた 出草
- 14 jaβa nija nijal məsnəhei məqowas / paog-
父は 彼の 來 成功 語 所聞
- 15 an nahaʔ nijal / aki musa məstanaq qo:
彼等の 來 欲 行 出會 は
- 16 alaŋei nija kənaeril / məsina sənəsinju:
子 彼の 女の 要求 種々の頭飾
- 17 ga: / tu:n nija mutʃi "usa məpəpa kahōn-
が 所遣 彼の といふ 行け 負 勤を
- 18 eq haʔ / taihok qo: alaŋei nija kənaeril /
一寸 到 は 子 彼の 女の
- 19 minowah məpəpa kahōneq / "nijal səoβeh
歸つた 負 勤を 來た 近
- 20 hazi la / ita sinju: aja" mutʃi kəmajal
もう よ 下さい 頭飾 母よ と いふ

扱昔の先祖の時、一人の女の子があつた。兄弟はなく、彼女の父と母と丈が有つた。彼女の母は常にその娘を働かせるばかりで、餘り家に置かなかつた。

或時父は出草に行つたが、成功して歌を語ひながら歸つて来た。母子は「父が歸るのを知つた。娘は迎へに行きたいので〔盛装用の種々の頭飾を要求したが、母は「一寸薪を取りに行け」といつて遣つた。娘は行つて、薪を負つて歸つて来た。〔父さんは]もう近くへ来た。頭飾を下さい、母さん」といつた

2. si: βeq na soro 其のまま背を向ける、原意、背を與へる、na は背を用ゐて與へることなるといふ義。
5. maʔagao 青鳩に成る <ma-ga-gao <gao 青鳩、比、タコナン 本文、8. ma-ka-kowalits 處に成る <kowalits 處。
8. mətə-sə-sowai 兄弟、<sə-sowai 年少者。
10. pətə-juwagi-i 人に仕事させる、客體主、mətə-juwao 仕事する。
14. paog-an 其を聞く、客體主、mug 聞く。
16. sənə-sinju: 頭飾、複数、原意、s-in-ju: 纏つた物、纏く s-əm-iju: 纏る。
17. tu:n <tu-un 行かせる、遣る、客體主、t-əm-u 同上、主體主。
18. haʔ <han 一寸などの義。
20. sinju: 註16。
aja 母よ、呼ぶ時に用ゐる。jaja 母 <i-aja. i- は人名詞の冠詞。

- ¹ ga: / ini nija ßeqei ro: / pusaon nija paißul
不 彼の 所興 而 所使行 彼の 渡
- ² qasija laozì / taihok minowah maißul /
水を 再 到 歸つた 渡
- ³ kjalun nija jaja nija / mutsi "nijal ßalai
所言 彼の 母は 彼の と 来た: 甚
- ⁴ saozeh jaða la / aja haehazi ita sinju:
近 父は よ 母よ 早く 下さい 頭飾
- ⁵ mako" mutsi ga: / ini nija ßeqei / tæqali-
私の といふ 併 不 彼の 所興 冷淡
- ⁶ han nija ßalai / pætæjuwagun nija laozì /
彼の 甚 所使働 彼の 再
- ⁷ si: kætã qo: wal tanux / "ßur" mutsi wal
忽 見 は 去 外に バタバタといふ 去
- ⁸ mälaka /
飛
- ⁹ asan mita ni jaja nija læga: / si: kætã
所行 見 の 母 彼の すると 忽 見
- ¹⁰ tsux tæpa lælu: na lowax / tsux mahapao
居 止 梢に の 枯木 居 休
- ¹¹ la / si: ʔænakux jaja nija sausa nija ma-
了 突然 驚 母 彼の 行く譯 彼の 取
- ¹² gal sinju: / ana nija pæsi:jan mutsi "ni:
頭飾を 譯 彼の 見_{efi}と_{sa}所 といふ 此處よ
- ¹³ sinju: so haehazi owah / nijal jaða la" san
頭飾 汝の 早く 来い 来た 父は よ 所言
- ¹⁴ nija ga: / tsux si: tæmæmælux "wa:u wa:u"
彼の 併 居 じつと 黙 ワーウ ワーウ
- ¹⁵ mæqowas / wal maʔagao la ma /
歌 去 成 青鳩 了さうだ

10. kai na ginʔariþan matas
話 の 起 原 入墨の

- ¹⁹ nano sqo: mæraho: ra:ral / makiʔ qo:
何 時 祖先 昔 居 が
- ²⁰ mætsisowai kænæril mælikui / ana mætæra-
兄弟 女(姉) 男(弟) 類 成熟

- 1. ini nija ßeq-ei 彼が[人に]興へない。位置主。原意。彼の興へる所の人でない。
- p-usa-on 行かせる。客體主。~ m-usa 行く。
- 5. tæ-qælih-an 人に對して冷淡にする。位置主。~ mæ-qaleh 水が濁れる。
- 11. sa-usa <sa-usa 人の爲に行く。用具主。m-usa 行く。
- 12. pæ-si:ja-n <pæ-saoja-an 見せびらかす。位置主。原意。

が、母は其を興へないで、又水汲みに遣つた。水を汲みに行つて歸つて来ると、娘は母に「お父さんが大變近くへ来た。母さん早く私の頭飾を下さい」といつたが、母は興へない。母は實に冷淡で、意地悪く、又娘に仕事をさせたので、娘は見ている内に外に出て、バタバタと音をさせて飛んでいつてしまった。

母が見に行つた。見ると娘は鳥になつて枯木の梢に止つて休んでゐた。母は驚いて頭飾を持って来て「お前の頭飾を上げるよ。早く来い。お父さんが歸つたよ」といつて「頭飾を」見せびらかしたが、じつと知らぬ顔してワーウ、ワーウと歌つてゐた。而して青鳩になつて行つてしまつたさうだ。

10. 入墨の起原の話

往昔の先祖の時、姉と弟との兄弟があつた。年頃になつても弟は貰ふべ

- 欲しからせる。羨しからせる。~s-om-aoja 欲しがる。ni: <qani 此、此處に在る。比。Mal. ini 此、此處。
- 20. mætsi-sowai 兄弟 <mætsæ-sowai <sa-sowai 年少者。mætsæ-raho: 成熟。~ mæ-raho: 顔目、祖先。

- ¹ ho: mærakijas ga: / upats qo: gægalun kæ-
成長 併 無 が 可取者
- ² næril naqo: sæsowai mælikui / sægalu ßa-
妻に の 年少 男 所_{efi}情 甚
- ³ lai na qaßasujan nija kænæril / saosa nija
の 年長 彼の 女 行く譯 彼の
- ⁴ hæmkapi kænæril ga: / ini nija ansʔælu: /
携 妻 併 不 彼の 所見附
- ⁵ læmæpælun qo: qaßasujan nija kænæril
考 は 年長者 彼の 女
- ⁶ mæro: / "aki hæmsowaʔ / pætæjugun ta
而 かしらん 成如何 所使變化 我等の
- ⁷ qo: ʔinrækijasan / aki kisjagun" /
は 姿 欲 所欺
- ⁸ nano jasa qo: / kjalun nija sqo: minxal /
何 其 は 所話 彼の 時 一度
- ⁹ sæsowai nija mælikui / "tsux miso sæʔælu:
年少 彼の 男 有 我的汝 爲: 見附:
- ¹⁰ qotux kænæril / mækaxa usa magal / pæ-
一人 女 明後日 行け 併来
- ¹¹ naga sqo: sægagai zik na poqeip kahoneq"
使待 に 岐路 下の 根本 木
- ¹² san nija ro: / mæqais ßalai sæsowai nija /
所言 彼の それで 甚 弟は 彼の
- ¹³ jasa qo: rijax pinsæsaonan nahaʔ læga: /
其 は 日 約束した時 彼等の なる
- ¹⁴ musa lama kija qaßasujan nija ro: / pætã-
行 先に 其處 年長者は 彼の 而 所入
- ¹⁵ san nija na iloh raqejas nija / lama mætã-
墨 彼の で 墨 顔は 彼の 先に 坐
- ¹⁶ ma zik poqeip na kahoneq sægagai / ska
下 根本 の 木 岐路の 中央
- ¹⁷ wagi pinsæsaonan nahaʔ / musa ßalai mita
太陽 約束した時 彼等の 行 實際 見
- ¹⁸ qo: sæsowai nija ro: / si: kætã jasa ßalai
は 弟 彼の 而 忽 見 其 實に
- ¹⁹ kai na qaßasujan nija mutsi / tsux mæna-
話 の 年長者 彼の 如其 居 待

き妻がない。彼の姉は大に同情して、彼の爲に妻を捜しに行つたが見附からなかつた。彼の姉は考へて、自分の姿を變へて「弟を」欺いたらどんなものであらうと思つた。

其處で或時、姉は弟に「私はお前の爲に一人の女を見つけておいた。明後日速れに行け。分れ路の處の木の下に待たせてある」といつたので、弟は大變喜んだ。

約束した其の日になると、彼の姉は先に其處へ行つた。而して顔には墨で入墨して、豫め分れ路の處の木の根本に腰を掛けてゐた。約束した日の正午に弟が本當に行つて見ると、果して姉が話した通り、入墨した女が其處に待つてゐた。本當に其處に居たの

- 1. gæ-gal-un 取るべき物。又人。客體主。~magal 取る。
- 2. sæ-galu <sa-galu 其人の爲に同情する。用具主 <galu 愛。
- 3. qaßasuj-an 年長者。比。Tag. kapatid.
- 4. ini nija ansʔælu: 彼が見附けてやれなかつた。故意でなく不可能の義。弟はその妻を姉に見附けて貰へなかつたといふ義。an- …してやる。s <sa …の爲に。ʔælu: ~m-ælu: 見つける。
- 6. pætã-jug-un 變化させる。客體主。姿を他の形に變へる。~ʔæm-ju: 變へる。

- 7. ʔin-rækijas-an 姿。原意。成長した形。mæ-rækijas 成長する。
- kisjag-un 欺く。客體主。misijao 同上。主體主。
- 9. miso <mo iso <mako iso 私の汝は。tsux miso sæʔælu: 私が汝の爲に…を見附けておいた。原意。汝は私の[女を]見附けておいた理由の人。
- 13. p-in-sæ-saon-an 約束した時。mæ-sæ-sun 互に約束する。原意。互にことづける。~ s-om-un ことづける。あつらへる。
- 14. potas-an 入墨する。位置主。matas 同上。主體主。

- ¹ ga kija kōnaeril potasan / tsux kija ʔalai /
其處に 女が 入墨 居 其處 本當に
- ² ʔrasun nija ʔasal ro: məskōnaeril / ʔariŋ
所伴來 彼の 家に 而 成 夫婦 から
- ³ kija məʔəhojao heiʔ nahaʔ la ma / nano
其 類 人数は 彼等の 了さうだ 何
- ⁴ jasa qo: ʔaʔariŋan na / si: ga potasan ga:
其 は 起原 の 只 時のみ 入墨 その時
- ⁵ musa sqaleqan /
往 人に
- ⁶ ginʔariŋan pətəlehoi heja ga: / pinskija:
起 原 類の入墨 其 は 日印
- ⁷ ja nahaʔ sqo: kija qo: magal paləmukan /
彼等の な 有 が 取 本島人
- ⁸ mutši qotux qo: kai ga: / qotux qo: kai
といふ 一 は 話 併 一 は 話
- ⁹ uzi ga: məsoq məpəsʔo:qo / e: məsparis
尙 は しまふ 誤殺 時 計敵
- ¹⁰ ro: / pinskija:ja nahaʔ ijats pəsʔo:qo / e:
それで 日印 彼等の 非 誤殺 時
- ¹¹ mətəʔi:reŋ / mutši qo: kai na məraho:
戦 争 さういふ は 話 の 祖先
- ¹² rairal /
昔

11. pusanəq maagal qo
不吉 互結婚 が

mətəsəsowai
兄弟姉妹

- ¹⁶ nano sqo: rairal ha ga: / si: hamuts
何 時 昔 其 は 只 変りに
- ¹⁷ maagal ana mətəsəsowai ma / nano sqo:
取合 難 兄弟 さうだ 何 時
- ¹⁸ minxal / makiʔ qotux qo: mətəsəsowai
一度 居 一 が 兄弟
- ¹⁹ kōnaeril ro: məlʔkui / nano sqo: qotux
女(姉) と 男(弟) 何 時 一
- ²⁰ kinməhəŋan məgīlu: maʔaʔi / mətuleq
夜 一 緒 寝 起

2. ʔras-un 伴ふ。客體主。om-aras 同上。主體主。
6. p-in-s-kija:ja 日印。標識。印をつけた物。pas-kija:ja 印
をつける。手掛を作る。~k-om-ijaja 窺ふ。探る。
9. mə-pəs-ʔo:qo 互に誤る。məp-ʔo:qo 誤る。間違へる。
11. mə-tə-ʔi:reŋ <mə-tə-ʔi:reŋ 戦争。原意。互に引掛
けあふ。~t-om-ireŋ 釣針。畏などで引掛ける。絡
める。

で、彼は家に連れて歸つて夫婦になつた。其から彼等の人数が殖えたさうだ。入墨してからでないといふと人に嫁がないといふことの起原は、其から始つたのだ。類の入墨の起原は、一説には、本島人の首を取つた事の有るといふ目印だといふが、尙一説には、敵と戦ふ時に誤つて味方を殺してしまつた事があつたので、戦争の時に誤ることの無い爲に、彼等の目印にしたのだと、昔の祖先はさういつてゐる。

11. 兄弟姉妹の結婚は

不吉

援昔は兄弟姉妹でも、無暗に夫婦になつたものさうだ。或時姉と弟との兄弟があつた。而して或晩(二人は)一緒に寝た。女の母が朝起きて娘に、「晝になつた。飯を炊け」といふと、娘は、

14. ma-agal 互に取り合ふ。男女互に關係すること。~m-agal 取る。
15. ha <heja 其。
20. kin-məhəŋ-an 夜の時。məhəŋ-an 夜。mə-tuleq 起る。ini tə-tuleq 起きない。57頁4行。tə-tuleq-on 起す。其の人を。客體主。57頁6行。

- ¹ sasan jaja nija ro: / kja:lun nija qo: ala-
朝 母 彼の 而 所話 彼の は 子
- ² qei kōnaeril / "nux qalijan la / haehazi
女の 成 晝 了 早
- ³ pahpui mami" san nija ga: / "nux maxal
炊け 飯を 所言 彼の 併 居 格
- ⁴ tunux mako" mutši ro: / ini tətuleq pa-
頭 私の といふ 而 不 起
- ⁵ hapui / nano jasa qo: pahpujan ni jaja nija
炊 何 其は 所炊 の 母 彼の
- ⁶ la / mahoqeil pinahapui ləga: / tətaleqon
了 煮える 所炊物 そこで 所使起
- ⁷ nija mutši "kaneq mami" ga: / "nux sako
彼の といふ 食へ 飯を 併 居 私は
- ⁸ mənəʔuʔ" mutši ro: / ini tətuleq kowara
病 といふ 而 不 起 皆は
- ⁹ nahaʔ saziŋ / nano jasa qo: / masʔaŋ jaja
彼等の 二人 何 其は 怒 母は
- ¹⁰ nahaʔ / mutši "ka simo si: loheiq mənə-
彼等の といふ だらう 汝等 其儘 續 病
- ¹¹ ʔuʔ la / kaneq tsikai haʔ" san nija ga: /
よ 食へ 少 一寸 所言 彼の 併
- ¹² ini ʔalai sowajal /
不 實に 承諾
- ¹³ kiʔa səneja:jo:hom ijal la ro: / si: nija
恐らく 立腹 餘り了それで 直に 彼の
- ¹⁴ gəlaqei haheilao la ma / kəta:n ga / nux
所割 布圍 了さうだ 所見 すると 居
- ¹⁵ si: pətəgi:ʔa ini pətəʔalax / pəsəhoatan ni
じつと 抱合 不 難 所引難 の
- ¹⁶ jaja nija qo: saxa ro: / si: kəta nux ma-
母 彼の は 一人 而 忽 見 居 關係
- ¹⁷ aŋal ro: nux pəkikil / si: ʔənəkux jaja
而 居 引掛 怒 驚 母
- ¹⁸ nija / ana nahaʔ kəraʔaŋan pəskəlu: ga: /
彼の 難 彼等の 所加勢 引張 併
- ¹⁹ ini thajazi / nano jasa qo: / si: nahaʔ
不 所能 何 其は 其儘 彼等の
- ²⁰ hakasi hamətup qəiŋqajanux .naqo: məli-
所逐 切斷 生殖器は の 男

「私は頭痛がしてゐる」といつて、起きて炊かなかつた。それで母が炊いた。飯が炊けたので、母が起して「飯を食へ」といふ、「私は病氣してゐる」といつて、彼等二人は何れも起きない。そこで母が怒つて、お前等はそのまゝ續いて病氣になつてしまふではないか。少し食へよ」といつたが、どうしても承諾しない。

残り腹が立つたものと見えて、母はいさなり布圍を割いださうだ。見ると二人はじつと抱合つてゐて離れない。母が一人を引離さうとすると、二人は關係してゐて、離脱しない。母は驚いた。人々が来て加勢して、引張つたが出来なかつた。それで彼等は「止を得ず」男の局部を切斷した。すると、

6. mahoqeil 煮える。果實など熟する。死ぬ。
10. ka 或は、恐く。<kiʔa ...だらう?>
si: loheiq そのまま續く。轉じて序に...する義となる。
13. s-om-ə-ja-johom 立腹する。肝癪を起す <johom 肝。
14. gəlaq-ei 物を割ぐ。位置主。g-om-ulaq 同上。主體主。
ha-heilao 布圍。原意。被ふ具。かぶる具。<h-om-ilao かぶる。

15. pətə-gi:ʔa 抱合ふ。~g-om-ija 抱く。
pətəʔalax 離れる。~ʔom-alax 止める。
16. saxa 一人。一方。<su-xa 其の一?> xa. 比. IN. sa 一。
18. kə-raʔaŋ-an 人に加勢する。位置主。r-om-aʔo: 助ける。
19. thajazi 事に堪へる。出来る。能ふ。客體主 <tahojai 主體主。

- ¹ kui ro: wal si: pəsgagai mahoqeil ko-
而 了 直に 離 死
- ² wara naha? /
皆は 彼等の
- ³ ləməpəlun kowara ətajal / ki?a nux
考 皆 アタヤル 恐らく 有
- ⁴ kəs?əpən na utux / nux maagal nanak
怒 の 神 居 関係 只
- ⁵ qətuχ tunux na βuβu məro: / nano jasa
一 頭 の 乳 それで 何 其
- ⁶ qo: / makajal / ?ariŋ kija maowajao qo:
は 相談 から 其 擇 は
- ⁷ mətəsəswai / ?a?ariŋan naqo: pəsaŋeq /
兄弟姉妹 起原 の 不吉
- ⁸ maagal qo: mətəsəswai ro: gəlu: la /
関係 が 兄弟姉妹 或 血族 了

忽ち離脱したが、同時に二人共死んで
しまった。

[そこで]蕃人等は皆此は同じ乳房か
ら乳を飲んだ者同士が関係したので、
神の怒を被つたのであらうとさう思
つた。其で皆相談して、其から兄弟姉
妹は(別に)其の配偶を選ぶことになり、
兄弟や血族が夫婦になるのは不吉の
原因といふことになった。

12. kai na wal ma?atəkara
話 の 了 成 雄鳩

- ¹¹ nano sqo: rəral / maki? qotux qo: qa-
何 時 昔 居 一人 が
- ¹² qələpan na kənaeril ma / musa qəmajah
怠惰者 の 女 さうだ 行 島
- ¹³ karərijax məga: / upats ana qotux qo:
常に 併 無 も 一 は
- ¹⁴ inowahan nija maqo:mah / si: giwai musa
往つた痕跡 彼の 耕作 只 而已 往
- ¹⁵ mətsisal karərijax ma / ana βalai kəs?a-
常に さうだ 理 本當に 叱
- ¹⁶ ŋun ga: / ini galəgi ləga: / ini usa məteju-
併 不 伴行 ければ 不 往 働
- ¹⁷ wao ana tsikai /
も 少
- ¹⁸ nano sqo: minəxal / tu:n naha? mutši
何 時 一度 所遺 彼等の といふ
- ¹⁹ "usa səmilai siŋuts" ro: / ska waŋi əsan
行け 打落 木豆を 而 中央 太陽 所行
- ²⁰ naha? təpətsiŋ ga: / upats ana tsikai tsin-
彼等の 従後 併 無 も 少 打落

12. 雄鳩になった話

扱昔或時、懶者の女が一人居たさう
だ。いつも島に行くが、彼女が行つて
仕事した痕跡が一つもない。いつも
遊にばかり行つたさうだ。如何に叱
つても、(親が)連れて行かないと、少しも
仕事に行かない。

或時、父母が彼を島へ遣つて「木豆を
打落しに行け」といつた。正午に彼等
が後から行つて見たが、彼が木豆を打

4. kəs?əpən 叱る。客體主。mas?əp 同上。主體主。
8. gəlu: 血族。原意。一緒。共同。qotux gəlu: 一族。
10. ma?atəkara 雄鳩に成る <ma-ta-təkara <təkara 雄
鳩。比。タコナン 本文 8. ma-ka-kowalits 處に成る
<kowalits 處。

14. in-owah-an 行つた痕跡 ~ m-owah 行く。
16. galəgi-i 人を伴れて行く。客體主。原意。人と共同して…
する。<gəlu: 註 8。
20. təpətsiŋ 後に従ふ。<putsiŋ 後。
tsi-in-tsiŋ-an 叩落した跡。t-əm-tsiŋ 離。大鼓などたた
く。

- ¹ tsipan nija siŋuts ro: / ana naha? haka-
した跡 彼の 木豆を 而 ては 彼等の 所遺
- ² ŋijun ga: / ini naha? lui / nano jasa qo:
やはり 不 彼等の 所見附 何 其 は
- ³ si: naha? laçi kija la / laomun naha? qo:
其儘 彼等の 所止 其處 了 所燒 彼等の は
- ⁴ ?inutu: sjuŋ / sinalajan siŋuts / ?ariŋ mətə-
積んだ物 屑 打落した物 木豆 始 起
- ⁵ hojai qo: pūneq ləga: / si: kəta wal mutši
が 火 すると 忽見 去 といふ
- ⁶ "βur" məlaka kahol sqo: ?inutu: sjuŋ /
バタバタ 飛 出 から 積んだ物 屑
- ⁷ qotux təkara ma / kəmajal məro: / "mə-
一 雄鳩が さうだ いふ 而
- ⁸ qailəŋ sako məqo:mah ro: / jasa qo: nux
忍 私 は 働 それで 其 は 居此處
- ⁹ sako ma?atəkara / si: ko giwai maneq
私は 成 雄鳩 其儘 私は 只 食
- ¹⁰ qairəŋ ro: βowai na kəhoŋeq" mutši ro: /
豆 や 實 の 木 といふ 而
- ¹¹ wal məlaka la ma /
去 飛 了 さうだ

落した形跡が少しもない。彼等が搜
しても見附からないので、彼等はその
まゝにして搜すのを止めた。而して
彼等は打落して積んである、木豆の殻
を焼いた。火が起り始めると、突然積
んだ殻から、一羽の雄鳩が出て、バタバ
タと飛んで行つたさうだ。[而して]私
は働くのを怠つたので私は雄鳩にな
つた。私は此からは只豆や木の實を
食ふ斗りだといつて、飛んで行つてし
まつたさうだ。

13. kai na məqaso: hei? ətajal
話 の 分ける 人数を アタヤル
ke skhamajun ro: ?a?ariŋan
と スカハマユン 而 起原
na məgaga
の 出草

13. スカハマユンとアタヤ

ルが人数を分けること、
及び出草の起原の話

- ¹⁴ nano qo pinsəkan na məraho: rəral /
何 は 豊祥の地 の 祖先 昔
- ¹⁵ si: ?ingəgiŋuts məβəho: jao hei? naha? mə-
自然に 段々 殖 人数が 彼等の そ
- ¹⁶ ro: / ana nənəqon ini taihok / si: ?inziŋu-
れでも 食物 不 足 自然に 困る
- ¹⁷ wao βalai ma /
甚 さうだ
- ¹⁸ nano jasa qo: makajal / mutši "aki
何 其 は 相談 といふ かしらん
- ¹⁹ həmsowa? / musa ta hamkaŋi / maosa
如何しよう 行 我等 搜 成

扱昔の祖先發祥の地は、彼等の人数
も段々と殖えたので、食物も足りなく
なり、自然と困る様になつたさうだ。
そこで相談して、如何すれば良いか
しらん。我々の一部の者の子孫が生

3. laçi 事を止める。客體主。əm-alax 同上。主體主。
laom-un 山など焼く。客體主。l-əm-aom 同上。主體主。
4. ?in-utu: 積置れた物。?əm-utu: 積置れる。
5. in-alaj-an 打落した物。s-əm-ilai 打落す。

9. si: ko giwai そのまゝ私は只。ko<sako 私。
14. skhamajun 本来山地に居住したる種族なるがアタヤ
ルの島に驅逐され平地に下りたるものなりといふ。

- ¹ gəlaʒəŋ qaʒənuxan na alaʒei ruma heiʔ
廣 生活する處 の 子孫 或る者 人数
- ² ta" mutʃi ro: / "nano jasa ga məqasaga
我等の といふ 而 何 共 なら 分けよう
- ³ ta heiʔ ro: / hala sami hamkaŋi kakiʔan
我等人数を 而 行 我等は 搜 居住地
- ⁴ tai saiŋ" mutʃi ro: / aki məqaso: heiʔ ga:
方 前山 といふ 而 欲 分 人数 併
- ⁵ kəmajal qo: məmaosa tai saiŋ / "nowai
いふ が 將行人 方 前山 宜しい
- ⁶ ta ini pələləpugi ro: / həmowaga ta ro:
我等は 不 数 而 叫ぼう 我等 而
- ⁷ kija qo: tsikui henowau ga: / towəŋai ta
共 は 少 叫んだ聲 は 所可足 我等の
- ⁸ ro: pəsəspuŋəo ta" mutʃi / musa masəli
而 所可比 我等の といふ 行 集
- ⁹ qəsʒap saxa nahaʔ ro: / skhamajun qo:
向ふに 一方は 彼等の 而 スカハマユンは
- ¹⁰ minʔariŋ həmowau / ʒaʒəo nja ləʒa: ətajal
始 叫 後 其の ところで アタヤル
- ¹¹ qo: həmowau la / kətan məga: / həmiʒi:
は 叫 了 所見 すると 優
- ¹² nas henowau naqo: ətajal heja / si: kajal
叫聲 の アタヤル 共 直に いふ
- ¹³ qo: məraho: na skhamajun / "khamai
は 頭目 の スカハマユン 大勢
- ¹⁴ simo heja / towəŋi tsikui heiʔ mijan"
汝等 共 足せ 少 人数 我等の
- ¹⁵ mutʃi ro: / towəŋan nahaʔ laozi / "ao
といふ 而 所足 彼等の 再 あい
- ¹⁶ ʒaq" / nux ləmaqeŋ heiʔ qo: skhamajun
分つた 居 隠す 人数を は スカハマユン
- ¹⁷ heja / məsəspuŋ həmowau laozi ga: / ma-
共 比べる 叫 再 すると
- ¹⁸ imao məzui rəŋijax tsŋgətəŋan henowau
知 動 山が 所 聲 叫んだ聲の
- ¹⁹ naqo: skhamajun / həmowau qo: ətajal
の スカハマユン 叫 は アタヤル
- ²⁰ heja ga: / ini ʔariŋ / nano jasa qo: kəma-
共 併 不 始 何 共 は いふ

活の出来る廣い處を搜しに行かうといふ。[擬共ならば我々は人数を分けよう。而して前山方面に居住地を搜しに行かう]といつて、人数を分けようとしたが、前山方面に行く人は、我々は数へるには及ばない。[大聲で]叫んで見よう。其の叫んだ聲の少い方へ[人数を]足して、比べて見よう]といつて、彼等の一部は向ふへ行つて集つた。而してスカハマユン(前山の方の群)は始めに叫んだ。其の後にアタヤルが叫んだ。するとアタヤルの叫聲が優つてゐたので、スカハマユンの頭目は直に「お前等の方が大勢だ。我々の人数に少し足せ」といつた。それでアタヤルが又人数を足してやつた。そこで再び叫聲を比べると、スカハマユンの叫聲は山を動かす程であつた。あゝ分つた。スカハマユンは[先に]人数を隠してゐたのであつた。[次に]アタヤ

2. mə-qasag-a ta 我等は分けよう。 mə-qaso: 互に分ける。 -a 未來、主體主。
3. kakiʔ-an 居住地。 makiʔ 居る。
5. mə-maosa <ma-ma-usa 行かんとする人、行くべき人。未來、主體主。 ~m-usa 行く。
6. hə-m-owag-a ta 我等は叫ぼう <həm-owau 叫ぶ。 -a 未來、主體主。 hə-m-owau 叫んだ聲。 7行、12行。

7. towəŋ-ai 共に足さう。 t-əm-owag 足す。 -ai 未來、位置主。
7. 12. hənəwau 註.6。
8. pə-sa-spuŋ-ao 物を比べよう。 mə-sa-sapŋ 比べる <supuŋ 量る。 -ao 未來、客體主。
14. towəŋ-i 共に足せ。 位置主、命令。 towəŋ-an 共に足す。 位置主。 15行。

- ¹ jal qo: məraho: na ətajal / "sowaʔ simo
が 頭目 の アタヤル 何故 汝等
- ² taqəro: laqeŋun mamə ruma heiʔ mamə"
欺 所隠 汝等の 或る 人数 汝等の
- ³ san nija kəmajal ma / si: kajal qo: məra-
如其 彼の いふ さうだ 直に いふ は 頭目
- ⁴ ho: skhamajun / "nowai ana qo: khamai
スカハマユン 宜しい 聲 が 大勢
- ⁵ sami ga: / kija qo: miʒiʒuwao mamə ga: /
我等は 併 有 が 紛争 汝等の すれば
- ⁶ owahei sami məgaga / ʒilaq inaras mamə
来い 我等 出草 良 提出した 事件 汝等の
- ⁷ ga galun sami / jaqeh inaras mamə sileq
ければ 所取 我等は 惡 提出した 事件 汝等の 島判断
- ⁸ ga: / ijat simo pəsəhojai / laçi lux jaqeh
ければ 非 汝等は 成効者 勿 妄 惡
- ⁹ kəsuleq mamə" mutʃi məro: / məsəgəi
心 汝等の といふ 而 互別
- ¹⁰ la / nano jasa qo: wal laheŋan na mi-
了 何 共 は 來 所傳 の
- ¹¹ nʔariŋ məgaga / mutʃi kai naqo: məraho:
始 出草 如此 話 の 先祖
- ¹² ra:ral ma /
音 さうだ

ルの方が叫んだが、叫はない。それでアタヤルの頭目は「何故お前等は欺か。お前等は一部の人数を隠してゐた」といつたさうだ。スカハマユンの頭目はすかさず、我等は大勢でも構はないではないか。お前等に紛争事件がある時は、我等の處へ出草しに來い。お前等の伺事(鳥占)が良ければ、我々は首を取られるし、お前等の伺事が悪ければ、お前等は成効しない。お前等は[人数が少いとて]さう心配するな」といつて別れた。擬出草の起りについての言傳は其様なものと、昔の祖先はさういつてゐる。

14. kai na kiŋgwagan skhamajun ni ləkamaʒuta
話 の 所編述 スカハマユンの 故人 アタ

14. アタがスカハマユンを追拂つた話

- ¹⁰ nano sqo: makiʔ pinsəʔkan kowara qo:
何 時 居 豊祥地 皆 が
- ¹¹ ətajal haga: / kiʔan na skhamajun kowa-
アタヤル 共は 居處 の スカハマユン 皆
- ¹² ra / qatəqotux linhogan na lejjuŋ / ʔariŋ
一つ一つ 流域 の 川 始

擬[昔]アタヤルが皆[祖先の]發祥地に居た時には、川の一つ一つの流域は皆スカハマユンの居住地であつた。即

5. mi-ʒi-ʒuwao 紛争。原意、種々の事件が起る。 <ʒuwao =juwao 事。
3. owahei sami 我等に來い。位置主、命令。原意、我等は汝の來る處ぞ。
7. in-aras 提出したもの。客體主。原意、持つて來た物 <ʔəm-aras 持來る。持行く。
8. laçi-i …するな。原意、止めよ。客體主、命令。 ~ʔəm-alax。

10. wal laheŋ-an 傳來になつた事 <loheŋ 續く。
16. ki-ŋ-gwag-an 追拂つた者、持拂した者。客體主。 ~kəm-agao 掃く。
17. ləka-ma-ʒuta 故人のアタといふ者。 ləka <laka 故人、死んだ人。 ma… といふ者。
20. l-in-hog-an 流域 l-əm-oho: 川。又は流線など連續して物が通る。

- ¹ leljun tejuku qasa ro: / leljun kalaisan /
川 タロコ蕃 あの 前 川 南澳蕃
- ² leljun naβowan / leljun taranan / leljun sa-
川 溪頭蕃 川 新店蕃 川
- ³ βotutux / leljun tsinβulan / leljun linahoi /
大溪蕃 川 上坪蕃 川 大甲蕃
- ⁴ leljun pizino / mēta'to haβun taββiran /
川 大安溪蕃 到まで 合流點 白毛附近(?)
- ⁵ mutsi kai na mōraho: ra:ral / nano qo:
さういふ 話は の 祖先 昔の 何 は
- ⁶ skhamajun qasa mēga: / minsagai sqo:
スカハマユン 其の といふは 分れる から
- ⁷ kinmōrahagan ra:ral na ətajal mōro: /
祖先 昔の の アタヤル といふので
- ⁸ mōlalaosai uzi hama /
互往來 又 さうだ
- ⁹ nano qo: / gin'arijan naha? mōsijaqeh
何 は 起 原 彼等の 不和
- ¹⁰ ke ətajal mēga: / musa mōlata qo: alaβei
と アタヤル といふは 往 狩 が 蕃丁
- ¹¹ na ləkamaβuta mōro: / kija mōtsisal sqo:
の 故人 アタ 前 其處 遊 で
- ¹² skhamajun / mutsi nannak qo: uloh nau-
スカハマユンの 處 一人 只 が ウロホ ナウ
- ¹³ wi ro: kija gēmōnnao / tēmriβ βuβu na
ウイ 前 其處 遊戯 觸 乳房に の
- ¹⁴ mōkrakits mōro: / mas'əβ qo: mōtəsəso-
處女 といふので 怒 は 兄弟
- ¹⁵ wai nija / wa:l naha? si: ginhaju-i kōmuts
彼女の しまふ 彼等の 其處 窓に…する所 殺
- ¹⁶ la ma / nano jasa qo: / mas'əβ qo: lōka-
了さうだ 何 其 は 怒 が 故人
- ¹⁷ maβuta / "sowa? ana qo: henijapas / waja
アタ 何故 雖 だ 戲所爲 成了
- ¹⁸ naha? sōkuts / nux piβaβ tēmōjapeq skha-
彼等の 殺す譯 居 故意に 挑 戦 スカハ
- ¹⁹ majun qani la / anai ta saroro ro: / sōna-
マユン 此の のだ といふ 我等の 所追 而 所交代

- 4. mō-ta'to 到るまで、原意、一々…する、一つ残らず…す
る。t-əm-a'to 越密、丁寧に…する。ta'tu-un k-əm-ajal
一々委しく話す。
- 7. kin-mōrahag-an 祖先の處。mōraho: 祖先。
- 8. mō-la-laosai 互に往來する。l-əm-aosai 徘徊する。
- 9. mōsi-jaqeh 不和、原意、互に慍い。<jaqeh 慍い。
- 12. uloh nauwi ナウウイの子ウロホ、nauwi <ni-juwi
- 15. si: ginhaju-i k-əm-uts そのまま窓に殺す。ginhaju-i

あのタロコ蕃の川を始めとして、南澳蕃の川、溪頭蕃の川、新店溪、大崙溪、上坪溪、大甲溪、大安溪、タグピランの合流點(白毛附近?)に至るまで、皆さうであつたと昔の祖先はさういふ。彼等のスカハマユンといふのはアタヤルの昔の祖先から分れたので、又互に往來してゐたさうだ。

彼等とアタヤルと不和になつた原因といふのは、アタヤルの頭目である]アタの蕃丁等が(或時)狩に行つた時、スカハマユンの處で遊んだ事があつた。中に一人ウロホ、ナウウイ(ヤウウイ)の子のウロホといふ者があつて、其が戯れに[スカハマユンの]處女の乳房に觸れたといふので、彼の女の兄弟が怒つて、窓に[ウロホを]殺してしまつた。

其處でアタが怒つて、戯れにしたのに、何故彼等は殺してしまつたりしたの

- 人々窓に…する。客體主。minheju 窓に…する。主體主。
- 17. h-en-ijapas 冗談にした事。h-əm-ijapas 冗談にする。waja naha? sō-kuts 彼等が殺してしまつた。原意、彼等の殺す原因となつた。用具主。k-əm-uts 主體主。
- 19. sa-oro 追退ける。用具主。r-əm-oro 横に押す。sōnagai <sōnao-ai <sōjunao-ai 入換らう。位置主。未來。~ s-əm-junao 交代する。主體主。

- ¹ gai ta kinki'an naha? / taita mōhareq ato
我等の 居處は 彼等の だらう 仰つたり 限界は
- ² na tuβa na pazeh ta" mutsi ro: / ma-
の 曲つた の 小鐵 我等の といふ 而
- ³ sēsəli? kowara makajal aosa naha? mu
集合 皆 相談 行く方法 彼等の 計
- ⁴ skhamajun /
スカハマユンを
- ⁵ masoq makajal lōga: / sēməxu βowax
送 相談 それから 搗 米
- ⁶ ro: / si: naha? usa ta'ariβ leljun tejuku
而 直捷 彼等の 行 始に 川 タロコ蕃
- ⁷ ro: / soqon naha? rēmoro lasa lōga: / si:
而 所送 彼等の 追退 其等 それから 其處
- ⁸ naha? gōtəβijutsi / ?ariβ leljun kalaisan
彼等の 段々…する所 から 川 南澳蕃
- ⁹ ro: / leljun naβowan / leljun taranan /
而 川 溪頭蕃 川 新店蕃
- ¹⁰ leljun saβətunux / leljun tsinβulan ro: /
川 大溪蕃 川 上坪蕃 而
- ¹¹ si: ginta'to naha? kija lōga: / rēma'ō qo:
其處 送行く 彼等の 其處 そのとき 加勢 が
- ¹² malaqowan / stakujan naha? kija qo: sk-
マヨコワン 所倒 彼等の 其處 は スカ
- ¹³ hamajun ro: / mōsəhezi leljun linahoi /
ハマユン 而 移 川 大甲蕃
- ¹⁴ tsux mōnaga kija qo: / mōraho: skhama-
居 待 其處 は 頭目 スカハマ
- ¹⁵ jun ləkamaopil mutsi ro: / əsan ni lōka-
ユン 故人オセル といふ それで 行處 の 故人
- ¹⁶ maβuta /
アタ
- ¹⁷ matatsi'req ro: / nijal si: jahto: qotux
互 戦 すると 來 突然 出現 一人

- 1. k-in-ki'an 現在居る處 <maki? 居る。mō-hareq 仰つたり、原意、界と界と隔りがある。hareq-ei 其處退け。
- ato 島の限界。ato na tuβa na pazeh 曲つた小鐵の限界。即ち耕作地の義、頭目の用ひる語。

か。此のスカハマユンは故意に戦を挑むものだ。我々は(彼等を)追拂つて、彼等の居る處に入替つてやらう。さうすれば我々の曲つた小鐵の範圍(耕作地の事)が仰つたりする]といつた。而して皆集つてスカハマユンを討伐に行く方法を相談した。

相談が終つてから、米を搗いて[糧食の準備をした]。其から彼等は直捷始めにタロコ蕃の川へ行つた。而して彼等は敵を追拂つてしまつてから、そのまゝ段々と南澳蕃の川を始めとし、溪頭蕃の川、新店蕃の川、大溪蕃の川、上坪蕃の川(へ行つた)。而して彼等が其處まで行つた時に、マヨコワン蕃が加勢に來た。彼等は其處のスカハマユンを倒して、大甲蕃方面の川へ移つた。

スカハマユンの頭目のオセルが其處で迎へ討たうとして待つてゐるといふので、アタは[其處へ]行つた。

- 互に戦争してゐる時[スカハマユン
- 10. la-sa 其等、復讐。ja-sa 其。
- 11. gōtə βijuts-i 段々其處へ…する。位置主。gōtə-βi βijuts-i 反覆。
- 15. s-takuj-an 物を倒す。用具主。t-əm-akui 同上。主體主。
- 18. lōka-ma-opil 故人オセルといふ蕃。

- ¹ qo: məraho: naha? / "nano kuziq qo: opil
が 頭目 彼等の 何 我 は オビル
- ² βilaq" mutši ro: / si: pəspəluki ni ləkama-
ビラク といふ 而 忽 所引絞 の 故人
- ³ βuta pəna:loq ro: / βu:n nija / alai məqais
ブタ 弓は 而 所射中 彼の 外れる 喜
- ⁴ mutši "nux ta βalai tahejajan qo: opil
といふ 居 我等の 實に 所成效 は オビル
- ⁵ βilaq" mutši ro: / βəlajaqon naha? mita
ビラク といふ 而 所注意 彼等の 見
- ⁶ ro: / jasa qo: opil jaqeh /
すると 其 は オビル ナケへ
- ⁹ paonən qo: kai ga / wajał məgijai qo:
所聞 は 話 すると 去 逃 は
- ¹⁰ opil βilaq / tsux mənaga leljup pizinoħ
オビルビラク 居 待 川 大安番
- ¹¹ mutši ro: / matatu:leq laozi qo: ləkama-
といふ それで 出發 再 は 故人
- ¹² βuta / si: pəgəlu: ke qəβsujan nija / musa
ブタ 直に 同行 と 見 彼の 行
- ¹³ kəta:n ga / nux βalai mənaga qəməβujaj /
所見 すると 居 實に 待 潜伏
- ¹⁴ si: kajal qə ləkamaui / "kuziq gəlaij
直に 話す が 故人マウウイ 我 先行
- ¹⁵ βuta / ana sako naha? βu:n ləga nowai
ブタよ 我 彼等の 所射殺 併 宜しい
- ¹⁶ sako / musa məlu: utux na ala qei mako"
我 行 共 魂と の 子 我の
- ¹⁷ mutši ro: / heja βalai gəlaij / hatəgan qo:
といふ 而 彼は 實に 先行 所出 は
- ¹⁸ qəβujaj / si: kəta nijal si: jahto: qo: opil
掩堡 忽 見 來 忽 出現 は オビル
- ¹⁹ βilaq / s: nija pəspəluki pəna:loq / βu:n
ビラク 直様 彼の 所引絞 弓は 所射殺
- ²⁰ nija ləkamaui / si: sənagi pəspiluk pə-
彼の 故人マウウイ 直様 所交代 引絞
- ²¹ na:loq ni ləkamaβuta / si: nija gijəgi kija
弓 の 故人ブタ 直様 彼の 所倒 共處
- ²² qo: opil βilaq uzi la / nara jasa qo: wa:l
は オビルビラク 赤了 何 其 は 成

1. ku-zig 私、獨立して用ゐる。比 IN. ku. -zig は接尾辭。
2. pəspəluk-i 引絞る。客體主。弓。 pəspəluk 主體主。
3. alai mə-qais 徒に喜ぶ。 min-alai 無事になる。
13. qə-m-βujaj 潜伏する。 < qəβujaj 掩堡。 18行。

の一人の頭目が突然現はれて、我こそ
はオビル、ビラク(善人オビル)だとい
ふと、ブタはすかさず弓を引絞つて、其
を射殺した。それで「我々は實にオビ
ル、ビラクを殺して成效した」といつ
て喜んだが、よく見ると、其は(別の人)オ
ビル、ヤッケへ(悪人オビル)であつたの
で、その喜びはぬか喜びであつた。

話を聞くと、オビル、ビラクは逃げ
て、大安溪の方面に待つてゐるといふ
ので、ブタは直に又起つて彼の兄(ウロ
ホの父)と同行して(共處へ)行つた。行
つて見ると、案の如く(敵は)潜伏して待
つてゐた。そこでマウウイ(ブタの兄
で殺されたウロホの父)は「ブタよ、私は
先に行かう。私は彼等に射殺されて
も構はない。私は自分の子の魂と一
緒に(冥途へ)行くのだ」といつて、彼は眞
先に進んだ。掩堡から出ると突然オ
ビル、ビラクが現はれて、いきなり、弓
を引絞つて、マウウイを射殺した。時
を移さず入替つてブタが弓を引絞つ

20. sənagi-i 人と入換る。客體主。 səm-junao 交代する。主
體主。
21. gijəgi-i < gajəgi-i 人を倒す。客體主。 ~ pəto-gajəgi 倒
す。主體主。

- ¹ məkarupus kowara qo: skhamajun la
散々 昔 は スカハマユン 了
- ² ma /
さうだ
- ⁴ ga:lan tunux ni ləkamaβuta qo: opil
所取 首を の 故人ブタ は オビル
- ⁵ βilaq ro: / ga:lan nija tunux uzi ni qə-
ビラク 而 所取 彼の 首 赤の
- ⁶ βsujan nija ro: / spağa nija kowara /
見 彼の 而 所背負 彼の 昔
- ⁷ ki?an nija əməβul βa?βu qəzinan ro: /
所立寄 彼の 埋 圓頂に カジナン山 而
- ⁸ musa pinsəkan laozi ma /
歸 豐祥地 再 さうだ
- ⁹ nano qo: / skhamajun maki? leljup sə-
何 は スカハマユン 居 川
- ¹⁰ βətnux qani heja ga: / maputsiq βa?nux
大安番 此の 其 は 成終點 平地
- ¹¹ moheiq ki?an naha? / mowah qo: ləkama-
モヘン 居處 彼等の 來 は 故人
- ¹² βuta owahan nija / rəma?ra rəgjax pi-
ブタ 來處 彼の 見渡 山 ヒヤ
- ¹³ wai ro: / kəta:n naha? tsux maputsiq βa-
ワイ 而 所見 彼等の 居 成終點 眞
- ¹⁴ lai βa?nux moheiq ro: / owahan naha? mo
平地 モヘン 而 來處 彼等の 計
- ¹⁵ solaqox naha? ro: / si: owah patəqsəli?
所轉 彼等の 而 直に 來(敵が) 集
- ¹⁶ βa?nux kin-jaopan / mənaga qəməβujaj /
平地 キンヤオパン 待 潜伏
- ¹⁷ məsasəli? kowara naha? / mali:pa uzi ro: /
集 彼等の マリバ 赤 而
- ¹⁸ owahan naha? mižup mətətsi:reç / wal
來處 彼等の 襲入 戰 了
- ¹⁹ naha? si: ansəgintakui / pizux βalai tu-
彼等の 直様 所倒 多 甚
- ²⁰ nux ga:lun naha? ma / nano jasa qo: / sa-
首 所取 彼等の さうだ 何 其 は 理由

て、直様其のオビル、ビラクを倒して
しまつた。其が爲、スカハマユンは皆
散々になつてしまつたさうだ。

ブタはオビル、ビラクの首と、兄の
首とを取つて、自分で(背負つて)行つた。
而してカジナン山の頂に立寄つて、其
處に埋めて、再び發祥の地へ歸つたさ
うだ。

觀、此の大崙溪の流域に居るスカ
ハマユンは、その居處はモヘンの平地
を終點としてゐた。ブタが此處に來
て、ビヤワイ山から見渡したところが、
スカハマユンは實際モヘンの平地を
終點としてゐるのを見たので、ブタ等
は共處へ來て之を討つて勝利を得た。
所が(敵は)直ちにキンヤオパンの平地
に集まつて來て潜伏して待つてゐた。
[此時]マリバ蕃もブタの部下と一緒に
なつて、敵を襲撃して直様(敵を)倒して
しまつた。而して彼等の取つた首は

6. spağa < sa-pağa 物を背負ふ。用具主。 mə-pağa 背負
ふ。主體主。
7. ki?an 立寄る。位置主。 原意、居る處。
10. ma-putsiq 終點になつてゐる。 putsiq 物の末、端。
11. moheiq 地名。現在のカウキ社在所の附近。
12. piyawai 地名。現在カウキ社とカウイラン社の間の山。
15. sə-laqox 人に歸つ。用具主。 ləm-aqox 歸つ。主體主。

16. k-in-jaop-an 地名。現在のキローパン社の山手の處。原
意、攻込んだ處。 ~ mi-jup 入る。襲ふ。
19. an-sə-gin-takui 倒してやる。用具主。 敵。 an-sə- 人々
してやる。 pə-takui 倒す。主體主。
20. sa-utši naha? 彼等のさういふ理由。用具主。 ~ m-utši
さういふ。主體主。

- ¹ utši naha? kin-jaopan ro: / tari:qan lalo: /
如此いふ 彼等の キンヤオパン と タレーカン 名
- ² na rahejal qasa ma /
の 地 其處 さうだ
- ³ βəkugun naha? sintənuxan naha? tunux
所並 彼等の 所並首 彼等の 首
- ⁴ māga: / mali:pa heja ga: / minpusal pin-
すと マリパ 其 は 二度 横
- ⁵ kijuts toro ro: sāmka / βəkugun naqo:
切 水筋 而 半分 所並 の
- ⁶ laqei na ləkamaβuta heja ga: / minxal
藩丁 の 故人 プタ 其 は 一度
- ⁷ pinkijuts toro sāmka ma /
横切 水筋 半分 さうだ
- ¹¹ mās-hezi qo: skhamajun ləro: / mowah
移 は スカハマユン 而 來
- ¹² maki? βa?nux həmawan / sətatu:leq naha?
住 平地 ハマワン 所起 彼等の
- ¹³ laozi / si: naha? ansəginrupus / səpaβu
再 忽 彼等の 所打散 使打
- ¹⁴ naha? kija qo: o:mao lawa / nano jasa
彼等の 其處 は オーマオ ラワ 何 其
- ¹⁵ qo: / si: naha? laheji mutši βa?nux həma-
は 其處 彼等の ちなむ所 といふ 平地 ハマ
- ¹⁶ wan / mās-həhezi laozi qo: / skhamajun
ワン 移 再 は スカハマユン
- ¹⁷ mowah maki? pejasan / statu:leq naha?
來 住 ベヤサン 起つ理由 彼等の
- ¹⁸ laozi matatsi:re:q ro: / wal naha? səginru-
又 戰 而 了 彼等の 所打散
- ¹⁹ pus ro: / səpaβu: naha? kija qo: pajas
而 所使打 彼等の 其處 は バヤス
- ²⁰ puḡao / nano jasa qo: / sa utši naha?
プダオ 何 其 は 理由 といふ 彼等の

1. tari:q-an 地名。現在キコーパン社ノ川に近き處。原意、
戰つた處。～ mō-ta-tsi:re:q 戰ふ。
5. βəkug-un 並べる。客體主。māko: 並べ、主體主。
c-in-tənux-an 臍首した首。s-am-tunux 首を取る。
6. min-pu-sa-l 二度。～ rusa 二つ。
9. n-in-kijuts 切断した物。k-əm-ijuts 切断する。
12. həmawan 地名。現在のハマワン川の地。
sa-tatu:leq …の爲に出發する。用具主。敵。

大變多かつたさうだ。其處の地名を
キンヤオパン(襲うた處)とタレーカン
(戰つた處)といふのは其から來たのだ
さうだ。

彼等の取つた首を並べたところが、
マリパの方の取つた首は、川の水筋を
横切つて二度半(川幅の二倍半の長さ)
プタの藩丁の方の並べた首は水筋を
横切つて一度半(川幅の一倍半の長さ)
續いたさうだ。

スカハマユンは(逃げて)ハマワンの
平地に移つて住んだ。プタ等は再び
起つて、忽ち討散らしたが、其の時オー
マオ、ラワといふものを打死させた。
其で彼等は其にちなんで(其他を)ハマ
ワンの平地といつた。スカハマユン
は再び移つて來て角板山に住んだ。
プタ等は又起つて戰つて打散してし
まつた。而して其處でバヤス、プダオ
といふ者を打死させた。それで彼等

13. an-sə-gin-rupus 打散らしてやる。用具主。敵。sə-gin-
rupus 打散らす。用具主。敵。18行。
sə-pa-βu naha? 彼等が…を打死させた。用具主。
原意、彼等が…を敵に打たせる者にした。國語の敵
に打たせると同義。sə<sa-用具主。pa- 使役の接
頭辭。βu 銃又は弓で中てる～m l。
15. laheji 其にちなむ。客體主。loheji 連續する。關係する。
17. pejas-an-pijas-an 現在の角板山の地。

- ¹ pejasan / musa qo: skhamajun / si: usa
ベヤサン 住 は スカハマユン 直に 往
- ² maki? pəqowajan / əsan naha? laozi mā-
住 バコワヤン 往處 彼等の 又
- ³ tatsi:re:q ro: / slaqox naha? / məgijai kija
戰 而 所使打 彼等の 逃 其處
- ⁴ βa?nux panan / wal naha? səpaβu laozi
平地 バナン しまふ 彼等の 所使打 又
- ⁵ qo: ləkamaqəqowai / nano jasa qo: / sa-
は 故人カコワイ 何 其 は 理由
- ⁶ utši naha? pəqowajan / sətatu:leq naha?
といふ 彼等の バコワヤン 起つ理由 彼等の
- ⁷ laozi / matatsi:re:q βa?nux punan / si: na-
又 戰 平地 バナン 忽 彼
- ⁸ ha? ansəginrupus laozi ro: / səpaβu naha?
等の 所打散 又 而 所使打 彼等
- ⁹ kija qo: ləkamapu:na / si: naha? laheji
其處 は 故人プーナ 其處 彼等の ちなむ所
- ¹⁰ mutši βa?nux punan / məgijai qo: skhama-
といふ 平地 バナン 逃 は スカハマ
- ¹¹ jun karajas lejju / mintazil tsijajan /
ユン 横断 川 上陸 チヤヤン
- ¹² mənaga kija / matatsi:re:q kija laozi / wal
待 其處 戰 其處 又 しまふ
- ¹³ naha? səginrupus laozi / βu:n kija qo:
彼等の 所打散 又 所打 其處 は
- ¹⁴ ləkamaqətsijai / nano jasa qo: / sa utši
故人カチヤイ 何 其 は 理由 といふ
- ¹⁵ naha? tsijajan ma / məgijai qo: skhama-
彼等の チヤヤン さうだ 逃 は スカハマ
- ¹⁶ jun / si: gəgalugi naqo: ləkamaβuta / sa-
ユン 直に 所追 の 故人 プタ 理由
- ¹⁷ usa nija ginta'to ḡoḡo sli:βan / wal nija
往 彼の 迄 マイ スリヤパン 了 彼の
- ¹⁸ tahejajan rəmororo: qo: / skhamajun mina-
所成功 驅逐 は スカハマユン 居た
- ¹⁹ ki? lejju səβətnux qani ma ro: / nano
川 大溪番 此のさうだ 而 何
- ²⁰ qo: putšiq na kakai nija ləga: / si: nija
は 終點 の 足 彼の には 其處 彼の
- ²¹ səβili phəḡo pənai:loq kahəneq ma / nano
所遺置 突刺 矢を 木は さうだ 何

は其地をベヤサン(角板山のこと)とい
ふ。スカハマユンは其から行つて、バ
コワヤンに住んだ。プタ等は又行つ
て戰つて打散つた。[敵は]バナンの平
地へ逃げたが、プタ等は又マカコワイ
を打死させた。それで彼等は其地を
バコワヤンといふ。プタ等は又起つ
てバナンの平地で戰つた。忽にして
彼等は又[敵を]打散らした。而して其
處でプーナを打死させたから、其のま
ゝ[彼の名に]ちなんで其處をバナンの
平地といふ。スカハマユンは川を渡
つて逃げた。而してチヤヤンに上陸
して待つてゐた。其處で又戰つて又
打散してしまつた。其時カチヤイが
打死した。それで其地をチヤヤンと
いふ。スカハマユンは逃げたのでプ
タはすかさず追掛けた。彼はゴゴ、ス
リーヤンまで行つて、大料溪流域に
居たスカハマユンの驅逐に成功した
さうだ。扱プタの足の終點には、彼が

2. pəqowaj-an 地名。現在の阿母坪の地。
5. ləka-ma-qəqowai 故人カコワイといふ人。ləka <laka
故人。ma…といふもの。
7. punan 地名。現在阿母坪の下、大溪坪の地。
11. tsijaj-an 地名。現在の新橋坪の地。

16. gəgalug-i 其の後を追ふ。客體主。g-əm-gəgalu: 後につ
いて追うて行く。主體主。mə-gəgalu: 一緒に行く。
18. m-in-aki? 居た者。maki? 居る者。
21. səβili-i 遺す。處。位置主。木。

1 jasa qo: / sa:n naha? putšiq lawi na
其 は 所首 彼等の 端 槍の石突の
2 ləkamaβuta mægao /
故人 プタ さうだよ

木に矢を突刺して残して置いたさう
だ。[今日]人々が プタ の槍の石突の端
といつてゐるのは其だよ。

15. kinβəβaqan ləməpəluŋ mata-
巧 妙 考 戦
tšiqreŋ ni ləkamaβuta
の 故人 プタ

7 nano sqo: minxal / musa mijup sqo:
何 時 一度 行 襲 を
8 skhamajun ləkamaβuta / ini kəkahammai
スカハマユン 故人 プタ 不 多
9 hei? naqo: ləkamaβuta ro: / si: βaqei sa
人数 の 故人 プタ 而 直に 所知 事由
10 ijats nija tahejajun / ləməpəluŋ qo: ləka-
非 彼の 所成功 考 は 故人
11 maβuta / "anai ta sənaga mənəβu: haro:"
プタ やらう 我等の 所得 飲 酒宴
12 mutši ro: / kəta:n βalai ləga: / məsasəli?
といふ 而 所見 賢察 すると 集
13 mənəβu: haro: təmraŋ mətəβəluŋu βija-
飲 酒宴 丁度 満
14 tšiq /
川
15 nano qo: pasal na skhamajun qasa ga /
何 は 家 の スカハマユン 其 は
16 ja:nə kaho? smagan naha? kaltsin / ma'a-
知 倉 所敷 彼等の 板は 寝
17 βi: ga / βiliŋan naha? qo: zik na tənuxan
その時は 所穿孔 彼等の は 下 の 枕
18 ro: / pəβəlaŋun naha? sənəonux naha?
而 所垂下 彼等の 髪は 彼等の
19 ma'aβi: ma / kizizaon ga / tšux ini kəβaq
寝 さうだ 所伺 すると 居其處 不 知

15. プタ の 戦 略

或時、プタ は スカハマユン を襲ひに
行つた事があつた。プタ の人数は多
くなかつたので、彼は成功しない事を
知つた。それで プタ は熟考の上、「我々
は[スカハマユンが]酒宴をする時を待
つて襲つてやらう」といつて、實際見て
ゐると、丁度満月の時に彼等は集つて
酒宴を催ふしてゐた。

扱、彼の スカハマユン の家は倉の様
で板が敷いてあつて、共に孔が開いて
ゐた。彼等が寝る時は、枕の下の[その
孔から]髪を下に垂らしてゐたさうだ。
[プタ等が]様子を伺つてゐると、彼等は

1. putšiq lawi 石突の終點、攻めて行つた終點。現在、板
橋の川向ふの山の突出したる處、其處に以前は木に突
刺した跡が残つてゐたといふ。
5. kin-βəβaq-an 巧妙、よく出来ること。βaq 知る、能
ふ。
10. tahejaj-un 成功、出来る事。təhojai 出来る、能ふ。
11. an-ai ta sə-naga 我等が...を待つてやらう。48頁、註. 1.
13. t-əm-raŋ 丁度極點に達する。t-əm-raŋ in-rakijas 若

盛り、t-əm-raŋ mənəβu: qowao 酒宴ノ真最中、~
mə-təraŋ 飾る。
mətəβəluŋu 袋の様な。βəluŋu 袋。
16. smag-an 其處に敷く、位置主。s-əm-amao 敷く、板な
ど張る。
17. βiliŋ-an 其處に孔を開ける、位置主。βəliŋ 孔。
tənux-an 枕、原意、頭之處。tənux 頭。
18. pəβəlaŋ-un 物を垂下する、客體主。mə-βəlaŋ 垂下る
19. kiziza-on 伺見る、客體主。k-əm-ijaja 同上、主體主。
ini kəβaq rijax 夢中になる、原意、晝を知らぬ。

1 rijax / mənəβu: haro: ro: / mahagan βalai
晝 飲 酒宴 而 夜 甚
2 ləga: ma'aβi: kowara la ma /
とつたので 寝 皆 了 さうだ
3 nano jasa qo: / si: tətuləq qo: ləkama-
何 其 は 直様 起 が 故人
4 βuta musa məkəto:qe: / kəta:n βalai ga /
プタ 往 斥候になつて 所見 よくすると
5 nux ini kəβaq rijax ma'aβi: / ?ariŋ məqo-
居 不 知 晝 寝 始 略
6 was pəta / si: tətuləq qo: ləkamaβuta /
難 直様 起 は 故人 プタ
7 si: nija əsai ta'to pamomo sənəonux ko-
直に 彼の 所往 一つ残らず 結合 襲を
8 wara / saəβeh sasan ləga: / si: nija ?inta-
皆 近 夜明 すると 直に 彼の 所上
9 zili pasal / tatəleqon nija mutši / "nux
家は 所使起 彼の といふ 居此處
10 sako mowah kəmutš simonan" / si: nija
我 來 殺 汝等を 直に 彼の
11 ta'ariŋi ?a'ariŋan qəmataqotux kəmutš
所始 始 一人一人する 殺
12 ro: / wal nija si: takuzi kowara / jasa
而 了 彼の 直に 所倒 皆 其
13 soqon nija ləga: / βaq kowara qo: skhama-
所遂 彼の そのとき知 皆 は スカハマ
14 jun / mægijai qo: ləkamaβuta / si: naha?
ユン 逃 は 故人 プタ 直に 彼等の
15 gaqəluŋi mahejao /
所追跡 追
16 maki? qotux qo: zizik na gaon / haqo-
有 一 が 深 の 谷川 所架
17 wan naha? na wahei / taihok kija ləka-
橋 彼等の で 葛 到 其處 故人
18 maβuta ləga: / si: naha? kəməwa haqəla /
プタ すると 直に 彼等の 危い事 所追附
19 minqailuŋ kərajəs haqə qo: ləkamaβuta
やつと 渡 橋 が 故人 プタ
20 ləga: / nijal putšiq na haqə uzi la ma /
すると 來 端に の 橋 亦 了 さうだ
21 ləməpəluŋ qo: ləkamaβuta / si: nija nəgai
考 は 故人 プタ じつと 彼の 所得

夢中になつて酒宴を催ふしてゐたが、
夜が更けると皆寝た様子である。

扱そこで、プタ は直様起つて斥候に
なつて行つた。よく見ると、前後も知
らず寝てゐる。一番難が暗くと、直に
プタ は起つて、行つて彼等の[垂下つた]
髪を一つも残らず皆結び合せた。夜
が明かると直に彼は家の床に上つ
て、彼等を起して、「私はお前等を殺しに
來たのだ」といふなり、一人一人片端か
ら殺し始めた。而して其場で皆殺し
てしまつた。彼が其を終つた時分に、
[他の]スカハマユン は皆氣附いたので、
プタ は逃げたが、彼等は直に其の後へ
續いて追かけた。

[逃げる道に]一つの深い谷川が有つ
て、葛の橋を架けてあつた。プタ が其
處へ到着すると、危い事には彼等がも
う追附きさうになつた。プタ が橋を
やつと渡つた時には[彼等が]又橋の際
に來てゐたさうだ。プタ は考へて其

4. məkə-toqe: 斥候になる。toqe: 道。
6. pəta 難。又 jagta, zigta, といふ。
7. pa-momo 結合せる、原意、簪を作る。momo 簪。
11. ta'ariŋ-i 事を始める、客體主。ariŋ 始。
1. q-əm-ata-qotux 一人一人...する。qotux 一。

18. kəməwa haqəla 危い事、もう少しで追附く。kəməwa
na qowalax aki jaqəh 危い事、雨に降られたらひど
い目に會つたかもしれん。
min-qailuŋ やつと、漸く。min-qailuŋ βalai taihok や
つと着いた。

- ¹ mutši / "owah mətəxala ta" / nijal βalai
といふ 来い 一度しよう 我等 来 實に
- ² qo: skhamajun / məsmasoq βalai məlu:
は スカハマユン 皆 終 丁度 通
- ³ haopo / saoʔeh paʔintazil ləga / si: nija
橋 近 到 此方 そのとき 直に 彼の
- ⁴ sa poh kəmutš qo: / putšij na haopo /
と ブツッ 断 は 端 の 橋
- ⁵ wal si: usa matəqsəliʔ / məho:tao sa gaon
了 忽成 集團 落 へ 谷川
- ⁶ kowara la ma / si: ʔinβəilaq mowah
皆 了 さうに 其儘 よい心持 歸
- ⁷ ləkamaβuta heja la ma /
故人 ブタ 其 了 さうに
- ¹⁰ nano sqo: minxal uzi ga / ini kəkaham-
何 時 一度 又 は 不 多勢
- ¹¹ mai heiʔ nahaʔ ro: / uwi nahaʔ səsulij
人数 彼等の 而 或は 彼等の 所點火
- ¹² papilao məku: pu:neq / pəsənəjuwao mu-
松明 並べる 火 使疑 と
- ¹³ tši kiʔa piʔux heiʔ nahaʔ /
だらう 多 人数が 彼等の
- ¹⁴ sqo: minxal uzi ga / qotux βalai qo:
時 一度 又 は 一 只 は
- ¹⁵ toʔqei mowah sa βəʔao na uʔah ɳuɳu
道 来 な 上 の 崖 尾
- ¹⁶ na rəgijax / səsi nija hanəkui na pa:ra /
の 山 所集 彼の 皮 の 小鹿
- ¹⁷ paʔuzun nahaʔ smaʔeis / səsamao nija
所續 彼等の 縫 所敷 彼の
- ¹⁸ toʔqei βəʔao na uʔah ro: / mahapan ləga /
道 上 の 崖 而 夜に なる
- ¹⁹ əsan nahaʔ taʔzi mu / nijal səmijuk ləga /
所往 彼等の 携 發射 来 應戦 すると

處でしつと待ちかまへて「さあ来い我々は一勝負しよう」といふと、スカハマユンはその通りやつて来た。皆が丁度橋に乗移つて、先頭が將に此方に足を踏入れんとした時に、彼は時をはげさずブツッと橋の一端を切断した。すると、敵は皆一塊になつて忽ち谷川へ落ちたさうだ。するとブタは上機嫌で引上げて歸つて来たさうだ。

又或時は、ブタは部下の人数が多くなかつたので、松明を點し火を(澤山)並べて(敵をして)人数が多いのだらうと疑はせた。

又或時は、只一條の道が、山の出鼻の崖の上を通つてゐた。彼は小鹿の皮を集めて、人々に之を縫ひ續けさせて、崖の上の道に敷いた。而して夜になると、彼等は進んで銃を打かけて戦を挑んだ。(敵が)應戦して進んで来ると、

1. mətə-xal-a ta 我等一度…しよう. xa ~ min-xal-一度. -a 未来, 主體主の接尾辭.
2. məs-masoq 皆の者が…し終る. masoq 終る. məs-は反覆.
4. sa poh ブツッと. sa 其, さう, 國語の…とに當る.
11. sə-sulij 共に點火する, 用具主, sə-sulij 燒く, 燃す.
12. pa-pilao 松明. 原意, 照す具. milao 照す. アタヤルにては語頭の音節を反覆し, ア行に轉じて, 用具, 方法, 原因, 理由等を表はす.

pa-sə-nə-juwao 疑はせる. sə-sə-nə-juwao 疑ふ.
16. sə-sli 物を集める, 用具主, sə-sə-sli 集める, 主體主.
17. paʔuz-un 物を纏合せる, 客體主. pa-uʔui 同上主體主. sə-m-aqeis 縫ふ. IN. t-um-ahi.
19. taʔzi 携ひ, からかふ. taʔzi sako hozil 私は大にからかふ.
sə-sə-ijuk 應ずる, 原意, 返す. sə-sə-ijuk kai 詞を返す, 返事する.

- ¹ skakusa nahaʔ məgijai / min-a:lai mutši
所歸 彼等の 逃 意外 といつて
- ² "βəhejaqao ta" / nijal məqəzi:nah taihok
追掛けよう 我等 来 走 到
- ³ sqo: sma:gan na hanəkui ləga / wal si:
に 敷 處 な 皮 すると 了 其他
- ⁴ pəsəgəijuts mutši "saos saos" / təhejutsi
續々 と つる つる 滑
- ⁵ pugəzəx uʔah / ana wal pugəzəx ga /
落 崖 てし 了 落 併
- ⁶ nijal si: pəsəgəijuts mowah / wal təhejutsi
来此方 其儘 次々に 来 了 滑
- ⁷ pugəzəx / sowaʔ ini qo: / mahapan ini
落 何故 不 其は 夜 不
- ⁸ səlui / si: nahaʔ ga wəjal kowara / kəta:n
明 其儘 彼等の やはり 往つた 皆 所見
- ⁹ nahaʔ sqo: səlowan ləga / tšux qotux βaʔ-
彼等の に 夜明時 すると 有
- ¹⁰ βuʔ zik na uʔah la ma /
山 下 の 崖 了 さうに

彼等は偽つて逃げた。敵は「さあ我々は追掛けよう」といふて走つて来たが、皮の敷いてある處に来ると、意外にも次から次につるつると崖から滑落ちてしまつた。(前の者が落ちてしまつてもやはり、次々と来て滑落ちてしまつた。何故かといふと、其は夜で明るくなかつたので、彼等は(其とは知らず)其のまゝ皆進んで行つたからであつた。夜が明けた時ブタ等が見ると、崖の下に[死骸が]一山有つたさうだ。

16. toʔqei aosa ətuxan
道 行く為 極樂に

16. 極樂に行くべき道

- ¹⁴ nano sqo: raral ga: / nannak qotux
何 於 昔 は 只 一
- ¹⁵ qo: ətajal βalai ro: / kənaeril βalai qo:
は 男子 眞の と 女 眞の は
- ¹⁶ βali qeiŋqə:re na ita ɳux makiʔ βəʔao
豈 所相略物 の我等 居住 上に
- ¹⁷ na rahejal qani / mutši pətsəʔaq sqo:
の 地 此の 如此 敷 な
- ¹⁸ qeiŋqəjanux ma / βali nano qo: / sa utši
生活 さうに 豈 何 は 理由為如此
- ¹⁹ nahaʔ qasa pətsəʔaq nju: / sowaʔ ini qo: /
彼等の 其 敷 ものか 何故 不 其は

援昔は、眞の男子、眞の女子[であること]只此の一事が此の世に住する我々の一番大切な事だといつて、(アタヤルは若い者に)其の心得を教へたものださうだ。彼等がその通り教へるのは他ではない、何故かといふに、其は本来

1. s-kakusa 人を歸りて…の風をする, 用具主. min-a:lai 意外にも, 目的が外れる, 無駄になる.
2. βəhejaq-ao 追掛けよう, 客體主, 未来. mahejaq 追掛ける, 主體主.
4. tə-hejutsi 人が滑る. hejutsi 物がすべすべする.
7. sowaʔ ini 何故かといふに. 比. 39頁, 註. 19. ini sə-lu-i 明るくない, 原意, 見附けない, 物が見つからない, 客體主. məlu: 見附ける, 主體主. sə-low-an 物が見える時. 9行.

9. βaʔpuʔ 堆積の意.
13. a-osa 行く為の物, 用具主. 道. ~ m-usa 行く. 語頭の母音を反覆す.
ətux-an 靈魂又神の處, 極樂. utux 靈魂, 神, 妖怪.
16. q-eiŋ-qə:re 粗末にしてゐる物. βali q-eiŋ-qə:re 如何して粗末にするものか, 大事にしてゐる.
19. nju: …ものか. βali…nju 如何して…するものか, 此處にては, 其の理由は何, 他の事であるものかといふ意.

- ¹ si: ga ßaq tēmōriŋ ro: ətajal ßalai ga: / 只のみ知者(女)手技藝 而 男子 眞 は
- ² jasa qo: / minßilaq mōlu: haōpo na utux / 其 は 通者 通 橋を の 神
- ³ musa ətuxan ma / 行 極樂 さうだ
- ⁴ nano qo: / to:qei aosa ətuxan qasa ga: / 何 は 道 行くべき極樂 其 は
- ⁵ kija qotux qo: haōpo na utux kərajasun 有 が 橋 の 神 所渡
- ⁶ ma / nano qo: / leljuŋ zik na haōpo qasa さうだ何 は 川 下 の 橋 其の
- ⁷ ga: / tsux kiʔan na ßiʔiŋ ro: qo:leh gəgə- は 有 居處 の 大蛇 や 魚
- ⁸ tainux məgao / putsin na haōpo tai qani / 大な といふことだ 端 の 橋 方 此
- ⁹ tsux kiʔan na ßasal / nanəgani mita kin- 有 在處 の 家 待處 見
- ¹⁰ ßəlajaqan na kija qo: utux na minhoqeil 善さ の 有 が 魂 の 死人
- ¹¹ ma / kija qo: mōhoqeil ga: / nəgaon naha? さうだ有 が 死人 は 所持 彼等の
- ¹² mita ßasal poqeip na haōpo ro: / kija qo: 見 家 根元の 橋 而 有 が
- ¹³ si: ßaqßaqei sa ətajal ßalai ro: / kənaeril 直に 所列明 な 男子 眞の や 女
- ¹⁴ ßalai ga: / ini naha? məci səmaom içi / si: 眞の すれば 不 彼等の ぬ…する 塗 樂を 其儘
- ¹⁵ naha? pəgaləgi haōpo / kija qo: sinzuwa- 彼等の 所使通 橋 有 が 所可疑
- ¹⁶ gun haži ga: / ləmaon naha? səmaom içi 多少 すると 僅め…する所 彼等の 塗 樂を
- ¹⁷ qəßa nija ro: / təlaman naha? qəmwax / 手 彼の 而 所試 彼等の 洗
- ¹⁸ kija qo: rezun ini pəsʔaŋal ga: / ətajal 有 が 所染者 不 脱 すると 男子

手藝を知る者(即眞の女子)と眞の男子
 丈が神の橋を渡つて極樂に行く資格
 のある者ださうだからである。
 擬其極樂へ行くべき道には、渡らな
 ければならぬ神の橋が一つあるさう
 だ。其の橋の下の川には、大蛇と澤山
 の大きな魚が住んでゐるさうだ。橋
 の此方の端には、番人の家が有つて死
 人の魂を待うけて、其の善悪を検査す
 る處になつてゐるさうだ。死人が有
 れば、橋の袂の此の家で、番人が待うけ
 て検査する。而して眞の男子や、眞の
 女子であることが判れば、彼等は別に
 藜(の汁)を塗らないで、其のまま直に橋
 を通す。多少疑はしい所の有る者は、
 先づ其の手に藜を塗つて、其を洗つて
 見る。[よく]染つて[洗つても]取れない
 者は、眞の男子と眞の女子であるから

1. si: ga 只其時ばかり、只其者に限り、si: 只其だけ、si: ga ßaq t-əm-orig 只手藝の出来る者に限り、si: ga laokah simo mə-qomah 只汝等力を出して働く者に限り、si: ga piqux p-iŋ-qomah-an 只收穫物の多い時に限り、si: ga əsa-n q-əm-alup 只隣に行く時に限り、t-əm-orig 手藝、手細工、機織など女として爲すべき仕事をする、ßaq t-əm-orig la 女が一人前の仕事が出来た様になつた、ts-in-riŋ-an 織つた物、番布、原意、編れる、t-əm-orig qəßa lehoi 手を顔にあてる、5. kərajas-un 其を渡る、客體主、7. gə-gətainux 獲物、<gətainux 蜜柑、動物など大な、大い、

8. məgao <ma gao…といふことだ、…といふ話だ、9. na-nəga-an 常設の待つ處、nəga-on 人を待つ、客體主、11行、mə-nəga 人が待つ、主體主、10. m-in-hoqeil 死んだ人 <mahōqeil 死ぬ、15. pə-gələgi 人を通す、位置主、məlo: 通る <g-əm-əlo: 清うて行く、si-n-zuwaq-un <sa-nə-zuwaq-un 疑ふ所となる人、疑ふべき人、客體主、70頁、註12、16. ləma-on 物を僅め…する、客體主、lama 先づ、以前、17. təlam-an 試みる處、位置主、手、q-əm-owax 物を洗ふ、主體主、qowax-an 位置主、18. rezu-n <rezu-un 染めて色が着く、客體主、ini rezu-i 色が着かない、染まらない、客體主、73頁、3行、

- ¹ ßalai ro: kənaeril ßalai / pəgaləgun naha? 眞の や 女子 眞の 所使通 彼等の
- ² haōpo / paosa ətuxan sa heja ma / kija 橋を 使行 極樂 如此 共 さうだ 有
- ³ qo: ini rezui məsʔaŋal qowaxan ga: / ja- が 不 所染者 脱 所洗 すると
- ⁴ qeh na sqoleq / pəpawahun naha? ja:jao / 惡 の 人 所使來 彼等の 岸に
- ⁵ nano qo: / to:qei ja:jao qasa məga: / 何 は 路 岸の 其の といふのは
- ⁶ ßəßaqəzi nanak ro: / qəqarəgup ro: pijux 刺 只 而 泥坊草 而 多
- ⁷ ßalai kəkamato:ro nija ma / nano kija qo: 其 山蛇 其のさうだ何 有 が
- ⁸ mowah kija məga / soqon qəmarits na ßə- 來者 其處 すると 所遙 引掻 の
- ⁹ qəzi ro: / kəməts na kamato:ro / qarəgup 刺 而 咬 の 山蛇 泥坊草
- ¹⁰ kowara lukus naha? ma / roma ga: / 皆 衣は 彼等のさうだ 或者 は
- ¹¹ masoq mətakui / ini taihok musa ətuxan / しまふ 倒れる 不 到 往 極樂
- ¹² ana ini sowali pəgəlu: haōpo / si: qəihol ても 所許者 通行 橋 其儘強ひて
- ¹³ mutši "pəgaləgi sami haōpo" qo: jaqəja- といふ 通らせよ 我等 橋を は 堅
- ¹⁴ qeh na sqoleq ga: / kəksaon naha? ini ha- の 人 は 所爲 彼等の 不 しつ
- ¹⁵ rəharo? / hawakan naha? ro: / ska na ha- かり觸 所扶助 彼等の 而 中央 の
- ¹⁶ oŋo ləga / səro:ro: hatagun naha? ro: / wal 橋 なると 所押 所使落 彼等の 而 成了
- ¹⁷ soqon manneq na ßiʔiŋ ro: qo:leh ma / 所遙 食 の 蛇 や 魚 さうだ

橋を通らせて、極樂に行かせるさうだ。
 [よく]染まらないで洗つて取れる者は
 惡人であるから、彼等は[橋を通らせな
 いで]岸の方から行かせる。
 擬其の岸の道といふのは、刺だらけ
 の木や、泥坊草や[が生えてゐて]、山蛇が
 大變多いさうだ。其處へ来た者は、刺
 に引掻かれたり、山蛇に咬まれたりし
 て、彼等の着物は皆泥坊草だらけにな
 つてしまふさうだ。或者は極樂へ着
 かない中に、倒れてしまふ者もある。
 橋の通行を許されない者でも、強ひて
 「我々に橋を通らせよ」といふ惡い人達
 は、[番人が]偽つて[親切さうに]軽く手を
 添へて扶けて渡らせるが、橋の中央へ
 來ると、彼等が押落すから、其人は大蛇
 や魚に食はれてしまふさうだ。

17. poqeip ʔaʔariŋan na ßaihoi
 根原 始 の 風
 何 は 根原 始 の 風

17. 風の起る原因
 擬風の起る原因といふのは、淵に住

2. pa-osa 行かせる、主體主、~m-osa 行く、4. pa-pa-wah-un <pa-pa-owah-un 人を通らせる、來させる、客體主、~m-owah 來る、6. 7. ßə-ßaqəzi 窟鼠、多くの刺、<ßaqəzi 刺、qə-qarəgup 多くの泥坊草、kə-kamato:ro 多くの山蛇、8. 11. soq-on 物を…してしまふ、客體主、soq-on q-əm-arits na ßaqəzi 刺が人を引掻いてしまふ、ma-soq mə-takui 人が倒れてしまふ、主體主、

12. si: qəihol そのまま強ひて、無理に、q-əm-ihol kai 無理をいふ、13. pə-gələgi sami 我々を通らせよ、客體主、原意、我々は[汝の]通す人ぞ、15. hawak-an 其人の爲に手を添へて助けてやる、用具主、人、h-əm-awak 扶助する、主體主、16. sə-ro:ro: 人を押す、用具主、r-əm-əro:ro: 横に押す、hatag-un 人を落す、客體主、mə-hotao 落る、

- ¹ māga: / waqanux tsux maki² sa wasilup
といふのは鹿 居住 に 酒
- ² ma / nano qo: / nux jumup paihoi / jui
さうだ 何 は ある 吹 風が 動
- ³ nija mima ma / pai:aho: ga / phatagun
彼の 洗滌 さうだ 起暴風 は 所出
- ⁴ nija papak nija ma / nano qo: / ini kalao
彼の 耳を 彼の さうだ 何 は 不 強
- ⁵ kah paihoi ga: / tsikui palai pahtagun nija
風が は 少 實に 所出 彼の
- ⁶ papak mero: / e: 'igijutun nija pakaja:pa
耳な といふ而 時 段々…する所 彼の 大きく
- ⁷ pahto: papak ga: / jasa qo: si: 'igigijuts
出す 耳な は 其 は 自然に 段々
- ⁸ ja:pa paihoi / ja:pa palai pahtagun nija pa-
大 風 大 其 所出 彼の
- ⁹ pak ga: / nano jasa qo: mai:aho: karaho?
耳 すると 何 其 は 暴風 烈
- ¹⁰ palai ma /
最 さうだ

んでゐる鹿ださうだ。風が吹いてゐるのは、彼が體を洗ふ爲に動くからださうだ。暴風が起るのは、彼が自分の耳を〔水から〕出すからださうだ。風が強くないのは、彼がほんの少し耳を出すからだといふが、彼が段々餘計に耳を出すと、その爲段々大風になる。〔而して〕彼が一番多く耳を出すと、其で暴風が最も烈しくなるさうだ。

2. タ コ ナ ン 社
(takonan)

1. gumijan atazan
散布する アタヤル

- ¹⁵ raha:zan hani ga / ajats kinkijan na
地 此の は 非 居た所 の
- ¹⁶ atazan / 'asino nannak ro: kahoni? ko:
アタヤル 獣 だけ と 木 は
- ¹⁷ kija / ajats kinkijan na atazan / asi ki
有る 非 居た所 の アタヤル 併
- ¹⁸ laga 'uttux nannak ko: pinsaka:n mijan
おんよ 一 だけ は 養生の處 我等の

1. ア タ ヤ ル の 散 布

〔昔〕此地はアタヤルの住んでゐた所ではなかつた。獣と木だけがあつた。アタヤルの住所ではなかつたけれど、サバヤンに我々の發祥の地が只一

2. jui nija 彼の動くこと、mi-jui 人が動く。
3. pai:aho: ~paihoi 風。
phatag-un 物を出す、客體主、pahto: 人が出す、主體主。
6. 7. 'igijut-un 段々…する、客體主、'ig-ga-gijuts 段々…なる、主體主。
採録期：昭和七年十月新竹州竹東部シバヤン社にて調査。
口授者：タコナン社、Jukan lian 48歳男、taloi silan 18歳男。
説明者：fonai umao (榮馬雄) 26歳男。
補助者：巡查部長、馬場藤兵衛。
14. g-um-ijan 廣がる、數ばる、gijan-an 廣がつた處、75頁、5行。
atazan 大約、otajal、語尾に限り普通大約の l を n と

する、同じタコナン社内にも l を用ゐる者もあり、大約の i は多くさとなる。
15. hani 此、大約、qani <qo-hani (?)
ajats …でない、大約、ijats。
k-in-kij-an 居た所、ka-kakij-an 居る所、75頁、2行、大約、kaki?-an 比、75頁、註 10。
16. 'asino 獸、大約、qosino。
kahoni? 木、大約、kahuneq、大約の q は此處にては普通喉頭破音、又時としては普通の k となる。
ko: 定冠詞、大約、qo:
17. asi ki la ga 併し、けれども、原意、只其丈だつたが、比、79頁、註 15。
18. 'uttux 一、大約、qotux。

- ¹ i sa:ajan / min'uttux haro: / mingaigjuts
在 サバヤン 一人 併 段々
- ² ha:azao laro: / magan'exo ko: kakakijan
積 たので 狭くなる は 居處
- ³ kija jattux laro: / mingaigjuts mataholoi
其處 奥地 それで 段々 下る
- ⁴ tai ho:gal / mingaigjuts mataholoi gaigaon
方へ 下の 段々 下る 谷川
- ⁵ laro: / gijapan nija kowara ko: raha:zal ka
而 所散布 其の 皆 は 地 其
- ⁶ nijal ta kijan hani / mingaigjuts ha:azao
今 我等の 居所 此處 段々 積
- ⁷ ro: / tatowan naha? kahoni? ko: raha:zal
而 所伐 彼等の 木な は 地
- ⁸ hani la / 'ali mintikoi ko: kahoni? lala'li?
此の l 豈 少 は 木 昔
- ⁹ 'ali upats kinkijan / asi ki la ga / pai:pu:zu
豈 無 居處 けれども バイブユ
- ¹⁰ nannak manaki? roni / paga:ijax ko: ata-
だけ 居た 此邊に 越山 は アタ
- ¹¹ jan ro: / 'o:n naha? kowara ko: pai:pu:zu
ヤル 而 所射 彼等の 皆 は バイブユ
- ¹² laro: / nagijusun naha? suma:zu suma:zu
それで 段々…する所 彼等の 入替 入替
- ¹³ ko: raha:zan hani / nagijusun naha? su-
は 地 此の 段々…する所 彼等の
- ¹⁴ ma:zo ro: / patahaluzun naha? raha:zan
射 而 所使下 彼等の 地
- ¹⁵ ho:gal / paginta'to naha? ha:pu:n tamaro /
下の 追詰 彼等の 合流點 タマロ
- ¹⁶ paginta'to naha? i ha:pu:n tamaro laro: /
追詰 彼等の へ 合流點 タマロ 而
- ¹⁷ sa:ijp ko: haraon naha? ini sa:zo / sa:ijp
二人 は 所殘 彼等の 不 射 二人
- ¹⁸ kasa ga maaras pa:ijh ro: tumu:zux tikkai
其の は 持 小獸 と 鹽 少

ヶ所だけあつた。〔始めは〕一人であつたが、段々積えて奥地の場所が狭くなつたので、段々下の方へ下つて來た。段々と谷川を下つて、現在我々が居る此處の土地に散ばつた。〔人が〕段々積えて、來たので此地の木を伐つてしまつた。昔は木は少なくはなかつたが、場所がないのではなかつた。けれどもバイブユ(即サイシャット)だけが此の邊に居た。アタヤルは山を越えて來てバイブユを皆討つたので、アタヤルが段々と此地に入替つて〔住む様に〕なつた。アタヤルは段々攻めて〔バイブユを〕川下へ下らせ、タマロの合流點迄追つめた。タマロの合流點迄追つめたが、彼等は〔バイブユを〕只二人〔だけ〕殺さないで殘しておいた。其の二人は小獸と少しの鹽と火藥と銃とを持

1. i …に於て、…に在る、大約になし、IN. i-ha-ro: …ださうだが、比、大約、ma-ro:
2. ha:azao 積える、大約、ma-pahojao。
ma-gan'exo 狭い、比、大約、maka-qahots 扇風。
4. tai …の方、…の處、大約、tai。
gai-gaon 覆敷 <gaon 谷川。
5. ka 關係代名詞の體をなす、其は即の意。
7. tatow-an 伐る處、位置主、t-um-oto 伐る。
8. min-tikoi 少い、原形 ti を存す、大約、tsikui。
lala'li? 昔、大約、ra:ral。
9. asi ki la ga 74頁、註17。
10. m-an-aki? <m-in-aki? 居た、~maki? 居る。

12. na-gijus-un 段々…する、客體主、min-ga-igjuts 段々…なる、1行。
s-um-a:zu s-um-a:zu 互に入替はる、~ pu-sa:zu 入替へる。
13. s-um-a:zo 射て申てる、ini sa:zo 射ない、17行、大約、mo ~'o
14. pata-haluz-un 人を下らせる、客體主、~ mata-holoi 下る、3行。
15. pa-gin-ta'to 追詰める、大約、ma-ta'to 果まで至る。
17. hara-on 人を殘す、客體主、h-am-ara 殘す、主體主。
18. tumu-zux 鹽、大約、tsimo、-zux は一種の接尾辭。

- 1 ro: ?a?ulit ro: patos laro: / nano lowan
と 火薬 と 銃 それで 何 所見出
- 2 naha? kija ko: ?a?ulit ro: patos ro: pa?ih
彼等の 有 は 火薬 や 銃 や 小銃
- 3 ro: tumu?ux / la?o:n naha? ko sa?ih kasa
や 鹽 所處 彼等の は 二人 其の
- 4 ro: / pa?isan naha? pa?ih ro: tumu?ux /
而 買處 彼等の 小銃 や 鹽
- 5 nano ja:sa ma:pa?alai sami sako: pa?i?u?u
何 共 仲直 我等は と バイブユ
- 6 la / nano skani laga / nijan sami asi
了 何 其時から そこで 今 我等 其處
- 7 pa?imao sako pa?i?u?u hani la /
混 と バイブユ 此の 了

2. mowah ko: wasilup
來 が 海

- 10 pa?ali sami kanakha?azao / mowah ko:
從 我等は 大勢 來 が
- 11 wasilup ro: / pa?ijaran mijan jattoh ko:
海 それで 所處 我等の 奥 は
- 12 wasilup / minta pappak laga / nannak kija
海 至頂上 大刺尖山と ころが だけ 其處
- 13 ko: ini tahakki na wasilup la / asi pas-
は 不 所到 の 海 了 忽 到
- 14 pottij pappak ko: wasilup laro: / asi pa-
極點 大刺尖山 は 海 それで 忽
- 15 ilahoi kija sako: pappak ko: atazan la /
業 其處 に 大刺尖山 は アタヤル 了
- 16 asi kaki? kija / gi: pa?ux ko: nani?un /
其處 居 其處 故 多 は 食物
- 17 saheip naha? pappak ko: pa?wai tarakkis /
所挿入 彼等の 耳に は 實 粟の
- 18 ?uttux ko: gilakop nija ga skaan pahapui
一 は 粒 其の は 所半分 炊
- 19 laga / ?uttux soppel karaho: la i: pahpu-
すると 一 銀鍋 大 了 時 所炊

1. ?a?ulit 火薬, 大勢, qo?uli, 火薬, 兵, 比. Mal. habu 兵, low-an 見つける, 見出す, 位置主, molo: 同上, 主體主.
3. la?o:n < la?o-un. 後の爲に物を殘して置く, 品の中の 木を全部伐らすに少し殘して置くなど, 客體主, l-um-ago 同上, 主體主.
4. pa?is-an 買ふ處, 位置主, 二人, 二人から買ふ意, ma:pa?i 主體主.
6. nijan 今, 現在, 又は現在此様になつてゐる, 大勢 nijal, 此方へ来る.
asi そのまま, 大勢, si: と同じ用法, 34頁, 註4.
10. kana-kha?azao 大勢, < ha?azao 種える, 比, 大勢,

つて居たので,アタヤルは火薬や銃や小銃や鹽といふものを初めて見た。彼等が其二人を残して小銃や鹽を交易してもらつた。其様な次第で我々とバイブユは仲直りした。扱其時から,我々は此のバイブユと其のまゝ一緒に居るやうになつた。

2. 洪 水

[昔は]我々は大勢ではなかつた。海が來た(洪水が出た)ので,我々は海を逃げて奥地へ行つた。大刺尖山の頂上へ行つたが,其處だけは海が來なかつた。海がずっと大刺尖山まで追掛けて來たので,アタヤルはずっと(逃げて)大刺尖山の其の頂の處に集つた。食物が多かつたから其まゝじつとして其處に居た。[當時は]彼等は粟の穂を耳に挿して[旅行などした]。其一粒を

mo:pa?ohao 種える。
11. pa?ijar-an 逃げ去る處, 海が主體なれば逃げて去る處の義にして,逃げて行く處には非ず, ma:pa?i 逃げる, 主體主。
13. tahakki 其處へ着く, 位置主, < taihok 到着, pas-pottij 果まで追掛ける, putij 端, 果。
16. gi: 又 何 …の故, 比. IN. i- 用具を表はす接頭辭。
17. sa-heip 物を挿む, 用具主, 粟の實, h-am-ip 同上, 主體主, sa- 用具主の接頭辭。
18. ska-an 半分とる, 位置主, s-un-ka 半分にする, 主體主。
19. i: pahpu?un la 炊けた時は, i: 時は, pahpu?un 炊く, 客體主, < pa-hapui.

- 1 sun la /
了
- 2 kowara ko: ?asinu u?i ga ma?ijai sako:
皆 は 獸 又は 逃 へ
- 3 pappak u?i / o?o u?i ga ma?ijai sako:
大刺尖山 又 蛇 又は 逃 へ
- 4 pappak u?i / ma?imao sako: atazan ro:
大刺尖山 又 混 と アタヤル と
- 5 ?asino ro: o?o / ini pa?a?ari? ma:pa?asi?
獸 と 蛇 不 始から 窟口
- 6 ma:pa?alai tsugan galo: kasa / ma?ilap ma-
仲好 三 種類 其の 迎風 居
- 7 ki? kija laro: / ga?ilan naha? na pa?alai na
其處 それで 所價 彼等の 以 良 の
- 8 ho?zin ko: wasilup / ro: ini pa?ui ko: wa-
犬 は 海 併 不 動 は
- 9 silup / ini usa / ini sowa?an / pa?ao nija la-
海 不 行 不 承諾 後 其の な
- 10 ga / ga?ilan naha? na pa?alai na atazan la-
つて 所價 彼等の 以 良 の アタヤル す
- 11 ro: / wa?an ko: wasilup la / mowah la?o:zi
ると 去 は 海 了 來 再
- 12 ko: atazan sako: nijan ta kakijan hani /
は アタヤル へ 今 我等の 居所 此處
- 13 pa?ali minaja?eh ko: raha?an kahani /
豈 惡 は 地 此の
- 14 mowah ko: wasilup laro: / ja?eh la ko: ra-
來 は 海 それで 惡 了 は
- 15 ha?an ka nijan ta kakijan hani la / sowa?
地 即 今 我等の 居處 此の 了 何故
- 16 kaka?za?eh ko: raha?an hani / patahalajan
惡くなつた は 地 此の 所遺
- 17 na ta?ai ko: raha?an laro: / ma?apa?a?o?o
の 體 は 地 それで 生回
- 18 la ko: raha?an hani la / mowah ko: na?pa-
了 は 地 此の 了 來 は 祖先
- 19 kis lala?li? laro: / mowah la?o:zi sako: kin-
昔 而 來 再 へ 居
- 20 kijan naha? lala?li? / ini naha? asi la?i ko:
了處 彼等の 以前 不 彼等の やはり 所捨 は

5. ma?imao 混する, まざる, pa?imao 混する, まざる。
6. pa?a?ari? < paka?ari? 始から, maka?ari? 始から, ini の後には paka- となる。
7. ma?ilap 迎風, 大勢, ma-qa?ilap 意る, 78頁, 註7。
8. ga?il-an 賠償を與へる, 位置主, 海, g-am-a?il 同上, 主

半分にして炊くと炊けた時は大きな鐵鍋に一杯になつたものだ。獸も皆大刺尖山へ逃げた。蛇も亦大刺尖山へ逃げた。而して獸と蛇とはアタヤルと一緒になつて三つとも仲好くして始めから喧嘩することはなかつた。彼等は其處に居て退屈したので,上等な犬を[海に入れて]海を宥めた。海は之を承諾しないで,動きも退きもしない。其の後,彼等が立派なアタヤル(人間)を與へて宥めたら,海水が退いた。それでアタヤルは再び今我々の住んでゐる此處へ來た。此地は本來悪くはなかつた。海が來たので我々の今居る此の地は悪くなつてしまつた。此地が何故悪くなつたかといふに[洪水の時]地上を鯉が這つたので此地が凹んでしまつたのだ(凹凸が出來た)。昔の祖先が再び彼等の以前住んでゐた處へ來ても,彼等はやはり粟の實を捨てなかつた。

體主。
17. pata-hala?an 這ふ處, mata-holui 這ふ, 主體主。
18. ta?ai 體, 大勢, ta?ai-gei, IN. tuna, ma?apa?a?o?o 處々凹が出來る < a?o?o 凹。
21. la?i 捨る, 廢棄する, 客體主, m-alax 止める, 主體主。

- 1. βowai tarakkis /
實 業の
- 2. kamažan ko: pakažup so: ?uti maha?
話す は 入る者 に 大便 いふ
- 3. o: / "owaxan si: mamō ga / aki simo
は 所洗 我 汝等の ならば たらう 汝等は
- 4. masajehato / asi nako: asažux hani / ajats
剥皮 其儘の 百日紅 此の 不
- 5. simo paho'in karirijax" / nano ini naha?
汝等は 死 いつも 何 不 彼等の
- 6. ?owaçi ko: pakažup ?uti laro: / asi pilis
所洗 は 入る者 大便に それで ながら 泣
- 7. maha ?o: / "nowai laga ka'lažun si: mamō
いふ は 構はない それで 所儘 我 汝等の
- 8. ?omowax laga / ana ala'i tikkui laga /
洗 すれば ても 子供 小い やはり
- 9. ka'lažun mijan tōmoni laga: gažalun mi-
所儘 我等の 保護 すれば 所取 我
- 10. jan la / kija ko: ini mijan ka'laži tōmoni
等のぞ 其 は 不 我等の 所儘 保護
- 11. ga / pa'asi mijan sai nako: kin'ainaxan
は 所放置 我等の 歸着 の 生命
- 12. nija ro: / tažmaso? laga gažalun mijan
彼の 面 終 すると 所取 我等の
- 13. la" / nano jasa laga / ini su βalai kaihoi /
そ 何 其様 やはり 不 其 實に 爲
- 14. ana kija ko: tikkui laga / wažan maho'il
ても 其 は 小者 やはり 去 死
- 15. la / kija ko: ini nija ka'laži tamoni ga /
了 其 は 不 彼の 所儘 保護 は
- 16. nažakis laga galun nija ro: / nano asi
老人 なんと 所取 彼の 面 何 其儘
- 17. nako hani ko: kin'ajanux mijan la /
の 此 は 生命 我等の 了

2. k-am-ažan 話す。大豹 k-am-ajal.
maha ?o: <maha ko: <maha qo: (?) ...といふ。
maha は大豹の mutsi と同じ用法。
3. ?owax-an 體など洗ふ。位置主。ini に續く時は owaçi
となる。6行 ç は唇音化。大豹。ç-om-owax.
si: 私は。大豹。sako.
4. masa-jehato 剥ける。原意。皮が取れて現れ出る。jeha-
to 出る。現れる。

大便の中へはいる[ことを常習とす
る神があつた。或時其]神が[アタル
に]お前等が私を洗つてくれるなら、お
前等は此の百日紅の様に[順々に]皮が
剥けて[いつまでも]年を取ることがな
い]だらう。而してお前等はいつも死
ぬ事はないだらう[と]いつて約束した
事があつた)。ところが彼等は其神を
洗はなかつたので、彼は泣きながら、お
前等は私を構はないで洗ふことを面
倒臭がるなら、小さな子供でも我々は
保護がいやになつたらその生命を取
るぞ。我々が保護を厭はない者は、成
行にまかせておいて、其の命數が盡き
た時に、我々が命を取ることにする。
據其様にいつたが、[其事は]實に嘘では
なかつた。小さい者(小供)であつても
死んでしまつた。而して彼が保護を
止めなかつた者は老人になつて彼が

7. ka'laž-un 面倒臭がる。客體主 ini に續く時は ka'laž-i
となる。ma'ileç 意。退屈する。主體主。77頁。註7。
9. ga-gal-un いつも取る物。客體主生命。magaž 取る。主
體主。
11. sa-i 歸着。果。原意。行く處。位置主。~ m-usa 行く。
kin'ainax-an 生命。大豹。ç-eiç-qajanux-an。
12. taž-maso? 自分で自然に終る。大豹。ma-soç 終る。
13. kaihoi 爲。ini に續く時は kaihoi。~ maihoi 爲る。

命を取つた。而して我々の生命は此
の様になつてゐるのである。

- 3. mowah nannak ko: nananižun
來 自 が 種々の食物
- 5. nano nažakis mijan lala'li? ga ini βaži
何 祖先 我等の 昔 は 不 買
- 6. so: nananano / gi: mowah nannak ko: na-
なほ 何物 故 來 自 は 種
- 7. nanižun / ana ?asija uži ga sužun naha?
々の食物 ても 水 亦 やはり 所呼 彼等の
- 8. ga mowah / nano ko: kahoni? uži ga su-
すれば 來 何 は 餅 亦 やはり
- 9. žun naha? ga mowah / ja?ko: βižuwak ko:
所呼 彼等の すれば 來 あの 豚 は
- 10. sužun naha? ga mowah uži / wažanux ko:
所呼 彼等の すれば 來 亦 鹿 は
- 11. sužun naha? ga mowah / nano ?o: sužun
所呼 彼等の すれば 來 何 は 所呼
- 12. naha? laoži ko: wažanux ro: / mowah ro: /
彼等の 亦 は 鹿 と ころが 來 から
- 13. sinaja:lan naha? ?emap ro: / tao'o laro:
餘り多し... 所彼等の そぐ(肉を) それで 怒 了而
- 14. wajan mažijai ini owah la / nano ini ow-
去 逃 不 來 了 何 不 來
- 15. ah karirijax laro: / asi ki ?alažun laga
いつも それで 只 時 所呼 すれば
- 16. galun la / nano ko: ?asija ro: kahoni? βi-
所取 了 何 は 水 や 木
- 17. žuwak uži laga tao'o kowara la / jaasa
豚 亦 までも 怒 皆 了 共
- 18. ini owah kowara la / ?ariç kija ko: laokah
不 來 皆 了 始 其 は 勉
- 19. maomah ko: atažan la / kija ko: ini ka
仕事 は アタル 了 其 は 不
- 20. laokah maomah βažao nija laga / maho'in
勉 仕事 後 其の すると 死

3. 食物が自分で来る
昔我等の祖先は物を買ふといふこ
とはなかつた。其は種々の食物など
は自然に出て来たからである。水で
も彼等が呼べば来た。又木でも彼等
が呼べば来た。あの豚でも彼等が呼
べば又来た。鹿も彼等が呼べば来た。
或時彼等が又鹿を呼んだところが、鹿
が来たから彼等が其の肉を入用以上
にそぎ取つたら、鹿は怒つて逃げて行
つて来なくなつた。扱いつも来なく
なつたので、狩をする時に限り取れる
様になつた。扱水や木や豚までも亦
皆怒つた。其で皆来なくなつてしま
つた。其からアタルは仕事に勉め
るやうになつた。其後仕事に勉めな
いものは皆飢の爲に死んでしまふや

4. na-na-niž-un 種々の食物 ~ mani? 食ふ。大豹。na-neq-
on 食物。
7. ?asija 水。大豹。qasija.
suž-un 呼ぶ。客體主。s-um-ui 同上。主體主。
11. nano ?o: = nako ko: 扱。其。大豹。nano qo:
13. s-in-aja:l-an 物に對し餘り... した。位置主。māna-ijal
餘り... する。主體主。ijal 餘り。
?am-ap そぐ。切取る。?ap-un ちぎる。客體主。

tao'o 怒る。憤る。t-am-ao'o 同上。一般現在。
15. asi ki 併し。只... する時に限り。比。大豹。si: ga.
?alap-un 狩する。客體主。?am-alijap 同上。主體主。20
頁。9行。大豹 q-am-alup。
17. ...laga <la ga ... にしてもやほりの意。
19. ma-omah 仕事する。働く。原意。息をなする。大豹。ma-
qo:mah。

¹ na uʒai la /
為 飢 了

うになつた。

4. lakamakowai
故人マコソイ

- ⁴ gaga mijan lalaʔliʔ ga / maiʔ sami so:
習慣 我等の 昔 は 典 我等を
- ⁵ ju:rak / kija ko: ini ʔaiʔ jurak ga / ʔuttux
収穫祭 有 が 不 典 収穫祭をは いつし
- ⁶ haluʒun na ʔuttux / nano ko: ʔuttux ka
所引張 の 神 何 は 一人 共
- ⁷ naʔakis lalaʔliʔ kimahalijan / ini ʔaiʔ jurak
祖先 昔の 初代 不 典 収穫祭
- ⁸ ro: / haluʒun na ʔuttux / lalo: nija ga laka-
それで 所引張 の 神 名 彼の は 故
- ⁹ makowai / musa ʔamalijap ro: / matatiriʔ
人マコソイ 行 狩 而 戦(神と)
- ¹⁰ sako: rəgijax putots / nano matatiriʔ kija
で 山 ブトツ 何 戦 共處
- ¹¹ ro: / ana nijaʔ saʔagon ko: tunux ga / gal-
而 けれども 彼の 所割 は 頭 併 所
- ¹² un ko putij ga / opat ko kinutan / ʔut-
取 は 刀 すると 無 は 斬つた跡 神
- ¹³ tux uʒi ga / kutan nija ko: ataʒan uʒi
亦 は 所斬 彼の は アタヤル 亦
- ¹⁴ ga / opat ko: kinutan /
併 無 は 斬つた跡
- ¹⁶ nano ko: lakamakowai ga waʒan halu-
何 は 故人マコソイ は 去 所引
- ¹⁷ ʒun na ʔaʔuttux / waʒan təmgagaon / wa-
張 の 神 去 傳 谷川 去
- ¹⁸ ʒan asi ka opat kija la / ʔuttux kajan ga
自然 共 無 共處 了 一 年 すると
- ¹⁹ papowahon nija laoʒi ro: / ʔuttux kama-
所返 彼の 再 而 いつし 話
- ²⁰ ʒan maha ʔo: / "musa sami ʔamilijap /
いふ は 行 我等 狩

4. 故人マコソイ

昔我々の習慣として、我々は収穫祭を行つた。収穫祭を行はなは者はいつても神が引ばつて行つた。扱昔初代の祖先の一人が、収穫祭を行はなかつたので神が引ばつて行つたことがあつた。彼の名はマコソイといつた。彼は狩に行つた時、ブトツといふ山で神と戦つたことがあつた。扱共處で戦つて、彼は神の頭を割つたが、刀を取つて見ると、斬つた跡方が無かつた。神も亦、アタヤル(マコソイ)を斬つたが、斬つた跡方がなかつた。

扱マコソイは神に引ばられて、谷川を傳つて、行つてしまつたので、いつの間にか其の地に居なくなつてしまつた。一年して神が再び返してくれたが、神と共に居た間、いつも彼は「我々は

- 4. maiʔ < *m-ʔaiʔ 典へる, ini ʔaiʔ 典へない, 5行, 大動, meq, ini ʔeq, 比. IN. bəra. 収穫祭を典へるは祭なすること。
- 5. ʔuttux いつし, 原意, 一つ, 大動, qotux.
- 6. haluʒ-un 物を引張る, 客體主, h-am-ului 同上, 主體主, ʔuttux, ʔaʔuttux 神, 怪物, 大動, utux, 比. IN. anito.
- 7. ki-mahalij-an 初代, 第一代, ~ min-ha-li 一回, 大動,

- min-xa-l.
- 11. saʔag-on 物を打割る, 客體主, s-um-aʔao 同上, 主體主.
- 12, 13. k-in-ut-an 斬つた痕, kut-an 斬る, 客體主, k-am-ut 同上, 主體主.
- 19. pa-powah-on 返す, 歸らせる, 客體主, moah 来る, 歸る, 主體主.

- ¹ nano ʔamilijap sami ro: / ʒamohak samiʔ /
何 狩 我等 而 起す 我等は
- ² nago:n nija səmaʒo ko: hoʒin na luttux /
所得伏 彼の 射 は 犬 の 神
- ³ wahan nija mita ro: / kjalun nako ʔuttux
所來 彼の 見 而 所話 の 神
- ⁴ ko: lakamakowai maha ʔo: / "sowaʔ so
は 故人マコソイ いふ は 何故 汝の
- ⁵ ʔo:n ko: hoʒin mo / nowai ga haʔagai
所射 は 犬 我の 宜しい は 所究
- ⁶ mijan ko: ʔuttux gapuʒuxʔ / ʔa:las heja ga
我等の は 一 牝犬 其の は
- ⁷ səʔaiʔ nija maha ʔo: / "tahok ro: kaniʔi
所典 彼の いふ は 煮 而 食へ
- ⁸ naniʔun so / ana ga ʔəla:paʔo ta laoʒi ko:
食物 汝の 併 れ 狩しよう 我等 再 は
- ⁹ hani ro: / paragai so na alaʔi / mowah ko:
此方 而 所附典 汝は 以 子を 來 は
- ¹⁰ ʔiʒowak mijan ga / pas-ʔaʔanai so nako
山脈 我等の すると 所教 汝は の
- ¹¹ alaʔiʔ / nano ʔo: ʔəlapun nahaʔ ro: / mowah
子 何 は 所狩 彼等の すると 來
- ¹² ko: ʒinohak nahaʔ ro: / taxan ga takkai /
は 所追出物 彼等の 而 所見 すると 蛙
- ¹³ si: paho: so: aʒaʔao ni lakamakowai ro: /
直に 所折 な 枯薄 の 故人マコソイ 而
- ¹⁴ pataʔapan nija ro: alijan nija na aʔao
所挟 彼の 而 所括 彼の 只 葉
- ¹⁵ ləmiʔui / suʒun nako: alaʔi maha ʔo: /
鬼茅の 所呼 の 子 いふ は
- ¹⁶ "waha mita / mama nijan nija tariʔun ko:
來い 見 扱父 今 彼の 朝の 物 は
- ¹⁷ ʔəʒuwak mahaʔ / nano mowah ko: jaʔa
山脈 といふ 何 來 は 父
- ¹⁸ nija ro: / wahan nahaʔ maitaʔ / nano jasa
彼の 而 所來 彼等の 突 何 其

狩に行かう。我々は狩をして(野獸を)たき起してやらうといつた。彼は[狩した時に]待伏してゐて神の犬を射殺した。神が来て見てマコソイに話していふには「何故お前は私の犬を打つたか。我々は一匹の牝犬に對して咒したがよいだらう」といふ。而して其の牝犬を神が[彼に]與へていふには、「煮て食ふならばお前は煮て食へ。併し我々は又此方の處で狩しよう。而して子をお前に付けてやらう。我々の[捕へるべき]山脈が出て來たら、その子がお前に教へてくれるだらう」といふ。扱彼等が狩したところが、追出した物が出て來たので、見たら蛙であつた。[實際は山脈なれどもマコソイには其が蛙に見えた]。マコソイは枯れた薄を折つて、其を挟んで、鬼茅の葉

- 1. ʒ-am-ohak 石など起し上げる, 獸を起し追出すこと, ʒ-in-ohak 追出した物, 12行.
- 2. nago:n < naga-on 待つ, 客體主, mu-naga 主體主.
- 5. haʔag-ai < *hagaʔ-ai 物に對して咒してやらう, 位置主, ~h-am-agop, 斬る, < *h-am-agoʔ.
- 7. səʔaiʔ 物を典へる, 用具主, sa- < sa- 其の物, kaniʔi 食へ, 客體主, maniʔ 食ふ.
- 8. ʔəla:paʔo 狩しよう, 客體主, 此方の物 79 頁, 註 15.
- 9. parag-ai 編へてやらう, 附けてやらう, 位置主, 汝, pa-rao 派へる, 主體主, na alaʔi 子供を以て編へることをする義.
- 10. pas-ʔaʔ-an-ai 教へて買へるだらう, 位置主, 汝, pas-ʔaʔ

- 教へる, pas-ʔaʔ-an 人に對して教へる, 位置主, pas-ʔaʔ-an-ai so nako alaʔi 汝は子の教を受ける人になるだらう.
- 12. tax-an < kita-an 其を見, 位置主, mita < k-um-ita 同上, 主體主, -x- は挿入(?)
- 13. si: paho: 直ちに折る, si < asi.
- 14. pataʔap-an 挟む, 客體主, pataʔap 同上, 主體主, ali-jan 括る, 客體主, um-uli 同上, 主體主.
- 16. waha-e 來い, 位置主, m-owah 來る, tari-un 朝にかける, 客體主, t-um-ari 同上, 主體主.
- 18. maitaʔ 突く, 大動, maitaq.

- ¹ maʒumo ko: ʔəʔuttux / ʔakon nahaʔ ko:

喜 は 神 所解剖 彼等の は
- ² takkai niʔun nahaʔ / makowai heja ga

蛙 所食 彼等の マコワイ 彼 は
- ³ ʔakon nija ko: ho:ʒin na ʔuttux / "taxan

所解剖 彼の は 犬 の 神 所見
- ⁴ mu ko: saʔasa nako: ʔuttux heja ga / pa-

我の は 敷物 の 神 あれ は
- ⁵ ʒux heja / kuʒip heja ga tikkui" / nano

多 あれは 我 共 は 少 何
- ⁶ musa saliʔ la /

行 家 了

- ¹⁴ ʔaʔao nija laga musa maʒaga / saraʔara

後 其の なつて 行 出草 所注意
- ¹⁵ nahaʔ ro: taxan ga / asi ga ajats palmu-

彼等の 而 所見 すると 其儘 は 非 本島人
- ¹⁶ kan / haʔijagun nahaʔ ga jaasa ko: ʒilok /

所追掛 彼等の すると 共 は 毒
- ¹⁷ ʔapun nahaʔ ko: ʔowai na ʒilok ga / jaa-

所摘 彼等の は 實 の 毒 すると 共
- ¹⁸ sa ko: tunux na palmukan / suljatan ni

は 首 の 本島人 所採 の
- ¹⁹ lakamakowai kowara ko ʒilok ka pakakiʔ

故人マコワイ 皆 は 毒 共 在
- ²⁰ rararao na leʒup / nano ʔo: mowah laga

兩側 の 川 何 は 行 そこで
- ²¹ taxxan laro: / nijan nija səpaʒa ko: tunux

所見 ところが 今 彼の 所負物 は 首

- 1. ʔak-on <ʔoak-un 解剖する, 客體主, moak 同上, 主體主.
- 14. maʒaga 出草, 首狩, 原意, 慣習を行ふ, 例の事をする, gaga 慣習.
- sa-raʔara 注意する, 用具主, r-əm-ʔara 同上, 主體主.
- 16. haʔijag-un 追掛ける, 客體主, maheja 同上.

で其を括つた。[神の子が呼んで[神に]いふには「来て見なさい。今叔父さん(マコワイ)が山脈を網にかけた」といつた。扱彼の父が来た。而して[皆]が其處へ来て刀で突いた。共で神は喜んだ。彼等(神と子)は蛙(實は山脈)を料理して食つた。マコワイは神から貰つた犬を料理した。[而していふには]私があ神の[料理する]敷物を見ると、彼方の方は[肉が多くて私の方は少い]といつて不思議がつた。[マコワイが蛙と見たのは實は山脈であつた故分量が多かつた意]而して[彼は]家へ歸つた。

其後になつて又出草に行つた。彼等が注意して見ると、様子が本島人でない。彼等が追掛けると其は毒であつた。彼等が毒の實を摘むと、其は本島人の首であつた。マコワイは川の兩側に在つた毒を皆とつてしまつた。扱歸つて見ると今彼が袋に入れて負うて来たもの(毒)は本島人の首であつ

- 主體主.
- 17. ʔap-un 切取る, 客體主, ʔəm-ap 比79頁, 註. 13.
- 18. suljat-an 物を伐採する, 客體主, s-um-ulijat 同上, 主體主.
- 21. səpaʒa 負ふ, 用具主, ma-paʒa 負ふ, 主體主.

- ¹ na palmukan / saʒip ko: ʔəʔuttux ka nijan

本島人 二人 は 神 共 今
- ² nija ʔo:n kamilun nako: ʒilok ro: / asi ga

其の 所的 中 所引振 の 毒 それで 其儘 は
- ³ ʔənowan na pattos / mowah sami laro:

所的 中 了 の 銃 歸來 我等 は 而
- ⁴ wahan mijan maʔowas so: tunux na pal-

所來 我等の 祭 を 首 の 本
- ⁵ mukan / "ini mo ʔaʔi ko: naniʔun mo /

島人 不 我の 所知 は 食物 我の
- ⁶ ana si: nahaʔ saon kaniʔ ga / ini mo ʔaʔi

てし 我 彼等の 所言 食へ やはり 不 我の 所知
- ⁷ ko: maniʔ si: / gi: limoʔ heja" /

は 食 我は 故 置 彼は

- ¹⁰ ʔaʔao nija laga / toon si: nija maha

後 其の なつて 所遣 我は 彼の いふ
- ¹¹ ʔo: / "osa lakki / məsoʔon so kumo:t ko

は 歸る の だぞ 所遣 汝の 新 は
- ¹² ʔinkaʔi mijan" / "ʔali mo nijan ʔaʔon aosa

所買物 我等の 袋 我の 今 所知 所行
- ¹³ mo ka toʔi" / "nowai ro: / halai so mijan

我の 其 遣 備はない 而 所急 汝は 我等の
- ¹⁴ smato ro: / parasai so mijan mataʒo pa-

送 而 所使持 汝は 我等の 六
- ¹⁵ nailoʔ ro: / sitamasoʔ so: ko mataʒo kasa

矢 而 所用蓋 汝の は 六 其の
- ¹⁶ laga / galun so mijan la" mahaʔ /

すると 所取 汝は 我等の ぞ といふ

- 2. kamil-un 引振く, 客體主, k-am-amil 同上, 主體主.
- 3. ʔən-ow-an <ʔ-in-o-an 的申した處, mo 射中てる.
- 4. maʔowas 祭る, 原意, 諸ふ, 大勢, ma-qowas 諸ふ.
- 5, 6, 7. na-niʔ-un 食物, kaniʔ 食へ, 主體主, maniʔ 食ふ, 79頁, 註4.
- 6. sa-on さういふ, さうする, 客體主, sa は hasa 其處, などの sa.
- 11. osa lakki <osa la ki 歸るのだぞ, 歸れよ, ʔa-ʔo-on so mijan la ki 汝は我々が銃で打つのだぞ, 打つぞよ.
- 12. ʔ-in-kaʔi 買つた物, makali 買ふ.

た。[マコワイと]神と二人は毒に引振かれて傷をうけて、丁度銃が中つた様であつた。我々(マコワイと神の二人、此處には一人稱を混じて用ゐる)は歸つて家へ来て本島人の首を祭つた。[マコワイが言ふには]、「私は私の食物が分らない。私は彼等に食へといはれても私は食ふのが分らない。神は益であるから」といつた。(此の處意義不明)。

其後になつて神が私を(一人稱を用ゐる)遣はしていふには「歸つて行け、お前は我々の買つた物(本島人)を斬殺してしまつた。[マコワイは]私は歸り路が分らないものを如何して歸れるものか[といふと神が]、「宜しい。私がお前を送つて行かう。而して[お前に]六本の矢を持たせてやらう。其の六本をお前が使用してしまつたら、直に私はお前の生命を引取るぞ」といつた。

- aosa mo ka toʔi 私の行くべき道, aosa <a-usa 用具主, ~m-usa 行く, toʔi 道, 大勢, toqei.
- 13. halai so s-m-ato さあ汝を送つて上げよう, halai <hala-i 登ぐ, せく, 客體主, 現實未來, ~hala-a ta = ha-ta さあ行かう <hailao-a ta 我等登かう?, 本文原意, 汝は我等のせいで送る人だといふ義.
- 14. paras-ai so 汝に持たせて上げよう, paras-ai 持たせる, 位置主, 現實未來, maras 持つ, 汝は[矢を]我等の持たせる者といふ義.

- ¹ βali naha? βa'on so: mamaḡowah / mu-
登 彼等の 所知 な 將歸 行
- ² sa kaho? ko: kanaerin ni makowai ro: /
倉に は 妻 の マコワイところが
- ³ nijan asi ʔaβalaβin kaho? makowai /
今 そのまま 震へる 倉で マコワイは
- ⁴ kjalun nako: kanaerin nija maha ʔo: /
所話 の 妻 彼の いふ は
- ⁵ "sowa? so nijan laozi ao? / so waβan
何故 汝 来た 再 かれ 汝は しまった
- ⁶ maho'in so: lala?li? rowa" / nano jaasa
死 に 以前 だらうに 何 共
- ⁷ ga-tamaso? / ko: ʔuttux kai ka pinuβan
は 終 は 一 話 共 所聞
- ⁸ mo /
私の

5. mani? so: ala?i
食 を 子

- ¹² naβakis mijan so: lala?li? ga / ʔuttux
祖先 我等の時 昔 は いつも
- ¹³ mani? so: ala?i / βali aki ni?un nako:
食 を 子供 登 欲 所食 の
- ¹⁴ kanaerin nija ga / musa ʔamamaβah / sa-
妻 彼の 併 行 島
- ¹⁵ ʔeraβun nako: tamaluβ nija maha ʔo: /
所敷 の 夫 彼の いふ は
- ¹⁶ "ita jageh hala si: pahapoi / maho'in ko:
よこせ 女の赤坊 行 我 炊 煮える が
- ¹⁷ pinhapoi ga sojao miso / ka pakinaro-
飯 すると 所呼 我の汝は 勿 急
- ¹⁸ wak / naga so: sasoi" / saon nija ko:
待て な 合圖 所言 彼の は
- ¹⁹ kanaerin /
妻
- ²⁰ musa ko: tamaluβ ro: patosan nija ko:
行 は 夫 而 所銃殺 彼の は

1. ma-magowah 歸らうとする。～ maowah. aとoとの間に渡りの音 g を生ず。語頭の音節を反覆して未来を示す。
3. ʔaβalaβin. ～ maβalaβin 震へる。97頁, 13行。
6. rowa …だらうと思ふが、此處にては死んでしまったと思つてゐたのといふ義。大豹, rowa。
13. aki 欲す, したがふ。

マコワイの家族の人々は彼の歸るのを知つてゐるやう筈がない。[折柄]マコワイの妻は倉に行つたところがマコワイは其時[歸つて]倉でじつとして震へてゐた。彼の妻が話していふには「お前は如何して又歸つて来たのか。お前は疾く以前に死んでしまつたと思つてゐたのに」といつた。扱私の聞いた一つの話は其で終りです。

5. 子 を 食 ふ

昔我々の祖先はいつも子供を食つた。或る妻は食ひたくはなかつたが、[欺かれて食はされた]。島に行つてゐると、夫が欺いて「その[女の]赤坊を一すよこせ、私は行つて飯を炊くから。飯が煮えたらお前を呼ばう、早まるな、呼ぶのを待て」と彼は妻にいつた。夫は行つて其の子を銃殺した。彼

15. saiβeraβ-un 欺く, 客體主, s-um-aβaro: 同上, 主體主, 比, 大豹, taqaro:
17, 18. soj-ao 呼ばう, 客體主, 現實未來, sa-soi 呼ぶ爲のもの, 合圖, suβ-un 客體主, 85頁, 3行, s-um-ai 呼ぶ。
17. pa-kina-rowak 時期より早く…する。比, 大豹, ma-karowak mohoqeil 若死する。
20. patos-an 銃で打つ, 客體主, matos 銃を打つ。

- ¹ ala?i nija / tahakun nija ko: ala?i nija
子 彼の 所煮 彼の は 子 彼の
- ² rarami? nako: kanaerin nija / maho'in ko:
菜 の 妻 彼の 煮えた は
- ³ tinahok nija ka ala?e laga / suβun nija la /
所煮物 彼の 其 子 そこで 所呼 彼の 了
- ⁴ mowah ko: kanaerin nija la / taihok ko:
来 は 妻 彼の 了 到着 は
- ⁵ kanaerin nija laga / kjalun nako: tamaluβ
妻 彼の すると 所話 の 夫
- ⁶ maha ʔo: / "nijan si: sumaβo so: ɟupai"
いふ は 今 我 打 を 猿
- ⁷ saon nija / tiβai la ɟumo nako: kanaerin
所言 彼の 非常だ 喜は の 妻
- ⁸ nija maha ʔo: / "pakanit ta so: ɟupai" / ka-
彼の いふ は 將食者 我等は を 猿
- ⁹ maβan ko: kanaerin maha ʔo: / "galao mo
話 は 妻 いふ は 所取 我の
- ¹⁰ ko: ala?i βaβowai mo" / maha? ko: kana-
は 子 所使飲乳 我の といふ は 妻
- ¹¹ erin / sijan nija so: ajamai ko: saβal nako:
所入 彼のな 石 は 吊床 の
- ¹² ala?i / kjalun nako: tamaluβ maha ʔo: /
子 所話 の 夫 いふ は
- ¹³ "laβi asi gali han / mosa ja?eh kənanit so
勿 俄に 所取れ 成 悪く 食つた味 汝の
- ¹⁴ so: ɟupai" saon nako: tamaluβ nija / ka-
な 猿 所言 の 夫 彼の
- ¹⁵ maβan ko: kanaerin maha ʔo: / "ao ha?oi /
話 は 妻 いふ は はい せせせ
- ¹⁶ taβi βalati ko: kənanit mo" maha? ko:
見よ 良い は 食つた味 我の といふ は
- ¹⁷ kanaerin / kamaβan ko: tamaluβ / "kani?
妻 は 話 は 夫 食へ
- ¹⁸ isu la / mənani? si: so: saoni kuβiβ la" /
汝よ 食了 我は に 先程 我は 了
- ¹⁹ saon nija ko: kanaerin nija / karo:sun
所言 彼の は 妻 彼の 氣持懸
- ²⁰ nako: tamaluβ / ɟi: mani? so: ala?i nija /
の 夫 故 食 を 子 彼の

は妻のお菜として其の子を煮た。彼の煮た,その子が煮えたので,彼は[妻を]呼んだ。彼の妻は来た。妻が其處へ来た時夫は「私は今猿を打つた」といつた。妻の喜は非常で「我々は猿を食べられる」といつた。妻は又子供を取らう。而して乳を飲ませてやらう」といつた。夫は[子を殺した後]子のハンモックの中へは石を入れておいた。而して夫は「さう急いで取るな。お前が[折角]猿を食ふのに其の味が旨くないだらう」といふ。妻は「はい。さうしよう。すれば旨く食べられるだらう」といふ。夫は妻に「お前食へ。私は先程もう食つて済んだ」といふ。自分の子を食べうのだから夫の氣持はよくなかつた。妻が腹一杯食つた時に,夫は「お前の食器を其處へ置け。而してお前が食つた猿の頭を見よ。[頭と手の先と足の先は煮ないでおいてある]と

1. tahak-un 煮る, 客體主, t-am-ahok 同上, 主體主。
2. ra-rami? お菜, 大豹, ra-ramats.
8. pa-kani? < pa-pa-kani? 食べる, 主體主, 未來, 原意, 將來食べる人, 大豹, pa-pa-kaneq.
9. gal-ao 取らう, 客體主, 現實未來, gal-i 同上, 客體主, 現實現在, 13行, m-agal 同上, 主體主。
10. βaβow-ai < βoβo-ai 乳を飲ませよう, 位置主, 現實未來, 比, βoβo 乳。

11. si-j-an 置く所, 位置主, s-um-i 同上, 主體主。
13. k-ən-ani? < k-in-ani? 食つた味, 又食つた物, 大豹 k-ən-aneq.
16. taβ-i 見よ, 位置主, 果してと譯す, mita < k-um-ita 見る, tax-an 見る處。
17. kani? isu 汝食へ, 主體主, 比, kani?i 食へ, 客體主。
18. m-ən-ani? 食つた, 主體主, 大豹, m-in-aneq.
19. karo:s-un 氣持懸がる, 客體主, maro's 同上, 主體主。

- 1 manip ko: kanaerin ro: matapi? laga /
食は妻而 涙腹 すると
- 2 kjalun nako: tamalup maha ?o: / "sako:
所話の夫 いふは 置け
- 3 kija ko: kinani?an so ro: / taçi kija ko:
其處は 食器 汝の而 所見 其處は
- 4 tunux na ?upai ka wajan so ni?un" ga:
頭の 猿 其 既 汝の 所食 併
- 5 nano ja:sa ko: tunux na ala?i ka wajan
何 其は 頭の子 其 既
- 6 nija tahokun / taxxan nako: kanerin nija
彼の 所産 所見の 妻 彼の
- 7 ko: tunux ro: / ja:sa ko: tunux nako: ala?i
は 頭 すると 其は 頭の子
- 8 nija / asi pilis ko: kanaerin nija ro: / asi
彼の 忽 泣は 妻 彼の 而 忽
- 9 puta? laro: / ?uttux ?a?po? ko: pinuta?
吐 すると 一 山は 所吐出
- 10 nija / kama?an ko: kanaerin ro: / "pa?sisi
彼の 話 は 妻 には そのまま
- 11 pilis ro: / pa?sisi paskaopat soko: tinla?a-
泣 而 そのまま 消失 於 坐處
- 12 pan mo hani" maha ko: kanaerin / asi
我の 此處 といふは 妻 忽
- 13 sa?alai paskaopat kija ko: kanaerin laro: /
本當 消失 其處は 妻 而
- 14 ja:sa ko: wajan magarijai ka ?uttux ma-
其は 既 成蟬 其 いつも
- 15 ?owas soko: a?aa?ao ?ananaxe?
啼 於 木の葉 深林の

6. ma?a?awak
成 山脈

- 18 na?akis mijan so: lala?i? ga wajan ma-
祖先 我等の時 昔は しまつた
- 19 ?a?awak / nano musa ma?omah ro: / ka-
成山脈 何 行 島 仕事 而
- 20 karijatan wawitux laga / toon nako: ja?a
正午 太陽 すると 所遣の 父

3. k-in-ani?an 食つた道具 <kani? 食へ。
9. puta? 吐く, p-in-uta? 吐いた物, 大豹, mutaq 吐く。
11. pas-ka-ogat 自然に無くなる, upat 無い。
t-in-la?ag-an 坐つて居た處, ma-tala?on 坐る。
14. ma-ga-rijai=ma-ra-rijai 蟬に成る <rijai 蟬。
15. ?ananaxe? 深林, 大豹, qonaxe?

つたが、其は(實は)彼が煮た子供の頭であつた。彼の妻が頭を見ると、其は自分の子の頭であつた。すると彼の妻は泣出すが早いか(食物を)吐出したが、その吐出したものは一山あつた。妻は「私は泣きながら其のまま此の座で消失せてしまうぞ」といつたが見る見ると其の妻は本當に消失せてしまつた。(今日)深林の木の葉の間でいつも啼いてゐるあの蟬は其の妻になつたものである。

6. 山脈に成る

昔、我々の祖先に山脈になつてしまつた[者がある]。擧(或る親子が)島に行つた。正午になつた時に、彼の父と母と

17. ma-?a-?awak 山脈(脈)に成る。 <?awak 脈。語頭の首節を反覆して ma- を附す。比. 88頁, 註17。
19. ka-ka-rijax-an 正午, 原意, 眞晝の時。 <rijax 晝。
20. wawitux 太陽, 大豹, wagi. 比. Mal. hari. -tux は一種の接尾辭。

- 1 nija ro: jaja nija ko: ala?i maha ?o: / "usa
彼のと 母 彼の は 子 いふは 行け
- 2 pahapoi" saon nija / "rawato miso ro: /
炊 所言 彼の 所推定 我の 汝 而
- 3 kija maho?in ko: pinhapoi so laga / mao-
其處 煮える は 炊いた物 汝の すると 行か
- 4 wah sami la" saon nija ko ala?i / nago:n
い 我等はよ 所言 彼の は 子 所待
- 5 nako: ala?i ko: ja?a ro: jaja ro: / ini owah
の 子 は 父と 母 而 不 來
- 6 ko: ja?a ro: jaja / halan mita nako ala?i
は 父と 母 所行 見の 子
- 7 ko: ja?a nija ro: jaja nija ro: / nijan ma-
は 父 彼の と 母 彼の と ころが 今
- 8 ?a?awak maki? sijao na ?amama?ah /
成山脈 居 縁に の 島
- 9 ja?a nija ro: jaja nija / ha?aga?un nija
父 彼の と 母 彼の 所追掛 彼の
- 10 ko: ala?i nija maha ?o: / "nijan sami ma-
は 子 彼の いふは 今 我等は
- 11 ?a?awak" saon nija ko: ala?i nija / sa-
成山脈 所言 彼の は 子 彼の
- 12 o?eh nija kakasun ko: ala?i nija / kjalun
殆 彼の 所咬 は 子 彼の 所話
- 13 nako: ala?i nija maha ?o: / "ja?a jaja laçi
の 子 彼の いふは 父よ 母よ 勿
- 14 si: kasi: / mamohaja si: tikai so: pahe ro:
我は 所咬 將我 我は 少 を 嘗と
- 15 saihoi ro: ?aonao ro: sa?itis ro: / wahe
芋と 落花生と 甘蔗 それで 来い
- 16 mani? tikkai saisijao" saon nija / ja?a nija
食 少 縁の處 所言 彼の 父 彼の
- 17 ro: jaja nija /
と 母 彼の
- 18 ?ari? kija ko: kija ko: ?awak ?anana-
始 其は 有 が 脈 原野
- 19 he? la / nano taçi / maomah sami laga /
了 何 見よ 耕作 我等 すると
- 20 wahan mani? na ?awak ko: sijao na
來處 食 の 山脈 は 縁の

は其の子を(小屋へ)遣つて行つて飯を炊け]といつた。而して又[よい時を見計らつて、お前の飯が炊けた頃に、我々は(食ひに)行かう]とその子にいつた。子は(飯を炊いて)父と母とを待つてゐるが、父と母とは來なかつた。子は父と母とを見に行つた。所が彼の父と母とはもう山脈になつて島の縁に居た。彼は其の子を追かけて来て、[今我々は山脈になつた]と其の子にいつた。彼はその子を殆んど咬むばかりになつた。彼の子は[父よ、母よ。私を咬むな。私は薯や芋や、落花生や、甘蔗を少し裁ちようとしてゐる。それで、その縁の處少しなら來て食つてもよい]とその父と母とにいつた。

原野の脈(山脈)があるのは其からだ。

攫見よ(其から)我々が耕作する時、山脈

が來て我等の島の縁の處を食ふやう

2. rawato <rawa-ao 見計らはう, 客體主, 現實未來, r-um-awa 推定する。
6. halan <hala-an 其處へ行く, 位置主, 比. 83頁, 註13。
8. ?amama?ah 島, 大豹, qamajah。
9. ha?aga?un 追掛ける, 客體主, ?ahagao 同上, 主體主, 88頁, 4行。

11. saio?eh 殆んど, 近い。
12. ka-kas-un 咬まうとする, 客體主, k-um-at 咬む。
14. kas-i 咬む, 客體主, 現實現在, 註12。 mamohaja 裁ちようとする, 主體主, mamohé 裁る, -a は未來。
16. sai-sijao 縁の處, sijao 縁, 20行。

- ¹ ?amamaʒah mijan la /
品 我等の 了
- ² kamaʒan ko: ʒaʒowak ro: / "nowai si: /
話 は 山脈 には 構はない 我は
- ³ maʒaʒaʒowak ro: / mowah si: maniʒ sai-
成 山脈 而 來 我 食 緣
- ⁴ sijao mamo ga / ʒahaʒao si: ro: / jaʒeh
の處 汝等の すると 追掛 我は 而 懸
- ⁵ ?əjʒutux mo ga / ʒaʒo:n si: mamo / ʒo:n
運 我的 すると 所社 我は 汝等の 所的中
- ⁶ si: mamo laga / kaniʒi si: la / nano jaʒeh
我は 汝等の すると 所食 我はぞ 何 懸
- ⁷ ?əjʒutux mamo / ini simo kita səsiliʒ / i:
運- 汝等の 不 汝等は 見 占鳥 時
- ⁸ mowah simo ?amlijap laga / kakasun mo
來 汝等 時 すると 所咬 我的
- ⁹ simo uʒi la" maha ko: ʒaʒowak / maras
汝等は 又 ぞ といふ は 山脈 持行
- ¹⁰ sami kinaʒalati kaʒhaniʒ laga / ʒo:n mijan
我等は 良いこと 小鳥(占) すると 所的中 我等の
- ¹¹ ko: ʒaʒowak ?ananaxeʒ / maras kinajaʒeh
は 豚 原野 持行 悪いこと
- ¹² səsiliʒ laga / kasun sami na ʒaʒowak uʒi
占鳥 すると 所咬 我等は の 山脈 又
- ¹³ la / maʒai sami la / gi wajan niʒun na
了 我 我等は の 故 しまふ 所食 の
- ¹⁴ ʒaʒowak ko: sijao na ?amamaʒah mijan
山脈 は 緣 の 品 我等の
- ¹⁵ la /
だ

7. maʒaʒupai
成 猿

- ¹⁸ naʒəkis mijan lalaʒiʒ ga waʒan maʒa-
祖先 我等の 昔 は しまつた 成
- ¹⁹ ʒupai uʒi / ʒali aki maʒaʒupai / maʒomah
猿 又 登 欲 成 猿 作品
- ²⁰ ro: ?uttux rijax maʒomah ga / kija min-
而 一 日 作品 と 有
- ²¹ ʒamagan mapaho: ko: talazaʒ na paʒeh
五回 折 が 柄 の 小鐵

6. kaniʒi 食へ、命令、客體主、我、原意、〔我は汝の〕食ふ
物ぞ、maniʒ 食ふ、主體主。
7. sa-siliʒ 吉凶を占ふ、小鳥、大勢、sileq.
10. kina-ʒalati 良き、kina-jaʒeh 懸き、11行。

になつたのだ。
 山脈がいふには「私は山脈になつて、
 お前等の品の縁の處を食ひに行くが、
 私が[お前等を]追掛ける時私の運が悪
 ければお前等は私を射つ。而してお
 前等が私を射當てた時には私を食へ。
 又お前等の運が悪くてお前等が鳥占
 に従はずに、狩に來た時には私はお前
 等を咬むぞ」と山脈がいつた。〔其から〕
 我々が良い鳥占を持つて行けば、我々
 は山脈を射つし、悪い鳥占を持つて行
 けば、山脈が又我々を咬むやうになつ
 た。我々が飢ゑるのは山脈が我々の
 品の縁を食つてしまふからである。

7. 猿 に 成 る

昔我々の祖先に猿になつてしまつ
 た[者があつた]。猿になりたくはなかつ
 たが、或時品仕事に出て一日働いてゐ
 ると、彼の小鐵の柄が五回も折れたの

17. ma-ʒa-ʒupai 猿に成る、ʒupai 猿、比、86頁、註17。
20. min-gama-gan 五回、大勢、jima-gal 五つ、IN. lima.

- ¹ nija ro: / kamaʒan maha ?o: / "təmaʒa
彼の それで 話 いふ 削らう
- ² si: laoʒi han ro: / mapaho: laga / pakosa
我は再 一寸 而 折れ たらば 能成
- ³ si: nano laisa" / nano maʒomah ro: / min-
我は 何 かなあ 何 作品 而
- ⁴ saʒiʒ amatok na paʒeh nija laga / ma-
二度 つつく で 小鐵 彼の すると
- ⁵ paho: ko: ʒaʒiʒan na paʒeh nija / saʒa-
折 は 持虫 の 小鐵 彼の 所突
- ⁶ itaʒ nija ʒaʒux nija ko: poroʒ na talazaʒ
刺 彼の 尻に 彼の は 折口の 柄
- ⁷ ro: / jaʒsa ko: waʒan maʒaʒupai la / na-
而 其 は しまふ 成 猿 了 何
- ⁸ no ko: talazaʒ nija ga / jaʒsa ko: talipoʒ
は 柄 其の は 其は 尾
- ⁹ nija /
彼の
- ¹⁰ naniʒun nija ga / səmaʒil kamaʒan ko:
食物 彼の は 残す 言ふ は
- ¹¹ ʒupai ro: / "ʒali si: pakaniʒ so: nano
猿 には 登 我 食 を 何
- ¹² paʒiʒiʒi mahamahamots / maniʒ saʒisijao na
強ひて むやみに 食 緣の處 の
- ¹³ ?amamaʒah mamo" maha ko: ʒupai / k-
品 汝等の といふ は 猿
- ¹⁴ jalun nako: ataʒan maha ?o: / "mowah
所話 の アタヤル いふ は 來
- ¹⁵ so maniʒ saʒisijao mijan ga / ʒaʒo:n so
汝は 食 緣の處 我等の すれば 所打 汝は
- ¹⁶ mijan laki / gi: ʒali sami pakaniʒ so: nano
我等の だぞ 故 登 我等は 將食 を 何
- ¹⁷ sami la / i: niʒun so ko: pinʒamahan mi-
我等は ぞ時は "所食 汝のは 農作物 我
- ¹⁸ jan la" / saon nako ataʒan / kamaʒan
等の だ 所言 の アタヤル 話す
- ¹⁹ ko: ʒupai maha ?o: / "nowai si: mamo
は 猿 いふ は 構はない 我は 汝等の
- ²⁰ ʒo:n la gi ʒali si: pakosa nano / opats
所打よ 故 登 我は 能成 何 無
- ²¹ naniʒun mo / nowai laro: / kaniʒi si: uʒi
食 我的 構はない それで 所食 我は 又

で「もう一度[木を]削つて[柄を作らう]。
 其が折れたら、私はどうしようかなあ」
 といつた。〔柄が出來たので〕仕事にか
 かり、二度打込むと、彼の小鐵の柄は又
 折れた。彼は柄の折口を彼の尻に突
 刺すと、其まゝ猿になつてしまつた。
 扱其の柄は、彼の尾〔に成つた〕。

彼の食物については、猿が詞を残し
 て「私はさう無闇に何でも彼でも食ふ
 ものか。只お前等の品の縁の處を食
 ふだけだ」といつた。〔すると〕アタヤル
 は「お前が我々の[品の]縁の處を食ひに
 來れば、我々はお前を[弓又は銃で]射殺
 すぞ。其はお前等に我々の農作物を
 食はれては、我々は何を食はうぞ〔食物
 が無いではないか〕とアタヤルがいつ
 た。猿は「お前等は私を射つても構は
 ない。食物が無ければ、私はどうする
 ことが出來ようぞ。構はないから、お

1. t-əm-aʒa 削らう、主體主、-a は未來、大勢、t-əm-aq
2. pakosa <paka-usa 成ることが出来る、musa 行く、
成る。
5. sa-ʒaitaʒ 突刺す、用具主、柄の折口、比、大勢、maitaq.
10. s-əm-aʒil 残す、主體主、s-in-aʒil 残した物。
12. ma-hama-hamots 無闇に、妄りに、ma-hamots 同上。

16. pakaniʒ <pa-pa-kaniʒ 食はう、主體主、未來、大勢、pa-
pa-kaneq.
17. p-in-ʒamah-an 農作物、品で働いて作つた物、maʒomah
品で働く。
21. kaniʒi si: 我を食へ、比、88頁、註6。

- 1 la / i: βo:n si: mamo na patos la" / maha
よ 時 所打 我は 汝等の 以 銃 だ といふ
- 2 ko: ʒupai / ʔariŋ kija laro: / βo:n mijan
は 猿 始 其 それで 所射 我等の
- 3 ko ʒupai laro: / niʔun mijan la /
は 猿 それで 所食 我等の 了

8. makakowalits
成 爲

- 4 kowalits hani uʒi ga atagan / kinana
成 此の 又 は アタナル 祖先の
- 5 βakisan mijan lalaʔiʔ / βali aki kija ko:
時 我等の 昔 登 欲 共 は
- 6 koʔwalits hani ga / jako: jaʒa nija ro: jaja
成 此の 併 其 父 彼の と 母
- 7 nija ko: jaʔeh uʒi / saiʔeragun nako: jaʒa
彼の は 悪人 又 所欺 の 父
- 8 ro: jaja nija maha ʔo: / "kowagi ko: tai
と 母 彼の いふ は 所掃 は 方
- 9 tanux ro: / βiʔai miso so: papataragun so"
外 すれば 所興 我の 汝は を 飾物 汝の
- 10 saon ni jaʒa nija ki: jaja nija / masinaʔ
所言 の 父 彼の と 母 彼の 請求
- 11 ko: alaʔi maha ʔo: / "sa: βiʔi si: lagaja so:
は 子 いふ は さあ 所興 私は 母等よ を
- 12 papataragun mo la" / saon nija jaja nija
飾物 私の よ 所言 彼の 母 彼の
- 13 ki: jaʒa nija / "ini so tamasoʔ na / usa
と 父 彼の 不 汝は 終 尙 行け
- 14 maiʒun han ro: / mowah so laga / βiʔai
水漬 一寸 而 歸 汝 すると 所興
- 15 miso la" / saon nako: jaja ki: jaʒa / taihok
我の 汝は よ 所言 の 母 と 父 到着
- 16 laga / "ita lagaja taihok si: / minowah si:
すると 下さい 母等よ 到着 私は 行つて 来 私は
- 17 maiʒun la" / saon nija ro: / kjalun nako:
水漬 了 所言 彼の と ころが 所話 の
- 18 jaja nija maha ʔo: / "ini so tamasoʔ na /
母 彼の いふ は 不 汝 終 尙
- 19 usa makahoi han ro: / βiʔai miso so: pa-
行け 薪取 一寸 すれば 所興 我の 汝は を

前等が銃で私を打殺した時は又私を
食へ」といつた。其が始りて我々は猿
を射つて食ふやうになつた。

8. 成になる

昔我々の祖先の時は、此の成も亦ア
タナルであつた。好んで此の成にな
つた譯ではないが、其人の父も母も悪
い人であつた。彼の父と母とが欺い
て[其の子に]、[外を掃け。さうすれば
お前に飾物を上げよう]といつた。[子
は掃除を終ると]父と母とに請求して
[さあ母さん達、私の飾物を下さい]とい
つた。父と母とは「お前は未だ濟まな
い。一寸水汲に行け。さうすればお
前が歸つたとき、私がお前に上げよう」
といつた。[水汲から歸つて家に]到着
すると、彼は「下さい、母さん達。私は水
汲に行つて歸つて来た」といつた。す
ると彼の母は「お前は未だ濟まない。
一寸薪を取りに行け。さうすれば私

5. ma-ka-kowalits <kowalits 成. 比 86頁註 17.
6. k-in-a-naʒakis-an 祖先の時. naʒakis 祖先.
10. kowag-i <*kagag-i 掃け. 位置主. k-un-agao 掃く.
主體主.
11. βiʔai 興へよう. 位置主. 現實未來. 汝. 大約. βeq-ai.

βiʔai 興へよ. 命令. 位置主. 我. 13行. 大約. βeq-ei
pa-patarag-un 飾にする物. 客體主. matarag 飾る.
13. lagaja <la-haga-aja 母等. j-aja 母. la-haga 彼等.
21. ma-kahoi 薪を探る. kahoi 薪. ~kahoniʔ 木.

- 1 pataragun" / mowah ko: alaʔi laga / "sa:
飾物 歸來 は 子 すると さあ
- 2 βiʔi si: lagaja" / saon nija jaja nija / "ini
所興 私は 母等よ 所言 彼の 母は 彼の 不
- 3 so tamasoʔ na / kowagi ko: pa: mijan ro: /
汝は 終 尙 所掃 は 寢床 我等の すれば
- 4 βiʔai miso la" / saon nako: jaja / masoʔun
所興 我の 汝は よ 所言 の 母 所終
- 5 nija laga / "sa: βiʔi si: lagaja" ro: / "ini
彼の すると さあ 所興 私は 母等よ ところが 不
- 6 so tamasoʔ na / kowagi ko: papasaʔatijan
汝 終 尙 所掃 は 便所
- 7 mijan ro: / masoʔun so laga: / βiʔai so
我等の 而 所終 汝の すれば 所興 汝
- 8 mijan so: papataragun so" / maha jaja
我等の な 飾物 汝の といふ 母は
- 9 nija ki jaʒa nija / "ao / mo masoʔun la-
彼の と 父 彼の はい 私の 所終 だ
- 10 ro: / sa: βiʔi si: la" / maha ko: alaʔi ro: /
から さあ 所興 私は よ といふ は 子 さあ
- 11 ini naha βiʔi laro: / kjalun nako: jaja nija
不 彼等の 所興 そこで 所話 の 母 彼の
- 12 maha ʔo: / "saiʔeragun miso / taççi so lao-
いふ は 所欺 我の 汝は 見よ 汝は 上
- 13 kah mateguwao" / saon nija ko: alaʔi /
手 仕事 所言 彼の は 子
- 14 kamaʒan ko: alaʔi ro: / "ao / so saiʔeragun
話 は 子 には はい 汝の 所欺
- 15 kuʒiŋ la / nowai ga / nano musa so tax-
私は 了 宜しい よ 何 成 汝の 所
- 16 xan kuʒiŋ na" / maha ko: alaʔi / musa ko:
見 私は 尙 といふ は 子 行 は
- 17 alaʔi laro: / musa maʒo:p sako: kahoʔ /
子 而 行 入 へ 倉
- 18 magan so: papataragun nija ro: / βakagan
取 を 飾物 彼の 而 所並
- 19 nija palihoi kowara ko: heiʔ nija ro: / ta-
彼の 羽を 背 は 體 彼の 而
- 20 masoʔ laga / suʒun nija ko: jaja nija ma-
終 してから 所呼 彼の は 母 彼の い
- 21 ha ʔo: / "taççi nowai so sumaiʔaro: / taççi
ふ は 見よ 宜しい 汝は 欺 所見

がお前に飾物を上げよう」と話した。
子が歸つて来ると「さあ母さん達、私に
下さい」と彼の母にいつた。「お前は未
だ濟まない。我々の寢床を掃け。さ
うすれば私がお前に上げよう」と母が
いつた。彼が終ると「さあ私に下さい
母さん達」といふ。ところが、彼の父と
母とは「お前は未だ濟まない。我々の
便所を掃け。而してお前が終つたら、
我々は飾物をお前に上げよう」といつ
た。[彼は其を終つたので]はい、私は終
つたから、さあ私に下さい」といつた。
ところが彼は興へない。而して彼の
母は子に「私はお前を欺いたのだ。見
よ、お前は仕事が上手になつたよ」とい
つた。すると子は「はい、お前は私を欺
いた。宜しい、私はお前の目の前で何
にならうか」といつた。其子は向うへ
行つて倉の中へ入つて、彼の飾物を取
つた。而して彼は[其を]並べて羽にし
て、體の全部を[被うた]。其が終ると彼

6. pa-pasaʔati-j-an 便所. ʔuti 大便. 大約. pas-qotsi 大
便する.
17. ma-ʒo:p はひる. 大約. mi-jup.
18. βakag-an 物の上に並べる. 位置主. 大約. mako: 並べ

る. 同上. 主體主.
19. pali-hoi 羽. 大約. pali -hoi は一種の接尾辭. 比.
Batan panid; Bagobo panid.

- ¹ si: la' / mahto: βalihun jaja nija ro: jaβa
私は せよ 出 門目 母は 彼の と 父
- ² nija laga: / waβan palaka βaβao na sali' /
彼の すると 去 飛 上に の 家
- ³ kamaβan ko: ala' maha 'o: / "ana so asi
話 は 子 いふ は 難 汝の こと
- ⁴ tapehe na rinapa so kuβin laga / ajats si:
所招 で 所慰物 汝の 私は 併 非 私は
- ⁵ maowah la / nowaia: / βali so ajats tatax
歸者 ぞ 構は 汝の 非 所見者
- ⁶ xan kuβin / mowah si: palaka βaβao na
私は 来 私は 飛 上 の
- ⁷ sali' / sama'an so jauilup ga / wawahan
家 飼 汝は 雞を すれば 度々来る所
- ⁸ mo kamaβap roma / hahalan mo mani'
私の 捕 或物 行處 私の 食
- ⁹ wawawi' maha ko: ala' kasa / taβci sa-
高い處は といふ は 子 其の 見よ
- ¹⁰ βalai la / kija ko: jauilup mijan laga /
本當 了 居 が 雞 我等の すると
- ¹¹ kjapun nija laro: / halan nija mani' wa-
所捕 彼の 而 行處 彼の 食 高
- ¹² wawi /
い處は

9. 2alaβ na kanaerin nannak
蕃社の 女 ばかり

- ¹⁸ kanaerin ka saβan βaβinah ga kanaerin
女 共 居者 片方 は 女
- ¹⁹ nannak ro: / kija maka'aolo pipi naha'
ばかり 而 有 溝 陰部は 彼等の
- ²⁰ laga: / mosa βaβao na rohe: ro: / sa'osa
すると 行 上 の 崖 而 行く譯
- ²¹ naha' paβo:p so: βaihoi ko: pipi naha'
彼等の 入れる を 風 は 陰部 彼等の

4. tapehe 手招する。客體主。我。t-om-apeh 同上。主體主。
r-in-aja 慰めた物。客體主。r-um-aja 慰める。主體主。
7. s-am-a'an 伺ふ。主體主。sa'an 伺へ。主體主。
8. k-am-aβap 捕へる。主體主。k-jap-un 同上。客體主。ll
行。大豹。k-om-ijap。

の母を呼んで(お前は私を)罵いた、私を
見て見よ(と)いつた。彼の母と父とが
門目に出て見ると(彼は驚になつて)家
の上へ飛んで行つた。子がいふには、
[お前が私をなだめるために、物を以て、
いくら私を招いても、私は歸らないよ。
[其は]構はないだらう。お前が私に會
へないといふ譯はない。私は(今後)家
の上へ飛んで来る。(而して)お前が雞
を飼つて居れば、時々来て其の中の一
二羽を捕へて、高い處へ行つて食べる
よ]と、其の子がいつた。見よ[其の後は]、
果して其の通りであつた。我々の雞
が居ると、彼は捕へて、高い處へ行つて
食ふのである。

9. 女ばかりの蕃社

[或る]餘所に女が住んでるで[しかも]
其は女ばかりであつた。而して彼等
の局部が満した(情慾を起す)時は崖の
上へ行つて局部に風を入れると孕む

18. saβan 居る者。在る物。大豹。tux. sux.
βaβinah 片方。一方。此處にては餘處の意。
19. maka'aolo 満く。原意。喉が欲しがる。<aolo 喉。
21. pa-βo:p 入れる。大豹。pi-jup。

- ¹ ro: / kakijan kija la / ana na asi pagaala'
而 所孕 其處 了 ても 尙 いくら 生子
- ² ga / kanaerin nannak ko: ala' naha' /
やはり 女 ばかり は 子 彼等の
- ³ ja:sa ko: kinanaβakaisan naha' / ana ka-
其 は 祖先の時 彼等の ても
- ⁴ naerin nannak ga / βali upats ko: tahoki
女 ばかり やはり 登 無 は 頭目
- ⁵ naha' / kija ko: jaki ka tahoki naha' /
彼等の 有 が 老女 共 頭目 彼等の
- ⁶ ajats manita so: tamaluβ ko: kakanae-
非 見た者 を 男 は 女等
- ⁷ rin kasa / matakari ko: hoβin nako: na-
その 行方不明 が 犬 の
- ⁸ βakis mijan ro: / halan hamaka:ni nako:
祖先 我等の それで 所行 汝 の
- ⁹ naβakis mijan ko: hoβin nija ro: / mosa
祖先 我等の は 犬 彼の 而 行
- ¹⁰ taβo:p sako: kakanaerin kasa / kjalun na-
入 へ 女等の處 其の 所話
- ¹¹ ko: tamaluβ ko: kakanaerin maha 'o: /
の 男 は 女等 いふ は
- ¹² "opats roni ko: hoβin mo / waβan maha-
無 此邊 は 犬 我の 去 追
- ¹³ βao βaβowak' / saon nako: tamaluβ ko:
山脈を 所言 の 男 は
- ¹⁴ kakanaerin kasa / kamaβan ko: kanaerin
女等 その 話 は 女
- ¹⁵ maha 'o: / "opats / ini samu wahe na ho-
いふ は 無 不 我等 所來 の 犬
- ¹⁶ jin kararijax' / maha ko: kakanerin /
いつも といふ は 女等
- ¹⁷ "ha:n ha:n / nano nowai ro: / halai mo
さうか さうか 何 宜しい 而 所行 我の
- ¹⁸ hamaka:ni βaβinah' / maha ko: tamaluβ /
搜 片方 といふ は 男
- ¹⁹ kamaβan ko: kanaerin maha 'o: / "nano
話 は 女は いふ は 何
- ²⁰ lalo ko: saβan zuwao na gaβa so / ajats
名 は 在る物 間に の 勢 汝の 非
- ²¹ samu manita so: asi nija sa / sowa' ma-
我等は 見た者 を 如 其の 其 何故

のであつた。幾ら子を生んでも其は
女ばかりであつた。彼等の昔の有様
はさういふ風であつた。女ばかりで
あつても、頭目が無い譯ではない。[一
人の]老女が頭目になつてゐた。

其の女達は男を見たことがなかつ
た。[或時]我々(アタル)の祖先の犬が
行方不明になつたので、祖先は其の犬
を捜しに行つた。而してその女達の
居る所へはひつて行つた。男がその
女達に「此の邊に私の犬は居なかつた
か。山脈を追うていつたのだからとい
つた。女は居ないよ。我々の處へは
いつも犬は來はしない」といつた。男
は「はあん、さうか。其なら宜しい。私
は餘所を捜しに行かう」といつた。女
は「お前の胯の間に在る物は何といふ
物か。我々は未だそんな物を見たこ
とがない。お前の胯の間に在る物は
何でそんなにぶらぶら下つてゐるの
か」といふ。其處で男は「我々の處にも

1. paga-ala' 子を生む <ala' 子。大豹。pai-alaqei。
4. tahoki 頭目 <臺灣語。頭家 thau-ke。
6. m-an-ita <k-om-in-ita 見た。原意。見たことのある者。
主體主。過去。~ mita 見る。

10. ta-βo:p 知らず知らずはひる。比。91頁。註。17。
21. asi nija sa 其様な物。大豹。heja na-sa。
masa-jaβu:βis ぶら下る。垂下る。比。大豹。mi-juβeq。

- ¹ sajaʒu:ʒis ko: saʒan ʒuwaŋ na ɡaʒa so"/
垂下 は在る物 問の 勝 汝の
- ² maha ko: kanaerin / nano ja:sa maha ko:
といふ は 女 何 其 といふ は
- ³ tamaluŋ / "kija samu uʒi ko: asi gi simo
男 有 我等は 亦 が 知 汝等
- ⁴ ɡa / ao opats la ʒais mamu simo"/ maha
併 おや 無 のだ 相手 汝等の 汝等は といふ
- ⁵ ko: tamaluŋ / nano kamaʒan ko: kana-
は 男 何 話 は 女
- ⁶ erin maha ʔo: / "nowai ɡa patala:mi sa-
いふ は 宜しい すれば 所使試 我
- ⁷ mi tikai"/ maha ko: kakanaerin / kjalun
等は 一寸 といふ は 女 所話
- ⁸ nako: tamaluŋ maha ʔo: / "ja:sa ɡa / hala
の 男 といふ は 其 ならば 行かう
- ⁹ ta maʔaʒi sako: pa: so" maha ko: tama-
我等 寝 へ 寝所 汝の といふ は 男
- ¹⁰ luŋ / kamaʒan ko: kanaerin ro: / "patala:
話 は 女 には 所使試
- ¹¹ mi samu pintikai mijan kowara"/ maha
我等は 少しづつ…する 我等の 皆 といふ
- ¹² ko: kanaerin / mosa kija pa: ro: / asi
は 女 行 其處 寝所 而 順々に
- ¹³ nahaʔ pasaisaʒu:gi tumipoʔ ko: tamaluŋ /
彼等の 所交代 交接 は 男
- ¹⁴ ana nahaʔ asi malaʒi ʒumui laga ini tai-
ても 彼等の いくら 無難に…する 動かす 併 不
- ¹⁵ hok la gi: ʒali nija ogi minhasowaʔ tu-
満足 了 故 豈 彼の 陰部 如何して
- ¹⁶ mipoʔ kowara / gi: haʒaʒao ko: kanaerin /
交接 皆 故 多 は 女
- ¹⁷ tamasoʔ laga / suʒun nahaʔ ko: jaki ka
終 了時 所呼 彼等の は 老女 其
- ¹⁸ tahoki nahaʔ / suʒun nahaʔ maha ʔo: /
頭目 彼等の 所呼 彼等の といふ は
- ¹⁹ "jaki: jaki: / wah patalam tikai sako:
なばさん なばさん 来れ 試 一寸 で
- ²⁰ hani səsəʒiŋ"/ saon nahaʔ ko: jaki ka
此處 好味 所言 彼等の は 老女 其
- ²¹ tahoki nahaʔ / mowah ko: jaki ro: / nijan
頭目 彼等の 来 は 老女 而 今
- ²² mapapasijaʔ ko: jaki maha ʔo: / "nano ko:
完備 は 老女 といふ は 何 は

6. pa-talam-i 試みさせよ。命令。客體主。我。 t-am-alam 試みる。
11. pin-tikai 少しづつ…する < tikai 少し。

亦お前等の様な者(女)が居るが、おや扱
はお前等は相手といふ者が居ないの
か」といふ。其處で女は「構はないなら
ば、我々に一寸試みさせよ」といふ。男
は「其なら我々はお前の寝所へいつて
寝よう」といふ。女は「我々皆の者に少
しづつ試みさせよ」といふ。而して其
處の寝所へ行つて彼等は順々に男と
交つた。彼等は幾ら頻りに動かして
も満足を得なかつた。其は女が多い
ので、彼の局部は如何にしても皆と交
ることが出来なかつたからだ。終つ
てから、彼等はその頭目の老女を呼ん
だ。彼等は「老女を呼んで「をばさん、を
ばさん。一寸此處へ来て試して見な
さい。好い氣持だ」と彼等がいつた。
老女はにこにこして此方へ來ながら、
「お前等が其の好い氣持といふのは何
か」といつて其處へ來た。老女が到着
して寝所へ行つたが、男は已に多く交
つた爲に、幾ら交はらうとしても出来
ない。其處で老女は「お前等は何故私

13. pa-sai-saʒu:gi-i 交代して…する。客體主。 ~ma-saʒu: 代る。
22. ma-pa-pasijaʔ にこにこする。大約。 ma-sijaʒ 笑ふ。

- ¹ saon namo maha ʔo: səsəʒiŋ kasa"/ maha
所言 汝等の といふ は 好味 其の といふ
- ² ko: jaki ro: mowah la / taihok ko: jaki
は 老女 而 來 了 到書 は 老女
- ³ laga mosa pa: ro: / ana nija asi patipoʔ
それから 行 寝所 へ ても 彼の いくら 交接
- ⁴ laga / ini kaʒaʔ tumipoʔ la gi haʒaʒao ko:
併 不能 交接 了 故 多 は
- ⁵ waʒan nija təpoʔun la / kamaʒan ko: jaki
既 彼の 所交 了 といふ は 老女
- ⁶ ro: / "sowaʔ ini kuʒiŋ la / pagalaigi mamu
には 何故 不 我 了 所使先 汝等の
- ⁷ patipoʔ / kuʒiŋ kila tahoki mamu"/ maha
交接 我は 即 頭目 汝等の といふ
- ⁸ ko: jaki kasa / jaʔeh kasaliʔ nako: kanae-
は 老女 其の 怒 機嫌 の 女
- ⁹ rin ka: jaki kasa laro: / saagan nija so:
其 老女 其の それで 取る譯 彼の の
- ¹⁰ taorui ro: / ʔatapan nija ko: ogi nako: ta-
錠 而 所切斷 彼の は 陰部 の
- ¹¹ maluŋ / ka: hamnakani so: hoʒin kasa
男 其 獲した者 を 犬 其の
- ¹² la / waʒan mahoʔin kija ko: tamaluŋ ka-
了 去 死 其處 は 男 其
- ¹³ sa la /
の 了
- ¹⁴ nago:n nago:n nako: ɡalo mijan ro: ini
所待 所待 の 一族 我等の 無難に…する 不
- ¹⁵ owah / po:ŋan kai laga: / waʒan kotan
歸 所聞 話 すると 既 所殺
- ¹⁶ nako: kanaerin / ka: saʒan so: ʒalai na
の 女 其 居人 に 良 の
- ¹⁷ rahaʒan / maha ko: po:ŋan na pappak /
地 如其 は 所聞 の 耳
- ¹⁸ kamaʒan ko: naʒəkis mijan maha ʔo: /
話 は 祖先 我等の といふ は
- ¹⁹ "waʒan nahaʔ kotan laga / halai ta ka-
既 彼等の 所殺 そこで 行處 我等の
- ²⁰ muts"/ maha ko: naʒəkis mijan lalaʔiʔ
殺 といふ は 祖先 我等の 音
- ²¹ la /
了

を先に交らせないか。私こそお前等
の頭目であるのに」といつた。其の老
女は癪にさはつたので、彼は錠を持つ
て、犬を獲しに來た男の局部を切斷し
た。そこで其の男は死んでしまつた。

我々(アタヤル)の一族は待てども待
てども「男は歸つて來なかつた。話を
聞くと、良い地に住んでゐる女が殺し
てしまつた、といふ風評である。我々
の祖先は「彼等を殺してしまつたのだ
から、我々は「彼等を殺しに行かう」とい
つた。

6. pa-galaig-i 先にさせる。客體主。大約。 g-am-alaig 先に…する。
7. ki-ja…こそ部。 ka 其、と同じといふ。
8. kasaliʔ 機嫌。心持。大約。 kasuʒeq.
9. sa-agan 人の爲に取る。用具主。取る理由は老女の爲の
義。 sa- 用具。理由を表はす接頭辭。 ~m-agan 取る。

10. ʔatag-an 切斷する。客體主。 ʔam-atop 主體主。
11. h-am-n-akani 獲してゐた人。主體主過去。 h-am-akani 同上。現在。
15. po:ŋ-an 聞く。客體主。 moŋ 聞く。主體主。
19. halai <hala-ai 行かう。位置主。未來。 hala-n <hala-an 同上。現在。96頁。1行。

- ¹ matatoli? ko: naβekiis mijan ro: / halan
起 は 祖先 我等の 而 所行
- ² naha? maligai ko: kakotan naha? / gi:
彼等の 圍む は 可殺者 彼等の 故
- ³ matijapi ko: kakanaerin kasa / patosan
先下手 は 女等 其の 所殺法
- ⁴ naha? ko: sali? maro: / opats la mahto: /
彼等の は 家 ところが 無了 出者
- ⁵ ini pagui ko: sali? / βapa nannak ko: ma-
不 動 は 家 蜂 只 は 出
- ⁶ lto: / sagaʒan nako: βapa makahaʒuti ko:
物 所使散 の 蜂 熊蜂 は
- ⁷ naβekiis mijan ro: / opat ko: kotan ko:
祖先 我等の 而 無 は 可殺者 は
- ⁸ kakanaerin / mowah ko: naβekiis mijan
女等 歸 は 祖先 我等の
- ⁹ laga takapah lukus naha? ko: haheo?
たが 附着 衣に 彼等の が 赤蟻
- ¹⁰ ro: / βapa ro: βapa na haʒip / βapa na ma-
や 蜂 や 蜂 の 蜜 蜂 の
- ¹¹ kahaʒuti / nano jaʒsa ko: ?uttux tōmuni
熊蜂 何 共 は 常 作業
- ¹² sako: kakhahoni? / ka: nijan ta kakijan
に 木木 共 今 我等の 居處
- ¹³ hani tōmuni ko: βapa kasa ga / laomun
此處 作業 は 蜂 其の すると 所燒
- ¹⁴ mijan ro: / niʔun mijan / βalai mijan ni-
我等の 而 所食 我等の 良 我等の
- ¹⁵ ?un / haheo? ro: taʔato ga minoʒats so:
食物 赤蟻 や 黒蟻 は 無かつた には
- ¹⁶ lalaʔi? uʒi minaʔlo sako: tatama:luŋ /
昔 又 共に來 と 男等
- ¹⁷ ka: mōnowah maligai sako: kakanaerin /
共 行た者 圍に を 女等
- ¹⁸ nano jaʒsa gijaʒan nija kowa:ra ko: raha-
何 共 所散布 其の 昔 は 地
- ¹⁹ ʒan la /
了
- ²⁰ kamaʒan ko: kanaerin maha ʔo: "aʒat
話 は 女 いふ は 不
- ²¹ ta naha? tatahajaʒun kamoʒts la / asi
我等 彼等の 所成功 殺 了 其儘

3. patos-an 鉢で打つ。客體主。matos 同上。主體主。
6. sa-gaʒan 散す。用具主。g-um-aʒan 同上。主體主。比。
註. 18.
9. ta-kapah 自分で附着する。k-am-apah 人が附ける。
15. m-in-aʔlo 一緒に来た。 <maʔlo. 大勢。 m-a-galo 一緒

我々の祖先は出發して行つて、彼等の殺さうとする女を圍んだ。それはその女達が先に手を下したからである。彼等は銃を以て家を打つたが、出て来る者も無く、家も騒ぐこともなかつた。只蜂が出て来て、我々の祖先は熊蜂に散々にやられたが、殺すべき女は出て来なかつた。我々の祖先は歸つたが、其の着物には赤蟻や蜂や、蜜蜂や、熊蜂などが附着してゐた。其が、我々が今居る此地の樹木に巢を作る様になつたのだ。其の蜂が巢を作る時は、我々は燒いて之を食ふが、其の味は旨いものだ。又(小さな)赤蟻や(大きな)黒蟻は何れも昔は無かつたが、女達を圍みに行つた男達と一緒に來たもので、其が皆地上に散布したのだ。

女達は、彼等は我々を殺さうとしたが成功しなかつた。彼等がそのまま

になる。
17. m-on-owah 行つて歸つた人。mowah 行く。
18. gijaʒan 散布する。位置主。比註. 6.
21. ta-tahajaʒ-un 成功すべき事。客體主。tahoʒai 出来る、能く堪へる。

- ¹ naha? laçi kija / gi: kaiʒun naha? ko:
彼等の 所中止 其處 故 所恐 彼等の は
- ² βapa maha ko: kanaerin kasa / "asi ta
蜂 といふ は 女 家 其の 其儘 我等の
- ³ pakasalasali?i kija" / maha ko: naβekiis
油断させる所 其は といふ は 祖先
- ⁴ mijan / βaβao nija laga / halan naha? ma-
我等の 後 其の なつて 所行 彼等の
- ⁵ liʒai laoʒi ro: / asi naha? laoma:ni ko:
圍に 再 而 忽 彼等の 所燒 は
- ⁶ βapaʔi / ka: maki? laliʒai na sali? naha? /
鬼手 共 在 周圍に の 家 彼等の
- ⁷ nano kowara ko: βapa ro: haheo? kaka-
何 皆 は 蜂 や 赤蟻 女
- ⁸ naerin uʒi ga waʒan laomun kowara la /
等 又 は 去 所燒 皆 了
- ⁹ waʒan mataka:lux kowara ana sali? uʒi
去 黒熊 皆 も 家 亦
- ¹⁰ la /
了
- ¹¹ halan naha? mita ko: sali? ka: linaoman
所行 彼等の 見に は 家 其 燒いた跡
- ¹² naha? ro: / ?uttux ko: liʒo? na βiʒowak
彼等の ところが 一つ は 小屋 の 跡
- ¹³ nija / maβalaβin kija ?uttux alaʔi ka:
其の 震へる 其處 一人 子供 其
- ¹⁴ tikui / kamaʒan ko: tamaluŋ maha ʔo: /
小 話 は 男 いふ は
- ¹⁵ "tijaʒai ka: aʒats ta so: alaʔi" / maha
非常 共 見附 我等 を 子 といふ
- ¹⁶ ko: tamaluŋ / sapapa naha? ro: / rasun
は 男 所負 彼等の 而 所作
- ¹⁷ naha? sali? ko: alaʔi kasa / jako: mataha-
彼等の 家に は 子 其の 其 タイヤカン
- ¹⁸ jakan ko: waʒan maras malahaʒ sako:
社人 は 去 作者 保護 を
- ¹⁹ alaʔi kasa ro: / kaʔasan naha? ro: / raho?
子 その 而 所育 彼等の 而 成長
- ²⁰ laga: sijaʒan naha? so: tamaluŋ ro: / kijan
したとき 所置 彼等の を 夫 而 所生
- ²¹ na ?uttux alaʔi / ?ariŋ kija ko: / kija ko:
の 一人 子 から 其は 有 は

[攻撃を]止めたのは、彼等が蜂を恐れたからだといつた。[併し]我々の祖先は[それはやはり、我々が[敵を]油断させたのだ]といつた。其後、彼等は再び行つて[敵を]圍んで、いきなり彼等の家の周圍にある鬼茅を燒いた。而して蜂も蟻も女達も全部燒けてしまつた。家も亦皆黒くなつて燒けてしまつた。

彼等が家の燒跡に行つて見ると、豚小屋が一つ有つて、其處に小さな子供(女)が一人震へてゐた。男は「我々は子供を見附けたのは非常に幸だ」といつた。彼等は其の子を背負つて、家へ連れて來た。其の子を連れて來て保護した者は、タイヤカン社の者であつた。彼等は[其子を]育て、其が成長した時に夫を持たせた。すると子が一人生まれた。其の後、彼は[何でも]欲しい物があれば、魔法を使つて得る様になつ

1. kaiʒun <kagupu-un 恐れる。客體主。magupu 同上。主體主。
5. laom-an-i 燒くに用ゐる物。用具主。l-am-aom 家、山などを燒く。主體主。比註. 11.
9. mata-ka:lux 黒くなる。ma-kalux 黒い。

11. l-in-aom-an 燒いた跡。比註. 5.
19. kaʔan-an 動物などを育てる。客體主。k-um-aʒats 主體主。
20. sijaʒan <si-ʒan 置く。位置主。s-am-i 同上。主體主。

- ¹ saogalan nija laga / haoniun nija la / ala?¹
所欲物 彼の すれば 所行魔法 彼の 了 子
- ² nija ugi ga pasu²an nija so: hahoni
彼の 又は 所教 彼の な 魔法
- ³ ugi / nano ko: matahajakan hani ga / uli
亦 何 は タイヤカン社人 此の は 系統
- ⁴ nako: mahahoni hani ro: / misa na opats
の 魔法使 此の 而 今 最早 無
- ⁵ ko: mahahoni na matahajakan / gi: wa-
は 魔法使 の タイヤカン社人 故 去
- ⁶ gan naha² maso²un kamorts / kija ana
彼等の 所盡 殺 其處 難
- ⁷ ka²aa ko: mahahoni naha² pali pa²on /
有たらう か 魔法使 彼等の 登 所能

10. matsaka² ko: na²eki:s
別れる が 祖先

- ¹⁰ na²eki:s mijan lala²li² ga / matsaka² sa-
祖先 我等の 昔 は 別れる と
- ¹¹ ko: palmukan ro: / kama²an ko: ata²an
本島人 其時 話 は アタヤル
- ¹² maha²o: / "nano a: matsaka²a ta ro: /
いふ は 何 エー 別れよう 我等 来て
- ¹³ osa hogan simo ga / makija sami ragijax
行け 下に 汝等は すれば 居よう 我等は 山に
- ¹⁴ sami / maha ko: ata²an / "ana ko: patsa-
我等は といふ は アタヤル 難 別れる
- ¹⁵ ka² ta ga / min²alai²a ta i: maka²an / gi:
我等 は 互に しよう 我等 時 相談 爲に
- ¹⁶ ta²çi matana² ko: hei² ta² ro: / mailahoi
見よ 同 は 人数 我等の 而 集
- ¹⁷ sa²alai ro: / malalapo: so: hei² kija ro: /
本島 而 数へる な 人数 其處 而
- ¹⁸ matsa²ka² laro: / kama²an ko: palmukan
成半分 それで 話 は 本島人
- ¹⁹ maha²o: / "sa: howao simo han" / maha
いふ は さあ 叫べ 汝等 一寸 といふ
- ²⁰ ko: palmukan / nano hamowao ko: ata²an
は 本島人 何 叫ぶ は アタヤル
- ²¹ heja ro: / wa:s maha mahoo² ko: a²ao na
其の と サアッ といふ 落 は 葉の
- ²² raroma / "howao simo" / maha ko: ata²an
竹 叫べ 汝等 といふ は アタヤル

1.2.4. haoni-un < hahoni-un 魔法を使ふ、客體主、ma-ha-
honi 魔法を使ふ人 < hahoni 魔法。
7. ka²aa-a 有るであらう。-a は未來、大約、kija-a.

た。彼の子にも亦彼が魔法を教へた。
扱此のタイヤカン社の者は、魔法使の
系統であるが、現今は最早タイヤカン
社の魔法使は無くなつてしまつた。
其は彼等が殺してしまつたからだ。
よし其處に彼等の魔法使が有るにし
ても[彼等に何が]出来るものか。

10. 祖先が別れる

昔我々の祖先が本島人と別れた時、
アタヤルは[本島人の祖先に]、[扱我々
は別れよう。お前等は下(平地)へ行け、
我々は山に居よう]とアタヤルがいつ
た。[我々は別れるにしても、我々の人
数を丁度同じにする爲に、適宜に相談
しよう]といつて、實際集つて其處で人
数を数へた。すると半分に成つたの
で、本島人は、「さあお前等皆大聲で叫ん
で見よ」といつた。扱アタヤルの方が
叫ぶと、サアッといつて竹の葉が落ち
た。[お前等叫べ]とアタヤルがいつた
ので、本島人が叫んだ所が、竹の葉が動

9. 12. ma-tsaka² 互に別れる。ma-tsaka²-a 別れよう。主
體主、未來、大約、ma-tsaka²
13. ma-ki-j-a 居よう、未來、maki² 居る。
21. mahoo² ぼろつと落ちる。ini kahoo² 落ちぬ。99頁、2行。

- ¹ ro: / hamowao ko: palmukan ro: / ini
而 叫 は 本島人 ところが 不
- ² paipagui la a²ao na raroma ro: / ini ka-
動 了葉の 竹 而 不
- ³ hoo² / kama²an ko: palmukan maha²o:
落 話 は 本島人 いふ は
- ⁴ "towapi sami tikai / gi: ha²ao simo /
所足 我等は 少 故 多 汝等
- ⁵ ka ata²an maki² ragijax / maha ko:
其 アタヤル 居着 山 といふ は
- ⁶ palmukan /
本島人
- ⁷ nano towapan nako: ata²an ko: hei²
何 所足 の アタヤル は 人数
- ⁸ nako: palmukan ro: / kama²an ko: palmu-
の 本島人 而 話 は 本島人
- ⁹ kan maha²o: / "hamagawa ta lao²si" ma-
いふ は 叫ばう 我等 再 とい
- ¹⁰ ha ko: palmukan / hamowao ko: palmu-
ふ は 本島人 叫 は 本島
- ¹¹ kan heja laro: / wa:s maha / mahoo² ko:
人 其のところが サアッ といふ 落 は
- ¹² a²ao na raroma / hamowao ko: ata²an
葉の 竹 叫 は アタヤル
- ¹³ heja laro / ini pa²ui ana tikui ko: a²ao na
其のところが 不 動も 少 は 葉の
- ¹⁴ raroma / tikui ko: hei² nako: ata²an heja
竹 少 は 人数 の アタヤル 其の
- ¹⁵ laga / ha²ao ko: palmukan heja la / ka-
なつたが 多 は 本島人 其の 了
- ¹⁶ ma²an ko: ata²an maha²o: / "ao simo
話 は アタヤル いふ は おや 汝等は
- ¹⁷ lamuna²iq so: hei² / towapi sami lao²si
隠 な 人数 所足 我等は 再
- ¹⁸ tikai han" / maha ko: ata²an / nano²o:
少 一寸 といふ は アタヤル 何 は
- ¹⁹ ini sowapan ko: palmukan maha²o: /
不 承諾 は 本島人 いふ は
- ²⁰ "ajats sami patawapi" / maha ko: palmu-
非 我等は 將足者 といふ は 本島
- ²¹ kan / wagan mingaigjuts magijai tai ho-
人 去 段々 逃 方 下
- ²² gan ko: palmukan /
は 本島人

きもしない、落ちもしなかつた。本島
人は[我々の方に少し足せ。お前等山
に居るアタヤルの方が多いから]とい
つた。
扱アタヤルが本島人の方へ人数を
足したところが、本島人は[我々は一
度叫ばう]といふ。[而して]本島人の方
が叫んだところが、サアッといつて竹
の葉が落ちた。[次に]アタヤルの方が
叫んだところが竹の葉は少しも動か
なかつた。アタヤルの方の人数は少
くなつたが、本島人の方は多くなつた。
アタヤルは、扱お前等は人数を隠した
のだな。再び我々に少し足せ]とアタ
ヤルがいつた。扱本島人は之を承知
しないで、[我等は足すのはいやだ]とい
つた。[而して]本島人は段々と、下手の
方へ逃げていつてしまつた。

4. towapi 足せ、命令、位置主、towapi-an 一般現在、位置
主、7行。pa-tawag < pa-pa-towag 足す、未來、主體
主、20行。

9. h-am-agaw-a 叫ばう、未來、< h-am-awag-a, ~ h-am-
owau 叫ぶ。
17. l-am-un-a²iq 隠した。主體主、l-am-a²iq 隠す。

- ¹ asi saʔin kamaʔan ko: tabokiʔ nahaʔ
同時 残 話 は 頭目 彼等の
- ² maha ʔo: / "nowai samu haʔaʔao ro: / kija
いふ は 構はない 我等は 多 而 有
- ³ ko: pasinaʔjuwagan mamu ga / kitaʔ səsi-
が 係争事件 汝等の 時は 見よ シシ
- ⁴ liʔ ro: / ʔalasi kaʔhaniʔ mamu ga / nowai
鳥 而 良 鳥が 汝等の すれば 宜しい
- ⁵ simo mowah kamots so: ʔuttux heiʔ mi-
汝等 来 殺 な 一 人 我
- ⁶ janʔ / maha ko: palmukan / asi kajan ma-
等の といふ は 本島人 同時 所話 い
- ⁷ ha ʔo: / "maras simo kinajaʔeh səsiʔ ga /
ふ は 持来 汝等は 惡さを シシ鳥 手は
- ⁸ pakuts samu so: ʔuttux heiʔ mamu uʔiʔ /
殺 我等はな 一 人 汝等の 又
- ⁹ maha ko: palmukan / ʔariʔ kija ko: ma-
といふ は 本島人 始 其 は 互
- ¹⁰ kurts samu sako: palmukan la /
に殺 我等 と 本島人 了
- ¹¹ kamaʔan ko: palmukan maha ʔo: / "asi
話 は 本島人 いふ は 同時に
- ¹² mijan karaʔaʔui nannak ko: saihoʔ ka
我等の 所占領 自分 は 職人 其
- ¹³ patotiʔ so: ʔaiʔaʔaʔ / maha ko: palmukan /
鍛人 を 器具 といふ は 本島人
- ¹⁴ nano taʔʔi maʔotiʔ kowara ko: ataʔan
何 見よ 愚 皆 は アタヤル
- ¹⁵ heja / opats la ʔaaʔ tumotiʔ so: ʔaiʔaʔaʔ /
共 無 了 知者 鍛 を 器具
- ¹⁶ gi: waʔan nahaʔ asi: ʔaʔanai sako: pal-
放 既 彼等の 共儘皆 所典 に 本
- ¹⁷ mukan nannak ko: / ʔaaʔ tumotiʔ so:
島人 斗りに は 知者 鍛 を
- ¹⁸ ʔaiʔaʔaʔ la / taʔʔi samu ka ataʔan ga ini
器具 了 見よ 我等 其 アタヤル は 不
- ¹⁹ kaʔaʔ tumotiʔ so: ʔaiʔaʔaʔ laga / maʔaʔi
知 鍛 を 器具 それで 買
- ²⁰ samu sako: palmukan so: ʔaiʔaʔaʔ mijan
我等は から 本島人 を 器具 我等の
- ²¹ la / gi: waʔan asi: kinaosaʔi nako: palmu-
の故 既 共儘皆 所横領 の 本島人
- ²² kan soʔi ko: ʔaaʔ tumotiʔ so: ʔaiʔaʔaʔ /
たうとうは 知者 鍛 を 器具

8. pa-kurts <pa-pa-kurts 殺す, 未来, 主體主. k-um-urts
同上, 現在.
13. ʔaiʔaʔaʔ 器具, 大物, qaiqaja 品物, 器具.

本島人の頭目が飼を残して、構はな
いよ、我々は大勢だから。お前等若し
係争事件があつた時には、シシル鳥を
見て、其の鳥占が良ければ、お前等は我
々の一人を殺しに来ても構はないと
いつた。尙本島人は、お前等がシシル
鳥の悪い鳥占を持つてやつて来れば、
我々は又お前等の一人を殺すぞとい
つた。我々が本島人と互に殺す様
になつたのは其が始まりだ。

本島人は又我々は別れると同時に、
鍛冶屋を自分の方へ取つたといふ。
扱、見よ、アタヤルの方は皆馬鹿で鍛冶
を知る者はない。鍛冶を知る者は、別
れる時に、其まゝ本島人の方丈に與へ
てしまつたからだ。見よ、我々アタヤ
ルは鍛冶を知らない。それで我々の
道具は本島人から買ふ様になつた。
鍛冶を知る者はたうとう其のまゝ皆、
本島人の爲に横取されてしまつたか
ら。我々が本島人から買物をし、又之
を殺すのは其から始まつたのだ。

15. ʔaaʔ <ʔagaʔ 知る, 知る者, 大物, ʔaaq.
16. ʔaʔan-ai 與へる, 用具主, 與へる爲の物, 大物, ʔeq-
an-ai.

- ¹ ʔariʔ kija ko: ʔaʔisan mijan ko: palmukan
始 其 は 所買 我等のは 本島人
- ² ro: kotan mijan uʔi /
而 所殺 我等の 又
- ³ ʔali hamahamutun kamots uʔi ko: pal-
登 妻りに…する所 殺 又 は
- ⁴ mukan / ʔuttux leljup ga / ʔali ʔi səʔui /
本島人 一 川 は 登 所使動
- ⁵ roma leljup ga jaʔsa ko: kotan ko: pal-
他 川 は 宜しいは 所殺 は 本
- ⁶ mukan / jako: samu ko: lamago: so: leljup
島人 如其 我等 は 庇ふ を 川
- ⁷ mijan nannak / saʔuliʔ ka minkahon ʔa-
我等の 自分 他人 共 来た者
- ⁸ ʔi:nah ga / mowah kamots sako: linago:
他所 は 来 殺 を 所庇者
- ⁹ mijan palmukan / nano ko: leljup ʔaiʔaʔi-
我等の 本島人 何 は 川 他所
- ¹⁰ nah uʔi ga / jaʔsa ko: halan mijan ka-
又 は 宜しいは 所行 我等の
- ¹¹ moʔts samu /
殺 我等は
- ¹² nano ko: aʔinoʔ mijan uʔi ga / minka-
何 は 珠裙 我等の 又 は 来た物
- ¹³ hon sako: palmukan / ʔinaʔi mijan sako:
から 本島人 所買 我等の から
- ¹⁴ palmukan / ʔali nano ko: aʔinoʔ kasa ki /
本島人 登 何 は 珠裙 其の 手
- ¹⁵ ʔuttux mijan sapataraʔ so: lokkos ro: /
いつも 我等の 飾具 を 衣 而
- ¹⁶ ʔaʔoʔiʔ uʔi ko: ʔuttux mijan pataraʔan
帽 亦 は いつも 我等の 所飾
- ¹⁷ nako: aʔinoʔ / ʔuttux mijan sjo:ʔun uʔi /
で 珠裙・ いつも 我等の 所飾頭 亦
- ¹⁸ hamʔinas mijan ʔalasi taxxan / kija ko:
一層 我等の 美 所見 其 は
- ¹⁹ hamʔinas pakaloʔ ga / paʔux ko: aʔinoʔ
優 金持 は 多 が 珠裙
- ²⁰ nahaʔ / kija ko: ini pakaloʔ heja ga / ʔutt-
彼等の 其 は 不 金持 其 は いつ
- ²¹ ux tikui ko: aʔinoʔ nahaʔ / aʔinoʔ kasa
も 少 が 珠裙 彼等の 珠裙 其の

[我々が]本島人を殺すにしても、無茶
苦茶に殺すのではない。同一の流域
の者は殺すことをしない。他の川の
流域では本島人を殺しても宜しい。
其様にして我々は自分の川の流域[の
者]を庇つてゐる。餘所から来た他人
は、我々の庇つてゐる本島人を殺しに
来る。扱、又餘所の川へは我々がいつ
て、殺しても宜しい[ことになつてゐる]。
扱、我々の珠裙(貝を南京玉の如く作
り苧麻布に綴り付けたもの)も亦本島
人から来たもので、[矢張]我々が本島人
から買つたものだ。あの珠裙は何に
もならないといふことが有るものか。
我々はいつも其を以て着物を飾る。
帽子も亦いつも我々が珠裙で飾る。
我々は又いつも頭に飾るので、我々は
一層美しく見える。金持といふのは
彼等の珠裙が多いので、金持でない

1. ʔaʔis-an 其から買ふ, 位置主, ma-ʔaʔi 買ふ, 主體主.
比, 註. 13.
4. sa-ʔui 動かす, 此處にては殺す義, 用具主, s-um-ui 同
上, 主體主.
6. lam-ago: 庇ふ, lam-ago: 庇つてゐる者, 客體主, 8 行.

7. saʔuliʔ 他人, 大物, saʔoleq.
m-in-kahon 向から此方へ来た者, 主體主.
13. ʔi-in-aʔi 買つた物, 客體主, 比, 註. 1.
17. sjo:ʔun 頭に飾る, 客體主, s-am-ijoc 同上, 主體主.
18. ʔalasi taxx-an 美しい, 原意, 見た所が立派な.

- ¹ ga ʔuttux mijan lapagon / ʔuttux sinʔa-
は いつも 我等の 所勘定 一 條
- ² hoʔgan ga ʔuttux mijan saokiʔ / magalapo:
は 一 我等の 鎌 十
- ³ sinʔahoʔgan laga magalapo: saokiʔ / ʔali
條 なければ 十 鎌 壹
- ⁴ maʔai nako: pila ta sakani / ʔuttux sin-
異 の 銀貨 我等の 現在 一
- ⁵ ʔahoʔgan saon mijan ga ʔuttux sajiun /
條 所言 我等の は 一 十錢銀貨
- ⁶ magalapo: sinʔahoʔgan laga ʔuttux pila
十 條 なければ 一 圓
- ⁷ la / asi nijasa uʔi ko: aʔi: noʔ nako: ata-
だ やはり 如其 又 は 珠裙 の アタ
- ⁸ ʔan / magalapo: sinʔahoʔgan ga / ʔuttux
ヤル 十 條 は 一
- ⁹ tunux saon mijan / ʔali maʔai nako: pila
頭 所言 我等の 壹 異 の 銀貨
- ¹⁰ mijan sakani / ʔuttux pila saon mijan ga /
我等の 現在 一 圓 所言 我等の は
- ¹¹ ʔuttux tunux saon nako: naʔaki: s /
一 頭 所言 の 老人

11. mattas
入墨

- ¹⁴ sami ka atagan ga / ʔararipan mattas
我等 共 アタヤル は 起原 入墨の
- ¹⁵ ga kalijanai miso / ʔali pinta: san uʔi ko:
は 所話 我の汝は 壹 所入墨 又 は
- ¹⁶ ʔararipan na naʔaki: s mijan lalaʔiʔ / pa-
始 の 祖先 我等の 昔 所
- ¹⁷ kaʔagaʔan nahaʔ ko: kakugeh mattas ro: /
練習 彼等の は 脚 入墨 ころが
- ¹⁸ ʔalatiʔ nahaʔ taxxan laro: ro: / ləməpəluŋ
良 彼等の 所見 たので 而 考
- ¹⁹ maha ʔo: / "mowaʔ ta / ana asi sii sako:
いふ は 試 我等 若 其儘 所置 に

1. lapag-on 敷へる, 客體主. l-am-apo: 同上, 主體主.
3. sin-ʔahoʔgan 珠裙の具, 一厘錢などを糸に通した一聯.
4. maʔai 異る, 大動, mas-mijai.
sa-kani 此處に, 現在此處に, 大動, sa-qani.
5. sajiun=sijiun 十錢銀貨, <客人語, 一個銀 sit-ko-
njin.
7. nijasa <naja-sa 其の通, 大動, ja-na-sa.
14. ʔar-arip-an 起原, 大動, ʔa-ʔarip-an.

いふのはいつも彼等の珠裙が少いの
だ。その珠裙はいつも我々が勘定に
使ふ。其の一條は我々の鎌一挺に當
り、十條は鎌十挺に當る。現在の我々
の金と異つたことはない。我々が一
條といふのは、十錢銀貨一つに當り、十
條は一圓に當る。アタヤルの珠裙も
亦やはり其の通りで、十條を我々は一
頭といつてゐるが、現在の金と何の變
りもない。我々が一圓といふのを老
人達は一頭といつてゐる。

11. 入 墨

我々アタヤルは[入墨をしてゐる。
其の]入墨の起源を私はお前に話さう。
昔我々の祖先の始りには、入墨も有り
はしなかつたものだ。[或時]彼等が練
習の爲に、脚に入墨して見たところが、
美しく見えたので、其で考へて「我々が

15. kalij-an-ai <kajal-an-ai 話して上げよう, 用具主 原
意, 汝は此から話してもらふ人ぞといふ義, kalij- <
kajal. ~k-am-ajal 話す。
p-in-ta: s-an 已に施された入墨, 又その處, pata: s-an
入墨を施す處, 顔など, 103頁, 3行, mattas 入墨をする,
13行, patta: s 入墨, 103頁, 1行。
16. paka-ʔagaʔan 練習を行ふ處, maka-ʔagaʔan 稽古する,
大動, mak-ʔaq.
17. kakugeh <kakai-eh 脚, 大動, kakai.
19. sii <si-i 置く, 客體主, s-am-i 同上, 主體主。

- ¹ raʔijas ta ko: patta: hani / tijalagai kina-
顔 我等のは 入墨 此の 非常 良
- ² ʔalatiʔ taxxan / maha ko: ʔanaki: s lalaʔ-
さ 所見 といふ は 祖先 昔の
- ³ liʔ / ʔariŋ kija laro: pata: san nahaʔ ko:
始 共 それで 所入墨 彼等の は
- ⁴ raʔijas la /
顔 了
- ⁵ ʔali asi nako: patta: mijan sakani ko:
壹 其儘 の 入墨 我等の 現在 は
- ⁶ patta: lalaʔiʔ / ʔuttux nahaʔ asi masoʔi
入墨 昔の いつも 彼等の 同時に 所終
- ⁷ mattas ko: raʔijas nahaʔ / asi ʔakalux ko-
入墨 は 顔 彼等の 其儘 黒
- ⁸ wara ko: raʔijas nako: naʔaki: s lalaʔiʔ /
全部 は 顔 の 祖先 昔の
- ⁹ ʔaʔao nija laga / mingaigjuts jagarin ko:
後 共 なる と 段々 狭 は
- ¹⁰ patta: nahaʔ la /
入墨 彼等の 了
- ¹¹ patta: kasa ga ʔali mowah nannak /
入墨 其の は 壹 來 自分
- ¹² asi ki: aʔowan ko: mowah mattas ga / pa-
やはり 時 所報酬 は 來る人 入墨に それで 所
- ¹³ ta: san nahaʔ ko: raʔijas / kanaerin heja ga
入墨 彼等の は 顔 女 其は
- ¹⁴ pata: san nahaʔ ga / minʔariŋ səlowan ga / pa-
所入墨 彼等の ときは 始まる 曉 すると
- ¹⁵ tariŋun nahaʔ mattas ro: / saopəh paka-
所始 彼等の 入墨は 而 近 渡
- ¹⁶ ʔup wawitox ga / masoʔun nahaʔ mattas
太陽 其時 所終 彼等の 入墨を
- ¹⁷ ko: kanaerin heja / mowah mattas kasa
は 女 其人 來る人 入墨に 其の
- ¹⁸ ga / paka: ʔala: ʔalatiʔ an nahaʔ pakaniʔ ko:
は 所優遇 彼等の 使食 は
- ¹⁹ mowah mattas / gi: ʔaaʔ ləməpəluŋ ro: /
來る人は 入墨に 爲に 上手 考 而
- ²⁰ lowan nija ko: mattas / aaʔowan nako:
所考出 彼の は 入墨 報酬 の
- ²¹ mowah mattas kasa ga / kija ko: maha-
來る人 入墨 其の は 其は 安價な

試に、此の入墨をそのまま我々の顔に
入れたら、非常に美しく見えるだらう。
と昔の祖先がいつた。其が始りで彼
等が顔に入墨する様になつた。
昔の入墨は現在の我々の入墨の様
なものではなかつた。いつも彼等が
其の顔に入墨をしてしまふと同時に、
昔の祖先の顔は其のまま全部眞黒に
なつた。其後になつてから、彼等の入
墨は段々と狭くなつた。

其の入墨は自分でするのではない。
やはり入墨しに来る人に報酬を與へ
ると、彼等が顔に入墨をしてくれるの
だ。彼等が女に入墨するときは、夜が
明けると、彼等が入墨を始めて、日没頃
になつて、彼等は其の女に入墨してし
まふ。入墨に来る人には、彼等が御馳
走を食はせる。それは入墨師に、旨く
考へて、良い模様を工夫してもらふ爲
である。其の入墨師の報酬は、安い
は七東(鎌鉈など五つづゝ東にしたも

1. kina-ʔalatiʔ 良さ, 美しさ. ~ʔalatiʔ 良い.
6. masoʔ-i ...してしまふ, 客體主, masoʔ 同上, 主體主.
12. aʔow-an 人に買銀を與へる, 位置主, in-a-ʔo 與へた買
銀, a-aʔow-an 與へるべき報酬, 20行。

14. səlow-an 明るい時, 曉, s-am-lo はつきりする。
15. tariŋ-un 始める, 客體主, ʔariŋ 始。

- ¹ nuk ga mapito βaniip / sakani ga mapito
の は 七 東 今 は 七
- ² pila saon ta / kija ko: laokah ga masapats
圓 所言 我等の 共 は 高價なのは 八
- ³ βaniip / sakani ga masapats pila saon ta /
東 今 は 八 圓 所言 我等の
- ⁴ mowah ko: gippun skani laga / tsugan
来 が 日本人 今 それから 三
- ⁵ pila ko: aaβowan la gi: saogalan naha?
圓 は 報酬 了 故 所欲 彼等の
- ⁶ ko: pila / lahepan ma'lax sako: tsugan
は 金 結果 止める な 三
- ⁷ pila ko: aaβowan mijan / gi: ma'gan samu
圓 は 報酬 我等の 故 取 我等
- ⁸ so: gaga? na gippun la /
な 習慣 の 日本人 了
- ⁹ samu ka tamaluβ ga / minowah kamots
我等 共 男 は 行つて来る 殺
- ¹⁰ palmukan laga: / patalahoβan ko: tamaluβ
本島人 それから 所入墨 は 男
- ¹¹ la / ana ?uttux ko: ko:tan nako: naβaki:s
の だ 一 人 は 所殺者 の 祖先
- ¹² laga / ana haβaβao ko: lala?i mosa malo:
併 だ 大勢 は 子供等 行 同伴
- ¹³ magaga? laga / asogan nija so: papina ?ut-
出草 すると 所分配 彼の な づつ 一
- ¹⁴ tux saino:nux / mowah laga / patalahoβan
本 髪毛 歸 それから 所入墨
- ¹⁵ kowara ko: mənowah kamots palmokan
皆 は 行つて来た者 殺 本島人を
- ¹⁶ kasa la / lamoheip marakijas kija ko:
其の の だ 生結果 成長 共 は
- ¹⁷ lala?i / asi ga βaihoi kinainikijapa maraki-
子供等 共備 風 速いこと 成長
- ¹⁸ jas / nano ko: ata:βan ga / kija ko: paβux
何 は アタヤル は 共 は 多
- ¹⁹ waβan naha? ko:tan ga / pata:βan naha?
既 彼等の 所殺 すると 所入墨 彼等の
- ²⁰ ko: βaskutao naha? / kija ko: tikui la
は 胸 彼等の 共 は 少かつた

1. βaniip 錠, 錠など五つしづつた東。
6. lahep-an 結果, 原意, 後に續いて来る物, 事, l-am-oheip
結果を生ずる, 16行, loheip …の續き。
10. pata-lahog-an 顔に入墨する <lehoi 顔, 本来は顔な
れども顔の入墨をいふ。
13. asog-an 分配する, 位置主, um-aso: 同上, 主體主。
17. kina-ini-kijapa 速さ, kina …さ, ini 不, ini ki-japa

の),即ち今日我々の七圓といふの[に當
る]。又高いのは八東,即ち今日我々の
八圓といふの[に當る]。日本人が来て
からは,入墨師は金を欲しがつて報
酬は三圓になつたが,我々が日本の習
慣をとる様になつた故(入墨を廢止)其
の結果として,我々の報酬の三圓も止
めてしまつた。

我々男子は本島人を殺しに行つて
歸つてから,顔と頸とに入墨すること
になつてゐる。一人殺す時でも,祖先
は子供等まで大勢連れて出草に出掛
ける。而して[鬚首した首の髪を毛を
一本づつ彼が[子供に]分配してやる。
歸つてから,その本島人を殺しに行つ
た者は皆入墨することになつてゐる。
其の結果として,其の子供等は,風の様
な速さで成長する。據,アタヤル[の習
慣]では[人を]澤山殺したものは其の胸
に入墨する。殺すのが少かつた者は,

<ini ka-japa 原意は速くない, 速さの義なれども反
對に速さの義ともなる。比, japa so 汝早かつたね,
ini ki-japa 早かつた, 否定の有無に關せず同義を有
する特例なり。
19. patas-an, patas-i 胸を主體とし何れも入墨する處の
義なれども否定の場合は必ず-iを附して patas-i と
なる。他の動詞も皆此に準ず。比, 105頁, 1行。

- ¹ waβan ko:tan ga / ini patasi ko: βaskutao
既 所殺 すると 不 所入墨 は 胸
- ² naha? /
彼等の
- ³ minowah samu kamots palmokan ga /
行つて来る 我等は 殺 本島人を 其時
- ⁴ mahahowao samu ta?to?i / taihok samu sa-
叫 我等は 道々 到着 我等は 家
- ⁵ li? laga wahan mijan kowara ma?owas
に すると 所来 我等の 皆 誰
- ⁶ ko: tunnux na palmokan la / kinsa:βan
は 首の處 の 本島人 の だ 翌日
- ⁷ nija laga / maslala:mo? samu laro: / pasta-
其の なる と 集 我等 而 所誦
- ⁸ βi:lan mijan ro: / siun mijan alappao ko:
我等の 而 所置 我等の 首欄に は
- ⁹ tunnux na palmokan / kija ko: sinaho?
首 の 本島人 有 は 搦いた物
- ¹⁰ amo? nako: kanaerin mijan laga / ?uttux
粉餅 の 妻 我等の ば いつも
- ¹¹ mijan siun sako: pa?owa? nako: tunnux /
我等の 所置 に 口 の 首
- ¹² kaβagehan mijan laβi ro: / sapaka:ni?
所取出 我等の 再 而 所使食
- ¹³ mijan sako: lala?i mijan / ka: mənowah
我等の に 子供等 我等の 其 行つて来た者
- ¹⁴ magaga? kasa / sapa?owao mijan laro: /
出草 其の 酒を作る譯 我等の 而
- ¹⁵ sa?ijap mijan ro: / maho?in ko: ?owao
狩する譯 我等の 而 熟 が 酒
- ¹⁶ mijan laga: / ?uttux mijan sakawahok
我等の すると いつも 我等の 所招待
- ¹⁷ sako: ?uttux ?alaβ ro: / ja:sa ko: mowah
を 一 社 而 共 は 来
- ¹⁸ manozo: sako: ?owao mijan /
飲 を 酒 我等の

其の胸に入墨しない。
我々が本島人を殺して歸る時は,我
々は道々喊聲を擧げつゝ歸つて来る。
我々が家へ歸ると,我々は皆本島人の
首の處に来て誦ふ。其の翌日になる
と,我々は集つて踊つて,本島人の首を
首欄におく。我々の妻の搦いた粉餅
を,我等はいつも首の口に入れる。[而
して]再び其を取出して,我々は,その出
草から歸つた我々の子供に食はせる。
我々は[祝ふ爲に]酒を作り,又狩に出か
ける。而して我々の酒が熟すると我
々はいつても全社の者を招待する。其
で皆が来て我等の酒を飲むことにな
つてゐる。

7. pas-taβil-an 踊る時, mas-taβil 飛越る, 飛越, 踊る。
9. s-in-aho? 搦いた物, s-am-aho? 搦く。
11. pa?owa? 日, 大勢, naqowaq。
12. kaβageh-an 取出す處, 日, kaβageh 土中の物など擲
り出す。

sa-pa-ka:ni? 食はせる物, 材料, 用具主, mani? 食ふ。
14. 15. sa-pa-?owao [酒宴の] 爲に酒を作る, sa-?ijap [酒
宴の] 爲に狩する, 用具主, sa- は用具, 理由を裏はす
接頭辭, pa-?owao 酒を作る, ?am-ijap 狩する。

II

サイシャット語

語法概説

及び本文

サイシャット語語法概説

I. 分 布

サイシャット語は新竹州竹東郡、竹南郡、大湖郡管内の山地に居住せるサイシャット族(Saisijat, 又 Saisirat ともいふ、人口約一千三百)の用ゐる言語にして、音韻上二種の方言に區別することを得べし。竹東郡方面のものは ɨ 又は弱き ɨ を有するに對し、竹南郡方面のものは之を弱き ɤ に轉するか、又は之を失ふ。以下記述する所は竹東郡大陸社の言語によれり。

II. 音 韻

1. 母音, [i], [ɨ], [e], [a], [o], [ɔ], [u], [ɯ], [œ], [æ].
 1. [i], [ɨ], [e] は同類音なり, [h], [ʔ], [r] の前後に於て [i] は [e] となるを普通とす。
 2. [o], [ɔ], [u] は同類音なり, [h], [ʔ], [r] の前後に於て [o], [u] は [œ] となり, 又 [a] の後に於て [u] は弱き [ɔ] となる。記載には [o] 又は [u] を用ゐたり。
 3. [a] は [ʔ] の前に於て [æ] となる。
2. 子音, 兩唇音, [p], [m], [ʔ], [w]. 齒音, [t], [n], [s], [z], [l], [r], [ɹ]. 硬口蓋音, [j]. 硬口蓋化音, [ʃ], [ʒ]. 軟口蓋音, [k], [ŋ]. 懸壅垂音, [ɣ]. 聲門音, [ʔ], [h].
 1. [s] は舌尖に力を入れずして發音す。
 2. [l] は アタヤル の l に似たり。
 3. [r] は舌尖に力を入れて發音するにより 'r の如く聞ゆ。
 4. [ɹ] は摩擦の程度弱き爲め、竹南郡方面にては弱き [ɣ] 音に轉じ或は之を失ふ。
 5. [ʃ] は アタヤル に同じ。
 6. [ɣ] は懸壅垂部の有聲摩擦音なり。語末に来る ɨ は大陸社に於ても之を弱き [ɣ] に發音す。本文に於ては [ɣ] を小書せり。
3. 揚音, 普通語末の音節に高低揚音を有す。

III. 形 態

1. 接頭辭及び接頭辭と挿入辭、接尾辭との結合。
a...-om-, am- 主體主, 現實未來, a-om-ural 雨が降るだらう, 此から降る雨, am-rima

- 行かう,此から行く者, am-lobleh 歸るだらう,此から歸る者。
 am-…-om-(-m-) 主體主,一般未來, am-r-om-a²oe 將來飲む者, am-s-m-i²al 將來食ふ者。
 in- 客體主,一般過去, in-sawi 破つた物, ~ma-sawi 破る。
 ja- ja-ulujeh 黒, ja-pajilah 赤, ja-lowai 圓, 満月, ja-sajumsum 夕方, ja-wazwaz 夜半。
 ka- (1)過去, ka-heja 昨日, ka-ino-an 何時(過去), (2)方, ka-²nal 右, ka-lii 左, (3)物 (?)
 ka-hma 舌, ka-²as 筋, ka-ti²is 甘蔗, ka-h²o² 小便。
 ka-ma- 常に…する者,常職, kama-tal²omah 農夫, kama-te²aji 商人, kama-maruma 盜賊。
 ka-pai- …する物,飾物, ka-pai-iima 腕飾, ka-pai-²a²ai 脚の飾。
 ka-pasu- ka-pasu taai タアイ(昔の矮人種)の祭。
 ka-po- ka-po-masa 目鏡(目に用ひる物?) <masa 目。
 ka-su- kasu-lata² 外に出る, kasu-asaj 蕃社を移す。
 ki- 採る, ki-oai 藤を採る, ki-pazai 稻刈。
 kin- 甚だ, kin-lehpeh 甚だ薄い, kin-akoi 餘り多い, kin-hoepai 甚だ疲れる。
 kis- 行ふ, kis-tomal 實際に行ふ, am-kis-rinaol-an 招待を行ふ歌。
 m- 主體主,一般現在, m-oai 來る, m-ainaja 待つ。
 ma- 主體主,一般現在, ma-ruma 盗む, ma-lurai 下る, ma-skis 寒い, ma-poliq 髒。
 ma-ja- 主體主,一般現在, maja-kai 話する, maja-rawa 番する。
 ma-ku- 主體主,一般現在, maku-hahewa 履物をはく, ~Atay. maki-ejamil 同上。
 m-in- 主體主,一般過去, m-in-ahock 沸いた物湯など, m-in-ai 行つて來た者。
 min-…-an min-pazaj-an 藁 <pazai 稻, min-kurij-an 女, ~ kur-kurij 子, min-ta-tini-an 百歩蛇 <ta-tini 年長, 百歩蛇は蛇の長者なりといふ。
 na-…-om- 主體主,一般過去, na-l-om-upas 鳴いた[雞が]。
 pa- 使役,又は他動, pa-oral 雨を降らせる, pa-kita 見せる, pa-hela² 日に干す。
 pasu- 作る, …する, pasu-kaizah 良く作る, pasu-taai タアイを祭る。
 ja- …になる,變ずる, ja-²pai 風になる,吹く, ja-kowau 鷹に成る。
 sai- sai-sijat サイシャット, sai-papa²s 前山蕃, sai-tenhakos 後山蕃, sai-rakis 大陸社。
 si- 用具主,一般現在, …の爲の物, si-rimi² 染る爲の物, si-taxæ² 削つてやる爲の者, si-ra²o 飲む具,茶碗など。
 ti- ti-iima 手を洗ふ, ti-²a²ai 脚を洗ふ。
2. 挿入辭及び挿入辭と接尾辭との結合。

- in- 客體主,一般過去, t-in-u²o² 挿込んだ物, s-in-u²il 遺した物。
 -in-…-an 位置主,一般過去, s-in-ako²-an 葺いた處,屋根, s-in-awi²-an 破つた處,破つた物,破れ目, p-in-atas-an 入墨した痕。
 -um-, (-oem-) 主體主,一般現在, k-um-ita 見る, s-um-a²es 縫ふ, h-oem-ochoe 乳を飲む。
 -um-in- 主體主,一般過去, k-um-in-ita 見た, s-um-in-i²al 食つた。
3. 接尾辭及び, 接尾辭と接頭辭挿入辭との結合。
- ai 位置主,現實未來, pasu-taaj-ai タアイの祭をしよう[此の時]。
 -an (1)場所, kaja-rawa-an 番する處, s-in-i-ksik-an 開鑿した處, ka-saon-an 坐る處。
 (2)時, haro-an 日暮, ka-helar-an 晝, (3)物, lehpeh-an 薄い物, walis-an 牙の物, 山脈,
 (4)用具, ka-lalohaj-an 玩具, ka-si-iima-an 腕輪。
 -an-ai 用具主,現實未來, parej-an-ai 塗つてやろう[人の爲に], aras-an-ai 持つて行つてやろう[その人に]。
 -an-i (1)用具主,命令, ²oaj-an-i 與へてやれ[其人の爲に], sumil-an-i 集めてやれ[其人の爲に], sahoc-an-i 焼いてやれ[其物を以て], ta-²eh-an-i 代へてやれ[其物を以て], (2)用具主,否定, oka²i taxa-an-i 作つてやらない[其人の爲に]。
 -au (1)客體主,現實未來, si²al-au 食はう[其物], ki-pazaj-au 稻刈りしよう[其稻], (2)位置主,現實未來, kita-au 見よう[其處], ²oaj-au 與へよう[其人に]。
 -i, (-e) (1)客體主,命令, si²al-i 食へ[其物], (2)客體主,現實現在, aras-i 今伴ふ者, (3)位置主,命令, kita-e 見よ[其處], ²oelo²-e 閉めよ[其處]。
 -in <-in (映母音を有する音節の次に來る時), 客體主,一般現在, sawi-in 破る[其物], kai-in 掘る[其穴], sael-in 隠す[其物], azep-in 削る[其物]。
 -on <-in (母音 o の次に來る時), 客體主,一般現在, rao-on 飲む[其物]。
 -oem <-in (聲門破音²の次に來る時), 客體主,一般現在, ²otæ²-oem 縛る[其物]。
 -in 客體主,一般現在, si²al-in 食ふ[其物], rakip-in 捕へる[其物]。
4. 反覆
- a. 單純なる反覆
- (1)複數, aha-ahal 友達。
 (2)強意, ra-rahoe 大きい,全部, kit-kita よく見よ, heki-hekil 小指。
 (3)相互, ka-kurij 互に喧嘩する, ka-kita 互に見る,面會, ka-karas 咬合ふ。
 (4)用具, ha-hoewal はさむ具,箸, sa-sapoch 掃く具,箒, ²a-²pai 與へる爲の物, ka-kai 話す爲の事話の種,用事。

b. 反覆と -an

(1) 強意, 位置主, β ato- β ato-an 石の多い處, 石原, β on- β onaz-an 砂の多い處, 砂原, 川原
ri-rim²an-an 丁度明日になつた時朝, 比. rima²an 明日。

(2) 強意, 形容詞, al²alih-an 甚近い, ol²ola-an 甚小さい, li-lowaj-an 甚圓い。

c. 反覆と -in, 強意, 客體主, kit-kita-in よく見る[其物], hip-hipha-in 丁度半分にする[其物] <hipha 同じ。

IV. 品 詞

1. 冠 詞

1. 一般冠詞 2. 人的冠詞 3. 人的冠詞複數

主格	ka	he	la
屬格	no-ka, no	ni	ni-la
其他	ka, i	kah	kah-la

ka, Paiwan 等に於ける a に相應す。

no-ka, Paiwan の no-a に相應す。

i, ... の處に... の處へ, 比. IN. i.

he < *hi, 比. IN. si. ni 比. IN. ni.

la, Tagalog に於ける人的冠辭複數 si-na の na に相應す。

造格は屬格に同じ。

2. 代名詞

a. 人代名詞

	一人稱	二人稱	三人稱	疑問人代名詞
單數	主格 j-ako, j-au	ʃoo	he-za	heja
	屬格 maan, in-man-a	-ni-ʃoo, in-ʃo-a	-ni-sea, in-sea-	-ni-heja, in-heja-
	其他 -ini-maan, j-ak-in	-ini-ʃo, iʃo-on	he-sea	?
複數	主格 j-ami	mojo	he-za saʃuh	
	屬格 -ni-ja ² um, in-njami	-ni-mon, im-mojo-	-ni-sea saʃuh	
	其他 ini-ja ² um	ini-mon	he-sea saʃuh	
含複對話者數	主格 i-ta			
	屬格 -m-ita, -im-mita-			
	其他 ini-mita			

固有人名詞, 又は親族名詞と共同的に用ゐらるゝ人代名詞は單數の場合に在りても, 尙複數の形を取る。jami ke ʃop 我等一と一 ボン = ボン との我等, 即ち我と ボン と, jami ke jama 我等一と一 父 = 父 との我等, 即ち我と 父 と, mojo ke tamah 汝等一と一 汝の父 = 汝の父 との汝等, 即ち汝と 汝の父 と。

b. 指示代名詞

此れ, hi-ni	其れ, isa-za	あれ, he-za
此の, hi-ni	其の, isa-za	あの, he-za
此處, isa-ni	其處, isa-za	彼處, isa-sun

c. 疑問代名詞

何	何處	何時(過去)	何時(未來)
ka-no	i-no	ka-ino-an	ino-an

3. 數 詞, (單語集參照)

一より四に至るまでは IN. と同語に屬すれども, 五以上の數は全く別語を用ゐる。殊に七は六と一との結合したるものなることは注意すべし。八は四の倍數なる事 アタヤル に同じ。九の語 raha の ha は一(aha)の語と同語ならん。sam²ajah (二十)は未詳。ma-toro-l (三十)は アタヤル と同じ構造なり。mun-ʃpat (四十), mun-ʃasu² (五十)等九十に至るまで皆 mun- を冠す, アタヤル の min-xa-l (一度), Tagalog の min-sa-n (一度) の min- に相應するものなるべし。

4. 形容詞

a. 單純なるもの, akui 多い, kaizah 善い等。

b. ma- を用ゐるもの, ma-skis 寒い等。

5. 動 詞

a. 分類, 第一類, 第二類(總説, 動詞の條參照)。

b. 時相, (アタヤル 時相の條參照)。

	第一類		第二類	
	主體主	客體主	位置主	用具主
現實現在	si ² al (食)	si ² al-i (食)	?ilu ² -i (閉)	tara-an-i (作)
一般現在	s-um-i ² al (")	si ² al-in (")	?	si-si ² al (食)
現實過去	s-um-i ² al ila (")	?	?	?
一般過去	s-um-in-i ² al (")	s-in-i ² al (")	s-in-opan-an (詞)	s-in-i-kira-an (目標)
現實未來	a-s-um-i ² al (")	si ² al-au (")	pasu-taaj-ai (タアイ禁)	aras-an-ai (持行)

一般未來 am-s-um-i²al (食) ka-si²al-in (食) ka-sopan-an (飼) ka-si²al-an (食)

(註) s-in-opan-an 前に何つてゐた處, ka-sopan-an 飼ふべき處, 飼ふ處, pasu-taaj-ai タアイの祭をしよう(其の時), taja-an-i 其人の爲に作つてやる, 作つてやる理由(其人), s-in-i-kira-an 知ることの出来る爲にした物, 目標, aras-an-ai 其人の爲に持つて行つてやらう, 持つて行つてやる理由(其人), ka-si²al-an 食ふ道具, 食器。

本表は材料不備の爲め未詳の部分あり, 尙研究を要す。

- c. 命令 前に出せる表中, 第一列, 現實現在はそのまゝ命令として用ゐらる。
- d. 否定 全部, 第一類現實現在の形を用ゐる。
- α. 現實否定, oka²i si²al 食はない, 今食する者でない, oka²i oai 來ない, 今來る者でない。
- β. 一般否定, okek ralam 知らない, okek ka-kita 面會しない。
- γ. 禁止, ize si²al 食ふな, ize kita 見るな, izek tikot 恐れるな。
- δ. 有に對する無は oka を用ゐる。

6. 副詞

- a. 純粹の副詞, san 眞に, kin 甚だ, nahan 最早, 尙もつと, 亦, 再, atomal 本當に等。
- b. 形容詞に am- を附して副詞的動詞を形成することあり, 原形, ²amoeh 早い, am-²amoeh razio 早く…する=逃げる=早く逃げる, 原形 kin-kaizah 甚だ良い, am-kin-kaizah 甚だ良くなる。

7. 接續詞

- ki …と…と, アタヤルに同じ。
- o: それで, 而して, それからなど, アタヤルの ro: に相應す。

8. 結辭, 結辭に ka と a と i の三種あり。

ka の例, t-in-u²o² ka kiko² 挿入した物—即—尾=挿入した物で出來た尾, 115頁, 14行参照。

a の例, ni-jama a malat 父の物—即—刀=父の刀, in-²soa a raro 汝の物—即—一名=汝の名, βaip a t-um-inun 怠る者—即—織る者=織ることを怠る者。

i の例, nini i no-ka walisán a kiko² 此—其物—之—山脈—即—尾=此は山脈の尾。

9. 助辭

- (1) …ila, …した。
- (2) …ilah, …しよう。
- (3) …ai,, …nai, …か(疑問)等。

1. 大 隆 社
(Sairakis)

1. Jusup
猿

1. 猿

- ² kakhaizaan oka² ka jusup / ka korko-
大昔 無 は 猿は が 子供
- ³ riŋ jusup o: haiza ila ka jusup / rima
成猿 而 有 了 は 猿 行
- ⁴ rara²o²e² ka tatini / oka²i arasi noka ta-
共に飲 は 老人 不 所作 の 老
- ⁵ tini ka korkoriŋ o: / βi²e² ila ka korkoriŋ
人 は 子供 それで 怒 了 は 子供
- ⁶ o: komosa / "jami si²uloe² noka tatini o:
而 いふ 我等は 所捨 の 老人 而
- ⁷ jami amrima ila jusup" o: / komosa
我等は 行 のに 成猿 而 いふ
- ⁸ ila / "tapaitata ka ro²oel o: / tatao²un ila
了 搦かう を 糶米 而 餅を作らうよ
- ⁹ o: / porejanai mita ka mininuthag o:
而 所塗 我等の を 孔處 而
- ¹⁰ kamnakhezaan rai kinroeh / palia kati-
彼處 處 梁 つける 出
- ¹¹ sninan ka paizizaan mita" komosa o:
入口 即 通る處 我等の と いふ 而
- ¹² tumao²un / tumao²un sezah ela / maha-
搦餅 搦餅 出來 了 相
- ¹³ jahazag komosa " ta tu²o² noka βaja² am-
談 いふ 我等挿入 以 帶
- ¹⁴ kakiko² mita" / sezah ela ka tinu²o² ka
可爲尾 我等の 出來 了 は 所挿入物 即

大昔は猿が居なかつた。子供が猿
になつたので, 其で猿が有るやうにな
つた。[或時]老人と一緒に酒を飲み
行つた。ところが老人達は子供達を
伴れて行かなかつたので, 子供達は怒
つて, 我々は老人に捨てられたのだから,
我々は行つて猿に成らうといつた。
[而して又]我々は糶米を搦いて餅を作
らう, そして[家の中の]孔のある處を塗
りつぶしてやらう, 只梁のある彼處丈
殘して, 我々の通る出入口にしよう
とさういつて, しきりに餅を搦いた。餅
が出來上ると, 彼等は相談して, 我々は

採録期: 昭和六年十二月新竹州竹東郡シバジ一社にて調査。
口授者: 大隆社(sairakis)の, atau taja, 53歳, 男, tajo:
juma, 61歳, 男。

- 說明者: 同上, iŋan tajo: 35歳, 男。
2. ka 冠詞, 主格, 目的格等, 即ち屬格, 造格以外の格。
3. ja-jusup 猿に成る, jusup 猿。Mal. lutong, ja 成る。
o: 而して, それで, それから等。比. Atay. ro:
ila …になつた, …した, …(する)のだ, …(しよう)よ。
…ぞ。比. Ataj. la.
4. ra-ra²o²e² 共に飲む, r-um-a²o²e² 飲む。
aras-i 作ふ者, 客體主, 子供, om-aras 主體主。
no-ka 冠詞, 屬格。
6. k-om-osa さう言ふ, 主體主, kosa-in 客體主。
si-²uloe² 見捨る所となる者, 用具主, βuloe² 見捨る, si-
用具主の接續辭。比. Atay. sa-, Paiw. si-, IN. i-。
7. am-rima 此から行く, 主體主, am- 現實未來の接續辭。

8. ta-pai-tata 搦かう, 未來, 主體主 (?) ta- は未來, 原意は
我等の義 (?) mai-tata 現在, 118頁, 註16。
ta-tao²un 餅を作らう, 未來, 主體主 (?) t-um-ao²un
現在, 12行。
9. porejan-ai 塗りつぶしてやらう, 現實未來, 用具主。
老人, pore² 塗る。
m-in-in-uthag 孔の開いてある物, 主體主, muthag 孔。
10. kam-nak-heza-an ああいふ處, nak-heza あの通り,
heza-an 彼處。
11. pai-ziza-an 通る處, mai-ziza 通る, 主體主。
12. ma-haza-hazag 互に相談する, ma-hazag 話す。
13. tu²o² 挿込む, t-in-u²o² 挿込である物, 14行。
am-ka-kiko² 尾の材料にしようとする者, 主體主。
kiko² 尾, 比. IN. ikors. ka- は反覆にして用具, 材料
を表はす。

- ¹ kiko^o / "tailaila" sa o / marai ki-
尾 そこで 行かう といふ 而 から
- ² nroeh kasulata^o / kapokpok ila jarusup
梁 出外 而 噂ながら 了 成猿に
- ³ ila / aroma rima ila / aha ila nanao / okik
了 他人 行 了 一人あつた 只 非
- ⁴ wa^oisan / loehapurin noka tatini o / ra-
強者 所追附 の 老人 而
- ⁵ kipin ila o / raraetin ila o / pa^ojakaiin
所捕 了 而 所止 了 而 所話
- ⁶ kosain / "ize ila osa soo / soo aha ila
所言 勿 よ 行 汝は 汝は 一人 了
- ⁷ nanao / numpama ka korkorip^o / pa-
只 負 了 子供 而
- ⁸ pamain ka korkorip ila / rima ila taro^oe-
所使負 は 子供 了 行 了 上る
- ⁹ tul rai kahoei o / toma^oæ's ka korkorip
處に 木の 而 放 了 子供
- ¹⁰ o / paksahæ^oin o / komosa "heson ila
而 所使落 而 といふ 行共處 了
- ¹¹ korkorip o / jako sisila ila / pil^oawan
子供 而 我 分れる よ さよなら
- ¹² oja^o /
母よ

2. kamahe:los
カマヘーロス

- ¹⁷ komosa tatini / kakhaizaan sin kosain
いふ 老人は 大昔 者 所言
- ¹⁸ kamahe:losun o / su^oarœh ka pa^opas o /
カマヘーロスと 而 大 は 口 而
- ¹⁹ so: rima ^oumalup ka ma^olah / so: haiza
時 行 狩 が 人々 時 有
- ²⁰ pinasorau ila / helosin noka kamahe:los
所追出物 了 所吸込 の カマヘーロス

- 2. kasu-lata^o 外に出る。lata^o 外。
- 4. loehapur-in 追附く者、客體主。
- 4. rakip-in 捕へる者、客體主。
- 5. raraet-in 止める者、客體主。r-um-araet 主體主。
- pa^oja-kaai-in 話す者、客體主。kai 話、語。
- 7. num-pama 負ふ者、主體主。pa-pama-in 負はせる者、客體主。pa- 使役。

帯を[尻に]挿込んで尾にしようといつた。挿込んだ尾が出来上ると、さあ行かうといつて、梁の處から外へ出て、啼きながら猿になった。[子供の内]他の者は皆行つたが、只一人残つた。其は強くなかつたので、老人に追つかれて捕へられて引止められた。すると老人は汝只一人になつた、汝行くな、汝は子供を負ふのだといつた。而して彼は子供を負はせられたが、彼は木に登つて[負つてゐる]子供を放して落した。そこで子供は其處へ行つたよ、私はお別れする。左様ならお母さんといつて[行つてしまつた]。

2. カマヘーロス

老人の話に、大昔カマヘーロスといふ人が居つたさうだ。口が大きくて、狩に行つた時、人々が獸を追出すと、彼はその追出した山豚と犬とを、自分丈

- 10. pak-sahæ^oin 落す物、客體主。比。119頁、註4。
- 19. ^oum-alup 狩する。Atay. q-om-alup。
- 20. p-in-a-sozau 追出した物、客體主。s-um-ozau 追ふ、主體主。
- helos-in 吸込む物、客體主。kama-he:los 人名。常に吸込む者の義、16行。<he:los 吸込む。

- ¹ nonak ka pinasorau walisan o / ahoe /
自分 は 所追出物 山豚 と 犬
- ² isaza imahœwes ka in^oaz^oazum noka
それで 返 が 横壁 の
- ³ sa^oœh o / sipaharaha^oap komosa / "ta
皆 而 相談の譯 といふ 我等の
- ⁴ sahoani ka ^oato o / ta papasazi ila^o /
所燒 は 石 而 我等の 所殺者 ぞ 而
- ⁵ sisahoe ila sa^oeraz o / ta^ota^ooin ila ka
所燒 了 本當に 而 所轉 了 は
- ⁶ ^oato o / komosa "hason ila walisan" o /
石 而 といふ 行共處 了 山豚が 而
- ⁷ kosain o / si^oalin ila o / masaz ila /
所言 すると 所食 了 而 死 了

3. ahoe
犬

- ¹⁰ kakhaizaan aka ka ahoe / maharaha^oap
大昔 無 は 犬 相談
- ¹¹ ila ka tatini o / "taila ta mare ka ahoe /
了 は 昔老人 而 行かう 我等 取 を 犬
- ¹² poaao mita ihan / oka^oe arasanai mita ka
可知何 我等の かしら といふ 所持行 我等の を
- ¹³ tinao^oun / oka^oe ta^orehani ka rokol / ka-
餅 といふ 所代 は 里芋
- ¹⁴ izah zomipas ka pa^opas noka ahoe / isaza
良 粘着 に 口 の 犬 それが
- ¹⁵ amkinkaizah / taila ila tatalam ta mare
善良いだらう 行かう ね 試みよう 我等 取
- ¹⁶ ka ahoe / komosa o / rima ila / "kino-
を 犬 といふ 而 往 了 見風
- ¹⁷ ^oareani / imahœwis sumazik ka ahoe /
向 惡 嗅 が 犬
- ¹⁸ osazao noka pinleh ila / komosa ka tatini
所投 以 團子 よ といふ は 昔人

3. 犬

で吸込んだ。それで他の人は皆面白く思はない。彼等は相談して「我々は石を焼いて、彼を殺さう」といつた。而して本當に石を焼いて轉がした。而して「山豚が其處へ行つたぞ」といつた。すると[彼は]その石を食べたので死んでしまつた。

大昔は犬がなかつた。老人達は相談して「我々は犬を捕りに行かう。如何いふ風にしようか。いや判つた、餅を持つて行つてやらう。いや里芋にかへよ。里芋はよく犬の口に粘り着くから其がよからう。行つて犬が取れるか試して見よう」といつて出掛けて行つた。「風の方向を見てくれ、犬が嗅付けるといけない、團子を投げよ

- 1. ahoe 犬。IN. asu. h<IN. s. h を伴ふとき、u>œ。
- 3. si-pa-hara-hara^o 相談する原因、用具主。比。115頁、註12。
- 4. saho-an-i 其の爲に焼く物、現實現在、用具主。si-sahoe 同上。一般現在、用具主。5行。
- pa-pasaz-i<pa-pasai-i 殺者、現實未來、客體主。masaz ila <masai ila 死んだ。5は次のiの爲の轉化。IN. matai。
- 5. ta^ota^ooin-in 轉がす、客體主。t-um-a^ota^ooin 主體主。
- 7. si^oal-in 食ふ物、客體主。s-um-i^oal 主體主。
- 12. aras-an-ai [犬の爲に]持つて行つてやらう。用具主、現

- 實未來、犬 um-aras 主體主。
- 13. t-in-ao^oun 作つた餅。t-um-ao^oun 餅を作る、主體主。ta-^ofeh-an-i 取替る物にせよ、用具主。命令、里芋。~lohseh 歸る。
- 15. am-kin-kaizah 大變良いだらう。kaizah 良い、13行。
- 16. kino-^oare-an-i [我の爲]風の方向を見てくれ。命令、用具主。我。am-kino-^oare 風の方向を見ようとする、主體主。vare 風。
- 18. osaz-^oau 投げよう。現實未來、客體主。um-osa^o 投げる、主體主。si-osa^o 投げる爲の物、用具主。118頁、1行。

- ¹ ila o: / siosa^h ila e: jahœr / nakisaza ila
了而投了へ下如其了
- ² o: / kakaras ila ka ahœ / zipasin ila noka
而咬合了は犬所粘着了の
- ³ pinleh ila o: / simare ila ka kilkilu o: /
團子了而所取了は小犬而
- ⁴ somojau ila ka ahœ o: / si²as²asukan ka
追掛了は犬而方々に置く所は
- ⁵ pinleh o: / mai²ol ila ka pinleh oka² ila
團子而邪魔物了は團子不了
- ⁶ sakil / oka²i karas ila / isaza ila o: tomi-
追附不咬了共了而
- ⁷ hoeroi ila ka ahœ / haiza ila ahœ jami /
得了を犬有了犬が我等は
- ⁸ isaza o: ?umalup ila ka walisin / haisia
共而狩了を山豚禽有
- ⁹ ila haisani / nak isaza ka kasi noka tatini
了現在如其は話の昔の人
- ¹⁰ ka sinu²il jami /
共所遺物我等

4. saipahazaharan
サイバハラハラン

- ¹⁴ saipahazaharan pilpazai sumi²al ka ap-
サイバハラハラン 炊飯 食を
- ¹⁵ hal / kitain ni kalo²upluz / kalo²upluz
湯気 所見のカロヴンルズ カロヴンルズ
- ¹⁶ komosa / "ta² jako tasi²al / kitkita jakin
いふ 所典 我は 食はう よく見よ 我は
- ¹⁷ insa²an" o: / rima ila sumi²al ka pazai /
後で 而 行 了 食 を 飯
- ¹⁸ san highigha²in imasiza kin²akoi œ / "kit-
真に 所半分 此位 大變多 而 よく

1. e: < i 場所を表はす. IN. i-
jahœr 下. 比. Atay. jaho² 道の下の方. Mal. laut 海
の方. IN. *laud.
nak-isaza 其の通り.
2. ka-karas 咬合ふ. k-um-aras 咬む. 主體主. 比. Atay.
k-om-arts.
zipas-in 粘着する物. 客體主. z-um-ipas 主體主.
3. si-mare 取去る爲の物. 用具主. 小犬. mare 取る. 117
頁. 15行.
4. si²-as²-asukan 方々に置く爲の物. 用具主. 團子. asu-
kan 置く.
10. s-in-u²il 遺した物. 過去. 客體主. s-um-u²il 遺す. 主
體主.

う)。といつて[老人達が]下へ投げた。
すると犬が咬合を始めた。團子が口
に粘り着いた。[その間に]子犬を捉ま
へると、[他の]犬が追かけて来たが、團子
が方々に置いてあつたので邪魔にな
つて追附けない。又咬む事も出来な
かつた。それで犬をとることが出来
た。我々は犬が出来たので、其で山豚
を狩する。今日[犬が]有る事について、
昔の人が我々に傳へた話は其の通り
である。

4. サイバハラハラン

サイバハラハラン[の種族]は飯を炊く
と湯氣を食つてゐた。カロヴンルズ
[といふ人]がそれを見た。而してカロ
ヴンルズは、[飯を]私に呉れ、私が食は
う、後でよく私を見よ)といつて、行つて

14. pil-pazai 飯を炊く. pazai 飯. 又は穂のままの米. IN.
parjai.
15. kita-in 見る物. 客體主. k-um-ita 主體主. IN. k-um-ita.
ni 人名. 又は父母等人名詞の冠詞. 屬格. IN. ni.
16. ta² jako 私に呉れ. 比. Atay. ita 呉れ.
ta-si²al 食はう. 未來. 主體主. s-um-si²al 現在. ta- 比.
115頁. 註8.
kit-kita <kita-kita よく見よ. 主體主. kit-kita-in よ
く見る物. 客體主. 比. 註15.
17. hip-higha-in 半分にする物. 客體主. hip-higha 同じ.
kin-akoi 大變多い. 餘り多い. akoi 多い. 比. kin-
kaizah 甚良い.

- ¹ kita ila jakin" / amrima ila kamtoja²lu²
見よ 我を 行 了 橋
- ² sumæ²e rai kahœi / rima ila o: / kitkitain
大便する 處 水の 行 了 而 よく見る所
- ³ ila noka saipahazaharan / kitain ila saœ-
了 の サイバハラハラン 所見 了 實に
- ⁴ jaz ka saœ² / was was was ila ka imasa-
は 大便 ヲス ヲス ヲス 了 は 落ちる
- ⁵ huæ² / saipahazaharan komosa / "pinowa
物 サイバハラハラン いふ 所如何
- ⁶ niso / kinkaizah ka katozukan / nau jami
汝の 甚良 は 肛門 若 我等
- ⁷ nak isaza amkinkaizah / pinowa niso" /
如 其 甚良だらう 所如何 汝の
- ⁸ kalo²upluz komosa / "sahœ²ani ka pa-
カロヴンルズ いふ 所燒 は
- ⁹ tonai wawœwœ² o: / jako ila tawœwœ²
鐵線 穿孔具 而 我は 我 孔を開かう
- ¹⁰ inimon / amkaizah amnak jako" o: / ka-
汝等に 成良 成如 我 而 カ
- ¹¹ lo²upluz komosa / "wœwœ²ain mina am-
カロヴンルズ いふ 所穿孔 すると
- ¹² a²rum nahan moja / siosa ila maan rai
可鉄眼 實 汝等は 行く譯ぞ 我の 處
- ¹³ koukouor o: / paz²aza ela jakin / so: jako
山の 而 よく開けよ 我を 時 我
- ¹⁴ omœ²œ² ila itol ela o: amin²itol ela" /
呼 了 起こせよ 而 起るだらうぞ
- ¹⁵ wœwœ²ain ha²ajan ila / kitain masaz
所穿孔 大勢の人 了 所見 死
- ¹⁶ ila / haiza aroma kaini ila komosa /
了 有 他の人々 否じ 了 いふ
- ¹⁷ "la²oz ila / nahan takitkita nahan ka
十分だよ 實 見よう 實 を
- ¹⁸ hini ka winœwœ² / so: kaizah maihal
此 を 所穿孔 時 良 後に
- ¹⁹ ela jami pawœwœ² ila nahan" / "jako
了 我等 使穿孔 ぞ 又 我
- ²⁰ amrima ila o: / so: pazain jako omœ²œ²
行かう よ 而 時 所開 我は 呼

飯を食つた。本當に[鍋に]半分位大變
澤山食つた。それから[私をよく見よ]
といつて、横に渡した木の處へ行つて、
[其の上から]大便をした。サイバハラ
ハラハランは[そこへ]行つてよく見てゐた。
見ると大便がソス、ソスと音をして落
ちた。サイバハラハラハランは[肛門の]な
い人だから驚いて[汝は如何してそん
なのか、肛門(といふものは)大變よい物
だ。若し我々もあの様になつたら大
變よからう。汝は如何してそんなの
か]といつた。カロヴンルズは[鐵の針
金を燒け、孔を開ける道具だ、そして私
は汝等に孔を開けてやらう、すると私
の様によくなる]といつた。そしてカ
ロヴンルズは又[孔を開けると、汝等は
暫く眠たくなる、私はあの山の處へ行
くが、私があそこで叫んだら、睡つてゐ
るのを起せ、すると起きて来る]といつ
た。孔を開けてもらった大勢の人は

1. kamto-salu² 橋に渡した木. 橋の様なもの. salu² 橋.
2. s-um-æ²e 大便する. saœ²e 大便. Pairw. tsaœei. IN.
tai. a >æ は聲門破音の影響.
kahœi 水. IN. kayu. o>œ は h の影響.
4. i-ma-sahuz² 落ちる其の物. i- 其の物. 比. 116頁. 註10.
5. p-in-owa niso 汝の如何に爲して出来た結果か. 過去.
客體主. powa 如何する. 主體主.

9. wa-wœwœ² 孔を穿ける具. 錐など. ta-wœwœ² 孔を
穿けよう. wœwœ²-in 孔を穿ける物. 客體主. 11行. 母
音の前に来るときは w>ɹ. w-in-œwœ² 穿けても
らつた者. 18行. pawœwœ² 孔を穿けさせる. 19行.
11. a-ma²rim 眠るだらう. 未來. ma²rim 眠る.
12. si-osa 行く理由. 原因. 用具主. 汝. ize usa 行くな.
13. paz²-aza よく開け. 主體主. aza 開く.

- 1 ela rai kōkōror / itol ela / rima o: / 了 處で 山の 起こせよ 行 而
- 2 putopōr rai kōkōror / kalōʔupluz omōeʔ / 到着 處に 山の カロヴンルズ 呼
- 3 œi ela / itolin ila noka saipaharahāran / 了 所使起 了 の サイバハラハラン
- 4 kitain hini kaiin itol masaz ila / sai / 所見 此は 不 起 死 了 サイ
- 5 paharahāran mare ka vōhōeʔ o: siwaʔ o: / ハラハラン 取 を 弓 と 矢 と
- 6 malat o: ʔōʔak o: / rima ila romolrol o: / 刀 と 鎗 而 行 了 從行 而
- 7 somorau he kalōʔupluz / soʔaun soʔaun / 追掛 は カロヴンルズ 所追掛 所追掛
- 8 o: alʔalihan ila saipaharahāran ka kama- / 而 所近 了 サイバハラハラン 其 追ふ
- 9 soʔau o: / kalōʔupluz kumita ka kamuti / 人 而 カロヴンルズ 見 を 警部
- 10 marein o: azepin o: tastasin / sirimiʔ ka / 所取 而 所削皮 而 所細切 染料 を
- 11 kiniʔaruman / ʔeja ramoin ila ka tarōʔan / 穿山甲の穴 有 染血 了 は 家
- 12 noka ʔarum / saipaharahāran kumita ka / の 穿山甲 サイバハラハラン 見 を
- 13 tarōʔan noka ʔarum / ʔeja ramoin ila o: / 家 の 穿山甲 有 染血 了 而
- 14 komosa / "hani ila he kalōʔupluz" o: / といふ 此處 だ は カロヴンルズ 而
- 15 siwaʔe kumuʔarah nahan ka tatawa / 来る譯 引返 再 は 鹿
- 16 kaiin ila / sakulin ila kitain ʔarum ila / 所聞 了 所追附 了 所見 穿山甲 了
- 17 "hison kalōʔupluz raramun hini haʔon / あの カロヴンルズ 必 此 神
- 18 ampapaʔaha inimita ka pasajan mita / 可決定 我等に を 死命 我等の
- 19 okik rarami nisija he kalōʔupluz "komosa / 非 所知 彼の は カロヴンルズ といふ

7. he<hi 人名の冠詞、主格。IN. si.
 8. kama-soʔau 追ふ人。~ kama-tal-ʔomah 農夫 < ʔomah 畠。~s-om-ʔau 追掛ける。7行。soʔau-n 同上。客體主。7行。
 10. marc-in 取る物。azep-in 削る物。tastasin 小さく切る物。何れも客體主。
 si-rimiʔ 染める爲の物。染料。用具主。r-um-imiʔ 染める。主體主。
 11. k-in-i-ʔarum-an 穿山甲の割つた處。ʔarum 穿山甲。

實は死んだのだ。孔を開けない他の人々はもう宜しい、十分だ。此の孔を開けてもらつた人を暫く見てゐよう。若し(此等の人)がよくなれば、我々も亦後で開けてもらはう」といつた。[カロヴンルズは「私は(山へ)行くが、若し山の處で私が叫ぶのが聞えたら(彼等を)起せ」といつて、山の處へ行つてそこへ到着した。カロヴンルズが叫んだ、サイバハラハランが起した。見ると此等(の人)は起きない、死んでゐる。サイバハラハランは弓や矢や刀や槍を持つて後からあのカロヴンルズを追掛けた。段々追かけて来て追手のサイバハラハランが近づいて来た。カロヴンルズは薯蕷を見つけたので、取つて皮をそいで、小さくきざんだ。而して其處に在つた穿山甲の穴に其を塗りつけた。すると穿山甲の家は血が附いて

Paiw. qaom. IN. qarʔum (?).
 15. si-waʔe 来る理由。原因。用具主。鹿。[鹿を取る]爲に来るといふ意。waʔe 来る。
 ta-tawa 鹿。原意。割る具。t-um-awa 土を割る。
 16. kai-in 堀る物。客體主。穴。k-um-ai 主體主。IN. k-um-ali.
 19. raram-i 知る所の事。物。現實現在。客體主。否定詞の後には-iを用ゐる。

- 1 "okik maʔeʔah" / kalōʔupluz kinasiraʔ / 非 人 カロヴンルズ 喜
- 2 raiiu ila / 逃 了

る様になつた。サイバハラハランは穿山甲の家に血が附いてゐるのを見て、カロヴンルズは其處へはひつたのだ」といつた。そして又引返して鎗を持つて来て掘つた。而して穴の中にはひると穿山甲(が居るの)を見た、あのカロヴンルズはきつと我々の死の運命を決定する神にちがひない。穿山甲はカロヴンルズを知らないのだ。彼は人でない[神だ]といつた。それでカロヴンルズは喜んで逃げた。

5. kaʔinaio o: waeʔa / 處女 と 鹿

- 14 rima tamah ʔumatas ka kajarawaan / 行 父 作 を 番する處
- 15 ka tata o: / korkorij kaʔinaio nisija rima / 女 粟 而 子供 處女 彼の 行
- 16 mijarawa maras ka ʔaonao / maras spat / 番 持行 を 嘴琴 持行 四
- 17 ka ʔaonao / moare tarōʔan roʔoehanan / 女 嘴琴 歸來 家に 晩
- 18 okaʔ ela ka ʔaonao / paʔjakaiin he tamah / 無 了 は 嘴琴 所話 は 父
- 19 komosa / "tarōʔani nahan ka ʔaonao" / といふ 作つて下さい 再 を 嘴琴
- 20 sitarōʔ ni tamah o: / ʔain ila tamah no / 作る譯 の 父 而 倦 了 父は 爲
- 21 tomarōʔ ka ʔaonao / isaza o: paʔjakaiin / 作 を 嘴琴 其 而 所話

5. 處女と鹿
 父は粟の番小屋を作りに行つた、彼の娘は嘴琴を持つて番しに行つた。嘴琴を四つ持つて行つたが晩に内へ歸つたときは、嘴琴がなかつた。[嘴琴をもつと作つて下さい]と父に話したので、父は削つてやつた。[すると次の日も亦いふので]父は嘴琴を削るのが厭になつて、[今度は私が交代して粟の

2. raiiu 逃る。IN. riaraiiu
 13. waeʔa 鹿。Atay. waqa-nux.
 14. ka-jarawa-an 番する處。mi-jarawa 番する。16行。Atay. ma-irawa.
 18. paʔja-kai-in 話す。客體主。maʔja-kai 主體主。kai

話。語。Atay. kai.
 19. tarōʔan-i 作つて下さい。命令。用具主。我。si-tarōʔan 作る理由。用具主。鹿。20行。t-om-aiʔe 作る。主體主。21行。
 20. no 冠詞。連絡。…の爲に。…の故に。…を以て等。no は又屬格を表はす。

- ¹ ni tamah kosain / "jako tasesoehoeleh
の 父 所言 我 交代しよう
- ² mijarawa ka tata / kaini korkorij o /
番 を 業 否む 子供 而
- ³ aha ila kinririm²anan / isaza he tamah
一つ 了 翌日 それで は 父
- ⁴ ma²az²azim komosa / "tasa kita jako" /
考 いふ 行かう 見 我
- ⁵ ma²jaka²i ka minkoripan nisija komosa
話 は 妻 彼の いふ
- ⁶ "ai sa ila kita" / maras ka vœhoe² o /
一寸 行けよ 見 持行 を 弓 と
- ⁷ siwa² rima ila / ja² he. he. reme rai ratas /
矢 行 了 する 靜に 處 小屋
- ⁸ roehroehoen ka korkorij o / nila lalaha-
引張 を 案山子 而 来た カサカサ
- ⁹ has rai² oeso kitain wæ²a / paopao tinil-
處 芒の 所見 鹿は 鳴等 所吊
- ¹⁰ ðul rai kah²oep moari / pana²un ila ni
下 處 角 來 所射 了の
- ¹¹ tamah o / moari ila ka korkorij ka²ina-
父 而 來 了は 子供 處女
- ¹² io / hewain ila ni tamah ka wæ²a o /
所斬裂 了の 父 は 鹿 而
- ¹³ hoemageh ela ka ka²inao / isaza ðojajun
泣 了は 處女 それで 所與
- ¹⁴ ka ðure² kaini / ðojajun ka ra²al kaini /
は 肉 否む 所與 は 肝 否む
- ¹⁵ sa²osa²oeh kaini / sitorœ ila ka torœs o /
皆悉 否む 所指 了は 陰堂 而
- ¹⁶ some²ewa ila o / saulin ila / riprij haro-
承諾 了而 所隱 了 常 夜
- ¹⁷ wan ila lalochajun ila / sitil²ul rai pinuro-
了 所弄 了 所吊下 處 髮の
- ¹⁸ pan o / rima ila ða²ala lomamlam o /
而 行 了 川 散步 而
- ¹⁹ siunha²œ² ila o / kiimin nahan / kitain
所落 了而 所禮 暫 所見
- ²⁰ rai ralum rai torœno² / mare²in noka
處 水の 處 水溜の 所取 以

番をしよう]といった。すると娘はい
やだといった。一日過ぎて翌日にな
った。父は考へた末「私が見に行かう」
といった。彼の妻(母)も「一寸見に行け」
といふので、(父は)弓と矢とを持って出
掛けて行つた。小屋の處へこつそり
行つて、案山子を引張ると、芒の處がカ
サカサと音がして鹿が現れて来た。
其の角には鳴琴がぶら下つてゐた。
父は弓で射た。すると其處へ娘が來
た。父は鹿を斬つて腹を裂いた。娘
は泣いた。それで(娘に)肉を與へると
[娘は]否だといった。肝臓を與へると
否だといった。皆悉く否んだが(鹿の)
腸物を指すと承諾した。(娘は其を取
つて隠した。而して夜になると其を
弄んでゐた。[或時]其を髮にぶら下げ
て、川へ遊びに行つたが(途中で)其を落
した。暫く捜すと水溜の水の中にあ
るのが見えた。手で取らうとしたが

1. ta-sa-sœ-hœe²eh 互に交代しよう。未來。punu-hœe²eh-en
代理。ta- は未來。
3. kin-si-rim²anan 翌日。rim²anan 翌日。
9. t-in-il²ul 吊下げた物。過去。客體主。si-til²ul 吊下げる
爲の物。用具主。17行。
10. pana²-un 射る。客體主。mana² 主體主。pana² 射れ。

Paiw. panaq; Mal. panah. 弓。
13. h-cem-ageh <*t-um-ageh 泣く。IN. t-um-agi.
ðojaj-un 與へる。客體主。ðojai 主體主。IN. ðerai.
15. si-torœ 指す。用具主。t-um-orœ 主體主。
19. si-un-ha²œ² 過つて落す。用具主。pak-sa-ha²œ²-in 故
意に落す。客體主。116頁。10行。

- ¹ jima oka²i putopor / simare ka sasa²e²
手 不 到 取る譯 を 字器具
- ² haza²un o / marein kitain kara² atoma-
所刺 而 所取 所見 蟹 眞
- ³ lan ila / ta²œsun rai ralum o / ma²is²i-
了 所放 處に 水 而 生蟹
- ⁴ jap ila ka kara² / isaza o / isane ila kitain
子 了から 蟹 其 而 今 了 所見
- ⁵ ila ka henaza²an noka sasa²e² / isaza ila
了は 刺した處 以 字器具 如其 了
- ⁶ o / so²aroch ila ka tial noka ka²inao
而 大 了は 腹 の 處女
- ⁷ o / imahœwes ila kitain / pakasikar ka
而 惡 了 所見 駭 は
- ⁸ ahal / isaza o / arasun ila ni oja rai aina-
一家 其 而 所作 了の 母 處 橋
- ⁹ lu² noka ha²un masai² o / ni oja ko-
の 神 坐 而 の 母
- ¹⁰ sain / "takosœ isoon" / komosœ he oja ka
所言 風を取らう 汝から 取風 は 母 から
- ¹¹ ka²inao / po²ajose² he oja kitain noka
娘 泣涙 は 母 所見 の
- ¹² ma²œah / isaza sikon²ior ela o / putopor
人々 如此 所突落 了而 到
- ¹³ rai ða²ala o / punlakai ila ka tial kin-
處 川 而 破裂 了は 腹
- ¹⁴ sum²pao / kitain kas²œhæl ila / ka sa-
大なる音する 所見 出 了は
- ¹⁵ ðœh / ka walisán o / mintatinian o /
皆 は 山脈 と 百歩蛇 と
- ¹⁶ hoerol o / wæ²a o / alao o / tataap o /
蚯蚓 と 蛇 と 魚 と 蟻 と
- ¹⁷ papao kanoka: no sa²oeh kas²œhæl /
蟻 何れも 皆 出

届かない。それでササエル(字の皮を
投ぐ具)を取つて刺した。取つて見る
と眞の蟹であつたので、水の處へ放す
と、其の蟹は子を生んだ。蟹の(背に)サ
サエルで刺した痕(二ツ目の様なもの)
が今でも残つてゐるのはその爲だ。
娘の腹は段々大きくなつた。見つと
もないので、一家の者が恥かしかつた。
それで母が神の橋(虹)の處へ連れて行
つて坐つた。而して母が汝の風を取
つてやらう]といつて娘の風をとつた。
その時母が涙を流したのを人が見た。
すると[母は娘を下へ]突落した。[娘が]
川底へ落ちると大きな音を立て、腹
が破裂した。見ると山脈や、百歩蛇や
蚯蚓や、鹿や、魚や、蟻や、蝶やが出て來
た。何もかも皆出て來た。

6. kowau
處

6. 處

²⁰ kakhaizaan jin²asuran noka tatini / ka
大昔 起源の時の 眞先 は

大昔祖先の始りの時に、子供が處に

1. sa-sa²e² 字を投ぐ具。s-um-a²e² 同上投ぐ。主體主。
2. haza²-un 突刺す。客體主。h-en-aza²-an 突刺した處。
位置主。5行。
8. aha-1 一家の音。一詞。aha --。
1-in-alu² 橋。架けた橋。1-um-alu² 橋を架ける。
10. ta-kosœ isoon 汝から風を取らう。汝に取つてやらう。
k-om-œœ 風を取る。kosœ 風。IN. kuto.
11. po-ia-jose² 涙を水に取らす。jose² 涙。Paiw [usœq]

Tag. luha². po- は他動。反覆は連續を表はす。
12. si-kon²ior 押落す。押される人。用具主。k-um-un²ior
押す人。主體主。
15. min-tatini-an 百歩蛇。tatini 老人。年長者。百歩蛇は
蛇の長老と見らる。
20. 1-in-ðasur-an 發生した處。又時。過去。位置主。1-um-
ðasur 現在。主體主。

- ¹ kosain amjakowau ka korkorip/ aha
所言 成 爲 が 子供 一
- ² kinroæhanan pataæ? ka βæhoe^h he
晩 使作 な 弓 は
- ³ tamah / oka?i taæ?ani korkorip / komosa
父 不 所作 子供は いふ
- ⁴ korkorip "numpowaa ila jako tamah /
子供 可爲如何 れ 我は 父よ
- ⁵ jako amjakapiruuk ila jako / amrima ila
我は 將成 璽 ぞ 我は 將行 ぞ
- ⁶ rai kawas βæ?au / hmi maan siloe? ka
處 天 上 此は 我の 珠裙 は
- ⁷ arasun" o / arasun ila ka siloe? lappuz
持行物 而 持行物 了は 珠裙 十
- ⁸ karireh / min'alai risaza rima ila ka
聯 始める 其處で 行 了は
- ⁹ korkorip umajap ila / kitain jakowau
子供 飛 了 所見 成處
- ¹⁰ ila / komosa "jako amrima ila tamah /
了 いふ 我は 將行 ぞ 父よ
- ¹¹ hmi ka siloe? maan / ka arasun rai βæ?ala
此 は 珠裙 我の 其 持行物 處 川の
- ¹² kaβæ?æh / kita ila jakin / so: rima ila jako
向關 見 よ 我を 時 行 了 我
- ¹³ umupas / risaza am'omoral ila riprip /
時 雨降 了 常に 而 所厭 了
- ¹⁴ so: 'omoral ila riprip o / sikuβain ila
時 雨降 了 常に 而 所厭 了
- ¹⁵ nimon / sumilani ka pazai kinasaβæ?chan
汝等の 集めてくれ を 標 皆
- ¹⁶ ka lasasinsinrahoe o / taoβun ila o: mare
から 朱姓の人々 而 搗餅 せよ 而 取
- ¹⁷ ka siloe? owar ila ka kawas o: / so: jako
な 珠裙 罷 せよに 天 而 時 我
- ¹⁸ rima ila rai kookoror umupas ila / am-
行 了 處に 山の 略 了
- ¹⁹ kaizah ela ka kawas o: / amhæmika^h ka
成好 ぞは 天氣 而 可晴 は

1. am-ja-kowau 處に成らうとする。am- 未來。ja- 成る。
3. taæ?an-i 作つてやる爲の者。現實現在。用具主。子供。
pa-taæ? 作らせる。主體主。2行。比。121頁。註19。
4. num-powa-a 如何しよう。比。am-powa 如何だらう。
何故だらう。a 現實未來。
8. ri-saza 其處で。ri-に於て。...で。比。Mal. di。
14. 'om-oral 雨が降る。am-'om-oral 雨が降るだらう。13
行。a'oral 雨。比。Mal. hujan。

なつたといはれてゐる。[それは]或晩
[子供が]父に弓を作つて貰はうとした
が、作つてもらへなかつた。それで子
供は[父よ、私は如何して呉れよう、私は
應になる、私は天上へ行く、此は私の珠
裙だから持つて行く]といつて珠裙十
本を持つたまひ、子供は其處らか飛ん
で行つた。見ると鷹になつてしまつ
た。[子供は]父よ私は行く、此は私の珠
裙だから向ふの川の處へ持つて行く。
私を見よ。私が行つて啼いたら、それ
から何時も雨が降るだらう。若しい
つも雨が降つて、汝達がいやになつた
ら、朱姓の人々から皆標を集めよ。而
して其で餅を搗いて珠裙を持つて天
に祈れ。若し私が山の處へ行つて啼
いたら、天氣がよくなる。而して空が
晴れて汝達の島の仕事がよく出来る。
開墾地の雜木がよく乾くから、焼くと

si-ku-βain 厭になる。用具主。βain 倦む。あきる。
15. sumilani 集めてくれ。命令。用具主。我。s-um-umil
集める。主體主。
kina-saβæ?chan 皆の人。saβæ?chan 皆。
16. la-sa-sin-sinrahoe 朱姓の人々。sinrahoe 朱姓。la- 複
數。反覆は複數。
19. am-h-cem-ila^h 天氣になるだらう。h-cem-ila^h 照す。
ha-hela^h 照す具。太陽。IN. sinare 輝く。照る。

- ¹ tala'omahan nimon / kaizah ar'ariu ka
島仕事時 汝等の 良 乾 は
- ² siniksikan / βæsoe'in kaizah suloe^h / isani
開墾地 所燒 良 燃 現在
- ³ niaum haisia ila kalokaloto:ron ila noka
我等の 如其 了 所連續 了 の
- ⁴ minaxahal /
次の代

よく燃える]といつた。[此の島のいつ
たことは變ることなく]代々續いて、現
在の我等の時代にも其の通りになつ
てゐる。

7. taai
タアイ

- ⁷ kakhaizaan βæzain ma:ratol rai kaluβæ?
大昔 所聞 諸 處 岩窟
- ⁸ komosa "kano isa so: / ai taila takita"
いふ 何 在 其處 さあ 可行 可見
- ⁹ sa kitain / hene kaksiza korkorip ir'ira-
行 所見 此 此位 子供 矮
- ¹⁰ 'ian / ma'jakazi ka taai komosa / "ai ja-
話 は タアイ いふ あゝ 我
- ¹¹ mi minataai / minkoripan maan toai o: /
等 タアイといふもの 妻 我の トアイ 而
- ¹² kaizah ita kakita ila / ai tapæratol ka
良 我等 會見 了 さあ 可諸 な
- ¹³ kapæratol noka kapastaa^h / isaza toroto-
歌 の バスタアイ祭 それで 所教
- ¹⁴ roin ila jami ka tautawazai o: tertejun
了 我等 其 豆姓 と 朱姓
- ¹⁵ o: / torotoroin jami tautawazai / okik ra-
而 所教 我等 豆姓 不
- ¹⁶ jam / tertejun ila torotoroin rajam / ka-
能 朱 姓 了 所教 能 故
- ¹⁷ no isaza askanun ila ka la tertejun ka
其處 所委任 了は 等 朱姓 を
- ¹⁸ kapastaaian /
バスタアイの祭式

7. タアイ

大昔岩窟の處で諸ふ聲が聞えた。
人々が其處に何かあるのにちがひな
い、行つて見よう]といつて行つて見る
と、此の位の矮い子供(矮人)であつた。
タアイ(その矮人)が私等はタアイとい
ふ者だ。私の妻はトアイといふ、我々
が會つたのは幸だ、さあバスタアイ
(タアイ祭典)の歌を謡はう]といつた。
それで我々豆姓と朱姓の者はタアイ
から[祭典の事を]教へてもらつた。我
々豆姓の者は教へてもらつたが、出来
なかつた。朱姓の者は教へてもらふ
とよく出来たので、バスタアイの祭典
は朱姓の方で司ることになつた。

1. tala'omah-an 島の仕事をする時。IN. oma 島。
2. s-in-iksik-an 開墾した處。過去。位置主。s-um-iksik 現
在。主體主。
βæsoe'in (山など)燒く。客體主。
3. kalo-kaloto:ron 連續してゐる物。事。~'um-oto:ron 繋
ぐ。續ぐ。

6. taai 音居たといふ矮人種族の名。
11. m-in-a-taai タアイといふ名をもつてゐるもの。
12. ka-kita 互に見る。出會ふ。k-um-ita 見る。
13. ka-pas-taai タアイの祭<taai, ka-pas-taai-an 同上
の祭式等。18行。pas-taai 同上を行ふ。126頁。17行。
pas-taai-a 同上しよう。現實未來。主體主。126頁。2行。
15. toro-toro-in 教へる。客體主。t-um-oro-toro 主體主。

- ¹ isaza o: ma²jakari ka taai komosa /
其 而 話 は タアイ いふ
- ² "ita pastaaja ila / so: kipazai ila ka tata
我等 バスタアイ祭しようよ 時 取獲 了を 粟
- ³ jami tapoe²sa / poe²sain niaum noka taai
我等は 可行刈始式 所行刈始式 我等の 爲に タアイ
- ⁴ am²akoi ka tata mariin o: / tapastaaz ila
成多 は 粟 所採 而 可行バスタアイ祭だ
- ⁵ tapaoe²oe² ila ita / sai²usi² ila hahela² pa-
可結繩約束 だ 我等は 六 了 日
- ⁶ kusa²roa ila / so: apakusaro komosa / "ri-
始祭式しようよ 時 可行始祭式 といふ
- ⁷ m²an waji ila / pana² noka aze / pana²in
明日 来れよ 射よ で 鏃のない矢 所射
- ⁸ ila jami amrima ila / mohaharo rai ta-
了 我等は 行 のだ 準備 處
- ⁹ roc²an nimon / ririm²anan ila ita ampa-
家 汝等の 翌日 了 我等は 行始
- ¹⁰ kusa²ro ila o: / ita ammauatol ila am² aha
祭式 のだ 而 我等 話 のだ 爲 一
- ¹¹ hahela² amkisirinaolan / aha hahela² kis-
日 話招待歌 一 日
- ¹² tomal / aha hahela² ampapatonawasak /
實行 一 日 爲假送別
- ¹³ aha hahela² ampapaosa ila /
一 日 爲送別 のだ
- ¹⁴ kinkaizah jami ki lataai pastaai o: /
非常に時 我等 と タアイ等 バスタアイ祭 而
- ¹⁵ imahoe²wis ka taai kumaro² / so: am-
置 は タアイ 無禮 時
- ¹⁶ mazatol kitain ka taai imaitiiri rai
話 所見 は タアイ 取觸 處
- ¹⁷ minkoripan / isaza pe²e² ela ka saisirat
女の それで 怒 了は サイシラット
- ¹⁸ o: / si sa tapa ila ka jinalo² heson rai
而 其故行 傷つた 了に 橋 彼 處

2. ita 我等相互。此の一章は一人稱と二人稱が混用して使用せられ意味了解し難き故 譯文に於て便宜變更を加へたり。
ki-pazai 穀物の實を取る。pazai 原意、穀の義なれども粟にも用ゐる。ki- 取る。比。ki-aupe² 蓄積。

それでタアイが話していふには「汝等バスタアイの祭をするには、粟の收穫の時は汝等は刈始の式をするのだ。汝等がタアイの爲に刈始の式をすれば粟が多く採れる。それからバスタアイの祭をして結繩して約束する。六日目は始祭式だ。始祭式の時は〔その前日に〕我々に明日来いといへ。而して、鏃のない矢で我々の方を射て合圖をせよ。我々は合圖せられたら行く。汝等の家は前日から準備をせよ。翌日になれば汝等は始祭式をして、そして汝等は話ふのだ。一日は招待の歌を語り、一日は本當の祭をする。一日は假送別(神送)をして、一日は本送別をするのだ。

我々はタアイと非常に睦じくしてバスタアイの祭をしてゐるたが、或時タアイが無禮なところをした。其は〔我々が〕話つてゐる時、タアイが女の處へ行って女に取觸る(ふざける)のを見つけ

11. kis-tomal 實際に行ふ。tomal 本當。kis-…する、行ふ。比。am-kis-rinaolan 招待の歌を語り、11行。
13. am-pa-pa-osa 送別をする。神送する。pa-osa 行かせる。
17. la-taai タアイ等。la- 復數。比。Atay. la-

- ¹ jito² rai kamlalazom / rima ila ri sasoi
山枇杷 處 交枝處 行 了へ 其處
- ² jinalo² o: / rima pakulohehe:li / rima
橋 而 行 爲遊 行
- ³ raroton isaza / amkakosoe aroma o: / ko-
業 其處 互に風取 他人 而 と
- ⁴ mosa "hason kano toanai" / "oka²"
いふ あれば 何か 嫂さん 何でもない
- ⁵ toanai "oe²oe² pu²oe²" o: / isaza min²otoh
嫂は ギイ²² 膝頭 而 そこで 折
- ⁶ ela ka jinalo² / sahræ² ila βarala o: /
了は 橋 落 了 川に 而
- ⁷ masaz-ila sa²oeh taai o: / taai ke toai
死 了 皆 タアイ 而 タアイ と トアイ
- ⁸ rosa ila pe²erjah o: / taai tamokaie ka
二人 だつた 生 而 タアイ 音遣 に
- ⁹ saisirat komosa / "jami amrima ila e
サイシラット いふ 我等 將行 のだ へ
- ¹⁰ mase²or / so: ampastaai aha tinal²oemah
濁水 時 爲バスタアイ祭 一 年
- ¹¹ βulo²ani / aha ila tinal²oemah pastaaz-
止め 一 了 年 爲バスタアイ祭
- ¹² ila o: / jami am²oka² ela pakita inimon /
のだ 而 我等は 可不 だぞ 使見 汝等に
- ¹³ so: haiza soite imahoe²wis nimon / mojo
時 有 少 悪事 汝等の 汝等は
- ¹⁴ niaum kaβilisin o: / mojo ammasai nahan
我等の 所打 而 汝等 可死 實
- ¹⁵ o: / isijun ila noka teterun / am²erjah
而 所持芒葉 了の 朱姓 可生返
- ¹⁶ ela nahan o: / jami amrima ila o: / heni
そ 又 而 我等 將行 のだ 而 此
- ¹⁷ ka βanβan ka sawiin ila niaum" / kakhai-
は 山棕櫚 其 所破 だ 我等の 大音
- ¹⁸ zaan nak βera noka taumo oka²e insau /
知 妻 の 芭蕉 非 破物
- ¹⁹ noka taai ila sawiin ila ka βanβan / ko-
の タアイ了 所破 了は 山棕櫚 と
- ²⁰ mosa "heni aha ka sinawian / walisin
いふ 此 一枚 は 所破物 山豚
- ²¹ amsumi²al ka tinal²oemahan nimon / heni
可食 を 農作物 汝等の 此

2. paku-lohehe-he:li 大勢集つて遊ぶ。lohehe 遊ぶ。
3. am-ka-kosoe 互に風を取合つてゐる。kosoe 風。IN. kutu.
10. t-in-al²oemah 年。比。tal²oemah 島を作る。t-in-al²oemah-an 農作物。21 行。

た。サイシラットは非常に怒つた、而して、あの山枇杷の木の枝が兩方からより合つて橋になつてゐる所に、傷をつけに行つた。〔其處はタアイが常に來る處で〕タアイは其の橋の處に行つて納涼しながら、大勢集つて互に風をとつてゐた。〔ミシッといふ音がしたので弟が嫂さん、あれは何かと尋ねると嫂は〔何でもない、膝頭がキクッといつたのだ〕といつた。すると橋が折れて川に落ちて、皆死んだ。タアイとトアイと二人丈生残つた。タアイがサイシラットに音遣していふには、我々は濁水(東方にありといふ)に行く。〔今後〕バスタアイの祭をするなら、一年休んで次の一年にバスタアイの祭をせよ。我々は將來、汝等に〔自分を〕見せることはしない。若し汝等に少しでも悪いことがあれば、我々は汝等を捕へて打つぞ。すると汝等は死んで暫く氣絶する。その時、朱姓の人が芒の葉

11. βulo²-an-i 止めてくれ。命令、用具主、我。
17. sawi-in 破る。客體主。s-um-ai 主體主。in-sau 破れた物。12行。ma-sau 破れる。s-in-awi-an 破つた物。客體主。20 行。

2. サ イ シ ャ ッ ト 本 文

- ¹ aha nahan sinawian / pœros amsumi²al
一枚 尙 所破物 蕃人雀 可食
- ² ka tinal²œmahan nimon / heni aha nahan
な 農作物 汝等の 此 一枚 尙
- ³ sinawian / si²si²ai ampai²œhai ka ti-
所破物 害蟲 可來害 な
- ⁴ nal²œmahan nimon / mintatinian amko-
作物 汝等の 百歩蛇 可
- ⁵ maras inimon ka sa²œh / heni sa²œh
咬 汝等を な 皆 此 皆
- ⁶ ka ima²œhai / ampai²œhai ila inimon
は 有害 可來害 のだ 汝等を
- ⁷ ka sa²œh / isaza o: am²oka²i ila mojo
な 皆 其 而 可無 のだ 汝等は
- ⁸ ikreja²o ila atomal o: / isaso ka kare
成豐年 そ 本當に 而 如此 は 話
- ⁹ maan o: / pil²awan ila / amrima ila e
我の 而 左様なら だ 將行 のだ へ
- ¹⁰ mase²or / komosa o: rima ila /
濁水 といふ 而 行 了

を挿すと、又よくなつて生返る。我々
はもう行く、そして此の山棕櫚は我々
が破つておく。昔は山棕櫚の葉は芭
蕉の葉の様で、破れてるなかつたのだ
が、タアイが次の様に言ひながら、山棕
櫚を破つた。「此の一枚破つたのは、山
豚が汝等の農作物を食ひ荒す印だ。
此のもう一枚破つたのは、蕃人雀が汝
等の農作物を食荒す印だ。此のもう
一枚破つたのは、害虫が汝等の作物を
害する印だ。百歩蛇は汝等を皆咬む
だらう。此等は皆悪いもので、汝等に
害を加へるものだ。其から、汝等は本
當に豊年になることはない。私の話
は此様なことだ。それでは左様なら。
此から濁水へ行くのだ」といつて行つ
てしまつた。

3. am-pai²œhai 害をすだらう。 pa-ia 爲る ~ mara
成る。 i-ma²œhai 害のある其物。 6 行 ~ i-ma-akoi

多く有する其人。

III

パ イ ワ ン 語

語 法 概 説
及 び 本 文

パイワン語語法概説

I. 分 布

パイワン語は高雄州及び臺東廳管内の山地に住居するパイワン族(人口約三萬五千)の用ゐる言語にして、多少の方言的差異あれども相互に理解し能はざる程度のものにあらず。其の差異は屢々單語の上にあらはるれども、音韻の上に於て各々著しく其の特徴を有す。其の主要なるものとして (1)[q]の轉化, (2)[k]の轉化, (3)[t]の轉化, (4)[d]の轉化の四種を擧ぐるを得べし。

	(1) [q]ノ轉化			(2) [k]ノ轉化			
	(語頭)	(語中)	(語末)	(語頭)	(語中)	(語末)	
	頭	頭	槍	木	烟草	子	
高雄州	トクアブ	ʔo[o]	[eʔo]	vo{oʔ}	kasiu	tamako	alak
	下パイワン	qo[o]	[eqo]	vo{oq}	kasiu	tamako	alak
	カピヤン	ʔo[o]	[eʔo]	vo{oʔʔ}	kasiu	tamako	alak
	内社	ʔo[o]	[eʔo ^ʔ]	vo{oʔʔ}	ʔasiv	camaʔo	alaʔ
	クナナウ	qo[o]	[eqo ^ʔ]	vu{oq}	kasiu	ʔamaku	alak
	リキリキ	qo ^ʔ [o]	ʔeqo	vu ^ʔ oq	kasiu	camaku	alak
	内文	qo[o]	[eqo]	vu{oq}	ʔasiu	camaʔo	alaʔʔ
臺東廳	カチライ	qo[o]	[eqæ]	vu{oq}	kasiu	camaku	alak
	大麻里	qo[o]	[eqo]	vu{oq}	ʔasiu	camaʔo	alaʔ
	大島萬	qo ^ʔ [o]	ʔeqo	vu ^ʔ oq	kasiu	camako	alak

	(3) [t]ノ轉化			(4) [d]ノ轉化			
	(語頭)	(語中)	(語末)	(語頭)	(語中)	(語末)	
	頭	七	四	路	雨	坐	
高雄州	トクアブ	tʃial	piʃo	spat	dʃa[an]	ʔodal	ʔcemi[ad]
	下パイワン	tʃial	piʃo	spat	da[an]	qodal	qcemi[ad]
	カピヤン	tʃial	piʃo	spat	da[an]	ʔodal	ʔcemi[ad]
	内社	ciad	picu	spac	ja[an]	ʔofad	ʔcemi[af]
	クナナウ	tʃial	piʃu	spaʃ	dʃa[an]	qoʃal	qcemi[ad]
	リキリキ	cial	pico	spac	ja ^ʔ [an]	qoʃal	qcemi ^ʔ [af]
	内文	cial	picu	spac	ja[an]	qoʃal	qcemi[af]
臺東廳	カチライ	cial	pico	spac	ja[an]	qoʃal	qcemi[af]
	大麻里	cial	pico	spac	ja[an]	qoʃal	qcemi[af]
	大島萬	cial	pico	spac	ja ^ʔ [an]	qoʃal	qcemi ^ʔ [af]

上表の蕃社は各州廳内夫々北部より南部へ順次に記載せり。

[q]はトクブン、カビヤン、内社を除く外、他は全部之を有す。北部に於て下バイワンが孤立してqを有することは注意すべし。

[k]は内社、内文、大麻里を除く外、他は全部之を有す。トクブン、カビヤンはkを有すれどもqを有せず、内文、大麻里はqを有すれどもkを有せず、内社はq, k共に之を有せず。

[t]クナナウ以北は内社を除く外、他は皆t若くはtを有し、以南は皆cを有す。

[d]クナナウ以北は内社を除く外、他は皆d若くはdを有し、以南は皆jを有す。以下記述する所はカチライ社の言語による。

II. 音 韻

1. 母音, [i], [ɪ], [e], [a], [o], [ɔ], [u], [i], [œ].

- [i], [ɪ], [e]は同類音なり。[q], [r]の前後に於て[i]は[e]となる。
 - [o], [ɔ], [u]は同類音なり。[q], [r]の前後に於て[u]は[o]となり、又[a]の後に於て[u]は弱き[ɔ]となる。記載には[o]又は[u]を用ゐたり。
 - [i], [œ]は同類音なり。[q], [r]の前後に於て[i]は[œ]となる。記載には[œ]又は[i]を用ゐたり。
2. 子音, 兩唇音, [p], [m]; 唇齒音[v]; 齒音, [t], [d], [n], [s], [z], [r]; 同上複合音, [ts]; 反轉音, [ɟ], [ʃ]; 硬口蓋音, [c], [ʃ], [j], [l]; 硬口蓋化音, [y], [s], [z]; 同上複合音, [ts]; 軟口蓋音, [k], [g], [ŋ]; 懸垂塞音, [q]; 聲門音, [ʔ].

- [t]はIN. [s]に相應するものにして、各方言凡て[t]を有す。
- [d]はIN. [r₁]に相應するものにして、リキリキを除く外、他の各方言凡て[d]を有す。
- [r]はリキリキ方面に於てはB又はRに轉ず。
- [d]は北部方言に於ては、舌尖に力を入れて發音する爲[d']の如く聞ゆることあり。
- [l]はリキリキ方面に於ては、摩擦の極めて少きBに轉じ、時としては全く省略せらるゝことあり。
- [c], [ʃ]はIN. [t], [d]に相應するものにして、北部に於ては[t], [d]の音を有す。分布の條參照。
- [l]は北部方言に於ては、舌尖に力を入れ發音する齒的側音なれども、南部殊にカチライ、クスクス方面に於ては、舌面中部を接觸して發する硬口蓋的

側音なり。記載には暫く[l]を用ゐたり。此の音はインドネシアンの一種の[n]に相應す。總説音韻の條參照。

- 硬口蓋化音は普通狭母音の前に現はるる音なり。
 - [ʔ]は北部方言に於て、[q], [k]の省略の爲に屢々現はるゝ音にして、[q], [k]を有する南部方言には普通之を有せず。但しカチライ等に於て、不規則的に[k]を省略する場合には之を有す。
3. 揚音, 普通語末より第二音節に高低揚音を有す。

III. 形 態

1. 接頭辭、及び接頭辭と接尾辭との結合。

?a-...-an <ka-...-an, 眞の物, ?a-goŋ-an 眞の牛, 黄牛 <goŋ 水牛, ?a-tapav-an 本家 <tapao 家。比. ka-...-an.

?a-la-...-an <ka-la-...-an 其物の多い時, ?ala-vasa-an 芋の多い時節 <vasa 芋。

ca-...より尙, ca-vo[ŋ]...より老人, 年長, ca-lalak...より若い, 年少, ca-ciŋlai...より...を好む。

ca-...の方, cai-zaja 上手の方, 川上, cai-maza こちらの方。

ca-la-...-an 最, 一番の物, cala-laŋoq-an 最長の物, 中指。

ca-la-反覆-...-an 同上, cala-qatsa-qatsa-an 最大の物。

coa-(=i-coa)-...の有る處, coa-qatsilai 石の有る處, 又カチライ社。

?i-(e)<ki- 取る, ?i-vasa 芋掘り, ?i-padai 稻刈, ?e-qo[ŋ] 首狩。

?i-<ki- 自分, ?i-paiz 自分を扇ぐ, 比. p-in-aiz 人を扇ぐ, ?i-siqas 自分を斬る, 自殺。

i-...の處へ, ...に, i-zoa 彼處に, 彼處へ, i-yere 左に, 左へ。此のiは本來位置を示す獨立語なり。i kuskus クスクス社に, 同上へ, IN. i.

i-coa-...の處, 又は時, i-coa-zaqo 木櫛子の處, i-coa-maq[ŋ]ip a qelas 月が消る時, 月末。

?i-pa- <ki-pa- 自分で行つて...させる, 又...する, ?i-pa-?eqoenic 自分行つて見せる, 見てもらふ(醫者などに), ?i-pa-tsiwup 自分で行つて出會ふ。

?i-sa- <ki-sa- 自分で...する, ?i-sa-qezip 力を込める, 力む, ?i-sa-patsai 死を賭する, 必死。

?i-san- <ki-san- 常に...をする者, ?i-san-paviji 賣る職, 商人 ?i-san-t-im-o[ŋ] 教職, 教師。

in- 客體主, 一般過去, (語根の母音に始る場合に用ゐる), in-a[ŋ]ap 持つた物。取つた物, in-ijaja 採つた物。比. 挿入辭 -in-

ʔin-a- <k-in-a- (1)抽象, ʔina-ʃiau 多さ, ʔina-naga:q 良さ, (2)物, ʔina-ciŋlai 好きな物, ʔina-saliŋa 欲しい物。

ʔin-a-...-an 處,時, ʔin-atsulu-an 火傷の痕 ~ma-tsulu 焼ける, ʔin-a-qati-an 生れついた處,性質,又誕生日 ~ma-qati 生れる, ʔin-a-piloq-an 一杯になった處,満ちた處 ~ma-piloq 満ちる, 比. Mal. penuh.

ka- 方, ka-naval 右手, ka-yere 左手, ka-tsudas 東方,東手。

ka-...-an 處,物,時, ka-tsasav-an 屋外,外庭 <tsasau 外, ka-izoo-an, 居所, ka-tsaʃisi-an 崖の處,又ツッリセン蕃, ka-kidji-an 小さな者,子供, ka-qatsa-an 大きな者,大人, ka-jama-an 朝の時。

ka-la-...-an =ʔa-la-...-an kala-qoʃal-an 雨季。

la- (1)本来複數 (2), la suʃiŋau スリガウ家の一族, la kuskus クスクス社の人々, la-tsakau 赤と黒との點ある蟻の名,又盗人等 ~ts-im-akau 盗む, (2)形容詞, la-vavau 高い, la-tsaja 遠い。

li- 動詞構成, li-zaja 川上へ上る, li-ʃauz 川下へ下る。

ma- (1)形容詞, ma-ʃucuk 悪い, ma-ikau 啞 <臺灣語, 啞口 (e-kau) (2)自動詞,又受身動詞, ma-kiŋu 集まる ~k-im-ipu 集める, ma-civiŋ 濡れる ~c-im-iviŋ 濡らす, ma-jamaq 中る,矢など ~j-im-amaq 中てる, ma-ʃaʃim 勝たれる,負ける ~j-im-aʃim 勝つ, (3)相互, ma-lavar 互に話す,相談, ma-revu 相争ふ。

maʔa- <ma-ka- ...から, latsuŋ maʔa-ʃipun 日本から傳來した野菜, maʔa-kan-aŋa 食つてから,食後 ~k-im-an 食ふ。

ma-ka- (1)可能, maka-kan 食ふことが出来る[其物は], (2)...の方に在るもの(北部方言), maka-ʃauz 川上,又西方に在るもの(蕃社など), 比. maʔa-

ma-ka-...-l 度数,回数, maka-ta-l 一度 ~i-ta, maka-ciʃu-l 三度 <ciʃu.

ma-li- (1)mali-ʃima 五人, mali-pida 幾人, (2)mali-ŋa:q 良い(天気など)。

ma-pa- ma-pa-vaʃit 改まる, ma-pa-saqcu 惟我する。

ma-pu- ma-pu-varoŋ 心が置かれる,心配になる <varoŋ 心, ma-pu-ʔitseqau 漁に氣を取られる <ʔitseqau 魚を捕る。

maro- ...と見まがふもの, maro-zaqo 木樵子と見まがふもの,黒目, maro-kama 父と見なすもの,伯叔父, maro-poʃa とんぼ珠と見まがふもの,贗の珠。

mari- 相互, mari-valau 夫婦同士, mari-kaka 兄弟同士。

ma-su- 消極否定, masu-vuŋuc 結目が解ける, masu-sidaŋ 刃がなくなる,切れなく

なる, maso-qœliv 戸締りがなくなる,戸が自然に開く。

ma-ta- ma-tu- に同じ。

ma-tu- (=mata-) 類似, matu-vavajan 女の様, matu-vato 犬の様。

ma-反覆, (1)相互, ma-sa-siqas 斬合ふ, ma-va-vikas 競走, (2)進行 ma-lia-lia 夜が明けかゝる, ma-ta-taviʃak 續いて行く。

mi- 動詞化, ...する, mi-nasi 呼吸する, mi-spi 夢を見る。

mu- 動詞化, ...になる, mu-ʃiau 多くなる, mu-naga:q 良くなる,快復する。

na- 一般過去, na-vaik 行つた[者], na-si-virets 紛失した[物],

na-ma- 一般過去, na-ma-viroŋ 孔のあいた[物], na-ma-kilaŋ 人に知られた[物]。

na-sa- ...らしい, na-sa-vavajan 女らしい。

na-...-im- 一般過去, na-k-im-an 食つた[者]。

nu- 未來, nu-teau 明日, nu-pida 何時(未來), nu-saoni 後刻。 比. ta-

pa- (1)使役,他動, pa-toto 乳を飲ませる, pa-kan 食はせる,飼ふ, pa-sijam 貸す, (2)用具, pa-zaiŋ 樂器 ~z-im-aŋ 歌ふ。

paʔa- (=paka-) 可能, ini paʔa-supuŋ 数へることが出来ない。 比. maka-

paka- 可能, ini paka-juʃu 切れない(刀など)。 比. maka-

pa-sa- 共處へ...する, pa-sa-taʃaj 中へ入れる, pa-sa-maza 此處へ持來る,

pa-反覆, 相互,交互, pa-tsa-tsikil 往復する, pa-va-vaʃit 互に交換する。

pi- 他動, pi-ʃima 手を洗ふ, pi-kuʃa 脚を洗ふ, pi-zoa 共處へおく,入れる。

po- 他動, po-alak 子を生む, po-valau 配偶を得る,縁組, po-tapau 家を有する[者]家主。

pu-...-an ...を置く處, pu-ŋoŋ-an 水牛を放つ處,牧場, pu-qatsaŋ-an 豚を入れる處, 豚小舎。

ro- 多い,常習, ro-qeiŋiŋ 力が強い, ro-kai-kai 詞が多い,よくしやべる, ro-tsakau よく泥坊する。

si- (se-) 用具主, se-qono 剃る具,剃刀 ~q-oem-ono 剃る, si-pavai 與へる物,與へる爲の材料(用具と見做す), si-virets 投棄る物,(同上), si-ʔi-patsai 自殺の原因。

si- 過去, si-tiau 昨日, si-pida 何時(過去)。 比. si-...-an.

si-...-an (1)用具 si-paiz-an 扇ぐ具,團扇, si-tiqets-an 網すき針, si-aʃaŋ-an 作り方(方法をも用具と見なす), (2)時(過去), si-tsoaŋ-an 久しい前の時,昔, si-ŋida-n 何時の時(過去)。 比. si-

si-反覆, 用具, si-ał-ałan 手藝に用ゐる物, 縫物又刺繍用の糸 ~m-alan 手藝をする, si-vitsi-vitsik 書く具, 筆など, se-qalo-qalop 狩獵用のもの, 銃, 犬など。

si- …に属する者, si-paiwan バイワン人, si-kuskus クスクス社の人, si-pairap 平地の人, 本島人。

ta- 過去, ta-tiau 昨日, ta-ŋida 何時(過去), ta-saoni 先刻。比. nu-.

2. 挿入辭及び挿入辭と接尾辭との結合。

-in- 客體主, 一般過去, k-in-atsu 携帶した物 ~k-im-atsu, c-in-inun 織つた物 ~c-im-inun, ts-in-avu 包んだ物 ~ts-im-avu.

-in-…-an 位置主, 一般過去, l-in-ama-an 燒跡 ~ma-lama 火事, ts-in-aqes-an 縫つた處, 縫目 ~ts-im-aqes, l-in-avik-an 流木など打上げた海岸 <lavik 海, p-in-atagil-an 始めた處, 起源 ~patagil 始める。

-im- (1) 他動, k-im-an 食ふ, t-im-oto 乳を飲む, ma- の條參照, (2) 自動, q-œm-ujal 雨が降る。

-in- 唇音の後に來る場合は -im- が -in- となる, p-in-apil 打つ, 殴く, v-in-ałi 風が吹く <vali 風。

3. 接尾辭

-ai 位置主, 現實未來, kan-ai 食はう, 其物の一部分の處, pa-kan-ai 食はさう, 其人に。

-an (1) 處, qomaq-an 奥の間, (2) 時, pałisi-an 禁忌の時, alia-(a)n 曉 ~malia 夜が明ける, (3) 用具, soap-an 掃く具, 箒, vaŋavaŋ-an 玩具, qailuŋ-an 映す具, 鏡, sukaol-an 使用する爲の者, 使用人, (4) 用具主, 命令, pavai-an 與へよ[其物を以て], [ivits-an 返んでやれ[其人の爲に]。]

-au 客體主, 現實未來, kan-au 食はう[其物], siqas-au 伐らう[其物]。

-i (1) 位置主, 現實現在, 又命令, joasi 今拭ふ處, 拭へ[其處], eqœnic-i 今見る處, 見よ, [其處], ʔi-vadaq-e 今問はれる人, 問へ[其人に], (2) 客體主, 現實現在, kan-i 今食ふ物, siqas-i 今伐る物。

-in <-in 母音の後, 又は狭母音を有する音節の後に來る場合は -in が -in となる, 客體主, 一般現在, vuta-in 追ひつく[其人に]。

-u (1) 客體主, 命令, katsu-u 伴つて來い[其人], 持つて來い[其物], kitsi-u 殺せ[其人], kan-u 食へ[其物], (2) 轉じて又, 主體主, 命令の場合に用ゐる, kan-u 食へ[汝], vaik-u 行け[汝], qaog-u 泣け[汝]。

-in 客體主, 一般現在, kan-in 食ふ[物], siqas-in 伐る[物]。

4. 反覆

a. 單純なる反覆

(1) 多數, tsim-tsimil 草原, kavaja-vajan 荊竹の藪 <kavajan, garavaga-vagav 蠢動 <garavagav。

(2) 進行, valu-alut 生きて居る <valut。

(3) 強度, kiđi-kiđi 甚小さい, tsoa-tsoai 甚久しい, tai-tail 片一方。

(4) 用具, qeva-qev 權 ~q-im-iv 漕ぐ。

(5) 小型, tapa-tapau 小屋, koa-koap 玩具の銃, vuki-vukuđ 眉 ~vukiđ 深林。

b. 反覆-an

(1) 常に…する處, ca-culu-an 徒渉點 ~c-im-ulu, ka-kisa-an 炊事場 ~k-im-isa。

(2) 甚だ…の時, vułu-vułuŋ-an 甚だ古い人の時, 古代 ~ca-vułuŋ 年長者。

(3) 用具, ka-kilaŋ-an 知る爲の物, 目標 ~k-im-ilap 知る, ra-ragul-an 旅行用の物, 辨當 ~r-im-agul 旅行, va-vaivaj-an 物干竿 ~v-in-aivai 竿にかけて干す。

c. 反覆-in, 比. -in.

(1) …してゐる物, kisa-kisa-in 炊いてゐる物 ~k-im-isa 炊く。

(2) …の多數ある處, qao-qao-in 竹藪, qatsila-tsilai-(i)n 石原 <qatsilai 石。

d. 反覆-in

(1) 常用の物, ka-kan-in 食物, ta-tikił-in 飲料, ka-koap-in 常に銃で打つ物, 射的的。

(2) 常用の處, qa-qalup-in 狩場 ~q-œm-alup 狩する。

(3) 多數ある處, kasi-kasiv-in 森 <kasiu 木。

IV. 品詞

1. 冠詞

	1. 一般冠詞	2. 人的冠詞	3. 人的冠詞複數
主格	ʔa, a	ti	ti-a
屬格	no-a, na	ni	ni-a
其他	to-a, ta	ca-i	ca-i-a

人的冠詞は又屢親族名詞及び人代名詞にも用ゐらる。

ʔa, no-a は本來 ka, no-ka の轉化ならん。サイシャット概説, 冠詞の條參照。

ta, ti は IN. sa, si に相應す。

2. 代名詞

a. 人代名詞

	一人稱	二人稱	三人稱	疑問人代名詞
單數	主格 ti-a'in, -a'in	ti-sun, -sun	ti-maju	t-ima
	屬格 ni-a'in, ?u-	ni-sun, su-	ni-maju	n-ima
	其他 cano-a'in	canu-sun	cai-maju	ca-ima
複數	主格 ti-amin, -amin	ti-mun, -mun	ti-a-maju	
	屬格 ni-a-min, ni-a-	ni-mun, nu-	ni-a-maju	
	其他 cano-amin	canu-mun	cai-a-maju	
含對話者	主格 ti-mica, -icin			
	屬格 ni-mica, ca-			
	其他 cano-icin			

一人稱單數 a'in <akin, u- <ku. 北部方言に於ては多く akin, ku- を用ゐる。南部の カチライ 等に於て k を省くは例外なり。此 Tag. akin 私を, 私に。一人稱含對話者複數は北部方言に於ては t-icin, n-icin, can-icin を用ゐる。三人稱は又, azoa tsautsau 彼の人は, no azoa tsautsau 彼の人の, to azoa tsautsau 彼の人の, を彼の人に, を用ゐる。

三人稱複數, 及び人的冠詞複數に -a を用ゐるは アミ 語に似たり。

單數の代名詞が固有人名, 又は親族名詞と結合して複數を作る一種の方法あり。總説, 代名詞の條參照。

b. 指示代名詞

	此	共	あれ
主格	aitsu, -tsu	azoa	azo:a
屬格	no-tsu	no-azoa, n-azoa	no-azo:a, n-azo:a
其他	to-tsu	to-azoa, t-azoa	to-azo:a, t-azo:a
	此處	共處	彼處
	i-maza	i-zoa	i-zo:a

c. 疑問代名詞

何	何處	何れ	何時(過去)	何時(未來)
anima	i-nu, ch-i-nu <*ca-i-nu	a-i-nu	ta-pida, si-pida	nu-pida

3. 數詞

單語集, 及び總説數詞の條參照。

1 より 10 迄の數詞は大體 インドネシア の語形を有し, 十一以上の數詞は アミ 語と同じく特種の言表はし方を用ゐる。

4. 形容詞

a. 語形

α. m 型を用ゐるもの, ma-tsulu 熱い, ts-im-aja 遠い。

β. m 型を用ゐるもの, [iau 多い, kidi 少い, vaqoan 新しい。

b. 比較, バイソン 語には形容詞の比較を表はす語あり。

α. ca-...より, ca-qatsa...より大きい, ca-vavau...より高い。

β. ca-la-...-an 最, ca-la-vavav-an 最も高い <vavau 上, ca-la-[adoq-an 最も長い。

5. 動詞

a. 分類, 第一類, 第二類。總説動詞の條參照。

b. 時相, アタル 時相の條參照。

	第一類	第二類		
	主體主	客體主	位置主	用具主
現實現在	kan (食)	kan-i	kan-i	kan-an
進行現在	k-im-a-kan			
一般現在	k-im-an	kan-in	kan-an	si-kan
現實過去	k-im-an-apa	k-in-an-apa	kan-an-apa	si-kan-apa
一般過去	na-k-im-an	k-in-an	k-in-an-an	s-in-i-kan
現實未來	more k-im-an	kan-au	kan-ai	si-kan-apa
一般未來	k-im-akan (?)	ka-kan-in	ka-kan-an	si-kan-an

c. 命令

	第一類	第二類		
	主體主	客體主	位置主	用具主
	kan-u	kan-u	kan-i	kan-an

主體主は本來 kan なるべきを, 客體主と同じく kan-u を用ゐる。 ブヌマ 命令の條參照。

d. 否定

α. 現實否定

主體主 ini kan 今食はない[其人は]。

客體主 ini kan-i 今食はない[其物は]。

位置主 ini kan-i 今食はない[其物の一部分は]。

用具主 ini kan-an 今食はない[其の用具では]。

β. 一般否定

ini ?a k-im-an 食ふ者でない[其人は]。

γ. 禁止, maja …するな。

有に對する無は uika を用ゐる。

6. 副詞

a. 純粹の副詞, aravats 甚だ, uta 又, 再, anan 尙, 等。

b. 名詞又は形容詞等を變形して副詞的動詞を形成することあり。原形, sa[aj 仲間, pu-sa[aj ?a q-œm-aog 共にする一冠詞一泣くは=共に泣く。原形, ma-pulat 皆, pulat-in-aga ?a jamai 皆した一冠詞一馳走=馳走は皆たひらげた。原形, tiku 下, pa-li-tiku-tiku-in 下に…する=下ろす, 客體主。

7. 接續詞

?a-ti …と…と(人名, 親族名詞, 又は人代名詞)。

?a-toa …と…と(普通名詞)。

nu 若し…ならば, …でも, nu ini qojal 若し雨が降らなければ, nu ?a ini qojal 若し雨が降らないでも。

qao そこで, それで, すると, 等。

la'oa <lakoa 併し。

sa 而して(句を連結する)。

8. 結辭

?a 冠詞 ?a (a) と同じ。又關係代名詞とも見るべし。napa:q ?a tsautsau 良い者一其は一人=人は良い, tsautsau ?a napa:q 人一其は一人=良い者=良い人。ti-a'in ?a vaik 私一其は一行く者=行くのは私。tapau ?a qatšilai 家一其は一石=石の家。

9. 助辭, -aga …した, …だつた, …だよ, …せよ。

1. カチライ語
(qatšilai)

1. ti sapulalujalujan
サブラルヤルヤン

- ² ti sapulalujalujan tsug ?a marevo atoa
はサブラルヤルヤン よく其 争 と
- ³ valau/ nu kiman ini pakani/ mar?a
妻 時 食 不 使食 或
- ⁴ vulacin/ qau [imutsij azoa valau/ vaik
所 打 そこで 怒 其 妻 行
- ⁵ a lita[aj toa virop noa tsoqo/ qau
其 入 に 孔 の 茹寒 そこで
- ⁶ tsoatsoaj-aga ma[ap ti sapulalujalujan toa
暫 了 持 は サブラルヤルヤン を
- ⁷ pucan/ sa pucavi ?a tsoqo/ ?a more pa-
斧 而 所伐 は 茹寒 其 思
- ⁸ likatsawan toa valau/ manu tiq aja/
使出現 を 妻 突然 トンといふ
- ⁹ mi[ajap ?a sma cai [ikuz toa lavik/
飛 其 赴 方 向 の 海
- ¹⁰ tsoatsoaj-aga mapovaroŋ ti sapulaluja-
暫 了 心配 は サブラルヤ
- ¹¹ lujan/ qœmaœiviu toa si?ataqalan to vaik
ルヤン 呼 を 番丁 爲に行
- ¹² a qœmalup/ qau ?ilavaran ti sapulaluja-
其 狩 そこで 言 は サブラルヤ

1. サブラルヤルヤン

サブラルヤルヤンはよく妻と喧嘩した。食事の時も食はさないで、殴つたりした。それで其妻は怒つて、茹寒の木の孔の中へはひつてしまった。暫くしてサブラルヤルヤンは斧を持って茹寒を伐つて、妻を出さうとした。するとトンといふ音がして、[妻は]海の向うへ飛んだ。

とサブラルヤルヤンは心配して、狩に行く爲に番丁を呼んだ。そこでサブラルヤルヤンが言ふには、私は海岸

採録期：昭和七年八月高麗州恒春郡カチライ社にて調査。
口授者：kavak ?a [osiazan (補一) 28歳, 男, 臺南師範學校出身, 高士佛公學校訓導。

1. ti 人名, 及び人名詞の冠詞, 主格, IN, si.
2. ?a 普通名詞(人名詞を除く), 動詞名詞の主格, 又關係代名詞の如く用ゐられ同格を表はすことあり, 此處にてはサブラルヤルヤンは即ち争ふ者の義, IN, ka.
3. k-im-an 食ふ, 主體主, ini pa-kan-i 食はさぬ, 客體主, IN, kan.
4. vulac-in 打つ, 客體主, v-in-ulac 主體主, qau 接續詞, そこで, それで, すると, などの義, トクワン其他北部バイワン ?au.
5. li-ta[aj 中にはひる, ta[aj 内, li- 進む, 行く, to-a …を, …に, …で, などの義, 又略して ta, no-a …の, 又略して na.
6. tsoa-tsoaj-aga <tsoai 久しい, -aga に續くとき tsoaj-aga, -aga 過去, …だ, …だよ, など。
7. pucan <臺灣語, 斧頭, 'pho-thau), pucav-i <pucan-i 斧で伐る, 客體主, 茹寒, sa 而して, ?a more 此處にては, サブラルヤルヤンは即ち…しようと思ふ者といふ意, 比, 註, 2.

8. pa-li-katsaw-an 出す者, 主體主, katsau 外, katsaw-an 外の處, pa-li- 行かせる, 比, 註, 5, manu 原意, 何, Seed, man 何, Atay, nano 何, バイワンにては何の意味に使用されず, 或事を隠してゐたところが意外, これは何だといふか驚く意, 又轉じて, とところが, ふと, 突然, 或時, 丁度などの意となる。
- aja さういふ, さうする。
9. sma <s-m-a. 其方へ行く, 赴く, sa …へ, cai <ca-i, ca <ta 處の意, 比, Tag, taga, i 場所, 又はその場所に在る人物, [ikuz 背後, 海の向ふに在る處の方へ行く意, Tag, likod, toa 位置の關係を示す場合は noa を用ゐず, toa を用ゐる。
10. ma-po-varoŋ 心配する, 心が置かるゝ意, varoŋ 心。
11. q-œm-œiviu 呼ぶ, to …の爲に, to-a の to に同じ, 比, 註, 5.
12. q-œm-alup 狩する, Atay, q-œm-alup, ?ilavar-an <*ki-lavar-an 自分でいふ, ma-lavar 互に話す, ?e-revo <ki-rivo 不平, 比, 142頁, 4行, ~ma-revo 互に争ふ, 2行。

- 1 lujan / "tia'in ma'amaza'in iduydup
ルヤン 我 通 此處 我は 近處
- 2 toa lavik / timun pa'azoa icuapugajan"/
の 海 汝等 通つてゆけ 崖坂
- 3 mano nika no satsimi / nu paluku
何だ 無 も 獲物 ても 出来
- 4 qacurvi mar'a padi sa'amaja / qau ?erevo
蛇 や 狸 只 そこで 不平
- 5 ?a si'ataqalan / "aqo nika no satsimi /"
は 蕃丁 何故 無 も 獲物
- 6 aja ?ivadaq cai sapulalujalujan / qau ?ila-
といふ 問 に サブラルヤルヤン すると
- 7 varan ti sapulalujalujan / "no ?a: qacurvi
言 は サブラルヤルヤン ても 共 蛇
- 8 no ?a: padi koapu" aja ?ilavaran / qau
でも 共 狸 打て と 言 そこで
- 9 timaju izoa i lavik / ?a qarauqauqau
自分 居 に 海 共 呼んである
- 10 sa'amaja /
只
- 12 qau ?a si'ataqalan / "anima kudakuda-
そこでは 蕃丁 何 所如何
- 13 in nazoa tsautsau" / aja kinimnim qau
彼 人の と 考 そこで
- 14 vaikin ?a ?eqoenic / minto? "lauaulavu
所行 共 見 見ると 伸びよ伸びよ
- 15 ?a jaralap" ajaja simnasinai / qau tsoaj-
は 榕樹 といふ 試つてある すると 暫して
- 16 aga limaulau ?a jaralap ?a sma cai ?ikuz
伸 は 榕樹 共 赴 方 後
- 17 toa lavik / qau azoa ti sapulalujalujan
の 海 そこで 彼 は サブラルヤルヤン
- 18 simusu ?a vaik toa jaralap / minto?
傳 共 行 な 榕樹 忽

1. ti-a'i-n <*ti-aku-in 我は、主格、説明語の前に用ゐる。ti冠詞。IN.aku 我は、si冠詞。比。Ilok. si-ak, Tag. ak-in 我の、Panay, ak-on 我は、カチライ語は普通 k.q の音を有すれども概に k を省くことあり。
ma'amaza'in <*maka-maza-a'in 我は、此處から。maka …から、maza 此處、-a'in 我は、説明語に續くときは ti を省く。
2. ti-mu-n <*ti-mu-in 汝等は、説明語の前に用ゐる。IN. ka-mu.
pa'azoa <pa'a-azoa-u <*paka-azoa-u 其處から行け、paka …から、azoa 其處、-u 命令、主體主。比。註. 1.
6. cai <ta-i …に、…を、(人名、人名詞の場合) 又略し

の此處を通つて行く。汝等は坂の處の方を通つて行け。ところが(蕃丁の方は)獲物もない。追出して見ると蛇や狸ばかりであつた。そこで蕃丁等は不平をいつて、「何故獲物がないのだらう」とサブラルヤルヤンに問うた。そこでサブラルヤルヤンは「蛇でも狸でも打て」といつて話した。ところが自分は海の處に居て、獸を追出す聲ばかり出してゐた。而して實際追出さうとしなかつた。

そこで蕃丁はあのサブラルヤルヤンは如何してゐるのだらうと考へて行つて見た。見ると[サブラルヤルヤンは]「榕樹よ、伸びよ、伸びよ」といつて話つてゐた。暫くすると榕樹が海の向ふの方へ伸びて行つた。するとサブラルヤルヤンは榕樹を傳つて行つて、

て ci.
8. koap-u 銃で打て、koap 銃、-u 命令、客體主。
9. izoa i lavik、海の處に居る、i-zoa 其處に居る、i lavik 海に居る。
12. kuda-kuda-in 如何なる事をしてゐる、客體主、kuda 如何、-in 客體主の接尾辭、普通 -in なれども母音の後には -in となる。ma-kuda 如何である。144 頁、15 行。
13. nazoa <no azoa その…の、あの…の。tsau-tsau 人。比。IN. tau.
14. vaik-in 行く、客體主。
15. ajaja <aja-aja さういつつ。比。141 頁註. 8. s-im-na-sinai 話ひつづける。s-im-nai 話ふ、sinai 歌。

- 1 tsa[uman toa qenalivan noa tapau noa
到着 に 屋根 の 家の
- 2 valau / qau soa[apin ?a ?itop / sa vuloqan
妻 そこで 所脱 は 衣 面 所投
- 3 ?a palitiko /
は 下方
- 4 mano jumakin noa alak noa valau /
ふと 所見附 の 子の 妻
- 5 "aqo uzai tsu a ?itop ina / matu su
何故 有 此 共 衣 母よ 様 汝の
- 6 ina[apan" / "ma'a inu ti cama toa lavik" /
所刺繡 自 何處 は我等の父を 海
- 7 qau soa[apin ni sapulalujalujan ?a dapi-
そこで 所脱 の サブラルヤルヤン は 前掛
- 8 lan sa vuloqan uta / qau jumakin noa
而 所投 又 そこで 所見附 の
- 9 kakiqian / "aqo uzai tsu a dapi[an / matu
子供 何故 有 此 共 前掛 様
- 10 su ina[apan" / qau litsasau ?a kina / sa
汝の 所刺繡 そこで 外出 は 母 面
- 11 eqoenici ?a pasa qenalivan / minto? ji-
所見 は 方 屋根 見ると
- 12 mu[iju:ji ti sapulalujalujan / i vavau toa
笑つてゐる は サブラルヤルヤン 居上 の
- 13 qenalivan / qaevuin-aga noa valau ?a
屋根 所呼 了 の 妻 共
- 14 pasa qomaqan /
方 屋内
- 16 qau masu[uman-aga kiman to kaivin /
そこで 暮 了 食 を 夕飯
- 17 manu ini kan ti sapulalujalujan / qau
ところが 不 食 は サブラルヤルヤン そこで
- 18 ?ivadaqan noa valau / "anima su ci[glajan
所問 の 妻 何 汝の 好物

忽ち妻の屋根の上に下りた。そこで着物を脱いで下の方に投げた。
すると妻の子が見附けて、「お母さん、此の衣は如何して此處にあるだらう。あなたが刺繡した[お父さん]のに似てゐる。[母は]「お父さんが海を[越えて]何處から來るものか。サブラルヤルヤンが又前掛を脱いで投げた。すると子供が見つけて、「此の前掛は如何して此處にあるのだらう。あなたが刺繡したのに似てゐる」。そこで母が外へ出て、屋根の方を見た。見るとサブラルヤルヤンが屋根の上で笑つてゐたので、母が家の中へ呼び入れた。
晩になつて夕飯を食つた。ところがサブラルヤルヤンは食はない。妻が問うて、「汝の食べたい物は何かとい

1. q-en-aliv-an 飛いた處、屋根、q-œm-aliu 飛く。
2. so-a[ap-in 取去る、客體主、衣、a[ap 取る、so-は除く、又は開放の意を有す、so-qœliv 戸を開く <qœliv 閉す、so-qajai 縛を解く <qajai 縛る、-in 客體主の接尾辭。
4. jumak-in 見附る、客體主、衣、j-im-umak 主體主。
5. su- 汝の、名詞及び第二類動詞の前に用ゐる。
6. in-a[ap-an 丹精をこめて作つた物、客體主、m-a[ap 同上する、主體主。
ma'a-inu <*maka-inu 何處から、maka- …から、

cama <ca-ama 我等の父。
7. ni 固有人名詞、人名詞の冠詞、屬格。
9. ka-ki-ji-an 子供 <ki-ji-ki-ji 小さい。
11. j-im-uj-i-ju:ji <j-im-uj-i 笑ふ。
13. qaevu-in-aga 呼んだ、客體主、父。
14. qomaq-an 家の内、比。Mal. rumah 家。
16. ma-su[um-an-aga 暮れる時になつた、ma-su[um 暮れる。
18. ?i-vadaq-an <ki-vadaq-an 問はれる人、位置主、夫、?i-vadaq 主體主。142 頁、6 行。

- 1. ?a kiman" ajain / "avan a valicuk sa?a-
其 食 所言 彼物 其 蜜柑 只
- 2. maja ?a ciglajan ?a kiman" / qau sijaja
は 所好 其 食 そこで 所取
- 3. toa valicuk sa pakani / qau more qœ-
な 蜜柑 而 所使食 そこで 將
- 4. mi[i]ŋ-apa / ?ilavaran ti sapulalujalujan /
寝 了 言 は サブラルヤルヤン
- 5. "qœmi[i]ŋ-a?in i ku[aku]a" / aja ?ilava-
寝 我は に 足の處 と 言
- 6. ran toa valau / ?a valau "maja qœmi[i]ŋ
に 妻 は 妻 勿 寝
- 7. i ku[aku]a maku[aku]a sun" / "qœmi[i]ŋ-
に 足の處 有足處 汝は 寝
- 8. a?in i lavip" aja ti sapulalujalujan /
我は に 端 といふ は サブラルヤルヤン
- 9. ?ilavaran ?a valau / "maja qœmi[i]ŋ i
言 は 妻 勿 寝 に
- 10. lavilavip / malavilavip sun / qœ[i]ŋu izoa
端 有端の端 汝は 寝よ 其處に
- 11. icoa qœ[uz] " aja ?a valau / qau vaik a
處 柱 といふ は 妻 そこで 行 共
- 12. qœmi[i]ŋ sma coa qœ[uz] ti sapulalujalu-
寝 赴 處 柱 は サブラルヤルヤン
- 13. jan / ita vipin ini ?a taqœd qarecqeic /
ヤン 一 晩 不 共 眠 ギーギーいふ
- 14. ?ivadaqan noa valau ti sapulalujalujan /
所問 の 妻 は サブラルヤルヤン
- 15. "makuda sun / aqo ini su ?a taqœd / aqo
如何 汝 何故 不汝のは 眠 何故
- 16. qarecqeic sun" / "maitazoa-pata no
ギーギーいふ 汝は 知彼 やはり 時
- 17. kiman a?in toa valicuk" / aja ti sapula-
食 我は を 蜜柑 といふ は サブラ
- 18. lujalujan / manu pincopicoq toa qœ[uz]
ルヤルヤン ところが 抜 を 柱
- 19. noa tapau / qau sa pasusui toa nalimau-
の 家 そこで 而 所使傳 に 既伸

1. aja-in さういふ、客體主。
avan あれ、それ、多くの中から特に指定していふ。
2. si-jaja …の爲にもぎ取る、用具主。夫、jaja もぎとる。
si- 用具主の接頭語、si-vitsi 書く爲の物、筆、si-pavai
典へる爲の物、贈物、qe-qono 剃る爲の物、剃刀、小刀。
比、Atay. Ami sa-。
5. ku[a]-ku[a] 脚の處、ku[a] 脚、ma-ku[aku]a 脚の處の
爲に…される、ma-lavi-lavip 端の爲に…される、lavip
端、8行。比、ma-qojal 雨にふられる。
7. -su-n <*su-in 汝は、説明語の後に用ゐる。~ ti-sun
汝は、説明語の前に用ゐる。比、Atay. isu, 等。IN. は

ふと、[サブラルヤルヤンは]私の食ひた
いものはあの蜜柑だけだ。そこで蜜
柑を取つて食はせた。寝るときにサ
ブラルヤルヤンは、私は[寝臺の]足の方
に寝ると妻にいつた。妻は[足の方に
寝るな、汝は足に祟られる]。すると私
は端の方に寝よう]とサブラルヤルヤ
ンがいつた。妻は[端の方に寝るな、汝
は端に祟られる、柱の處に寝よ]といふ。
そこでサブラルヤルヤンは柱の處へ
行つて寝た。一晩眠らずギーギーい
つてゐるので、妻がサブラルヤルヤン
に問うた。[汝は如何したのか、何故汝
は眠らないのか、何故に汝はギーギー
いふのか]。私は蜜柑を食ふと、どうも
あゝいふ風になる]とサブラルヤルヤ
ンが[偽つて]いつたが、[實は]家の柱を抜
いてゐたのだ。而して其の家をば伸
びた榕樹の上を傳はせ[て向う岸へ運

多く ka, mo 型を用ゐる su を用ゐず、只 Ilok. isu 彼
あるのみ。アタヤル語参照。
16. mai-ta-zoa-pa-ta やはり彼の通りだ、ta-zoa 其に、pata
やはり、元の通り、實になどの義、pa <aga…した、…
だ、-ta <ita -(?) bu[ai]-apa-ta 依然元の通り美し
い。
I pa-susu-i 傳つて行かせる、客體主、家、s-im-usu 傳つ
て行く、主體主、142頁、18行。
na-l-im-aulau 伸びた物、榕樹、na-過去、l-im-aulau 伸
る。112頁、16行。lau-laulav-u 伸びよ。142頁、14行。

- 1. lau ?a jaralap ?a tapau /
其 榕樹 は 家
- 2. qau malia-ŋa patsigid-apa tiamaju ?a
すると 夜明 了 目覺 了 彼等は 共
- 3. mapulat / minto? i lavilavip-apa toa
皆 見ると 居 岸 了 の
- 4. lavik / qau miŋcus-apa azoa valau / "aqo
海 そこで 驚 了 其の 妻は 何故
- 5. imaza-ŋa icin" aja ?ilavaran / qau
居此處 了 我等は と 言 すると
- 6. ?ilavaran ti sapulalujalujan / "tia?in ?a
言 は サブラルヤルヤン 我は
- 7. nakimatsu ?a pasa maza / ini-apa nakuja
既携來 共 方 此處 不 よ 願
- 8. a?in / maja-ŋa mavi[ad] / ?a par?anapa-
我は 勿 よ 逃 共 互に 睡じく
- 9. paqej-apa icin mapulat" /
しようれ 我等 皆

2. valau noa qacuvi
妻 の 蛇

- 12. uzai ?a vu[uvu]uŋ ?a tsautsau / ?a
有 が 老若 共 人 其
- 13. navaik ?a qœmalup / manu jimumak toa
既行 共 狩 と ころが 見附 を
- 14. vitsiar ?a bu[abu]ai / ?ijajain to sipavai
花 共 美 所採 爲 所典
- 15. toa mar?aalak ?a vavajavajan / mano noa
に 子等 其 女 と ころが 物
- 16. qacuvi ?a vitsiar ?a ?inijaja / qau maŋciz
蛇 は 花 共 所採了 すると 來
- 17. ?a qacuvi / "aqo su ?ijajain ?a ?u vitsiar /
は 蛇 何故 汝の 所採 は 我の 花
- 18. patsiki[u] / nu ini su patsiki[i] / ?u katši
返せ 若 不 汝の 所返 我の 所咬
- 19. sun" / ajain noa qacuvi ?a vu[uvu]uŋ /
汝は 所言 の 蛇 は 老人

2. ti-a-maju 彼等、自分等、ti-maju 彼、自分、142頁、9行。
ti-a- 人的冠詞、複數。
5. icin <*ita-in 我等互、IN. ita。
7. ini apa nakuja a?in 私は悪くしないよ、aga…だよ、
だぞの義、maja-ŋa…するなよ、8行。
8. par?a-napa-ŋaq-e-j-apa <*par-ka-napa-ŋaq-i, 互に仲
よくしようよ、pa-r- 互に…する、mar 互に…になる、
ka-napa-ŋaq-i 相手をよくする、客體主、napaq 良い。
14. ?i-jaja-in <*ki-jaja-in 自分で其物を探る、客體主。

んだのであつた。
夜が明けて彼等は皆目を醒した。
見ると[いつの間にか]海の岸に居た。
そこで妻が驚いて、我々は何故此處に
居るのだらう]といつた。するとサ
ブラルヤルヤンは[私が此處へつれて來
たのだ。[此からは]私は悪くしないか
ら逃るな、皆互に仲よく暮さう]とい
つた。

2. 蛇 の 妻

[或る]老人があつて狩に行つた。す
ると美しい花を見つけたので、女の子
等に與へる爲に[花を]採つた。ところ
が、その採つた花は蛇の所有であつた。
そこで蛇が來て、何故汝は私の花を採
るか。返せ。汝が返さないなら、私は
汝を咬むぞ]と蛇が老人に言つた。す
ると[老人は花を]元の處へ返したが、併

?in-i-jaja <*k-in-i-jaja 自分で採つた物、16行。
15. mar?a-alak 互に親子の關係にあるもの、mar- 相互、
a-alak 子等。
vavaja-vajan 複數、<vavajan 女。
17. ?u <ku 私の、名詞又は第二類動詞の前に用ゐる、IN.
ku。
18. pa-tšiki[i]-u 返せ、命令、主體主、ts-im-iki[i] 歸る、pa-
tšiki[i]-i 返す、客體主。
katši-i 咬む、客體主、汝は私の咬む物ぞといふ義。

- 1 qau patšiki[in] pasa coa qapu[u] azoa
そこで 所返 方 處 元の 其の
- 2 vitsiar / la²oa ini-apa ²a patšiki / nu
花 併 不 了 其 返 時
- 3 patšiki[in] macanicani / ²vadaq ²a qa-
所返 幾度も落 問 は
- 4 cuvi / "uzai ²a nisun ²a alak ²a vavajan
蛇 有 は 汝の 其子は 其女
- 5 kimoda" / "uzai" aja vujuvuju / "no
如何 有 といふ 老人 若
- 6 maitazoa katsuu azoa vitsiar / sa pavajan
如其 持行け 其の 花は 而 所興
- 7 toa su alak / ²a cij[ai] tazoa vitsiar /
に 汝の子 は 好む者 其の 花を
- 8 nia²in apa ²a valau / nu ini su papovalala-
我の だ 其妻 若 不 汝の 所使嫁
- 9 van canoa²in / ²u katsi sun" / ajain ²a
我に 我の 所咬 汝は 所言 は
- 10 vujuvuju /
老人
- 11 qau katsuin noa vujuvuju azoa vitsi-
そこで 所持行 の 老人 其の 花は
- 12 ar ²a pasa cumaq / sa ²vadaq ²a alak
其方 家 而 所問 は 子
- 13 tu tima ²a cij[ai] tazoa vitsiar / mano
な 誰か は 好者 其の 花を ところが
- 14 masigats ²a calavujuvuju ²a vavajan /
嫌 は 最年長 其女
- 15 qo: qoemaon azoa vujuvuju / "no ma-
そこで 泣 其の 老人は 若
- 16 sipats mun / more katsin a²in noa
嫌 汝等は 將 所咬 我は の
- 17 qacuvi" / aja cimumal toa mar²aalak /
蛇 といふ 告 に 子等
- 18 qau pinao[²a] ²a sipulalakan ²a vavajan /
すると 同情 は 末子 其女
- 19 "nu maitazoa idan azoa vitsiar canoa²in
若 如其 所興 其の 花は 我に
- 20 apa / povalau a²in toa qacuvi" aja /
れ 嫁 我は に 蛇 といふ

3. ma-cani-ca:ni 反覆は回数が多いこと、ma-cani 落る。
6. katsu-u azoa vitsiar 其花は持つて行け、客體主、命令、
-uは主體主にも客體主にも用ゐる。145頁、註18。
pavaj-an 興へよ、用具主、花、花を用ゐて興へることな
せよといふ義。
8. pa-po-valav-an 配偶にする爲の者、用具主、<valau

し[元の通りに]返らない。返すと幾度
も落ちた。蛇が問うた、「汝は女の子が
有るかどうか。」「有る」と老人が言った。
「其なら、その花を持つて行つて、汝の子
に興へよ。その花を好む者を、私の妻
にしよう。若し汝が[女を]私の妻にし
ない時には、私は汝を咬むぞ」と老人に
言った。

老人はその花を家へ持歸つて、誰が
その花を好むか」と子に問うた。とこ
ろが長女は嫌つたので、老人は泣いた。
「若し汝等が嫌ふなら、私は蛇に咬まれ
ることになる」といつて子供等に告げ
た。ところが末の娘が氣の毒に思つ
て、「其なら、その花を私に下さい。蛇の
處に嫁入しよう」といつたので、老人は
[花を]興へた。

配偶。
14. ca-la-vulu-vulu-an 最も年長者、vuluju 年長、cala- 最
も、一番。
15. qo: <qau, 141頁、註4。
19. id-an <*ido-an 興へよ、用具主、よこせといふ義。~
ido 来い、-an 比。pavaj-an 註6。

- sipavai noa vujuvuju /
所興 の 老人
- qau kaci[uci]uan mapciz ²a qacuvi /
すると 丁度三日目 来 は 蛇
- 5 "ino-apa nia²in ²a valau" aja ²a qacuvi /
何處 だ 我の 其妻 といふ は 蛇
- 4 qau situjik noa kama / qau katsuin azoa
そこで 所指示 の 父 すると 所持行 其の
- 5 vavajan noa qacuvi ²a sma coa tapau
女は の 蛇 共 赴 處 家
- 6 nimaju / manu vaivaik tiamaju ²a ma²u-
自分の ところが 行行 彼等は 共 二人
- 7 sa i ja[an] / minto² mapava[²it to tsautsau
を 道 ぶと 變 に 人
- 8 azoa qacuvi / to vapšapsar / qau masa[u]
其の 蛇は に 甚美男 そこで 喜
- 9 aravats azoa vavajan / jimalun tiamaju
其 其の 女は 到着 彼等は
- 10 ²a ma²usa i coa tapau noa qacuvi / mi-
共 二人 へ 處 家の 蛇 見
- 11 nto² bu[ai] aravats azoa tapau / qailu[an]
ると 立派 其 其の 家は 婿子
- 12 ²a patšatsiki / nu ²vijikits ²a ja[an] /
は 彼方此方 若 止 が 處
- 13 sid[ai]as toa inabu[ai] noa tapau / qau
滑 爲 美しさ の 家 すると
- 14 azoa qacuvi ini palitsasatsasavi azoa
其の 蛇は 不 所使外出 其の
- 15 valau / marikuc to maqonivulan /
妻は 恐 を 被壓
- 16 mano vaik azoa qacuvi ²a sma kavoa-
ところが 行 其の 蛇は 其 赴 處
- 17 voan / mapciz azoa kaka ²a calavujuvu-
来 其の 兄弟 其 最年長
- 18 ju[an] ²a vavajan / "aqo bu[ai] aravats ²a
共 女 何故 立派 其 は
- 19 tsua tapau / ²a natia²in ²a napovalau" /
此の 家 其 以前の我 は 嫁した者
- 20 aja timaju ²a salipa / qau "napaq a ²u
と思ふ 彼は 其 羨 そこで よい 其我の
- 21 qoetsiin tsua valau noa qacuvi" aja timaju
所殺 此の 妻は の 蛇 と 彼は

すると三日目に蛇が来て、私の妻は
何處に居るのかと蛇がいつた。父が
指して示した。そこで蛇はその女を
自分の家へつれて行つた。彼等二人
が道を歩いてゐる中に、その蛇は忽ち、
人に變つた[しかも]美しい男に。そこ
でその女は大變喜んだ。彼等二人は
蛇の家に到着した。見ると、その家は
婿子が彼處此處に[用ゐて]あつて、蟻が
止ると、家が美しいので滑り落ちる位
大變立派であつた。その蛇は妻を外
に出さない。[外出すると]塵が掛るの
を心配したからだ。

ところが[或時]その蛇が高へ行つた
[留守に]一番上の姉が来た。「この家は
何といふ立派な家だらう。[此なら]私
は妻になつてゐたものを」と、彼女は羨
しかつてさう思つた。それで「蛇の妻
は私が殺してやらう」と考へた。姉が

1. si-pavai 興へる爲の物、用具主、花。146頁、註6。
2. ka-ci[uci]u-an 第三日目の時、cilu 三。
10. ma-²usa 二人、人の時は ma- を用ゐる、²usa 二。
14. pali-tsasa-tsasav-i 外に出す、客體主、反覆は意味を強

め決しての意、tsasau 外。
19. na-tia²in ²a na-po-valau 嫁した者が私であつた、以前
私が嫁してゐたらと悔む意、na-ti-a²in 以前の私、na-
po-valau 既に夫に嫁してゐる者、na- は何れも過去。

- ¹ ?a kinimnim / ?ilavaran ?a kaka cala-
其 考 言 は 兄弟 最
- ² vu[uvu]u[un] / "nanaq a ?eqailu[un] icin /
年長 よい が 自映鏡 我等
- ³ tima cabu[ai]-cin" / qau ?eqailu[un] tia-
誰 尙美 我等は そこで 自映鏡 彼
- ⁴ maju ma[usa] / manu cabu[ai] azoa valau
等は 二人 ところが 尙美 其の 妻は
- ⁵ noa qacuvi / qau ini ?asa[u] azoa cala-
の 蛇 そこで 不 喜 其の 最
- ⁶ vu[uvu]u[un] / "jalipan to namitu[un] sun
年長者 有利 爲 着衣了 汝は
- ⁷ toa bu[abu]ai / avan su si?abu[ai] aja /
な 美物 其 汝の 故 美 といふ
- ⁸ qau pava[iva]itin ?a itu[un] / sa ?eqailu[un] /
そこで 所交換 は 衣 而 自映
- ⁹ la?oa cabu[ai] apata azoa valau noa qa-
併 尙美 やはり 其の 妻は の
- ¹⁰ cuvi / qau ?ilavaran anan azoa cavu[un]
蛇 そこで 言 再 其の 尙年長
- ¹¹ ?a vavajan / "jalipan to navinajavai sun
其 女 有利 爲に 腰巻にした 汝は
- ¹² toa bu[abu]ai" aja / qau pavava[itin] ?a
な 美物 といふ そこで 所交換 は
- ¹³ vajavai sa ?eqailu[un] / la?oa cabu[ai] apata
腰巻 而 自映 併 尙美 やはり
- ¹⁴ ?a valau noa qacuvi / ?ilavaran anan uta
は 妻 の 蛇 言 再 又
- ¹⁵ azoa cavu[un] ?a vavajan / "nanaq ?a vaik
其の 年長 其 女 な 好 が 行
- ¹⁶ icin ?a ?eqailu[un] / ?a sma coa [aku] /
我等 其 自映 其 赴 處 井
- ¹⁷ ajain azoa valau noa qacuvi / qau vaik
所言 其の 妻は の 蛇 そこで 行
- ¹⁸ tiamaju ?a ?eqailu[un] ?a sma coa [aku] /
彼等は 其 自映 其 赴 處 井
- ¹⁹ la?oa cabu[ai] apata / azoa valau noa
併 尙美 やはり 其の 妻は の
- ²⁰ qacuvi / [imutsig] azoa cavu[un] ?a va-
蛇 怒 其の 年長 其

いふには、「我々の中誰が美しいだらう。
我々鏡に映して見ようではないか」
そこで彼等二人は鏡に映して見た。
ところが、蛇の妻の方が美しかったの
で、その姉は喜ばない。「お前は美しい
着物を着てゐるから、それで美しいの
だ」といつた。そこで、着物を取換へて
映した。併し蛇の妻の方が、やはり美
しかった。そこで、姉が又いふには、「お
前は美しい腰巻を巻いてゐるからだ」
といふ。そこで、腰巻を交換して映し
た。併し蛇の妻の方が、やはり美しか
つた。その姉が、又も一度いふには、「我
々井戸へ行つて映さうではないか」と
蛇の妻にいつた。そこで、彼等は井戸
の處へ映しに行つた。併し蛇の妻の
方が、やはり美しかった。その姉は怒
つて、「彼女を」井の中へ押し落して、殺し
た。而して、姉は行つて、蛇の妻になつ
た。

3. ca-bu[ai] …より尙美しい, ca- …より。
5. ?asa[u] <*ka-sa[u] 否定の時此の形を用ゐる, ma-sa[u]
喜ぶ。
6. jalip-an 助を得てゐる, 補はれてゐる, 位置主, j-im-
alip 傷など手當する。
na-m-itug 衣を着てゐる人, m-itug 着る, itug 衣。

7. avan su si?abu[ai] 汝の美しい理由は其だ, <si-ka-
bu[ai], si- 理由。
11. na-v-in-ajavai 腰巻してゐる人, v-in-ajavai 同上す
る, vajavai 腰巻, 13行, 唇音に續く時は -im が異化
して -in- となる。比. IN. -um-。

- ¹ vajan / sizerop ?a palita[aj] toa [aku] /
女は 所押 其 使入中 に 井
- ² qau azoa cavu[un] ?a vavajan vaik-apa /
そこで 其の 年長 其 女は 行 了
- ³ ?isan valau toa qacuvi /
成 妻に 爲に 蛇
- ⁴ mano ma[pciz] ?a qacuvi ?asi kavoa-
ところが 歸 は 蛇 から 島
- ⁵ voan sa eqo[nici] ?a valau / "aqo siku-
而 所見 は 妻 何故 甚
- ⁶ [uku:]u[un]-apa ?a ?u valau" / aja timaju ?a
曉 了 は 我の 妻 と 自分 共
- ⁷ kinimnim / mano vaik timaju ?a tsalum
思 或時 行 彼は 共 淡水
- ⁸ ?a sma coa [aku] / mano uzaj-a jorekuku /
其 赴 處 井 丁度 居 が 雞
- ⁹ "hi hi hi hi / mano ?u valau aja" aja
ヒ ヒ ヒ ヒ まあ 我の 妻 と思といふ
- ¹⁰ zimai[un] / qau karemin azoa jorekuku
啼 そこで 所獲 其の 雞は
- ¹¹ noa qacuvi / sa katsui ?a cuma[un] /
の 蛇 而 所作來 共 屋内
- ¹² qau mano vaik azoa qacuvi ?a sma
すると 或時 行 其の 蛇 共 赴
- ¹³ kavovaoan / "pagalui tsua jorekuku /
島 大事にせよ 此の 雞は
- ¹⁴ maja qoem[tsi] "ajain ?a valau / mano
勿 殺 所言 は 妻 ところが
- ¹⁵ qimasi toa kasal / mano tsug ?a kiman
乾 な 糶 ところがよく 共 食
- ¹⁶ azoa jorekuku / qau [imutsig] azoa valau
其の 雞は そこで 怒 其の 妻は
- ¹⁷ qoetsiin ?a jorekuku nazoa valau / ma[pciz]
所殺 は 雞 其の 妻の 歸
- ¹⁸ azoa qacuvi / "ino apa ?u jorekuku"
其の 蛇は 何處 だ 我の 雞は
- ¹⁹ ajain ?a valau / "kiman aravats toa
所言 は 妻 食 甚 とを
- ²⁰ kasal / qau ?u qoetsin-apa" / aja ?ilavaran
糶 そこで 我の 所殺 了 と 言
- ²¹ toa valau ?a oqalai / qau tsuluin-apa
に 配偶 其 男 そこで 所屠 了

蛇は島から歸つて、妻を見た。「私の
妻は何故醜くなつたのだらう」と彼は
自分で思つた。或時、彼は井へ水汲に
行つた。ところが雞が居て、「ヒヒヒヒ、
まあ自分の妻と思つてゐるよ」といつ
て啼いた。そこで、蛇はその雞を獲し
て、家へつれて來た。

或時、その蛇が島へ行つた。「行く時
に」此の雞は大事にせよ、殺すな」と妻に
いつた。「妻が糶を乾したところが、そ
の雞が澤山食つてしまつた。そこで
其の妻は怒つて、雞を殺した。蛇が歸
つて來て、「私の雞は何處に居るか」と妻
にいつた。「大變糶を食つたから、それ
で殺してしまつた」と夫にいつた。そ
れから、その雞を料理した。夫がお菜
を撮むと肉であり、妻がお菜を撮むと

1. si-zorop 其者を横に押す, 用具主, z-im-orop 主體主。
3. ?i-san <*ki-san 自分で…になる, ma-san 成る, s-
im-an …にする, 作る。
11. cuma[un] <*coa-oma[un] 家の處, Mal. rumah 家。

13. pa-galu-i 丁寧にせよ, 原意, そろそろ…せよ, 客體主,
g-im-alu-galu ゆるゆるする。

- ¹ azoa jorekuku / nu jimamai ?a oqalai /
其の 難は 時 撮 が 男
- ² siti / no jimamai ?a vavajan / tsoqo'al /
肉 時 撮 が 女 骨
- ³ qau [imutsij] azoa vavajan / sivirits azoa
そこで 怒 其の 女は 所捨 其の
- ⁴ jamai / minto² tsimuvoq ?a sirai i coa
お菜は 見ると 發生 が 松 に 處
- ⁵ vinritsan / qo: miqatsa azoa sirai san-
捨てた處 すると 成長 其の 松は 作
- ⁶ sapil'in / no qoemilaj ?a oqalai mipsig /
腰掛 時 坐 が 男 安定
- ⁷ no qoemilaj ?a vavajan maleqaleqad /
時 坐 が 女 ぐらぐらする
- ⁸ [imutsij] azoa vavajan / sipitsuju-aga
怒 其の 女は 爲薪材 了
- ⁹ azoa sapil /
其の 腰掛は

3. ma]uc]ucuk ?a oqalai
愚 其 夫

- ¹² uzai ?a marvalau ?a sitsoajan / uzai ?a
有 が 夫婦 其 昔 有 が
- ¹³ oqalai ?a alak / sa nasimval azoa kina /
男 其 子 而 既負 其の 母は
- ¹⁴ qau azoa kina "vaiku ?a ?ikasiu" ajain
そこで 其の 母は 行け 其 探薪 所言
- ¹⁵ ?a kama / qau "ui vaik a'in ?ikasiu"
は 父 すると よし 行 我は 探薪
- ¹⁶ aja ?a kama / qau kimatsu ta tsajis ?a
といふは 父 そこで 持行 な 繩 其
- ¹⁷ [a]o]o]o]q / sa vaik ?a ?ikasiu / manu uzai
甚長 而 行 其 探薪 ところが 有
- ¹⁸ a qanivup ?a dusa qapu]oan / ini siqasi /
が 榿榔 其 二 株 不 所伐

2. tsoqo'al 骨, Mal. tulang, Kawi tahanan.
3. si-virits 其物を捨てる, 用具主. v-in-rits-an 捨てた處,
5 行. -in- 過去, -an 場處.
5. qo: <qau それで, そこで, 而して, すると.
mi-qatsa 大きくなる, qatsa 大きい.
san-sapil-in 腰掛を作るものにする, 客體主. san 作
る, sapil 尻の下に敷く小さな臺, 尻すけ, 9 行.
8. si-pitsuju 燃す爲の物, 用具主, 薪.
12. mar-valau 互に配偶者となつてゐる者, valau 配偶
者.

骨であつた。それでその女は怒つて、
お菜を捨てた。見ると、其の捨てた處
に松の木が生えた。松の木は大きく
なつたので、腰掛に作つた。夫が腰を
掛けると、安定して動かない。女が腰
をかけると、ぐらぐら動いたので、女は
怒つて、その腰掛を薪にして焚いた。

3. 愚な夫

昔夫婦の者がゐて、男の子があつた。
而して、その母は[子を]負つてゐた。母
は[薪を採りに行け]と父にいつた。「よ
し、私は薪を採りに行かう」と父が言つ
て、長い繩を持つて、薪を採りに行つた。
すると、榿榔の木が二株あつた。[父は]
伐らないで、繩で縛つて擔いだが、併し

si-tsoaj-an 久しい以前の時, tsoai 久しい, si- 過去
~ si-pida 何時頃, 過去, -an 時 ~ qo]al-an 雨の時,
雨天.
14. ?i-kasiu <*ki-kasiu 木を探る, ?in-i-kasiu <*k-in-i-
kasiu 探つた木. 151頁, 4 行. kasiu 木, IN. kayu <
kahiu (?).
16. ta <toa ...な.
tsajis 繩, IN. tali <*talih (?).
17. [a]o]o]o]q <*[a]o-[a]o]o]q 甚長い, [a]o]o]o]q 長い.
18. qapu]o-an 根元の處, qapu]u 根元.
siqas-i 其物を伐る, 客體主. s-im-iqas 主體主.

- ¹ vipicin toa tsajis sa vatsaqei / la'oa ini
所縛 以 繩 而 所縛 併 不
- ² pakakatsu / qau ini katsui ?a kasiu / vaik
能持行 そこで 不 所持行 は 薪 行
- ³ a cumaq / qau sa cumal toa valau / "[iau
其 家 そこで 而 告 に 妻 多
- aravats ?a ?u ?inikasiu / ini pakakatsu
甚 が 我の 所採之薪 不 能持來
- ⁵ a'in / vaiku ?a ma]ap" / ajain ?a valau ?a
我は 行け 其 取 所言 は 配偶 其
- ⁶ vavajan /
女
- ⁷ qau pazazikazikacin noa vavajan /
そこで 繰返し言置く所 の 女
- ⁸ "aitsu a kidikidi / [alau-aga toa zalum /
此の 其 子供 沸せよな 水
- ⁹ sa papavanavi-aga / sa supui-aga ?a
而 所使浴 ぞ 而 所敷 ぞ は
- ¹⁰ jorekuku" ajain na valau ?a oqalai / qau
難 所言の 妻 は 夫 そこで
- ¹¹ ?a valau ?a vavajan sa vaik ?ikasiu / qau
は 配偶 其 女 而 行 探薪 すると
- ¹² ?a oqalai ?a valau [alain ?a zalum ?a
は 男 其 配偶 所沸 は 水 其
- ¹³ papinatuk / sa pata]ajin ?a kidikidi /
使沸騰 而 所使入 は 子供
- ¹⁴ navupistr-aga ?a azoa kidikidi ?a na-
既に出席 了 は 其の 子供 其
- ¹⁵ matsaj-aga / qau azoa valau ?a oqalai /
既死 了 すると 其の 配偶は 其 男
- ¹⁶ "masa]usa]u ?a kidikidi ?a ?u papavana-
甚喜 は 子供 其 我の 所使浴者
- ¹⁷ van" ajaja / ma]uva]uva toa namatsaj-aga
といひつつ 甚喜 な 既死 了
- ¹⁸ ?a kidikidi / qau pakanan ?a jorekuku
其 子供 そこで 使食餌 は 難
- ¹⁹ uta / sa jamoeqi / sa pinipinidi ?a [eqoc: /
又 而 所捕 而 所捉 は 頸

[重いので]持つて行けない。それで木
は持つて行かないで、家に歸つた。而
して妻に「私の採つた木は大變多くて、
持ちきれないから、取りに行け」といつ
た。

そこで妻は[出がけに]此の子供は、湯
を沸して、洗つてやれ。而して難を敷
へておけ」と繰返し繰返し夫に言置い
て、妻は薪を採りに行つた。そこで夫
は熱湯を沸した。而して子供を中に
入れると、その子供は齒をむき出して
死んでしまった。すると夫は、「私が浴
せてやつたので、子供は喜んでゐる」と
いひつつ、死んだ子供の爲めに喜んで
ゐた。それから又、難に餌をやると、捕
へて頸を振つて、壁に掛けた。

1. vipic-in 客體主, v-in-ipc 主體主.
vatsaq-ei 材木など一人で擔ぐ, 客體主, v-in-atsaq 主
體主.
4. paka-katsu 持運ぶことが出来る, paka-出来る, 能ふ.
7. pa-za-zika-zikac-in 注意する様に繰返し言置く, 客體
主, 夫. pa-za-zikac 指圖する, 注意する.
8. [ala-u 沸せ, 主體主, 泳, [-im-ala 沸す, 主體主, [-in-ala
沸した物, [ala-in 沸す, 客體主, 12 行.
9. pa-pavanav-i 浴せてやれ, 命令, 位置主. pa-pavanav-

an 浴せる, 位置主, 16 行. p-in-a-pavanav-an 浴せた
物, 位置主, 152 頁, 10 行. ma-vanau 浴る, 主體主.
supu-i 其物を敷へよ, 客體主, s-im-upu 敷へる, 主體
主, s-in-upu 敷へた物, 客體主, 152 頁, 5 行.
13. pa-pinatuk 沸騰させる, minatuk 沸騰する.
pa-ta]aj-in 其物を中に入れる, 客體主, ta]aj 中.
18. pa-kan-an 其物に食はせる, 位置主. pa-kan 主體主.
IN. pa-kan.
19. [eqoc: <*[eqoc] 頸, Mal. libér.

- 1 qau sa ki[ajan pi coa jilip /
そこで而 所掛 に 處 壁
- 2 qau azoa vavajan vaik ?a ma[ap toa
そこで其の 女は 行 其 取 を
- 3 ?inikasiu / manu ini ?a kasiu / qapu[u noa
採った薪 ところが非 共 薪 根 の
- 4 qanivup / qau tsimiki[?a cuma[azoa
林郎 そこで 歸 其 内 其の
- 5 vavajan / "su sinupu-apa ?a jorekuku"
女は 汝の 所敷 了は 雞
- 6 ajain ?a ?ivadaq ?a valau ?a oqalai /
所言 其 問 は 配偶 其 男
- 7 "sinupu-apa azoa / ?u siniki[ai" ajain /
所敷 了 あれた 我の 所掛 所言
- 8 qoencan noa vavajan / namatsaj-apa ?a
所見 の 女 既死 了は
- 9 jorekuku ?a pinulat / [imutsiq aravats
雞 其 皆 怒 其
- 10 ?a vavajan / qau ?ivadaqan uta / "pina-
は 女 そこで 所問 又 所
- 11 pavanavan-apa ?a kidikiqi" ajain ?a
使浴 了 は 子供 所言 其
- 12 ?ivadaq / "ui ?u pinapavanavan-apa / ma-
問 然 我の 所使浴 了
- 13 sa[u aravats jimilijiji ?a naqoemiriq /
喜 其 笑ひながら 其 既寝
- 14 aja toa namatsaj-apa / vaikin ?a ?eqoenic
といふな 既死 了 所行 其 見
- 15 noa vavajan / mintu? namatsaj-apa /
の 女 見ると 既死 了
- 16 povarop aravats azoa vavajan qoemaop-
悲 甚 其の 女は 泣
- 17 apa / qau ?ilavaran ?a oqalai / "aqo qoe-
了 そこで 言 は 男 何故
- 18 maop sun ?a paqti[in / ?a jimilijiji
泣 汝は 其 無間に 其 笑つてゐる
- 19 ?a kidikiqi" / ?ilavaran ?a vavajan / "aja
は 子供 言 は 女 さういふ
- 20 icin toa namatsaj-apa" aja / qau sa qaop-
我等 な 既死 了 といふ そこで而 泣
- 21 apa azoa vavajan /
了 其の 女は

1. ki[aj-an 其物を持って行つて掛ける、其物を用ゐて掛けることとする、用具主、s-in-i-ki[ai 同上掛けた物、7行、-an, si- 用具を表はす、
pi coa …の處に…する、他動詞の時は pi を用ゐる、自動

妻は[夫の]採った薪を取りに行つた。
ところが薪ではなくて樺榔の根であつた。そこで、その妻は家へ歸つた。
[お前は雞を敷へたか]といつて、夫に問うた。[夫は]敷へたよ。それは私が掛けておいた。あそこに、あれだ]といふ。
妻が見ると、雞は皆死んでゐるので、大變に怒つた。そこで又、[子供に湯を浴させたか]といつて問うた。[おい、私が浴せてやつた。[子供は]大變喜んで、笑ひながら寝てゐるよ]と死んでゐるのをさういつた。妻は行つて見た。見ると死んでしまつてゐる。妻は大變悲んで泣いた。そこで夫は妻に[汝は、何故無間に泣くのか、子供は笑つてゐるではないか]といつた。妻は[そんな事があるものか、死んでしまつてゐるの]に]といつて泣いた。

詞の時は i を用ゐる。
8. qoenc-an 其物、又其處を見る、位置主、?e-qoenic <ki-qoenic 見る、自分で見る、主體主。
14. vaik-in 其物に向つて行く、客體主。

- 1 qau tsoaj-apa / "a[apu toa titau atoa
そこで久 了 取れ を 雞 と
- 2 pupki" / ajain ?a oqalai / qau vaik ?a
塵取 所言 は 男 すると 行 其
- 3 ma[ap toa titau atoa pi[ki / sa vaik
取 を 雞 と 塵取 而 行
- 4 tiamaju ?a sma tsimtsimil / qau "ka[liu
彼等は 其 赴 雜木林 すると 掘れ
- 5 tsua imaza" ajain / ka[lin noa oqalai / qau
此の 此處 所言 所掘 の 男 そこで
- 6 sa more tsivilin azoa kidikiqi / manu
而 將 所埋 其の 子供は ところが
- 7 magarap ?a oqalai / "aqo tsivilin ?a
怒 は 男 何故 所埋 其
- 8 paqti[in / ?a masa[usa]u ?a jimilijiji ?a
妾に 其 喜んでゐる 其 笑つてゐる は
- 9 kidikiqi" / "namatsaj-apa" ajain noa
子供 既死 了 所言 の
- 10 vavajan / qau tsivilin-apa nimaju /
女 そこで 所埋 了 彼の
- 11 qau sa tu[ui-apa azoa oqalai / "no
そこで而 所敷 了 其 男は 時
- 12 mapuvarovarop ?a ca sa[asa]aj / no qoe-
心配してゐる が 我等の 仲間 時
- 13 maqoqop / ca pusa[ajan ?a mapuvarop /
泣いてゐる 我等の 所共同 其 悲
- 14 ?a qoemaop / sa ?anapa[?q" / qau tsoatsoaj-
其 泣 而 良 そこで 久
- 15 apa mano uzaj-a pakaikaiv / qau vaik a
了 或時 有 が 結婚式 そこで 行 其
- 16 ?eqoepu tiamaju / mano qoemaop azoa pi-
集會 彼等は ところが 泣 其の
- 17 nakaivan ?a vavajan / mintu? qoemaop
所婚了 其 女 見ると 泣
- 18 uta azoa oqalai / qau ?erevoan noa valau
又 其の 男は そこで 所叱 の 配偶
- 19 ?a vavajan / "aqo qoemaop sun ?a pa-
其 女 何故 泣 汝は 其
- 20 qti[in" ajain / "no qoemaqoqop ?a
妾に 所言 時 泣いてゐる が

暫くして[妻は]雞と塵取を取りに行け]と夫にいつたので[夫は]雞と塵取を取りに行つた。而して、彼等は雜木林へ行つた。すると妻が[此處を掘れ]といふので、夫が掘つた。そこで妻は、その子供を葬らうとした。男は忽ち怒つて[喜んで笑つてゐる子供を、何故無間に葬るか]といふと、妻は[死んでしまつたのだから]といつて葬つた。
或時[妻は]、その夫に敷へて[我々の仲間が心配してゐる時、[又は]泣いてゐる時などは、我々は同情して、共に悲しみ、[又]泣くのが好いのだ]といつた。すると其後、丁度結婚式があつた。彼等は行つて、集りに加はつた。その時花嫁が[親に別れるのを悲んで]泣いた。すると、その男も亦泣いた。それで妻は、[何故汝は無間に泣くか]といつて叱つた。[他の人が泣いてゐる時は、我々も

1. titau 雞、<臺灣語、鵝頭 (thi-thau), 156頁、註2。
2. pupki 塵取、<臺灣語、糞箕 (pun-ki)。
4. tsim-tsimil 山、雜木林、原意、草の多い處、tsimil 草、ka[li-u 掘れ、主體主、命令、ka[li-in 物を掘る、客體主、5行、si-ka[li 掘る具、155頁、17行、Mal. mēng-gali 掘る、Ilok. kali-en. 物を掘る、客體主。
11. tu[ui-i 其人に敷へる、位置主、t-im-u[ui 主體主。
12. ca- 我等お互の、IN. ta.

13. pu-sa[aj-an 其人の爲に共同する、用具主、pu-sa[aj 共同する、主體主、154頁、1行、sa[sa]aj 仲間の人々、12行。
16. ?e-qoepu <?ki-qoepu 自分で集る ~q-ocm-ipu 集める。
15. pakaiv-kaiv 互に結婚する、p-in-akaiv-an 結婚した者、16行 <pakaiv 結婚。
18. ?e-revo-an 叱を被る者、位置主、?e-revo <?ki-revo 怒る、叱る、154頁、2行。

- ¹ qa[eqa]li / qoemaog icin ?a pusa[aj] aja
他人 泣 我等は其 共同 といふ
- ² sun / aqo ?erevo sun ?a paqti[lin] ajain
汝は 何故 叱 汝は 其 妻に 所言
- ³ ?a vavajan / qau kiman ta tsipil / no
は 妻 そこで 食 を 午食 時
- ⁴ palitikutikuin / pulapulatin ?a jimamai
所置下 悉皆…する所 其 掘
- ⁵ noa oqalai / qau masiaq azoa vavajan
の 男 そこで 駈 其の 妻は
- ⁶ "maja jimamai aravats / ?u qajajai ?a
勿 掘 其 我の 所結紐 は
- ⁷ su [ima / no ?u tsid[tsid]in jamaju" ajain /
汝の手 時 我の 所引 掘の 所言
- ⁸ nu tsoaj-apa ini tsid[tsid]i / "aqo ini-apa
てし 久 了 不 所引 何故 不のた
- ⁹ su tsid[tsid]i" aja ?a oqalai / mano
汝の 所引 といふ は 男 丁度
- ¹⁰ cima[ja] tidiq / sa paqaqoluts ?a vato /
入 間 而 互に喧嘩 が 犬
- ¹¹ qau matsid[tsid] ?a [ima / calaulau anan
そこで 所引 は 手 より早 尙
- ¹² ?a jimamai / qau pulatin-apa ?a jamai /
其 掘 すると 所盡 了 は 馳走
- ¹³ nika-apa no sijamai noa qa[eqa]li /
無 了も 馳走 の 他人

一緒に泣くものだと、汝はいつちや
ないか。汝は何故無闇に叱るか」と女
にいった。その時(又)午食を食った。
馳走が出て、下に置かれるや否や、夫は
撮んで、皆食ってしまった。そこで、妻
は恥ぢて、「餘りさう馳走を撮むな、私が
汝の手に紐を括りつけておく(から)、私
が引ばつた時に、馳走を撮め」といった。
暫くしても引ばらないから、「何故汝は
引ばらないか」と男がいった。丁度そ
の時、犬が二人の間にはひつて、咬合し
た。すると(其の爲)手(の紐)が引ばられ
たので、「男は合圖だと思つて、早速馳走
を撮んで、食ってしまった。それで、他
の客の分までも無くなつてしまった。

4. mar?kaka
兄弟

- ¹⁴ uzai a ma[usa] ?a mar?kaka ?a sitsoaj-
有 が 二人 其 兄弟 其 昔
- ¹⁵ an / ?ilavaran ?a kaka calalak / "uzai a
言 が 兄弟 年少 有 が
- ²⁰ ja[alap] i katsasavan / ?u [ilip] / no ca
榕樹 に 庭 我の 庭 時 我等の

4. 兄 弟

昔二人の兄弟があつた。弟が兄に
向つて「庭に榕樹がある。[その木蔭は]
私の涼む處だ。我々が[木を]動かすと、

1. qa[eqa]li <qa[eqa]li 他人、人々、qali 男の友人。
4. pali-tiku-tiku-in 其物を下し置く、客體主、tiku 下、
反覆は、下に置くや否や直ちにの意あり。
pula-pulat-in 悉皆…する、客體主、反覆は意強し。
pulat-in 同上、12行。ma-pulat 皆の者。
6. qajaj-ai 結附ける處にしよう、位置主、手、-ai 現實未
來、位置主。
7. tsid[tsid]-in 其物をちくりちくりと引張る、一般現在、

客體主、tsid[tsid]-i 同上、現實現在、客體主、8行。
ma-tsid[tsid] 自然に引張られる、11行。
13. si-jamai お菜として用ゐる物、jamai お菜、si- 用具
主の接頭辭、材料。
19. calalak <ca-ala-alak 年少、ca-…より、尙、alak 子。
20. ka-tsasav-an 庭、tsasau 外。

- ¹ rigrigin macani ?a valicoq / ?asi vavau
所掘 落 が 銀 から 上
- ² toa ja[alap] / kaka" / ajain ?a cavu[up] /
の 榕樹 兄よ 所言 は 兄
- ³ qau no maitazoa vaik-apa-in ?ililip / sa
そこで若 如其 行 よ 我は 自涼 面
- ⁴ ?u rigrigi apa / ula a?in povalicoq" / aja
我の 所掘 了 或 我は 得銀 といふ
- ⁵ ?a kaka ?a cavu[up] / qau ini ?a tsoatsoai /
が 兄弟 其 年長 そこで不 其 久
- ⁶ vaik azoa kaka ?a cavu[up] ?a ?ililip / sa
行 其の 兄弟は 其 年長 其 自涼 面
- ⁷ rigrigi / mano macani ?a mar?a qacuvi
所掘 ところが 落 が や 蛇
- ⁸ mar?a qacu[al] mar?a qatsilai / qau [imu-
や 蚯蚓 や 石 そこで 怒
- ⁹ tsip azoa kaka ?a cavu[up] / more siqasin
其の 兄弟は 其 年長 將 所斬
- ¹⁰ ?a kaka ?a calalak / qau ?ilavaran ?a kaka
は 兄弟 其 年少 すると 言 は 兄弟
- ¹¹ ?a calalak / "no ini su ?asa[u] / tia?in-aj-
其 年少 若不 汝の 所信 我こそ
- ¹² a rimigrig" / qau rigrigin nimaju / min-
其 掘 そこで 所掘 彼の 見る
- ¹³ to? macani ?a valicoq mar?a sitopan / qau
と 落 が 銀 や 反物 そこで
- ¹⁴ masa[u] apa ?a kaka ?a cavu[up] /
信 了 は 兄弟 其 年長
- ¹⁵ ?ilavaran anan uta azoa kaka ?a cala-
尙 又 其の 兄弟は 其 年
- ¹⁶ lak / "uzai a nia?in ?a titau ?a bu[abulai] /
少 有 が 我の物 其 銀 其 上等
- ¹⁷ nu ca sika[li] toa qeipo / likatsawan ?a
若 我等の 掘具 を 土 所出現 は
- ¹⁸ sauzajan" / ajain ?a kaka cavu[up] / ?ila-
寶 所言 は 兄弟 年長
- ¹⁹ varan ?a kaka ?a cavu[up] / "nu maitazoa
言 は 兄弟 其 年長 若 如其
- ²⁰ pasijami a?in toa nisun a titau" / aja ?a
所貸 我は を 汝の物 其 銀 といふが

榕樹の上から、お金が落ちて来るよ、兄
さんと兄にいった。すると兄は、「其な
ら、私も涼みに行つて動かさう。した
ら、私は金持になるにちがひない」とい
ふ。間もなく、兄は涼みに行つて「木を」
動かした。すると、蛇や蚯蚓や、石など
が落ちて来たので、兄は怒つて弟を斬
らうとした。すると弟は、「汝が信じな
いなら、私が動かさう」といつて動かし
た。見ると、お金や、反物やが落ちて来
たので、兄は信じた。

弟は又兄に「私によい銀がある。我
々が此で土を掘つたら、寶物が出る」と
いった。兄は、「其なら、汝の銀を私に貸
せ」といふ。兄は貸してもらつて、其の
銀で土を掘つた。併し掘つてみたら、
石と木ばかりだつた。兄は怒つて、そ

1. rigrig-in 其物を掘り動かす、一般現在、客體主、rigri-
g-i 同上、現實現在、客體主、4行。r-im-igrig 主體主、
12行。
3. ?ililip <*ki-ililip 自分で勝手に休む、ililip 庭、154頁、
20行。
4. po-valicoq 銀を得る、valicoq 銀、貨幣。
11. ti-a?in ai ?a r-im-igrig 私か動かす、私こそ動かす者。

ai 比、Tag. ai。
13. sitopan <*si-itop-an 衣を作る爲の物、反物、itop 衣、
16. ni-a?in 私のもの、ni-sun 汝のもの、20行。
20. pa-sijam-i a?in 私は貸してもらふ人ぞ、位置主、命令、
pasijam-an 其物を貸してもらふ、用具主、156頁、14行。
pa-sijam 貸す ~ ?i-sijam <*ki-sijam 借りる。

- ¹ kaka ?a cavu[up] / qau pasijaman / sa
兄弟 其 年長 ところで 所貸 而
- ² titavan noa kaka ?a cavu[up] toa qeipo /
所備 の 兄弟 其 年長 な 土
- ³ la?oa nu timitau qatšilai atoa kasiu
併 時 掘 石 と 木
- ⁴ sa?amaja / qau [imutsip] azoa kaka /
只 ところで 怒 其の 兄弟は
- ⁵ sivrirs azoa titau / qau [imutsip] azoa
所捨 其の 糞は すると 怒 其の
- ⁶ kaka ?a calalak uta / ini apa parqaqei-
兄弟は 其 年少 亦 不 了 互に
- ⁷ vuivu tiamaju /
話 彼等は
- ⁸ uzaj-a qadau ma[ap] azoa kaka ?a
有 が 日 取 其の 兄弟は 其
- ⁹ calalak toa laugiu sa kani / sa vaik a
年少 な 糞 而 所食 而 行 其
- ¹⁰ sma coa mazazapilan sa qœcuc / manu
赴 處 頭目 而 放屁 ところが
- ¹¹ simqo azoa mazazapilan / manu pa?a-
嗅 其の 頭目は ところが 感
- ¹² pulipul aravats ?a mazazapilan / qau pa-
芳 其 は 頭目 ところで
- ¹³ vajan toa valicoq mar?a [ami] / mano
所興 な 銀 や 食料 ところが
- ¹⁴ [imadipa] ?a kaka ?a cavu[up] / to naki-
聞 が 兄弟 其 年長 其を 既
- ¹⁵ man toa laugiu sa qœcuc / qau ?ipavajan
食 な 糞 而 放屁 ところで 所食
- ¹⁶ apa timaju toa valicoq / aja [inadipan] /
了 彼は な 銀 如此 所聞
- ¹⁷ "napa? q a vaik a?in ?a tsimakau toa
好 は 行 我は 其 糞 な
- ¹⁸ laugiu sa ?u kani / sa ?u vaik ?a qœ-
糞 而 我の 所食 而 我の 行 其
- ¹⁹ micuc toa mazazapilan / i?in ?a pavai
放屁 於 頭目家 或は…する所 其 興
- ²⁰ apa toa valicoq noa mazazapilan" / aja
だらうな 銀 の 頭目 と思

2. titav-an 糞で掘る。用具主。賓。t-im-itaui 同上。主體主。3行。titau 糞。153頁。註1。
6. par-qaqei-ivu 互に呼びあふ。q-œm-aequiu 呼ぶ。
9. laugiu 糞。〈臺灣語。糞 (lo-gio)〉。
10. qœcuc 屁。q-œm-icuc 放屁する。18行。比。Mal. tœr-kentut 放屁。

の糞を捨てた。すると弟も亦怒つて、
彼等は互に話をしないやうになつ
た。

或日、其弟は糞を取つて食つた。而
して、頭目の處へ行つて屁を放つた。
ところが、頭目は其を嗅ぐや否や、大變
芳しく感じたので、それでお金や食料
などを興へた。すると、彼が糞を食つ
て屁を放つたので、お金を貰つたこと
を、兄が聞いた。そこで(兄は)「私は糞を
盗みに行つて、食つてやらう。而して、
頭目の處へいつて、放屁しよう。(した
ら)頭目が金を呉れるかも知れぬ」と彼
は思つた。そこで、糞を盗んで食つた。
而して、頭目の内へいつて、屁を放つた。
すると、大變臭かつたので、頭目は怒つ

12. pavai-an 其人に興へる。買ふ人。位置主。?ipavai-an 自分が買ふ人になる。15行。
16. [in-adipa-n] <[in-adipa-n] 聞いた事。客體主。[in-adipa] 聞く。主體主。14行。
17. ts-im-akau 盗む。主體主。IN. t-um-akau。

- ¹ timaju / qau vaik a tsimakau toa laugiu
彼は ところで 行 其 糞 な 糞
- ² sa kani / sa vaik a qœmicuc toa ma-
而 所食 而 行 其 放屁 に
- ³ zaza[apilan] / manu qapsi[aravats / qau
頭目 ところが 興 其 ところで
- ⁴ [imutsip] ?a mazazapilan / siqasin-apa
怒 が 頭目 所斬殺了
- ⁵ azoa kaka ?a cavu[up] /
其の 兄弟は 其 年長

て、その兄を斬殺した。

5. ti sapulalujalujan ati
サブラルヤルヤン と

sasimida[up]
サシミダ

- ⁹ uzai a sitsoajan ti sapulalujalujan /
有 其 昔 は サブラルヤルヤン
- ¹⁰ navaik a ?isiqas to sicoavudat / nakuja
既行 其 攻 な チョアグダス社人 怒
- ¹¹ aravats ?a sikudan noa sicoavudat ?a
其 は 行爲 の チョアグダス 其
- ¹² tsautsau / tsug ?a tsimakau / mar?a si-
人 よく 其 糞 或
- ¹³ miqas toa tsautsau / qau [imutsip] ti
斬 を 人 ところで 怒 は
- ¹⁴ sapulalujalujan mirava / sa vaik ?a ?isi-
サブラルヤルヤン 準備 而 行 其 攻
- ¹⁵ qas toa sicoavudat / qau jimalun i coa
な チョアグダス ところで 到 へ 處
- ¹⁶ qenalan noa sicoavudat / ?isiqasan ni
社 の チョアグダス 所攻 の
- ¹⁷ sapulalujalujan ?a sicoavudat ?a [ima] ?a
サブラルヤルヤン は チョアグダス 其 五 は
- ¹⁸ qadau / la?oa matsijil ti sapulalujalujan /
日 併 一人 は サブラルヤルヤン
- ¹⁹ corovo ?a sicoavudat / qau ini va[] ti
大勢 は チョアグダス ところで 不 勝 は
- ²⁰ sapulalujalujan / qœtsiin apa noa sicoa-
サブラルヤルヤン 所殺 了 の チョア
- ²¹ vudat / qau sa tsi[] ujuj apa toa kavajan
グダス ところで 而 所突刺 了 に 刺竹

5. サブラルヤルヤンと

サシミダ

昔サブラルヤルヤンといふ人が居
て、チョアグダス社へ行つて、社の人を
攻めた。チョアグダス社の人風習
は大へん悪くて、よく盗をしたり、人を
殺したりした。それでサブラルヤル
ヤンは怒つて、支度をして、チョアグダ
ス社の人を攻めに行つた。するとチ
ョアグダスの蕃社へ着いた。チョア
グダス社の人、五日間サブラルヤル
ヤンに攻められた。併しサブラルヤ
ルヤンは一人、チョアグダス社の人、
大勢であつたので、サブラルヤルヤン
は負けて、チョアグダス社の人に殺さ

7. ti 固有人名。及び人名詞の冠詞。…といふ者などの意。IN. si.
10. ?isiqas 自分から斬かる。攻撃する。?isiqas-an 攻める所。位置主。16行。?i-koan 此方から鉄を打かける。158頁。9行。?i-koan-i 同上。客體主。158頁。18行。si-coavudat si- は社名。種族名に冠して所属の人を示す。si-paiwan パイワン人。si-kuskus クスクス社の人。
11. sikudan <?si-kuda-an 行。習慣用具主。原意。如何するか其の方法といふ意。<kuda 如何。
17. qadau 大勢。Tag. arau.
21. tsi[]uju-i 客體主。ts-im-i[]uju 主體主。159頁。註2。

- ¹ ?a qo[u] atoa tsoqo[al] /
は 首 と 骨
- ² manu uzai a alak ni sapulalujalujan /
ところが 有 が 子 の サブラルヤルヤン
- ³ ti sasimida[u] ?a padan / qau miqatsa
サシミダール 其 名 すると 成長
- ⁴ azoa ?ivadaq toa kina / "tima ?u kama
彼は 同 に 母 誰 我の 父
- ⁵ ina / aqo nika ?u kama i cumaq" ajain
母よ 何故 不在 我の 父 に 内 所言
- ⁶ ?a kina / la?oa marikuc ?a kina ?a
は 母 併 悉 は 母 其
- ⁷ cimumal to qeintsi noa sicoavudas /
皆 な 所殺了 の チョアグダス
- ⁸ marikuc to vaik anan ?a ?ikoap toa
悉 な 行 再 其 打銃 な
- ⁹ sicoavudas / la?oa mano vaik a ?ivadaq
チョアグダス 併 ところが 行 其 同
- ¹⁰ toa qaleqali ti sasimida[u] / manu cuma-
に 他人 は サシミダール ところが 所
- ¹¹ lan noa qaleqali / qau kimilan-apa ti
皆 の 他人 そこで 知 了 は
- ¹² sasimida[u] / to qeintsi ?a kama noa
サシミダール な 所殺了 は 父 の
- ¹³ sicoavudas / "nu maitazoa vaik a?in ?a
チョアグダス 若 如其 行 我は 其
- ¹⁴ ?eqolis toa sicoavudas" aja kinimnim /
復仇 に チョアグダス と 考
- ¹⁵ qau ini cumal toa kina / vaik timaju ?a
そこで 不 皆 に 母 行 自分 其
- ¹⁶ sma coa qenalan noa sicoavudas / sa
社 處 社 の チョアグダス 而
- ¹⁷ ?ikoaji ?a sicoavudas /
所打銃 は チョアグダス
- ¹⁸ azoa ti sasimida[u] saigu aravats ?a
其 は サシミダール 巧 其 其
- ¹⁹ ?isiqas / qau ini-apa va[?]a ?a sicoavudas /
或 そこで 不 了 勝 は チョアグダス

1. qo[u] 腕, IN. ulu. Mal. hulu 上流, 山手, 柄頭.
4. padan 名, IN. ngaran.
8. q-ein-tsi <q-in-itsi 人の殺す所となつた者, 客體主, q-icem-itsi 殺す, 主體主.
11. cumal-an 其人に告げる, 位置主, c-im-umal 主體主.

れた。而してその首と骨とは、莉竹の
先)に突刺された。

ところが、サブラルヤルヤンの子に、

サシミダールといふ名の者があつた。

其の者が成長して、母に向つて、「私の父

さんは誰ですか、母さん、私の父さんは、

何故家に居ないのですか」と問うた。

併し母は、「父が」チョアグダス社の人に

殺されたことを告げるのを恐れた。

母はその子が、チョアグダスを再び〔銃

で打ちに行くのを恐れたのだ。併し

サシミダールは、他の人の處へ聞に行つ

た。すると、他の人が〔事實を〕告げたの

で、サシミダールは、父が チョアグダス社

の人に殺されたことを知つた。〔其な

ら私は行つて、チョアグダスに復讐し

てやらう〕と考へた。そこで、母には告

げず、自分で チョアグダス社へ行つて、

銃をうちかけた。

サシミダールは、攻めのるが上手だつ

たので、チョアグダス社の人勝たな

8行.
15. ?e-qolis <*ki-qolis 自分で仕返しする, ?e-qolis ?a q-
cem-itsi 復仇して殺す, ma-qolis 迷になつてゐる,
20. saigu 巧な, <臺灣語, 司阜 (sai-hu), 職人の意.

- ¹ qau jumakin ?a tsoqo[al] atoa qo[o] noa
そこで 所見附 は 骨 と 首 の
- ² kama / ?a sinipatsiluju toa kavajan / qau
父 其 所突刺物 に 莉竹 そこで
- ³ a[?]apin nimaju sa palitikoi / sa qoepoi
所取 彼の 而 所下 而 所集
- ⁴ ?a tsoqo[al] / qau sa ?isinai nimaju / "ku-
は 骨 そこで 而 所語 彼の 知
- ⁵ da mapatsatsaitsain ?a tsoqo[al] ni ama" /
何 連續 が 骨 の 父さん
- ⁶ qau mapatsatsaitsain ?a tsoqo[al] noa
すると 連續 骨 の
- ⁷ kama / "kuda pusiti ti ama" / pusiti ?a
父 如何 生肉 が 父さん 生肉 が
- ⁸ kama / "kuda ?ilavaran ti ama" / ?ilavaran
父 如何 發言 が 父さん 發言
- ⁹ ?a kama / qau mivalut-apa ?a kama /
が 父 そこで 再生 了 は 父
- ¹⁰ qau mirava-?a tiamaju / qau sa vaik-apa
そこで 準備 了 彼等は そこで 而 行 了
- ¹¹ cumaq /
家
- ¹² qau jimalun i gadigadi / pinanap ti
そこで 到着 に 山頂 勝鬨 は
- ¹³ sapulalujalujan / qau [imadipa] ?a icu-
サブラルヤルヤン すると 聞 が 在
- ¹⁴ maq / "aqo uzai azoa pinanap / mato: ti
家人 何故 有 彼の 勝鬨 様
- ¹⁵ sapulalujalujan" / aja ?a qaleqali / pina-
サブラルヤルヤン といふ が 他人 勝
- ¹⁶ nap uta ti sasimida[u] / qau [adipin] noa
聞 又は サシミダール すると 所聞 の
- ¹⁷ qaleqali / "aqo uzai azoa sinipinanap /
他人 何故 有 彼の 勝鬨の合圖
- ¹⁸ mato: ti sasimida[u]" aja ?a qaleqali / qau
様 サシミダール といふ が 他人 すると
- ¹⁹ vijivijilan-apa pinanap-apa tiamaju ?a
最後時 了 勝鬨 了 彼等は 其
- ²⁰ ma[?]usa / minto? sa [ipulan] noa qolivan-
二人 見ると 而 所圖 の 虹

かつた。〔サシミダールは〕父の骨と首と
が、莉竹に突きしてあるのを見附けた。
そこで、彼は〔其を〕取下して、骨を集めた。
而して自分で「父さんの骨が接合はさ
れたらよいのに」といつて語つた。す
ると、父の骨は接合はされた。「父さん
の肉が出来たらよいのに〔といふと〕、父
の肉が出来た。「父さんが物を言へば
よいのに〔といふと〕、父が物を言つた。
そこで父は生返つた。而して彼等は
支度をして、家へ歸つた。

山の絶頂へ着くと、サブラルヤルヤ
ンは勝鬨を擧げた。すると家の人が
聞附けて、「あの勝鬨は如何したのたら
う、サブラルヤルヤンの様だ」と人々が
いつた。サシミダールが又叫んだ。す
ると社の人々が聞いて、「あの勝鬨は如
何したのたらう、サシミダールの様だ」と
人々がいつた。そこで最後に、彼等二
人が叫んだ。見ると虹が五重になつ

2. s-in-i-patsiluju 持つて行つて突刺したの, 用具主,
首, tsiluju-i 其物を突刺す, 客體主, 157頁, 21行.
4. kuda 如何, 此處にては…したら如何だらう, …したら
よいのに, などの意.
5. ma-patsai-tsain 連續する様になる, patsain 糸など連
結する.
7. ama 自分の父, 父さん, 主格 ti, 屬格 ni 5行, kama 他

人の父, 一般の父, 第三者よりいふ, 主格 ?a 7行, 屬格
no-a 1行.
pu-siti 肉を得る, 肉を生ずる, siti 肉.
13. i-cumaq 家に居る人, cumaq 家内.
19. vijivijil-an 最後の時, vijil 行列又時間の最後.
20. [ipul-an 圍む處, 位置主, 二人, [im-igul 圍む, 主體主.

- ¹ rau to masani:mal / qau vaik tiamaju
の 五重 そこで 行 彼等は
て(彼等を)囲んでゐた。彼等(二人)は家
- ² ?a cumaq / jimalun tiamaju kamajan
共 家 到着 彼等は 其儘
へ歸つた。彼等は着いたが、虹はまだ
- ³ anan ?a qoliva:rau / qau ma:nciz ?a qa-
向 は 虹 そこで 来 が
其の儘だつた。そこで、人々が来て見
- ⁴ [eqa]i ?a ?eqenic / sa paka:uvai apa
他人 共 見 而 所歓迎 了
て、彼等二人を歓迎した。そこで、人々
- ⁵ tiamaju ?a ma:usa / qau zimian ?a qa-
彼等は 共 二人 そこで 踊 は
は十日間、踊つたり、酒を飲んだりした。
- ⁶ [eqa]i ?a tapu:loq ?a qadau / mar?a
他人 共 一十 は 日 或
而してサブラルヤルヤンとサシミダ
- ⁷ kivava / qau sa sanmazazajilani apa ti
飲酒 そこで 而 所成頭目 了 は
ルとは頭目になつた。
- ⁸ sapulalujalujan ati sasimida:u /
サブラルヤルヤン と サシミダ

6. cug[ui] atoa

チュグルイ鳥と

pa:pai

ガーガイ鳥

- ¹² izoa sitsoajan mar?alaalak ?a maci:u /
居 昔 親子 共 三人
昔、母一人、子二人の親子があつた。
- ¹³ uzai a alak noa kina ?a [umamad anan /
有 が 子 の 母 共 赤坊 向
一人の子はまだ赤坊であつた。それ
- ¹⁴ qau sipasival toa alak ?a calavu:uvu:uy-
そこで 所使負 を 子 は 最年長者
と長女に負はせて、母は薯を採りに行
- ¹⁵ an ?a vavajan / qau sa vaik a kina ?a
其 女 そこで 而 行 は 母 共
つた。
- ¹⁶ ?ivorasi /
探薯
ところが、しばらくすると、子供が泣
- ¹⁷ manu tsoaj-apa aravats qoemaon ?a
ところが 久 了 其 泣 が
き出したので、姉は母の處へつれて行
- ¹⁸ kidiki:di / qau katsuin nazoa cavu:uy ?a
子供 そこで 所作行 其の 年長者の 共
つた。而して姉は、坊やを取つて下さ
- ¹⁹ kaka pasa coa kina / qau ?ilavaran ?a
姉妹 方 處 母の そこで 言 は
い。[坊やが泣く]と母にいつた。併し
- ²⁰ alak ?a calavu:uvu:upan / "soa:apu ti
子 共 最年長者 所取去 は

1. ma-san-i-[ima]-l 五重になつてゐる。[ima 五, ma-san 成る, ma-san-i-ta]-l 一重になつてゐる, ita 一, i-[ima]-l の i- は i-ta の i- と同じか。
4. pa-ka:uva-i 歓迎なうける人, 客體主, ma:uva 喜ぶ。
6. ta-puroq 一十, Mal. sa-puloh.
7. ki-vava 酒を飲む, vava 酒, san-mazazajilan-i 頭目になる其人, mazazajilan 頭目, san 成る, -i 客體主。

- ¹ a:di ?a qoemaon" ajain ?a kina / la?oa
坊や 共 泣 所言 は 母 併
母は「も少し待て。私はもつと薯を採
- ² "galu anan / ?ivorasi anan-a?in" aja
待て 向 探薯 向 我は といふ
るから」といつた。子供は大へん泣い
- ³ kina / qoemaon aravats ?a kidiki:di / "so-
母は 泣 甚 は 子供
た。「坊やを取つて下さい」と、又母にい
- ⁴ a:apu ti a:di" ajain anan uta ?a kina /
所取去 は 坊や 所言 向 再 は 母
つた。併し、やはり取らない。それか
- ⁵ la?oa ini soa:api apata / qau kiman to
併 不 所取去 やはり そこで 食 を
ら[母は]午食を食つたが[子供には]食は
- ⁶ tsipil / ini pakani / qau ?isankuja azoa
午食 不 所使食 そこで 怒 其の
せないから、その子供はむつとして、鳥
- ⁷ kiki:di / vaik a sma qapaz / qau sa
子供は 行 共 赴 鳥糞 そこで 而
の縁へ行つた。そして、二人の羽を作
- ⁸ pidii ?a siala atoa ca:ikuval / to sanpa-
所製 は 負帯 と 方布 爲に 所作
る爲に、子を負ふ帯と方布(風呂敷の如
- ⁹ [alin niamaju ?a ma:usa / qau ?itsaqoan
翼 彼等の 共 二人 そこで 練習
きもの)とを引裂いて、飛ぶ稽古をした。
- ¹⁰ tiamaju ?a mi:ajap /
彼等は 共 飛
暫くして、母が様子を見に行くと、[彼
- ¹¹ qau tsoaj-apa aravats / vaikin ?a ka-
すると 久 了 其 所行 共
等は頻りに飛ぶ稽古をしてゐる。「何
- ¹² rem noa kina / minto? ?itsaqo:qoan ?a
妻 の 母 見ると 頻練習 共
故お前等はそんな真似をするか」と、母
- ¹³ mi:ajap / "aqo maitazo:zoa mun" / ajain
飛 何故 類如其 汝等は 所言
が子供にいつた。「而して」子供に、「家へ
- ¹⁴ noa kina ?a ?ilavaran ?a kiki:di / "vaik-
の 母 共 話 は 子供 歸
が子供にいつた。[而して]子供に、「家へ
- ¹⁵ u ?a cumaq" / ajain azoa kiki:di /
れ 共 内 所言 其の 子供は
歸れ」と言つた。併し[子供は]歸るのを
- ¹⁶ la?oa ini ?isa:u ?a vaik / "more masan
併 不 承諾 其 行 欲 成
承知しない。「我々は鳥にならうとし
- ¹⁷ qajaqajam amin" / aja ?ilavaran toa kina /
鳥 我等は と 言 に 母
てゐるのだ」と、母に言つた。すると、母
- ¹⁸ qau ?agarapan noa kina / mi:ajap ?a
そこで 所吐 の 母 飛 共
が叱つたので、[彼等は]飛んで山へ逃げ
- ¹⁹ mavilad ?a sma tsimtsimi: /
逃 共 赴 雞木林
て行つた。
- ²⁰ qau azoa kiki:di malavar tiamaju /
そこで 其の 子供は 相談 彼等は
そこで、その子供たちは相談して、兄

2. galu 仰つくりせよ, g-im-alu 仰つくりする。
6. ?i-san kuja 自分で悪くする, 機嫌を悪くする, s-im-an 作る。
7. ka-kiki-an 小さいもの, 子供, kiki 小さい。
8. pi:di-i 裂く, 客體主, p-in-di 主體主, san-pa[al]-in 其物を羽に作る, 客體主, pa[al] 翼, san 作る。
9. ?i-tsaqo-an 自分で巧な者にする, 練習する, ?i-tsaqo-

aqo-an 同上してゐる, 12 行, ma-tsaqo 巧な。
16. ?i-sa:u 承諾, 自分で許す, s-im-a[u] 人が許す。
17. qaja-qajam 小鳥, IN. ayam.
-amin 我等は(對話者を除く), 比, Tag. amin 我等の, IN. ami.
18. ?agarapan <*kagarapan 其人に怒を及ぼす, 位置主, magarapan 叱る, 主體主。

- 1 "tisun ?a [ajapu ?a ma?a ka?idip / tia?in
汝は 其 飛べ 其 通過 西方 我は
- 2 ?a ma?a maza a?in i katsudas" / ajain noa
其 通過 此處 我はへ 東 所言 の
- 3 cavu?u? ?a calalak / qau more mavadai
年長者 は 年少者 そこで 將 分離
- 4 apa tiamaju / macacukcuk / qau sa ?alavar
了 彼等は 聯合 そこで 而 相談
- 5 "nu mitsivun icin ula qo?aqo?asan apa"
時 出會 我等は 或は 生白髪者 了
- 6 aja tiamaju / qau mi?ajap apa tiamaju
といふ 彼等は そこで 飛 了 彼等は
- 7 ?a mavadai ?a ma?usa /
其 分離 は 二人
- 8 qau mitsivun tiamaju / ?a qo?aqo?as-
そこで 出會 彼等は 其 生白髪者
- 9 an apa tiamaju ?a qajaqajam / qau ma-
了 彼等は 其 鳥 そこで
- 10 lavar anan tiamaju uta / "tisun pa?pai
相談 尙 彼等は 又 汝は ガーガイ
- 11 ajaw-apa / tia?in cug?ui aja-?a a?in nu
といへよ 我は チュグルイといふよ 我は 時
- 12 zimaip" / ajain ?a calalak / avan si?a
啼 所言 は 年少者 其 理由
- 13 uzaj-apa noa cug?ui atoa pa?pai totsu /
有 了 の チュグルイ鳥と ガーガイ鳥 今日

7. maqenatsap ?a sqa?u
出草 が 猪勝東人

- 17 ?a sitsoajan masipats ?a sipu?udan ?a
其 昔 嫌 が 外加芝來人 其
- 18 vaik a paikinoril toa sqa?u / manu
行 共 典乾内 へ 猪勝東人 ところが
- 19 [imutsip ?a sqa?u mirava / sa vaik a sma
怒 が 猪勝東人 準備 而 行 共 赴
- 20 pu?udan ?a maqenatsap /
外加芝來社 其 出草

1. ka?idip 日の入る方, 西. ma?idip 日が入る。
2. katsudas 日の出る方, 東. ts-im-udas 日が出る。
3. ma-vadai 互に別れる, ?i-vadai 自分で別れる, 一方が
別れ去る。
5. qo?a-qo?as-an 白髪が多く有る者, qo?as 白髪。

が汝は西の方を通つて飛べ、私は東の
方の此方を通る、と弟に言つた。而し
て、彼等は分れようとする時、互に嘴を
啄きあつて、我々が此の次出會ふとき
は、白髪になつてゐるだらう、と彼等は
話合つた。而して、二人は分れて、飛ん
で行つてしまつた。

[其の後]彼等が出會つた時には、彼等
二匹の鳥は、もう白髪になつてゐた。
そこで彼等は、もう一度話し合つて、汝
はガーガイといつて啼け、私が啼く時
はチュグルイといはう、と[兄が]弟にい
つた。今日チュグルイと、ガーガイと
いふ鳥のあるのは、さういふ譯である。

7. 猪勝東社人の出草

昔、外加芝來社の人々が[蕃租として納
めるべき山脈の]乾肉を、猪勝東社へ納
めに行くのを意つた[事があつた]。そ
こで猪勝東は怒つて、準備して、外加芝
來へ出草に出掛けた。

11. ajaw-apa <aja-u apa ...といへよ, aja ...といふ, -u
命令, 主體主。
18. pai-k-in-oril k-in-oril 乾した物, 客體主, k-im-oril 乾
す, 主體主。

- 1 jimalun tiamaju / ?e?eila i pasu?au-
到着 彼等は 隱 に 下方
- 2 [auz / ?a narimaon toa sipu?udan / manu
處 其 既待伏 を 外加芝來人 ところが
- 3 lip?ipan ?a bu?abu?ai ?a vavajan / qau
所見 は 美人 其 女 すると
- 4 macacumacumal tiamaju / to zau a bu?a-
互に告 彼等は ことを 居 が 美
- 5 bu?ai ?a vavajan / qau malavar tiamaju /
人 其 女 そこで 相談 彼等は
- 6 "ja?i maja-?a qoemtsi ?a sipu?udan /
もう宜しい 勿よ 殺 は 外加芝來人
- 7 napaq a vaik icin ?a ?ivapa?an tazoa
良 が 行 我等は 其 遊 彼の
- 8 bu?abu?ai ?a vavajan" aja tiamaju / qau
美人と 其 女 といふ 彼等は そこで
- 9 soa?apin ?a cakit / sa ki?ajan toa ja?alal
所取去 は 刀 而 所掛 に 榕樹
- 10 i tsasau / mavukuts ?a ja?alal / toa
在 外 曲 は 榕樹 爲
- 11 inajiau noa cakit / qau sa vaik tiamaju
多き の 刀 そこで 而 行 彼等は
- 12 ?a ?ivapa?an ?a sma coa bu?abu?ai ?a
其 遊 其 赴 處 美人 其
- 13 vavajan / qau sa pakaivi apa azoa bu?a-
女 そこで 而 所娶 了 其の 美
- 14 bu?ai ?a vavajan /
人は 其 女
- 15 manu jimalun i qa?u sa more ?isu-
ところが 到 へ 猪勝東 而 將 交
- 16 juan / manu nika no nimaju uzai a
時 ところが 無 の 彼の物 有 が
- 17 iku: / qau "kudain apa tsu / ?a nika no
尾 ところで 所知何 だらう 此は 其 無 の
- 18 nimaju" aja sqa?u / manu jimalun toa
彼の物 といふ 猪勝東人 ところが 到 に
- 19 si?apu?uan noa vato / minto? uzaj-apa ?a
交尾期 の 犬 見ると 有 了 が
- 20 nimaju / sa ?ivadaqe apa azoa vavajan /
彼の物 而 所問 了 其の 女は
- 21 to tima kama / to tima kina / qau
ことを 誰 父は ことを 誰 母は すると

彼等が[社へ]着くと、家の前庭の下の
處に隠れて、外加芝來人[の出て來るの]
を待伏せしてゐた。すると[一人の]美
しい女が目についたので、彼等は美し
い女の居ることを、互に知らせた。而
して、彼等は相談して、もうよい、外加芝
來人を殺すな。我々は、彼の美人の處
へ遊びに行かうではないか、といつた。
そこで、刀をはづして、外庭の榕樹に掛
けると、刀の多さで榕樹の枝が曲つた。
それから、彼等は美人の處へ遊びに行
つた。而して、[一人が]その美しい女を
妻にした。

[男は]猪勝東へ歸つて、[女と]交はらう
としたが、彼女の物(女陰)は無く、尾が
有つた。そこで、[此は如何したの]だら
う、彼女の物が無いと猪勝東の人がい
つた。丁度、犬の交尾期になると、突然
彼女の物が出來たので、女に向つて、[汝
の]父は誰か、母は誰かと問うた。する

1. ?e-?eila 自分で隠れる, q-?em-ila 隠す, 主體主。
pasu-?au-?auz 下の處, ~i-?auz 下流, 下手, IN, laud,
Mal, laut 海。
3. lip?ip-an 見る處, 見付ける物, 位置主, l-im-ip?ip 主體
主。
9. ki?aj-an 物を持つて行つて掛ける, 用具主, k-im-?aj
掛ける, 主體主。
15. ?i-suju-an 女と交る, 位置主, ?i-suju <*ki-suju 原意
は青年が思ふ女の處へ遊びに行く, -an 時を表はす
17. iku: <*iku 尾, IN, ikur。
19. si-?apu?u-an 或る理由の爲に[尻の]影響する時,
?apu?u <*kapu?u, mapu?u 腫物などはれる, si-
理由。

- ¹ cimupal azoa vavajan / "tsautsau ?a ?u
告 其の 女は 人 は 我の
- ² kina / vato ?a ?u-kama" aja cimupal /
母 犬 は 我の 父 といふ 告
- ³ qau nu poalak azoa vavajan / dusa dusa
そこで 時 生子 其の 女は 二人づつ
- ⁴ no poalak ?a kintal /
時 生 其 一回

8. mar djava ati sakidadau
女友 と サキダダウ

- ⁷ uzai a mar djava / ?a maisuisu i vavau
有 が 女友 其 粟掛いてあるで 上
- ⁸ toa qeinalivan / mano latiko aravats ?a
の 屋根 ところが 低 甚 は
- ⁹ ka luv luvan / saqcu aravats ?a qadau /
天 痛 甚 は 太陽
- ¹⁰ qau malavar azoa mar djava / "aqo saqcu
そこで 相談 其の 女友は 何故 痛
- ¹¹ aravats ?a qadau / paojan to ca tsiksik-
甚 は 太陽 所遠慮 其を 我等の 所突
- ¹² an toa qasi lu" aja matsijil / minto?
で 杵 といふ 一人 怒
- ¹³ sipa lut ?a tsimiksik / qau mavutsa-pa
所断行 共 突 すると 成首 了
- ¹⁴ ?a qadau ?a ita / avan-apa azoa qeilas /
は 太陽 共 一 其物 だ 彼の 月は
- ¹⁵ qau tsa lugsug apa ?a ka luv luvan ?a
すると ゴロゴロといふ 了 は 天 其
- ¹⁶ livavau /
上昇
- ¹⁷ manu zimaig ti sakidadau / qau ma-
或時 暗 が サキダダウ すると
- ¹⁸ rikuc ?a mar djava / qau mavi jad ?a mar-
恐 は 女友 そこで 逃 は
- ¹⁹ djava ?a sma pasa [ikuz toa vaqo / la'oa
女友 共 赴 方 後 の 粟 併
- ²⁰ [aipin ni sakidadau / sa jamiqei sa
所追掛 の サキダダウ 而 所捕 而

3. po-alak 子を生む, alak 子。
4. k-in-ta-l 一回に…したものを, ma-ka-ta-l 一回になる。
一度目, ta 一。
6. mar-djava 女の友達同士。
8. la-tiko 低い, tiko 下。
11. paoja-n <paoja-an 残念, 情しい, 氣の毒, 原意, 突くのは情しい氣の毒だが, 杵で突く物にしよう, paoja-n

とその女は、私の母は人で、私の父は犬
だ」と告げた。而してその女が子を
む時は、一回に二人づつ生んだ。

8. 女友とサキダダウ

女の仲間が居て、屋根の上で、粟を搗
いてゐた。折柄、天が大變低くて、太陽
が大變熱かつた。そこで、女の仲間は
話し合つて、「何故太陽が大變熱いのだ
らう。我々が、杵で突いたらどうであ
らう」と、一人がいつた。さういふなり、
本當に突いた。すると、一つの太陽は
盲になつた。あの月は即ち共だ。す
ると、天がゴロゴロと鳴つて上に上つ
た。

[暗くなつたので]サキダダウ(體に刺
のある人といふ)が鳴いた。すると、女
の仲間は怖れて、粟倉の後へ逃げた。
併しサキダダウは追掛けて行つて、捕

to maqiz to tsua qadau ?a ?o-qaji 今日私の友人
が来てよいの、そのままに過すのは情しいものだ。
比. p-in-aoja 憐れむ, 可愛相に思ふ, 氣の毒に思ふ。
tsiksik-an 突く, 客體主, ts-im-iktsik 主體主, 13 行。
12. qasi lu 杵, Tag. haio, Mal. alu。
13. si-pa lut 其物を用ゐて断行する, 用具主, 杵, p-in-a lut
主體主。

- ¹ patsasavi / qau ?ilavaran ti sakidadau /
所使出 そこで 言 は サキダダウ
- ² "qe[aju toa tataqan / ?u tsavujidau sun"
腰掛けよ に 砥石 我の 所體 汝は
- ³ aja ti sakidadau / "ini: markuc a'in toa
といふは サキダダウ 否 恐 我は な
- ⁴ su juti" aja azoa vavajan / la'oa pitsi-
汝の 刺 といふ 其の 女は 併 所
- ⁵ pitsin sa paqejaji ni sakidadau / sa
抱 而 所使腰掛 の サキダダウ 而
- ⁶ tsavujidi ?a pasa cuma q toa tapau ni
所體 其方 内 の 家 の
- ⁷ sakidadau / sa puvalavi apa /
サキダダウ 而 所爲妻 了
- ⁸ qau tsoatsoaj-apa vaik a vinatoeq /
そこで 久 了 行 其 洗濯
- ⁹ mano jumaqoen ?a tseqau ?a [ia]iau / qau
ところが 所見附 は 魚 其 甚多 そこで
- ¹⁰ jamiqoen nimaju sa katsui ?a cuma q /
所捕 彼の 而 所持行 其 家
- ¹¹ qau sa san jamai / qau ma?a kan tiama-
そこで 而 作 馳走 そこで 後 食 彼等
- ¹² ju / minto? saqcu ?a cial / qau nusaoni
は 怒 痛 が 腹 そこで 其後
- ¹³ "pusajaji a'in ?a putsaqei" / ini a tsoai
所助 我は 共 放屎 不 其 久
- ¹⁴ uta / "pusajaji a'in ?a putsaqei" aja azoa
又 所助 我は 共 放屎 といふ 其の
- ¹⁵ valau / manu masupijl apa ti sakidadau /
妻は ところが 倦 了 は サキダダウ
- ¹⁶ "matsilaqot apa a'in ?a vaik" aja ti
たいぎ だよ 我は 其 行 といふ は
- ¹⁷ sakidadau / qau vaik azoa vavajan ?a
サキダダウ そこで 行 共 女は 其
- ¹⁸ matsijil sa?amaja putsaqei / manu ma?a
一人 共 放屎 ところが 後
- ¹⁹ putsaqei azoa vavajan / qau ?ilavaranan
放屎 其の 女は そこで 所言
- ²⁰ ?a tsa qei nimaju / "nu qoemaqevu ti
は 屎 彼の 時 呼 が
- ²¹ sakidadau / a: ajaw-apa" ajain ?a tsa qei /
サキダダウ アーといへよ 所言 は 屎

へて外へ出した。その時サキダダウ
が「砥石に腰を掛けよ、私が汝を擔いで
やらう」といふと、女は「いやだ、私は汝の
刺が恐ろしい」といつた。併しサキダ
ダウは抱へて、腰を掛けさせた。さう
して、自分の家へ擔いで行つて、妻にし
てしまった。

其後暫くして、[女は]洗濯に行つた。
ところが、魚を澤山見つけたので、彼女
は捕へて、家へ持つて来てお菜にした。
彼女が食ひ終ると、急に腹が痛くなつ
た。それから[女は]私は大便する[恐い
から]連れていつてくれ[といふ。サキ
ダダウが連れてゆくと]、又間もなく、[私
は大便する[恐いから]連れていつてく
れ]と、妻がいつた。[何度もいふので]サ
キダダウは厭になつて、[私は行くのは
御免蒙らう]といつた。それで女は、只
一人で大便に行つた。女は大便を終
ると、その大便に向つて、「若しサキダダ
ウが呼んだら、アーといへ」といつて、自

2. tsavujid-au 擔がう, 客體主, 汝, ts-im-avujid 材木な
ど肩にのせて運ぶ。
4. juti 刺, IN. dur, i. 長音は恐怖の感を表はす。
8. v-in-atoeq 衣を洗ふ, Tag. basa?, Mal. mem-basoh-
kan. 濡す。
12. cial 腹, IN. tian.
nu-saoni 後刺, nu- 未來, ~nu-tiau 明日, ta-saoni
其前, 先程, ta-tiau 昨日, ta- 過去。
14. pu-tsa qei 放屎, tsa qei 大便, IN. tahi.

- ¹ qau timaju maviḷad apa sma cumaq /
そこで自分 逃 了 赴 家
- ² qau no qoemaqeuvi ti sakidadau / a:
すると時 呼 が サキダダウ アー
- ³ aja azoa tsaqei / no qaqeuvin uta a: aja
といふ 其の 屎が 時 所呼 又アー²¹
- ⁴ azoa tsaqei / qaqeuvin anan uta a: aja
其の 屎が 所呼 再 又アー²¹
- ⁵ uta 'a tsaqei / qau samali ti sakidadau /
又 が 屎 そこで 推しむ は サキダダウ
- ⁶ "makuda azoa tsautsau / aqo tsoai apa
成如何 彼の 人は 何故 久 了
- ⁷ aravats / 'a ini paqciqci " aja timaju /
甚 其 不 歸來 といふ 彼は
- ⁸ qau vaikin 'a 'eqoenc / minto⁹ avan
そこで 所行 其 見 見ると 其物
- ⁹ apa tsaqei sa'amaja / qau jimutsip ti
だ 屎 只 そこで 怒 は
- ¹⁰ sakidadau siqaqoedu toa nimaju / sa
サキダダウ 所勃起 を 自分の物 而
- ¹¹ pusapui 'a qatsilai / 'a tsiksikan toa
發火 が 石 其 所突 で
- ¹² nimaju /
自分の物

9. qam atoa ga:ŋ
穿山甲 と 蟹

- ¹³ uzai a qam atoa ga:ŋ 'a sitsoajan / 'a
有 が 穿山甲 と 蟹 其 昔 は
- ¹⁴ ga:ŋ katsuin na qam 'a i kaɸujil / qau
蟹 所伴行 の 穿山甲 其 處 カルヂェルの木 そこで
- ¹⁵ 'ilavaran 'a ga:ŋ / "imazau i tiko / vaik
言 が 蟹 此處に居れに 下 行
- ¹⁶ a'in 'a livavau / 'a jaja toa kaɸujil 'a
我は 其 登 其 採 を カルヂェルの實 其
- ¹⁷ sma vavau / ajain 'a qam / sa vaik
赴 上 所言 は 穿山甲 而 行
- ¹⁸ timaju 'a livavau / qau jajajain sa vu-
彼は 其 登 すると 所採所採 而
- ¹⁹ luvuloqan / 'a palitiko / qau 'a qam i
所投所投 其 使落 そこで は 穿山甲 居
- ²⁰ tiko / lulululuin sa piḷipiḷeqei toa na-
下 所捨所捨 而 所擇所擇 を

10. si-qaqoedu si- 養女の爲に、用具主。
11. pu-sapui 火を出す、sapui 火、IN. apui。
21. pa-li-tiko 下らせる、落す、li-tiko 下へ行く、下る。

分は家へ逃げて歸つた。
そこでサキダダウが呼ぶと、その大
便がアーといふ。又呼ぶと、大便がア
ーといふ。又も一度呼ぶと大便が又
アーといふ。それで、サキダダウは
不思議に思つて、「あの人は如何したの
だらう。大變久しくなつたのに、何故
出て来ないのだらう」といつて、行つて
見た。見ると、それは大便ばかりであ
つた。そこでサキダダウは怒つて、自
分の物を勃起させて[石を]突くと、石が
火を發した。

9. 穿山甲と蟹

昔穿山甲と蟹とが居た。穿山甲は
蟹をカルヂェルといふ木の處へ連れ
て行つた。そこで、蟹は穿山甲に、「お前
は下居れ、私は上へ登つてカルヂェ
ルの實を採らう」といつて、彼は登つて
行つた。而して下の方へ、實を採つて
は投げ、採つては投げした。すると、穿
山甲は下に居て、熟したのを採つては

167 頁 3行 tiko 下。
22. piḷi-piḷeq-ei 其物を獲つても採ぶ、客體主、piḷeq 採ぶ、
Mal. pilih.

- ¹ maɸum / azoa namaɸum pata[ata]a:jin toa
熟したの 其の 熟したの 所入所入 に
- ² umaq rimaju / qau avan apa macaq sa-
果 彼の すると 其物 だ 未熟
- ³ 'amaja / 'a qenpo noa qam / qau litiko
只 は 所集 の 穿山甲 そこで 降
- ⁴ apa azoa ga:ŋ / qau sa qoenci 'a qenpo
了 其の 蟹は そこで 而 所見 は 所集
- ⁵ noa qam / minto⁹ avan a macaq sa'amaja
の 穿山甲 見ると 其物 其 未熟 只
- ⁶ ja / qau "sma ino apa 'a namaɸum" aja
すると 赴 何處 了 は 熟したの と思
- ⁷ azoa ga:ŋ / qau vaik azoa ga:ŋ / qau 'a
其の 蟹は そこで 行 其の 蟹は すると は
- ⁸ qam izoa-nan i coa qapuɸu noa kaɸujil /
穿山甲 居其處 尙に 處 根元 の カルヂェル木
- ⁹ qau lala:pin noa ga:ŋ / minto⁹ pinalitaɸaj
そこで 所何 の 蟹 見ると 既所入
- ¹⁰ apa toa umaq noa qam / 'a namaɸum /
了 に 果 の 穿山甲 は 熟したの
- ¹¹ qau vaikin 'a sma-zoa noa ga:ŋ / minto⁹
そこで 所行 其 赴 其處 の 蟹 見ると
- ¹² [ia]iau 'a tinpisan i taɸaj toa qeina:m-
甚多 は いたもの に 中 の 穿山甲の穴
- ¹³ an / qau "aqo maitazoa ti ca qali" aja
そこで 何故 知彼 は 我等の 友 と思
- ¹⁴ timaju / qau 'isan kuja timaju sa vaik
彼は そこで 成 蟹 彼は 而 行
- ¹⁵ cumaq /
家
- ¹⁶ qau tsoatsoaj-apa mitsivup anan tiamaja
すると 久 了 出會 又 彼等
- ¹⁷ ju 'a maɸusa / qau malavar tiamaju /
は 其 二人 そこで 相談 彼等は
- ¹⁸ "napaq 'a qoemalup icin" aja tiamaju /
良 其 狩 我等は といふ 彼等は
- ¹⁹ "tia'in aj-anan 'a timaɸau / tisun aj-
我 こそは 一寸 其 待伏者 汝 こそは
- ²⁰ anan limama toa laviavia" aja 'a qam /
一寸 燒者 を 鬼茅の原 といふ が 穿山甲

2. macaq 未熟、Mal. mantah 未煮。
3. q-en-po <*q-in-ipo 集めたもの、客體主、q-œm-ipo.
主體主。
12. t-in-pis-an もいだもの、枝、位置主、t-im-pis もぐ、主
體主。

拾ひ、採つては拾ひした。而して熟し
たのは自分の巢に入れて、未熟なの計
り集めておいた。すると、その蟹は下
りて来て、穿山甲の集めたのを見た。
見ると、其は未熟なの計りであつた。
蟹は「熟したのは何處へ行つたかしら
ん」と思つて、[向うへ]行つた。ところが
穿山甲は、まだカルヂェルの木の根元
の處に居たので、蟹はひそかに様子を
伺つてゐた。見ると、熟したのは、穿山
甲が自分の巢の中に入れてゐた。そ
こで、蟹が[そこへ]行つて見ると、穿山甲
の穴の中には、實を取去つた小枝が澤
山あつた。そこで、彼は「此の奴は何故
此様なことをするか」と思つた。彼は
癪に障つて家へ歸つた。

其後暫くたつて、彼等二人は又再び
出會つた。そこで、彼等は相談して、「我
々は狩に行かうではないか」といつた。
穿山甲は「私は先に待伏するから、お前
は[山脈を追出す爲]鬼茅を燒け」といつ

q-ein-a:m-an < q-in-a:m-an 穿山甲の掘つた處、穴
< qam 穿山甲。
14. 'i-san kuja 自分で運くする、機嫌を運くする。
21. l-in-ama 山、原など焼く、主體主、lama-in 客體主、茅
原。168頁、10行、母音の後には -in > -in。

- ¹ qau vaik ?a qa:m ?a sma ta[aj toa
そこで 行 は 穿山甲 其 赴 中 の
- ² laviavia / qau qoemaqao ?a ga:ŋ / "ino
鬼茅の原 すると 叫 は 蟹 居何處
- ³ apa sun / ajain noa ga:ŋ ?a qa:m / "imaza-
のた 汝は 所言 の 蟹 は 穿山甲 居此處
- ⁴ ?in" aja ?a qa:m / "paj-apa" ajain anan
我は といふ は 穿山甲 宜しいぞ 所言 再
- ⁵ noa ga:ŋ ?a qoemaqao / "maja-nan" ajain
の 蟹 其 時 待 待 尙 所言
- ⁶ noa qa:m / mano simoasoad toa umaq
の 穿山甲 ところが 掘つてある を 巢
- ⁷ azoa qa:m / qau ma?a soad azoa qa:m toa
其の 穿山甲 そこで から 掘 其の 穿山甲 は を
- ⁸ umaq / lita[aj timaju / qau qoemaqao
巢 入内 彼は そこで 叫
- ⁹ toa ga:ŋ / "paj-apa ma?a ta[aw-apa-?in"
に 蟹 宜しいぞ 已に 待伏 了 我は
- ¹⁰ aja azoa qa:m / qau lamain apa azoa
といふ 其の 穿山甲 は そこで 所焼 了 其の
- ¹¹ laviavia noa ga:ŋ / qau qaoqaoan noa
鬼茅の原は の 蟹 そこで 所叫 の
- ¹² ga:ŋ "ino apa sun" ajain / "imaza-?in"
蟹 居何處のた 汝は 所言 居此處 我は
- ¹³ aja qa:m / "ino apa sun" ajain noa ga:ŋ
といふ 穿山甲 は 居何處のた 汝は 所言 の 蟹
- ¹⁴ uta / "imaza-?in" ajain noa qa:m uta /
又 居此處 我は 所言 の 穿山甲 又
- ¹⁵ qau tsima[ivat ?a sapui / "ino apa sun"
すると 通過 は 火 居何處のた 汝は
- ¹⁶ ajain uta noa ga:ŋ / "imaza-?in" aja ?a
所言 又 の 蟹 居此處 我は といふが
- ¹⁷ qa:m / sa likatsawan toa umaq nimaju /
穿山甲 而 出現 から 巢 彼の
- ²⁰ qau sa "tisun aj-apa ?a tima[au"
そこで 而 汝 こそだ 其 待者
- ²¹ ajain a ga:ŋ / qau "more ?a sma ino
所言 は 蟹 すると 可為 其 赴 何處
- ²² a?in" aja-zoa ga:ŋ / cumalan noa qa:m
我は といふ 其の 蟹は 所言 の 穿山甲

5. maja-nan <maja anan ...するな、一、maja ...する
な、anan 尙。

た。而して、穿山甲は茅原の中へ行つた。すると蟹は穿山甲に、「お前は何處に居るのか」と大聲で叫んだ。「私は此處に居る」と穿山甲がいつた。「もう宜しいか」と再び蟹が大聲で、穿山甲にいつた。穿山甲は「一寸待て」といつたが、その間に穿山甲は、土を掘つて巢を作つてゐた。穿山甲は巢を掘つてしまふと、その中へはひつて、大聲で蟹に、「宜しい、私はもう待伏してゐる」といつた。そこで蟹は其茅原を焼いた。而して蟹が大聲で、「お前は何處に居るか」といふと、穿山甲は、「私は此處に居る」といふ。蟹が又「お前は何處に居るか」といふと、穿山甲は又「私は此處に居る」といふ。すると火が通過した。蟹が又「汝は何處に居るか」といふと、穿山甲は「私は此處に居る」といつて、彼の穴から外に出て來た。

すると、「今度は汝が待伏するのだ」と(穿山甲が)蟹にいつた。そこで、その蟹は「私は何處へ行くのだ」といつた。穿

6. umaq 巢。原意、屋内の奥の間、即ち死體を埋めてある處。Mal. rumah 家。

- ¹ "sa-zoau i coa namaqoripug ?a lavia" aja-
行彼處よに 處 既交錯 其 鬼茅 所
- ² in / qau azoa ga:ŋ vaik / ?a ?ipata[uvtuv
言 そこで 其の 蟹は 行 其 自縮小
- ³ toa namaqoripug ?a laviaviain / qau "paj-
に 既交錯 其 鬼茅の原 そこで 宜しい
- ⁴ apa" ajain noa qa:m / "paj-apa" aja ?a
かれ 所言 の 穿山甲 宜しいよ といふが
- ⁵ ga:ŋ / qau lamain noa qa:m / "ino apa
蟹 そこで 所焼 の 穿山甲 居何處のた
- ⁶ sun" ajain noa qa:m / "imaza-?in" aja
汝は 所言 の 穿山甲 居此處 我は といふ
- ⁷ ?a ga:ŋ / qau tsima[ivat ?a sapui / "ino
が 蟹 すると 通過 は 火 居何處
- ⁸ apa sun" ajain noa qa:m / minto? nika-
のた 汝は 所言 の 穿山甲 見ると 無
- ⁹ pa / "ino apa sun" ajain anan uta /
了 居何處のた 汝は 所言 尙 再
- ¹⁰ minto? nika-pa / qau vaikin sa ?eqenci
見ると 無了 そこで 所行 而 所見
- ¹¹ noa qa:m ?a sma-zoa / minto? naku[isi]
の 穿山甲 其 赴其處 見ると 既成硬
- ¹² apa namatsaj-apa / qau tsiveqan ?a qa-
了 既死 了 そこで 所切取 は
- ¹³ [itsi / qau sa ?isinai ?a papovalut / qau
男根 そこで 而 自語 其 使蘇生 そこで
- ¹⁴ katsuin ?a qa[itsi ?a cumaq /
所持來 は 男根 其 家
- ¹⁵ qau kajamajaman apa / qau sipakan
すると 朝 了 そこで 所使食
- ¹⁶ apa ?a qa[itsi nimaju noa qa:m / qau
了 は 男根 彼の の 穿山甲 すると
- ²⁰ "ha ha kanin ?a qa[itsi nimaju" aja ?a
ハハ 所食 は 男根 自分の といふが
- ²¹ qa:m / qau kimilaŋ azoa ga:ŋ / to qa[itsi
穿山甲 そこで 知 其の 蟹は ことを 男根

山甲が「彼處の、茅の交錯してゐる處へ行け」と告げた。それで蟹は其處へ行つて、交錯してゐる茅原の中で、小さくなつてゐた。その時穿山甲が「もう宜しいか」といふと、蟹は「もう宜しい」といふ。すると、穿山甲が茅原を焼いた。穿山甲が「汝は何處に居るか」といふと、蟹は「私は此處に居る」といふ。すると火が通過した。「汝は何處に居るか」と穿山甲がいつたが、一向[返事が]無い。又再び「汝は何處に居るか」といつたが又返事が無い。穿山甲が其處へ行つて見た。見ると「蟹は硬くなつて、死んでしまつてゐた。そこで、穿山甲が蟹の男根を切り取つて、蒸ふと、其蟹は生返つた。それから、穿山甲は男根を家へ持つて歸つた。

翌朝になつて、穿山甲がその男根を(蟹に)食はせると蟹は食つた。そこで穿山甲は、「ハハ、自分の男根を食つてゐる」といつた。そこで蟹は、その食つた

1. sa-zoa-u <sa-azoa-u 彼處へ行け、~s-m-a ...へ赴く、
azoa 彼方、-u 命令、主體主。

3. lavia-via-in 鬼茅の原、lavia 鬼茅、-in 母音の次には
-in > -in となる。場所を表はすには普通 -an を用ゐ
るべきなれども、バイソンにては、かゝる場合は子音
の後には -in を、母音の後には -in < -in を用ゐる。

12. qa[itsi 原意は陰囊、vait na qa[itsi 睾丸、されども普
通 ku[its (陰莖)と同義に用ゐる。170頁、1行。

18. ka-jama-jama-n <ka-jama-j ma-an 朝の時、mi-jama
早朝、
si-pa-kan 食はせる材料、用具主、pa-kan-an 其人に食
はせる、位置主、170頁、1行。

- ¹ nimaju azoa kinan / "i: pakanan a'in
自分の 其の 所食物は イヤー 所使食 我は
- ² toa nia'in ?a qalitsi ni ?o qali" aja / sa
を 我の物 共 男根 の 我の友 といふ 而
- ³ jilajilai ?a ga:n / la'oa kudain / kinan
ベツベツ吐 は 蟹 併 所如何 所食物
- ⁴ apa nimaju ?a qalitsi / qau tsimiki / apa
了 彼の は 男根 すると 回復 了
- ⁵ ?a qalitsi noa ga:n /
は 男根 の 蟹

のは、自分の男根だといふことを知つて、唾を吐きながら、「あゝいやだ。貴様は私の男根を私に食はせた」といった。併し仕方がない、彼は男根を食つてしまった。ところが〔後になつて〕蟹の男根は、又元の通りに出来た。

10. ti sakaporar
サカボラル

- ⁹ ti sakaporar ?a sitsoajan [a]oq aravats
は サカボラル 共 昔 長 共
- ¹⁰ ?a nimaju / qau no masiasik ?a vavaja-
が 彼の物 そこで 時 取草 が 女
- ¹¹ vajan / vaik ?a sma qapaz / qau sa qe[aj /
等 行 共 赴 島縁 そこで 而 坐
- ¹² sa saksaki ?a kulits / qau sa pata[uvtavan
而 所解 は 男根 そこで 而 所使潜行
- ¹³ toa inasikan ?a tsimi / noa vavajavajan /
に 所取物 共 草 の 女 等
- ¹⁴ nu calu inu ?a vavajavan calu inu uta ?a
ても 行到 何處 が 女等 行到 何處 又は
- ¹⁵ kulits ?a [imai]aip / qau sa tsiktsiksiki
男根 共 追掛 そこで 而 所突
- ¹⁶ ?a kinadapan noa vavajavajan / qau qa-
は 勝 の 女等 すると
- ¹⁷ raoqao ?a vavajavajan ?a mavilad tu ri-
叫 は 女等 共 逃 爲
- ¹⁸ kucan tazoa kulits ni sakaporar / la'oa
恐 其の 男根を の サカボラル 併
- ¹⁹ tavakin apa ?a tsoatsoaj-apa ini apa
所馴 了 共 久 了 不 了
- ²⁰ ?arikuci /
所恐
- ²¹ qau nu masiasik ?a vavajavajan / sa
そこで 時 取草 が 女等 而

10. サカボラル

昔サカボラルといふ人〔があつて〕、彼の一物は大變長かつた。女達が草を取つてゐると〔彼は〕島の縁へ行つて、坐つた。而して、〔肩に巻いてゐた〕男根を解いて、女達の取つた草の中へ突込んで、先へ突出した。女達が何處へ行つても、男根は又何處までも追かけて行つて、女達の胯を突いた。すると女達は、サカボラルの男根を恐ろしがつて、大声をあげて逃げた。併し永く経つと、馴れて恐れない様になつた。

或時、女達が草を取つてゐると、胯を

1. k-in-an 食つた物、客體主、k-im-an 主體主。

10. m-asi-asik 草を取つてゐる、in-asik-an 取つた草。13行。m-asik 草を取る。

14. calu-inu 何處まで、calu-...まで。比。calu-maza 此處まで。

16. k-in-adap-an 胯を廣げた處、跨間。mu-ka-ka[ap 兩方に跨がる。

- ¹ tsiktsiki ?a kinadapan / tsiktsikan uta
所突 は 跨 所突 又
- ² azoa kulits ni sakaporar toa vuka / la'oa
其の 男根は の サカボラル で 鍔 併
- ³ ini kilap azoa vavajavajan to ?asi ino ?a
不 知 其の 女等は ここから 何處 共
- ⁴ mapciz / nu tsiktsikan toa vuka ma-
來 時 所突 で 鍔
- ⁵ ulau / tso[aj-apa uta mapciz azoa kulits /
消失 費了 又 來 其の 男根は
- ⁶ qau tsiktsikan uta to vuka / "tsivuk"
そこで 所突 又 で 鍔 ブツ
- ⁷ aja azoa kulits ni sakaporar /
といふ 其の 男根は の サカボラル
- ⁸ azoa kulits ni sakaporar smamali ?a
其の 男根は の サカボラル 異常 が
- ⁹ inala[aoq / sinivalavalan azoa kulits ?a
長さ 巻き肩に かける 其の 男根は 共
- ¹⁰ pa[ajulu / mano vaik tiamaju ?a qe-
常に 或時 行 彼等が 共
- ¹¹ malup / qau ?ilavaran noa qaleqali / "ca
群 すると 所言 の 人々 我等の
- ¹² qoeniqencai ?a su kulits" ajain azoa ti
所見 は 彼の 男根 所言 其の は
- ¹³ sakaporar noa qaleqali / qau saksakin
サカボラル の 人々 そこで 所解
- ¹⁴ azoa kulits / sa pa'eqoencan toa qaleqali /
其の 男根は 而 所使見 に 人々
- ¹⁵ mano ma'a ?eqoenc ?a qaleqali / "aitsu
ところが 後 見 が 人々 此
- ¹⁶ apa qala" ajain noa qaleqali ?a vintsa /
だ 敵は 所言 の 人々 共 僞
- ¹⁷ ini kiamau apa ?a vinalavalan toa kulits
不 間に 合ふ 了 共 掛肩 を 男根
- ¹⁸ ti sakaporar / minto[ooq timaju / qau
は サカボラル 走 彼は すると
- ¹⁹ rakatsin apa ?a kulits ma'a coa juijuiin /
所引摺 了 は 男根 通 處 刺の原
- ²⁰ qau jimalun ti sakaporar i cumaq / qau
そこで 到 は サカボラル に 家 そこで
- ²¹ qoemaqevu toa qaleqali / sa pasujuian ?a
呼 を 人々 而 所使抜刺 は

突いたので、女達は又鍔を以て、サカボラルの男根を突いた。併し女達は、其が何處から来たか、分らなかつた。鍔で突くと〔男根は〕消えて無くなつた。暫くすると、又その男根が来たので、又鍔で突くと、サカボラルの男根はブツッといふ音がした。

サカボラルの男根は、その長さが尋常でない。〔彼は〕常に、男根を〔幾重にも〕巻いて、肩に掛けてゐた。ところが或時、社の人々が狩に行つた時、人々がサカボラルに、「我々はお前の男根を見たものだ」といつた。〔彼は〕その男根をそろそろほどいて、人々に見せた。ところが見てすむと、人々は僞つて「そら敵が来た」といつて〔驚かした〕。サカボラルは、男根を肩に掛ける間がないので、彼は走つた。而して男根を引すりながら、刺のある所を通つて、家へ着いた。それから人々を呼んで、男根の刺をとらせた。而して、その刺は壺に入

8. s-m-a-mali < s-im-amali 異常、sa-mali 珍しい、mali 異なる、特別な。

9. s-in-i-valavalan 巻いて肩に掛ける物にしてゐる、用具主。v-in-alavalan 肩に掛ける、主體主、17行。

12. qoeni-qoenc-ai 背の見る物にしよう、位置主。pa'eqoenc-

can 見せる物にする、位置主、14行。

15. aitsu 此、aitsu-a 此の、此處にては、そら敵だの意。

21. pa-su-jui-an 刺を取らせる物、位置主、男根。~s-im-u-jui 刺を取去る、主體主、jui 刺、IN. dursi。

- ¹ kulits/ qau azoa jui picoajilunin sa
男根 そこで 其の 刺は 所入壺 而
- ² pajupi/
所貯
- ³ qau tsoatsoaj-apa / "kivavau kivavau"
すると 久 了 酒飲め 酒飲め
- ⁴ ajain ?a qaleqali/ qau mañciz ?a qale-
所言 は 人々 そこで 来 が 人
- ⁵ qali / palitikuin azoa jilun / "aitsu a
々 所取下 其の 壺は 此 共
- ⁶ vava kivavau ?a matsijil" ajain ?a qa-
酒 飲め 共 勝手に 所言 は
- ⁷ leqali / qau azoa vava canu-spac i jilun/
人々 すると 其の 酒は 四杯 に 壺
- ⁸ masa[u ?a qaleqali / ?iluvaq ?a vaik ?a
喜 は 人々 我先に 共 行 共
- ⁹ simutsaqœv tazoa jilun / mano sutsaqœ-
去蓋 其の 壺を と ころが 所去蓋
- ¹⁰ van ?a jilun / mi[ajap ?a pañats / sa
は 壺 飛 が 蜂 而
- ¹¹ tsaliji azoa qaleqali / ?a navintsa cai-
所刺 其の 人々は 其 既欺 彼
- ¹² maju / qau mavi[ad azoa qaleqali ?a
な そこで 逃 其の 人々は 共
- ¹³ mapulat /
皆
- ¹⁴ qau ?a cainan jui noa cavuvuk ?a
そこでは 蜜蜂 刺 の 毒 共
- ¹⁵ inaqatian / qau ?a cidiul jui noa lajuju /
所生物 そこでは 蜂名 刺 の 木名
- ¹⁶ qau ?a tsalukul jui noa kajuiian / qau ? a
そこでは 蜂名 刺 の 木名 そこでは
- ¹⁷ laluvor jui a? paqti[in ?a inaqatian /
蜂名 刺 共 雜草 共 所生物
- ¹⁸ qau avan si?a uzai noa pañats totsu /
そこで 其の 理由は 有 の 蜂 今日

れて、しまつて置いた。

暫くして後、[サカボラルは]酒を飲め

酒を飲めといつて、人々を招待した。

人々が来ると、その壺を下して、此の酒

を自分で勝手に飲め、と人々にいつた。

而して、その酒は壺に四杯あつた。人

々は喜んで、我先にと行つて蓋をとつ

た。ところが蓋をとると、蜂が飛んで

出て、先に彼を欺いた人々を刺した。

人々は皆逃げた。

蜜蜂は毒の刺から出来たもの、チヂ、

ウルといふ蜂はラヂュヂュといふ木

の刺、而してツェルクルといふ蜂はカ

ヂュイアンといふ木の刺、而してラル

ヴェルといふ蜂は雜[草]の刺から出来

たものだ。今日蜂のあるのはさうい

ふ譯である。

1. pi-coa-jilun-in 壺の中に入れる物。客體主。jilun 蓋、
5行。pi-coa-…の處に入れる、置く。
3. ki-vava-u. ki-vava 酒を飲む、vava 酒、-u 命令、主
體主。
11. cai-maju 其人を、其人に。人代名詞には cai- を用ゐ

る、ti-maju 其人は。
15. in-aqati-an 發生したもの、m-aqati 發生する。
18. si?a <*si-ka …の理由、…の譯、普通共でと譯す、si-
用具主の接頭辭。

11. valau ?a oqalai ?a qeintši
配偶 共 男 共 所殺了
noa vavajan
の 妻

11. 妻に殺された夫

- ³ uzai a marvalau ?a sitsoajan ?a napin-
有 が 夫婦 共 昔 共 貧
- ⁴ ao[ao]ain / qau nika-ña no more kan-
乏者 すると 無了 も 可爲 食
- ⁵ in / qau "kimuda-ña icin" aja tiamaju /
物 そこで 可知何ぞ我等はといふ 彼等は
- ⁶ "maja si?a nika no ca ?itanin / nañaq a
如其 故 無 の 我等の 金儲 良 共
- ⁷ vaik a?in a sma coa malaqalan" aja
行 我は 共 赴 處 他の社 といふ
- ⁸ azoa valau ?a oqalai / qau vaik / sa tsoa-
其の 配偶 共 男 そこで 行 而 久
- ⁹ tsoai ini pañciz aña cumaq /
不 歸 了 家
- ¹⁰ manu uzai a oqalai / ?a rimurucuk
ところが 有 が 男 共 誘惑
- ¹¹ tazoa valau ?a vavajan / "kudain / ?a ini
其の 配偶を 共 女 所可如何 共 不
- ¹² pañciz aña ?a su valau ?a cisapas / nañaq
歸 了 は 汝の 夫 共 前の 良
- ¹³ a timica-ña ?a marvalau / anima su
共 我等はだらう 共 互夫婦 何 汝の
- ¹⁴ ?aciñ[ajan ?a matsijil" / ajain ?a ?ilavaran
所好 共 一人 所言 共 話
- ¹⁵ ?a pa[ajaju]aju / "nañaq nu maja kudain /
共 常に 宜 若 如其 所可如何
- ¹⁶ ?a ini pañciz aña ?a ?u valau ?a caisapas"
共 不 歸 了 は 我の 夫 共 前の
- ¹⁷ aja azoa vavajan / qau makakilap aña ?a
といふ 其の 女は そこで 互に 了解 了 は
- ¹⁸ varop niamaju ?a mañusa / qau ma[ap
心 彼等の 共 二人 そこで 取
- ¹⁹ toa vava / sa a[ap toa kacucup to dusa /
を 酒 而 取 を 竹筒 を 二
- ²⁰ sa kivava tiamaju / qau ma?a kivava
而 飲酒 彼等は そこで から 飲酒

昔貧しい夫婦があつた。而して食
べるべき物もなかつた。「我々は如何
しようか」と彼等はいつた。「共よ、我々
は金を儲ける方法もない。私は他社
へ行つた方がよい」と、その夫がいつた。
そこで[他社へ]行つて、久しく内へ歸つ
て来なかつた。

ところが[一人の]男があつて、その妻
を誘惑して、「お前の前の夫は歸つて来
ない。仕方がない、我々は夫婦になら
うではないか、何でお前は一人である
のを好むか」と、いつもさういつてゐた。
[其なら宜しい、私の前の夫は歸つて来
ない、仕方がない]と、女がいつた。そこ
で、彼等二人の心は、互に諒解しあつた。
而して酒を持出して、竹の杯二つを取
つて、彼等は酒を飲んだ。飲んですむ
と、酒と杯とを寢臺の頭の方に置いて、

4. na-pinao[a-o]a-in 甚構れむべき状態になつてゐる者。
p-in-ao[a 構れむ、同情する。
6. ?i-tan-in <*ki-tan-in 自分で儲ける物、tan <泰爾語、
趁 (than) 金を儲ける。
11. kuda-in 其事は如何しよう、客體主。轉じて仕方がない
といふ意となる。

12. cisapas <ca-i-sapas, 16行。sapas 以前、先、ca-…より、
尙、i-…に在る、…に於ける。
13. ti-mi-ca 我等お互は、ti IN. si: ca IN. ta.
14. ?a-ciñ[aj-an <*ka-ciñ[ai-an 好む所の事、ciñ[ai 好む、
主體主。

- ¹ mapatsatsagsag ?a qo|o ato azoa qo|o
互衝突 が 頭 と 其の 頭
- ² na valau ?a civilil ?a oqalai / qau azoa
の 配偶 其 後の 其 男 そこで 其の
- ³ tsad "aqo uzai a tsautsau imaza" aja
賊は 何故 有 が 人 此處に と 思
- ⁴ azoa tsad / "napaq a vaik a'in ?a sma
其の 賊は 好 其 行 我は 其 赴
- ⁵ azoa i ca ?eqomaqan ?a ?eqela" aja
彼方 へ 方 奥 其 隠 と 思
- ⁶ timaju / qau avanazoa valau uta civilil
彼は すると 其人 配偶 亦 後の
- ⁷ ?a oqalai / "napaq a vaik a'in sma azoa
其 男 好 其 行 我は 赴 彼方
- ⁸ i ca ?eqomaqan ?a ?eqela" aja timaju /
へ 方 奥 其 隠 と 思 彼は
- ⁹ manu izoa-pa tsad / ?a na?eqela / ma-
ところが 居共處了 賊が 其 既に 隠 互
- ¹⁰ tsatsagsag anan ?a qo|o / qau vaik azoa
衝突 再び が 頭 そこで 行 其の
- ¹¹ tsad uta ?a sma [aukup / azoa valau ?a
賊は 又 其 赴 二階物置 其の 配偶は 其
- ¹² civilil ?a oqalai / "uzai a tsautsau imaza
後の 其 男 居 が 人 此處に
- ¹³ uta / napaq a vaik a'in ?a sma-zoa i
亦 好 其 行 我は 其 赴 彼處に
- ¹⁴ [aukup ?a ?eqela" aja / qau vaik minto?
二階物置 其 隠 と 思 そこで 行 忽
- ¹⁵ mapatsatsagsag anan ?a qo|o uta / "i:
互衝突 再 が 頭 又 おや
- ¹⁶ aqo uzai a tsautsau imaza uta" aja-zoa
何故 居 が 人 此處に 亦 と 思 其の
- ¹⁷ tsad / "masa namapiloq toa tsautsau coa
賊 或 既充滿 で 人 處
- ¹⁸ imaza" aja-zoa tsad / migirgirgir apa
此處 と 思 其 賊は 震へる 了
- ¹⁹ to rikucan /
為 所恐
- ²⁰ mano mapo|au aravats aza valau ?a
ところが 醉 其 其の 配偶 其
- ²¹ caisapas ?a oqalai qau taqoed apa / qau
前 其 男 そこで 眠 了 すると
- ²² likatsawan apa azoa valau ?a civilil ?a
出現 了 其の 配偶は 其 後の 其

11. [aukup <臺灣語, 樓樑, (lau-kong) 二階の梁。
17. na-ma-piloq 充滿してある, Mal. penuh 充滿。

の夫の頭とぶつつかった。賊は「何故
此んな處に、人なんかゐるのかしらん」
と思つて、「今度は、彼處の奥の方へ行つ
て、隠れてやろう」と思つた。すると後
の夫も亦、「同じやうに」彼處の奥の方へ
行つて、隠れてやろうと思つて、其處へ
行つた。ところが、賊がもう其處に隠
れてゐたので、頭が又衝突した。そこ
で賊は又、二階の物置へ行つた。後の
夫は、「此處にも人が居る、私は二階の物
置へ行つて隠れてやろう」と思つた。
而して、其處へ行つて見ると、又頭がぶ
つつかった。賊は「おや、何故だらう、此
處にも人がゐる、此處は人で一杯なの
か知らん」と思つた。賊は、恐ろしくな
つて、其の爲に震へ上つた。

[妻と飲んでゐた]前の夫は、大變酔つ
たので、眠つてしまつた。すると、後の
夫が出て來た。そして女に、「汝は如何

20. aza <azoa 其の, あの,

- ¹ oqalai / qau "more kim.oda sun / more
男 そこで 欲 爲如何 汝は 欲
- ² kamajan sun ?a povalau toa su valau ?a
其儘 汝は 其 爲配偶 を 汝の 夫 其
- ³ caisapas / kimoda" ajain azoa vavajan /
前の 爲如何 所言 其の 女は
- ⁴ la?oa "nika / timica-jaj-apa ?a marvalau /
併 無 我等 これ 其 夫婦
- ⁵ ca qoetsiaw-apa azoa ?u valau ?a caisa-
我等の 所可殺 ゑ 其の 我の 夫は 其 前の
- ⁶ pas" / aja azoa vavajan / qau "ca kudain
といふ 其の 女は そこで 我等の 所可如何
- ⁷ ?a qoemtsi / sa ini kilap to tima ?a
は 殺 而 不 判明 ことを 誰 は
- ⁸ naqoemtsi" aja tiamaju / ?ilavaran ?a va-
既殺者 といふ 彼等は 語 は
- ⁹ vajan / "azoa mapo|au / ca sia|apan toa
女 其の 醉者 我等の 所取 を
- ¹⁰ bu|bu| / sa ca pizoai toa qacuvi / qau sa
火吹竹 而 我等の 所入 を 蛇 そこで 而
- ¹¹ ca tsagii toa sapui ?a iku: noa qacuvi /
我等の 所焼 で 火 は 尾 の 蛇
- ¹² qau i: minto|oq apa azoa qacuvi ?a sma
すると エー 走 ゑ 其の 蛇は 其 赴
- ¹³ coa cial nimaju" / aja tiamaju ?a mala-
方 腹の 彼の といふ 彼等は 其 相談
- ¹⁴ var / qau aitazoain ?a qoemtsi azoa valau
そこで 所爲如何 其 殺 其の 夫は
- ¹⁵ ?a cisapas / qau ?a tsad ?eqoeniqoenic
其 前の すると は 賊 見てゐる
- ¹⁶ tazoa ma|usa ?a palita|ata|aj toa qacu-
其の 二人を 其 入れてゐる を 蛇
- ¹⁷ vi / qau marikuc apa azoa tsad to si?a
そこで 恐 了 其の 賊は 其を 故
- ¹⁸ uzai apa tsautsau eqomaqan ?a namatsaj-
有 了 人 家内に 其 既死者
- ¹⁹ apa / minto|oq apa litsasau / qau malia-
了 走 了 行外 すると 夜明
- ²⁰ pa / manu kimilap ?a mazazapilan to
了 ところが 知 が 頭目 ことを

しようと思ふか。汝は前の夫と、元通
り夫婦にならうと思ふか、如何かとい
つた。併し女は、「そんな事はない、我々
は夫婦にならう。私の前の夫は殺し
てやろう」といつた。「扱、誰が殺したか
判らない様に殺すには、我々は如何し
よう」と、彼等はいつた。女は「其の酔つ
てゐる者は、我々は火吹竹を持つて來
て、蛇を其の中に入れよう。[其を、彼の
口の處へもつていつて]、火を以て蛇の
尾を暖めよう。すれば其の蛇は、彼の
腹の中へはひるだらう」といつて、二人
が相談した。而して、さういふ風にし
て、前の夫を殺した。ところが、賊は二
人が蛇を入れるのを見てゐた。賊は、
家の内に死人が出來たので、恐ろしくな
つて、外へ走り出た。其の中、夜が明け
た。ところが、頭目は死人のあつたこ
とを知つた。そこで行つて、其の妻に
問うた。併し[妻は]殺した人は誰だか

5. qoetsi-au 其人を殺さう, 現實未來, 客體主, 前夫, q-
tsi 殺す, 主體主, 7行. na-q-
tsi 殺した人, 下
手人, 主體主, 8行.
9. si-a|ap-an 人の爲に取る, 用具主, 醉者, m-
alap 取る, 主體主.
10. p-i-zoa-i 其處に物を入れる, 置く, 位置主, p-i-zoa 其處

に入れる, 置く, 主體主, i-zoa 其處に在る。
11. tsagi-i 其物を焼る, 客體主, 尾, ts-im-agi 火を近づけ
て焼る, 主體主。
12. i: 氣味の悪い時の感動詞。
14. ai-tazoa-in 其儘にする, 客體主, 夫, mai-tazoa 其儘な
事, 物。

- ¹ uzai ?a namatsai ?a tsautsau / qau vaik
有 が 既死者 其 人 そこで 行
- ² a ?ivadaq tazoa valau ?a vavajan / la?oa
其 間 其の 配偶に 其 女 併
- ³ "kimilaq to tima ?a naqoemtsi" aja
知 ことを 誰 は 殺した人 といふ
- ⁴ maitazoa cimumal /
如其 告
- ⁵ manu vaivaik azoa mazazajilan ?a sma
或時 丁度行 其の 頭目は 其 赴
- ⁶ kavoavoan / sitsivupan ?a tsad / "aqo
島 偶然所出會 は 賊 何故
- ⁷ ini su puvalavalau / tia?in aja ?isan
不 汝の 妻をもつてゐる 我 こそ其 成
- ⁸ mui?an canusun" ajain azoa tsad / minto?
媒 汝に 所言 其の 賊は 忽
- ⁹ valisvis azoa tsad / "marikuc a?in ?a
振首 其の 賊は 恐 我は 其
- ¹⁰ povalau / uzaj-apa ?u liniqlipan ?a pa-
娶妻 有 了 我の 所見了 は
- ¹¹ lita[ata]ajan toa qacuvi / sa patsaj-apa /
入れてゐる所 を 蛇 而 殺了
- ¹² avan ?u si?a rikuc ?a povalau" aja-zoa
其 我の 故 恐 其 娶妻 といふ 其の
- ¹³ tsad / qau sa cumal to tima ?a liniqli-
賊は そこで 而 告 ことを 誰 は 所見了
- ¹⁴ pan / qau kimilaq apa azoa mazazajilan
そこで 知 了 其の 頭目は
- ¹⁵ to tima / qau qoetsin apa-zoa vavajan
ことを 誰 そこで 所殺 了 其の 女
- ¹⁶ atoa oqalai ?a limadusa /
と 男は 其 二人共

知るものか)と、さう告げた。

或時その頭目が島へ行つてゐると、
偶然(その)賊に出會つた。[頭目が]汝は
何故妻をもたないか。私は汝の爲に、
媒人になつてやらう)といつた。する
と、賊は首を振つて、[私は妻を取るのは
真平だ。私は、蛇を入れて、[夫を]殺して
しまった妻を見たことがある。私が、
妻を取るのを恐がるのは、さういふ譯
だ)といつた。而して、その見たのは、誰
だといふことを告げた。それで、その
頭目は、[先の下手人は]誰であつたか、と
いふことを知つて、その女と男とを、二
人共殺してしまつた。

12. namiqloq toa [ima ?a
切斷した者 を 手 其
sicakuvkuvul
上蕃の人

- ²¹ uzaj-aza mar?alalak ?a maspac / manu
有 あの 親子 其 四人 ところが
- ²² vaik a kina ?a sma kavoavoan / qau
行 は 母 其 赴 島 そこで

8. mui?an < 臺灣語、媒人 (mui-lang).

10. l-in-iglig-an 見た物、過去、客體主、l-im-iglig 見る、主體主。

12. 手を切斷した
上蕃の人

四人の親子が有つた。ところが、母
は島に行つた。三人の子供は、[内に]殘

19. na-mi-igloq 切斷した者、主體主、?igloq-an 自分で切斷する物、客體主、手、179頁、21行。

- ¹ ?ajoqoen azoa kakidjan ?a maci[u] / qau
所殘置 其の 子供は 其 三人 そこで
- ² ?ilavaranan noa kina / "maja marivu-
所話 の 母 勿 互に喧
- ³ rivu" ajain / sa vaik ?a sma kavoavoan /
噂 所言 而 行 其 赴 島
- ⁴ manu [jiau ?a sipsipan noa kina / qau
ところが 多 は 仕事 の 母 そこで
- ⁵ si[uman apa aravats / qau qoemaqoan
時 了 其 そこで 泣いてゐる
- ⁶ apa ?a kakidjan /
了 は 子供
- ⁷ manu [imadipa ?a sicakuvkuvul /
ところが 間 が 上蕃の人
- ⁸ "napaq ?a ?u vaikin ?a kiman" aja
良 は 我の 所行 其 食 といふ
- ⁹ sicakuvkuvul / qau vaikin sa tsagtsagi
上蕃の人 そこで 所行 而 所叩
- ¹⁰ ?a soqoelivan / sa "soqoelivi" ajain azoa
は 戸 而 所開ぞ 所言 其の
- ¹¹ kakidjan / la?oa ini soqoelivi / rimiqoe-
子供は 併 不 所開 強ひてする
- ¹² roeq azoa cakuvkuvul to sma qomaqan /
其の 上蕃の人は ことを 赴 屋内
- ¹³ ini soqoelivi apata / "ti caina a?in pa-
不 所開 やはり 汝等の母 我は
- ¹⁴ saqomaqanu a?in" ajain ?a vintsa / "no
所入屋内ぞ 我は 所言 其 驚 若
- ¹⁵ ti ina sun / pasuksukan ?a su [ima totsua
母 汝は 所突入ぞ は 汝の手 此の
- ¹⁶ biron" ajain / qau sipasuksuk ?a paqo[id
孔に 所言 そこで 所突入 其 本當
- ¹⁷ ?a [ima / minto? ini ?a [ima noa kina /
は 手 見ると 非 其手 の 母
- ¹⁸ qau ?icakalupan noa kakidjan / sa more
そこで 所細下 の 子供 而 將
- ¹⁹ vitsi[loqen / qau no ?avilvilin nazoa
所折 そこで 雖 所引 其の
- ²⁰ sicakuvkuvul / ini apa mavilvil / qau
上蕃人の 不 了 所能引 そこで
- ²¹ ?in?oqan apa ?a [ima / sa kavilad
自分所切斷 了 は 手 而 逃

して置いた。その時母は、[喧嘩をして
はいけない]といつて、島へ行つた。と
ころが、母の仕事は多かつた。それで、
夕方大變暗くなつて[も、歸つて來ない
ので]、子供は泣いてゐた。

すると、上蕃の人が其を聞いて、[私が
行つて、食つてやらう]といつた。而し
て行つて、戸をコツコツ敲いて、[開けて
くれ]と、子供にいつた。併し、[子供は]開
けなかつた。上蕃の人は、無理に家に
入らうとしたが、やはり開けなかつた。
[彼は]偽つて、[私はお前等の母だ。私を
内に入れよ]といつた。[若しお前が母
なら、お前の手を此の孔へ突こんで、此
方へ出せ]といふ。すると、彼は本當に
手を突こんだ。見ると、母の手ではな
かつた。それで子供等は、[其の手に]ぶ
ら下ると、[手が]折れさうになつた。上
蕃の人は、いくら引ばつても、引ばれな
いので、到頭自分で手を切斷して、逃げ

1. ?ajoq-oen 其人を殘して置く、客體主、子供、?majoq
殘す。

10. so-qoeliv-an 開く處、s-im-o-qoeliv 戸を開く、q-oen-
iliv 閉す、so-qoeliv-i 其を開け、客體主、ini so-qoeliv-i
其を開かぬ、客體主、13行。

13. pasa-qomaq-an-u 家の内へ入れよ、客體主、我。

15. pa-suksuk-an 物を突入れよ、用具主、手、si-pa-suksuk
突入れる物、用具主、手、18行。

19. ?avilvil-in < *ka-vilvil-in 物を引張る、客體主、手、
ma-vilvil 引張られる状態にある、主體主、手、20行。